
AX7800R・AX7700R ソフトウェアマニュアル

メッセージ・ログレファレンス

Ver. 10.10 対応 Rev.1

AX-10-012-K0

■対象製品

このマニュアルは AX7800R および AX7700R モデルを対象に記載しています。また、AX7800R のソフトウェアおよび AX7700R のソフトウェア、いずれも Ver. 10.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、基本ソフトウェア OS-R および各種オプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

JP1 は、(株)日立製作所の日本における商品名称(商標又は、登録商標)です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NetFlow は米国およびその他の国における米国 Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

Octpower は、日本電気(株)の登録商標です。

OpenView は、Hewlett-Packard Company の商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

Solaris は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2011年 2月 (第14版) AX-10-012-K0

■著作権

Copyright (c) 2005, 2011, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

変更履歴

【Ver. 10.10 Rev.1】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
2.3.2 PIM-SM	・ 隣接ルータ関連のログを追加しました。
3.1.1 イベント発生部位 = CONFIG	・ マルチキャスト関連のログを追加しました。
3.5.1 イベント発生部位 = LINELAN	・ 輻輳制御閉塞対象外ポート関連のログを追加しました。
3.5.2 イベント発生部位 = LINEWAN	・ 輻輳制御閉塞対象外ポート関連のログを追加しました。
3.7.1 イベント発生部位 = BCU	・ 障害による復旧抑止のログを追加しました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 10.10 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
BGP4	・ BGP4 に関するログを追加しました。
BGP4+	・ BGP4+ に関するログを追加しました。
イベント発生部位 = CONFIG	・ フロー情報関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = PRU-B2	・ フロー情報関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = PRU-B2B	・ フロー情報関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = PRU-E2	・ フロー情報関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = RB2-10G4RX(PRU 部)	・ フロー情報関連のログを追加しました。
イベント発生部位 = RE1-10G4RX(PRU 部)	・ フロー情報関連のログを追加しました。

【Ver. 10.9 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
障害部位の確認	・ PRU-B2B, PRU-D2B の記述を追加しました。
BFD 情報	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = CONFIG	・ BFD に関するログを追加しました。
イベント発生部位 = RM	・ BFD に関するログを追加しました。
イベント発生部位 = PRU-B2B	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = PRU-D2B	・ 本項を追加しました。

【Ver. 10.7 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
BGP4	・ BGP4 に関するログを追加しました。
BGP4+	・ BGP4+ に関するログを追加しました。

項目	追加・変更内容
PIM-SM	Register パケットに関するログを変更しました。

このマニュアルで使用する用語を次のとおり変更しました。

- ・「構成定義情報」を「コンフィグレーション」に，その他「構成定義」を含む用語を「コンフィグレーション」を含む用語に変更。
- ・「系交替」を「系切替」に変更。

【Ver. 10.6 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
障害部位の確認	NE10G-1RXA の記述を追加しました。
ログのコード情報	「(3) イベント発生部位」に NE10G-1RXA の記述を追加しました。
PIM-SM	新規ログメッセージ（項番 24，25）を追加しました。
IPv6 PIM-SM	新規ログメッセージ（項番 25，26）を追加しました。
イベント発生部位 = CONFIG	新規ログメッセージ（項番 10）を追加しました。
イベント発生部位 = MC	新規ログメッセージ（項番 13）を追加しました。
イベント発生部位 = NE10G-1RXA	本項を追加しました。

【Ver. 10.5 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通	新規ログメッセージ（項番 2）を追加しました。
PIM-SM	新規ログメッセージ（項番 22，23）を追加しました。
イベント発生部位 = ACCESS	新規ログメッセージ（項番 24）を追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = RM	新規ログメッセージ（項番 148，176）を追加しました。
イベント発生部位 = LINELAN	新規ログメッセージ（項番 3，4）を追加しました。

【Ver. 10.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
OSPF	新規ログメッセージ（項番 23）を追加しました。
BGP4	新規ログメッセージ（項番 104 ～ 106）を追加しました。
IS-IS	新規ログメッセージ（項番 21）を追加しました。
OSPFv3	新規ログメッセージ（項番 18）を追加しました。

項目	追加・変更内容
BGP4+	新規ログメッセージ（項番 101 ～ 103）を追加しました。
イベント発生部位 = RM	- 新規ログメッセージ（項番 70 ～ 75, 138）を追加しました。 - 項番 39, 67, 102 ～ 105 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = CP	項番 5 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = NIF	新規ログメッセージ（項番 3）を追加しました。
イベント発生部位 =LINELAN	新規ログメッセージ（項番 3, 4）を追加しました。
イベント発生部位 =LINEWAN	新規ログメッセージ（項番 3, 4）を追加しました。
イベント発生部位 =RB2-10G4RX(PRU 部)	- AX7700R で RB2-10G4RX をサポートしました。 - 項番 1, 2, 6 ～ 9 の内容を変更しました。
イベント発生部位 =RB2-10G4RX(NIF 部)	- AX7700R で RB2-10G4RX をサポートしました。 - 項番 1 ～ 7, 9 ～ 12 の内容を変更しました。

【Ver. 10.1 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
運用メッセージの確認	MPLS 情報 (MPL) の記述を追加しました。
ログの確認	MPLS 情報 (MPL) の記述を追加しました。
RIP	項番 1 ～ 6 の内容を変更しました。
OSPF	項番 1, 2, 6, 7, 9 ～ 13, 19 ～ 22 の内容を変更しました。
BGP4	項番 94, 95 の内容を変更しました。
IS-IS	項番 2, 10 の内容を変更しました。
VPN	本項を追加しました。
OSPFv3	項番 6, 8, 16 の内容を変更しました。
MPLS 情報 (MPL)	本節を追加しました。
イベント発生部位 = CONFIG	新規ログメッセージ（項番 9, 16）を追加しました。
イベント発生部位 = PPP	新規ログメッセージ（項番 33 ～ 39）を追加しました。
イベント発生部位 = IP	新規ログメッセージ（項番 7, 16, 19）を追加しました。
イベント発生部位 = RM	- 新規ログメッセージ（項番 28 ～ 30, 94, 95, 154）を追加しました。 - 項番 100, 101, 113, 138, 139, 165, 166 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = CP	- 新規ログメッセージ（項番 19, 20）を追加しました。 - 項番 14, 15 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = POW	新規ログメッセージ（項番 4, 5）を追加しました。
イベント発生部位 = PRU-D2	本項を追加しました。

【Ver. 10.0 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
IPv6 PIM-SM	項番 21, 22 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = RM	- 新規ログメッセージ（項番 36, 60 ～ 66, 122, 146）を追加しました。 - 項番 45, 134 の内容を変更しました。

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = CP	・ 項番 5 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = PRU	・ 新規ログメッセージ（項番 10）を追加しました。
イベント発生部位 = POW	・ 新規ログメッセージ（項番 1 ～ 3）を追加しました。
イベント発生部位 = BCU	・ 新規ログメッセージ（項番 42）を追加しました。
イベント発生部位 = NE1GSHP-8S	・ 項番 8 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = RB2-10G4RX(PRU 部)	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = RB2-10G4RX(NIF 部)	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = RE1-10G4RX(PRU 部)	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = RE1-10G4RX(NIF 部)	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = NP192-1S4	・ 項番 2 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = NP48-4S	・ 項番 2 の内容を変更しました。

【Ver. 9.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
IPv6 PIM-SM	・ 新規ログメッセージ（項番 23, 24）を追加しました。
イベント発生部位 = RM	・ 新規ログメッセージ（項番 58, 87, 88）を追加しました。
イベント発生部位 = FAN	・ 項番 1, 4 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = POW	・ 項番 1, 3, 4 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = PRU-E2	・ 本項を追加しました。
イベント発生部位 = NEMX-12	・ 本項を追加しました。

【Ver. 9.3 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位 = IP	・ 新規ログメッセージ（項番 6, 11）を追加しました。
イベント発生部位 = RM	・ 新規ログメッセージ（項番 93, 94）を追加しました。 ・ 項番 82, 83, 100, 111 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = CP	・ 項番 18 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = PRU	・ 新規ログメッセージ（項番 11, 12）を追加しました。
イベント発生部位 = LINELAN	・ 項番 4, 6, 8 ～ 10 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = LINEWAN	・ 項番 4, 6 ～ 9 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = POW	・ 項番 1, 3, 4 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = PRU-B2	・ 項番 7, 10 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = PRU-C2	・ 項番 6, 9 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = NE1GSHP-4S	・ 項番 2 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = NE1GSHP-8S	・ 項番 2 の内容を変更しました。
イベント発生部位 = NE1G-48T	・ 新規ログメッセージ（項番 5, 6）を追加しました。

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ NE1G-12SA	新規ログメッセージ（項番 3, 4）を追加しました。
イベント発生部位＝ NE1G-12TA	新規ログメッセージ（項番 7, 8）を追加しました。
イベント発生部位＝ NE1G-6GA	- 新規ログメッセージ（項番 3, 4）を追加しました。 - 項番 2, 5 の内容を変更しました。

【Ver. 9.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
OSPF	項番 13 の内容を変更しました。
BGP4	項番 38 の内容を変更しました。
OSPFv3	項番 10 の内容を変更しました。
BGP4+	項番 38, 39 の内容を変更しました。
PIM-DM	項番 1 ～ 35 の内容を変更しました。
PIM-SM	項番 1 ～ 21 の内容を変更しました。
DVMRP	項番 1 ～ 16 の内容を変更しました。
IPv6 PIM-SM	項番 1 ～ 20 の内容を変更しました。
イベント発生部位＝ CONFIG	新規ログメッセージ（項番 14）を追加しました。
イベント発生部位＝ RM	- 新規ログメッセージ（項番 39, 92）を追加しました。 - 項番 133 の内容を変更しました。
イベント発生部位＝ CP	項番 19 の内容を変更しました。
イベント発生部位＝ NE1G-48T	新規ログメッセージ（項番 5）を追加しました。
イベント発生部位＝ NE1G-12SA	新規ログメッセージ（項番 3）を追加しました。
イベント発生部位＝ NE1G-12TA	新規ログメッセージ（項番 9）を追加しました。
イベント発生部位＝ NE1G-6GA	新規ログメッセージ（項番 3）を追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX7800R および AX7700R モデルを対象に記載しています。また、AX7800R のソフトウェアおよび AX7700R のソフトウェア、いずれも Ver. 10.10 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は、基本ソフトウェア OS-R および各種オプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

また、このマニュアルは前回の Ver. 10.10 対応マニュアル発行以降の追加および変更を記載し、Ver. 10.10 Rev.1 としたものです。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

なお、このマニュアルでは特に断らないかぎり AX7800R と AX7700R に共通の機能について記載しますが、どちらかの機種固有の機能については以下のマークで示します。

【AX7800R】：

AX7800R についての記述です。

【AX7700R】：

AX7700R についての記述です。

また、このマニュアルでは特に断らないかぎり基本ソフトウェア OS-R の機能について記載しますが、各種オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

【OP-ADV】：

オプションライセンス OP-ADV についての記述です。

【OP-BFD】：

AX7800R のオプションライセンス OP-BFD についての記述です。

【OP-BGP】：

オプションライセンス OP-BGP についての記述です。

【OP-F64K】：

オプションライセンス OP-F64K についての記述です。

【OP-ISIS】：

オプションライセンス OP-ISIS についての記述です。

【OP-MBSE】：

オプションライセンス OP-MBSE についての記述です。

【OP-MLT】：

オプションライセンス OP-MLT についての記述です。

【OP-MPLS】：

オプションライセンス OP-MPLS についての記述です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

AX7800R または AX7700R を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象とし

ています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す四つの章から構成されています。

第1章 障害の特定

本装置での障害の特定方法について説明しています。

第2章 ルーティングプロトコルのイベント情報

ルーティングプロトコルのイベント情報の内容について説明しています。

第3章 装置関連の障害およびイベント情報

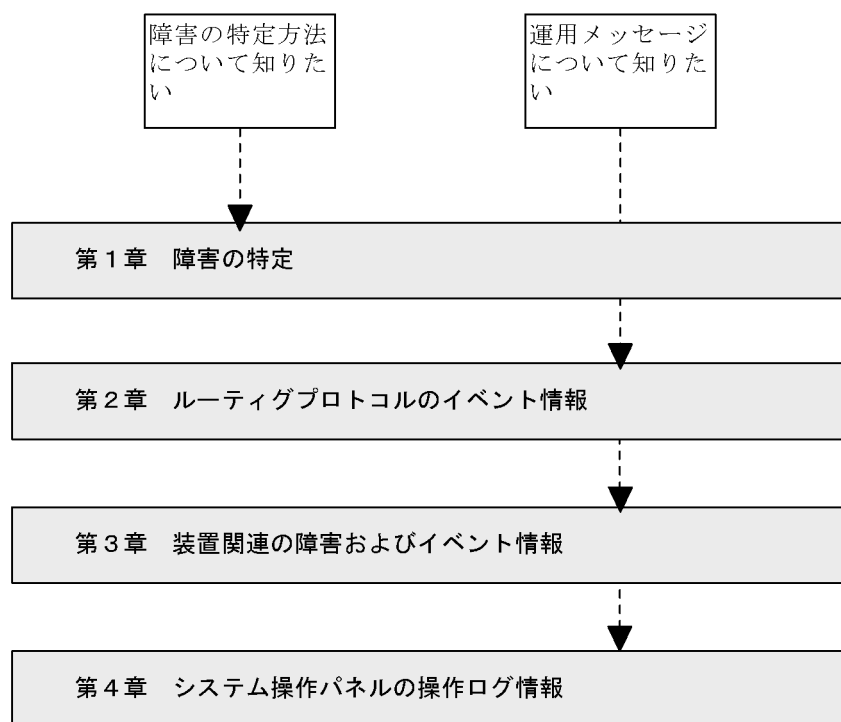
装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明しています。

第4章 システム操作パネルの操作ログ情報

システム操作パネルの操作ログ情報の内容について説明しています。

■読書手順

このマニュアルは次の手順でお読みいただくことをお勧めします。



(凡例)

 : 必ず読む項目

■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しておりますので、あわせてご利用ください。

<http://www.alaxala.com>

■マニュアルの読書手順

本装置の導入、セットアップ、日常運用までの作業フローに従って、それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●ハードウェアの構成，およびソフトウェアの機能を知りたい

解説書 Vol.1
(AX-10-002)

解説書 Vol.2
(AX-10-003)

●ハードウェアの設備条件，取扱方法を調べる

AX7800R・AX7700R
ハードウェア取扱説明書
(AX-10-014)

●コンフィグレーションの作成方法，設定例

→各コマンドの入カシンタックス，パラメータ詳細

コンフィグレーションガイド
(AX-10-004)

コンフィグレーション
コマンドレファレンス Vol.1
(AX-10-008)

コンフィグレーション
コマンドレファレンス Vol.2
(AX-10-009)

●運用管理方法，トラブルシュート →各コマンドの入カシンタックス，パラメータ詳細

運用ガイド
(AX-10-005)

運用コマンドレファレンス
Vol.1
(AX-10-010)

運用コマンドレファレンス
Vol.2
(AX-10-011)

→運用ログ詳細

メッセージ・ログレファレンス
(AX-10-012)

→MIB詳細

MIBレファレンス
(AX-10-013)

■このマニュアルでの表記

ABR

Available Bit Rate

はじめに

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
ATM	Asynchronous Transfer Mode
AUX	Auxiliary
BCU	Basic management Control module
bfd	Bidirectional Forwarding Detection
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合があります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CBR	Constant Bit Rate
CDP	Cisco Discovery Protocol
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CP	multi layer Control Processor
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
Diff-serv	Differentiated Services
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DLCI	Data Link Connection Identifier
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FR	Frame Relay
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GFR	Guaranteed Frame Rate
HDLC	High level Data Link Control
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IIH	IS-IS Hello
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
IS	Intermediate System
IS-IS	Information technology - Telecommunications and Information exchange between systems - Intermediate system to Intermediate system Intra-Domain routing information exchange protocol for use in conjunction with the Protocol for providing the Connectionless-mode Network Service (ISO 8473)
ISDN	Integrated Services Digital Network

ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MIB	Management Information Base
MPLS	Multi-Protocol Label Switching
MRU	Maximum Receive Unit
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NIF	Network Interface board
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSI	Open Systems Interconnection
OSINLCP	OSI Network Layer Control Protocol
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
PAD	PADding
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
POH	Path Over Head
POS	PPP over SONET/SDH
PPP	Point-to-Point Protocol
PPPoE	PPP over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PRU	Packet Routing Module
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
PVC	Permanent Virtual Channel (Connection)/Permanent Virtual Circuit
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RM	Routing Manager
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
SA	Source Address
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol

SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SOH	Section Over Head
SONET	Synchronous Optical Network
SOP	System Operational Panel
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UBR	Unspecified Bit Rate
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
VBR	Variable Bit Rate
VC	Virtual Channel/Virtual Call/Virtual Circuit
VCi	Virtual Channel Identifier
VLAN	Virtual LAN
VP	Virtual Path
VPI	Virtual Path Identifier
VPN	Virtual Private Network
RRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ 常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外を使用しています。

- 宛て（あて）
- 宛先（あてさき）
- 迂回（うかい）
- 鍵（かぎ）
- 個所（かしょ）
- 筐体（きょうたい）
- 桁（けた）
- 毎（ごと）
- 閾値（しきいち）
- 芯（しん）
- 溜まる（たまる）
- 必須（ひつす）
- 輻輳（ふくそう）
- 閉塞（へいそく）
- 漏洩（ろうえい）

■ kB(バイト) などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。

目次

1	障害の特定	1
1.1	LED 表示の確認	2
1.2	障害部位の確認	3
1.3	運用メッセージの確認	5
1.3.1	メッセージの種類	5
1.3.2	運用メッセージの内容	5
1.3.3	運用メッセージのフォーマット	6
1.3.4	運用メッセージの出力	6
1.4	ログの確認	8
1.4.1	ログの種類	8
1.4.2	ログの内容	8
1.4.3	運用ログのフォーマット	9
1.4.4	種別ログのフォーマット	10
1.4.5	ログのコード情報	10
1.4.6	ログの自動保存と参照	14
1.5	初期起動メッセージ	16
1.6	BCU 初期診断での障害検出	18
2	ルーティングプロトコルのイベント情報	19
2.1	IPv4 ルーティング情報 (RTM)	20
2.1.1	RIP	20
2.1.2	OSPF	21
2.1.3	BGP4 【OP-BGP】	27
2.1.4	IS-IS 【OP-ISIS】	51
2.1.5	BFD 情報 【OP-BFD】	56
2.1.6	VPN 【OP-MPLS】	58
2.1.7	IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通	59
2.2	IPv6 ルーティング情報 (RTM)	60
2.2.1	RIPng	60
2.2.2	OSPFv3	61
2.2.3	BGP4+ 【OP-BGP】	66
2.2.4	IS-IS 【OP-ISIS】	89
2.2.5	RA	89
2.2.6	IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通	91
2.3	IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP) 【OP-MLT】	92
2.3.1	PIM-DM	92
2.3.2	PIM-SM	99
2.3.3	DVMRP	105

2.4	IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6) 【OP-MLT】	109
2.4.1	IPv6 PIM-SM	109
2.5	MPLS 情報 (MPL) 【OP-MPLS】	115
2.5.1	MPLS	115

3

	装置関連の障害およびイベント情報	119
3.1	コンフィグレーション	120
3.1.1	イベント発生部位 = CONFIG	120
3.2	アクセス	127
3.2.1	イベント発生部位 = ACCESS	127
3.3	プロトコル	132
3.3.1	イベント発生部位 = PPP	132
3.3.2	イベント発生部位 = IP	137
3.3.3	イベント発生部位 = MAC	142
3.4	装置の各部位	147
3.4.1	イベント発生部位 = RM	147
3.4.2	イベント発生部位 = CP	178
3.4.3	イベント発生部位 = NIF	184
3.4.4	イベント発生部位 = PRU	185
3.5	回線	190
3.5.1	イベント発生部位 = LINELAN	190
3.5.2	イベント発生部位 = LINEWAN	193
3.6	オプション機構	196
3.6.1	イベント発生部位 = MC	196
3.6.2	イベント発生部位 = FAN	200
3.6.3	イベント発生部位 = POW	203
3.7	基本制御機構	211
3.7.1	イベント発生部位 = BCU	211
3.8	パケットルーティング機構	223
3.8.1	イベント発生部位 = PRU-B2	223
3.8.2	イベント発生部位 = PRU-B2B	226
3.8.3	イベント発生部位 = PRU-C2	229
3.8.4	イベント発生部位 = PRU-E2 【AX7700R】	232
3.8.5	イベント発生部位 = PRU-D2	234
3.8.6	イベント発生部位 = PRU-D2B	237
3.9	ネットワークインタフェース機構・イーサネット	241
3.9.1	イベント発生部位 = NE1GSHP-4S	241
3.9.2	イベント発生部位 = NE10G-1ER	243
3.9.3	イベント発生部位 = NE10G-1LW	245
3.9.4	イベント発生部位 = NE10G-1EW	246
3.9.5	イベント発生部位 = NE1GSHP-8S	248

3.9.6	イベント発生部位 = NE10G-1RX	250
3.9.7	イベント発生部位 = NE10G-1RXA	252
3.9.8	イベント発生部位 = NE1G-48T	254
3.9.9	イベント発生部位 = NE1G-12SA	256
3.9.10	イベント発生部位 = NE1G-12TA	258
3.9.11	イベント発生部位 = NE1G-6GA	261
3.9.12	イベント発生部位 = NEMX-12	263
3.9.13	イベント発生部位 = RB2-10G4RX(PRU 部) 【AX7800R】	265
3.9.14	イベント発生部位 = RB2-10G4RX(NIF 部) 【AX7800R】	267
3.9.15	イベント発生部位 = RE1-10G4RX(PRU 部) 【AX7700R】	270
3.9.16	イベント発生部位 = RE1-10G4RX(NIF 部) 【AX7700R】	272
3.10	ネットワークインタフェース機構・POS	275
3.10.1	イベント発生部位 = NP192-1S4	275
3.10.2	イベント発生部位 = NP48-4S	277
3.10.3	イベント発生部位 = NP192-1S	279

4

システム操作パネルの操作ログ情報	283
4.1 システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)	284
4.2 システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)	286

索引

1

障害の特定

この章ではトラブルが発生した場合にどの部分で障害が発生しているかを特定するための手段となる障害部位，運用メッセージ，ログについて説明しています。

1.1 LED 表示の確認

1.2 障害部位の確認

1.3 運用メッセージの確認

1.4 ログの確認

1.5 初期起動メッセージ

1.6 BCU 初期診断での障害検出

1.1 LED 表示の確認

LED ランプは装置に実装されているボードのパネル面にあり、障害状態（赤・黄）と、動作状態表示（緑）およびネットワーク障害について表示します。

BCU ボード上の ALARM LED が点灯している場合は、装置障害が発生していることを示しています。また、ERROR LED が点灯している場合は、装置の部分障害が発生していることを示しています。

LED 実装位置については「ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

1.2 障害部位の確認

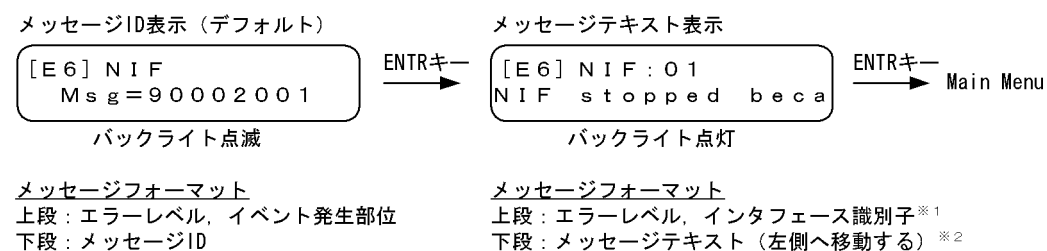
装置内で故障が発生した場合に、故障部位または機能の切り分けを行うためにシステム操作パネルに障害表示を行います。BCU ボード上の ALARM LED が点灯している場合は、装置障害が発生していることを示す障害表示を行います。また、ERROR LED が点灯している場合は、装置の部分障害が発生していることを示す障害表示を行います。

障害表示は、エラーレベル E9、E8、E7、E6、E5 の障害に対して行われ、エラーレベルの高い障害が優先的に表示されます。障害箇所が修復されると、障害表示は自動的に消えます。

装置起動中にシステム操作パネルの表示が POST 状態で変わらなくなった場合は、BCU の初期診断で障害を検出しています。「1.6 BCU 初期診断での障害検出」を参照し、対応してください。

障害が発生すると、エラーレベルとともにイベント発生部位とメッセージ ID がバックライトを点滅させながら表示されます。ENTR キーを押下すると、インタフェース識別子とその障害のメッセージテキストがバックライト点灯で表示されます。再度、ENTR キーを押下すると、<Main Menu> が表示されます。メッセージテキストは、画面左側に移動しながら繰り返し表示されます。

図 1-1 障害表示の表示例（NIF でハードウェア障害を検出した例）



注※1 インタフェース識別子がないメッセージの場合は、イベント発生部位を示す。

注※2 次のメッセージテキストが、左に1文字ずつ移動しながら表示される。

NIF stopped because its hardware failure.

メッセージ ID 表示のイベント発生部位に表示される障害部位または機能の略称を次の表に示します。

表 1-1 システム操作パネルに表示される障害部位または機能の略称

障害部位または機能の略称
CONFIG
ACCESS
PPP
IP
MAC
RM
CP
NIF
LINELAN
LINEWAN
PRU
FAN

1.2 障害部位の確認

障害部位または機能の略称
MC
POW
BCU
PRU-B2
PRU-B2B
PRU-C2
PRU-D2
PRU-D2B
PRU-E2
NE1GSHP-4S
NE10G-1ER
NE10G-1LW
NE10G-1EW
NE1GSHP-8S
NE10G-1RX
NE1G-48T
NE1G-12SA
NE1G-12TA
NE1G-6GA
NEMX-12
RB2-10G4RX
RE1-10G4RX
NE10G-1RXA
NP192-1S4
NP48-4S
NP192-1S

1.3 運用メッセージの確認

本装置は動作状態の変化や障害情報など、管理者に通知することを目的とした情報を運用メッセージとして運用端末に出力します。運用メッセージは運用端末に出力するほか、運用ログとして装置内に保存します。この情報で装置の運用状態や障害の発生を管理できます。

1.3.1 メッセージの種類

本装置が出力するメッセージの種類と参照先を、次の表に示します。メッセージの種類のうち、本装置が出力するルーティングプロトコルのイベント情報、および装置関連の障害情報やイベント情報を運用メッセージと呼びます。

表 1-2 メッセージの種類と参照先

メッセージの種類	内容	参照先
初期起動メッセージ	本装置立ち上げ時に出力するメッセージ	「1.5 初期起動メッセージ」
コンフィグレーションエラーメッセージ	コンフィグレーションコマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 17. コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「運用コマンドレファレンス Vol.1」「運用コマンドレファレンス Vol.2」各コマンドに記述されている「応答メッセージ」
運用メッセージ	ルーティングプロトコルのイベント情報	「2 ルーティングプロトコルのイベント情報」
	装置関連の障害情報およびイベント情報	「3 装置関連の障害およびイベント情報」

1.3.2 運用メッセージの内容

ルーティングプロトコルのイベント情報は、本装置が運用メッセージとして出力する機能項目と、運用メッセージとして出力しない機能項目があります。運用メッセージとして出力しない場合も運用ログは取得します。運用メッセージのサポート内容を次の表に示します。

表 1-3 運用メッセージのサポート内容

分類	機能項目	運用メッセージ
ルーティングプロトコルのイベント情報	IPv4 ルーティング情報	○
	IPv4 マルチキャストルーティング情報 【OP-MLT】	×
	IPv6 ルーティング情報	○
	IPv6 マルチキャストルーティング情報 【OP-MLT】	×
	MPLS 情報 【OP-MPLS】	○
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○

(凡例)

- ：メッセージ表示します。
- ×：メッセージ表示しません。

1.3.3 運用メッセージのフォーマット

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-2 ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss          ~~~~~~
1                        2
```

1. 時刻・・・メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
2. メッセージテキスト・・・発生した事象とそれに関する情報を示します。

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-3 装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss ee kkkkkkkk [iii...iiil] xxxxxxxx yyyv:yyyyyyyyyyyyyy ttt~ttt
1          2      3          4          5          6          7
```

1. 時刻：メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
2. イベントレベル
3. イベント発生部位または機能
4. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
5. メッセージ識別子
6. 付加情報
7. メッセージテキスト

イベントレベル、イベント発生部位または機能など、メッセージに含まれるコード情報はログと同じです。詳細については、「1.4.4 種別ログのフォーマット」を参照してください。

1.3.4 運用メッセージの出力

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

ルーティングプロトコルのイベント情報では、IPv4 ルーティングプロトコル、IPv6 ルーティングプロトコル、MPLS の動作状態を通知します。メッセージを運用端末に画面出力する場合は、コマンドで指定します。使用するコマンドを次の表に示します。なお、マルチキャストルーティングプロトコルはメッセージを表示しないで、運用ログとして取得するだけです。

表 1-4 ルーティングプロトコルのイベント情報のメッセージ出力

分類	コマンド名	内容
IPv4 ルーティング情報	debug protocols unicast	メッセージ表示を開始します。
	no debug protocols unicast	メッセージ表示を停止します。
IPv4 マルチキャストルーティング情報 【OP-MLT】	—	メッセージ表示しません。
IPv6 ルーティング情報	debug protocols unicast	メッセージ表示を開始します。
	no debug protocols unicast	メッセージ表示を停止します。

分類	コマンド名	内容
IPv6 マルチキャストルーティング情報 【OP-MLT】	—	メッセージ表示しません。
MPLS 情報 【OP-MPLS】	mpls monitor	メッセージ表示を開始します。
	no mpls monitor	メッセージ表示を停止します。

(凡例) —：該当しません。

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報は、すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって、イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると、指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

1.4 ログの確認

1.4.1 ログの種類

本装置が取得するログは運用ログと種別ログの2種類があります。運用ログは入力したコマンド、コマンド応答メッセージおよび運用メッセージとして運用端末に出力する情報、また、システム操作パネルで選択した操作情報および操作によるイベント情報をログとして時系列に取得します。種別ログは運用メッセージのうち装置関連の障害およびイベント情報の統計情報をログとして取得します。

運用ログと種別ログの特徴を次の表に示します。

表 1-5 運用ログと種別ログの特徴

項目	運用ログ	種別ログ
ログの内容	発生したイベントを時系列に取得します。	同一のイベントにつき、最も古い発生時刻と最新の発生時刻、累積回数の統計情報を記録します。
取得の対象とする保守情報	- 入力したコマンド - コマンド応答メッセージ - ルーティングプロトコルのイベント情報 - 装置関連の障害およびイベント情報 - システム操作パネルで選択した操作情報 - システム操作パネルの操作によるイベント情報	装置関連の障害およびイベント情報
ログの取得数	- ログの取得数は 9,500 エントリです。この内、先頭から 8,000 エントリはすべてのログを時系列に保存します。 - 残り 1,500 エントリは上記 8,000 エントリから溢れた古いログのうち、ログ種別が 'KEY'、'RSP'、'ERR'、'EVT' のログだけ時系列に保存します。 1 エントリは 80 文字となります。取得したログが 100 文字の場合は 2 エントリ分となります。	- ログ取得数は 500 エントリです。 - ログ取得数を超えた場合は、新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除し、新しいログを取得します。
ログの取得数オーバ処理	- ログ取得数が 8,000 エントリを超えた場合は、溢れた古いログの種類により削除処理が異なります。 - 溢れた古いログのうち、ログ種別が 'KEY'、'RSP'、'ERR'、'EVT' 以外のログは削除されます。 - 溢れた古いログのうち、ログ種別が 'KEY'、'RSP'、'ERR'、'EVT' のログは、8,001 ～ 9,500 エントリに保存されます。9,500 エントリを超えた場合は、古いログを削除します。	ログ取得数が 500 エントリを超えた場合は、新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除して新しいログを取得します。

1.4.2 ログの内容

運用ログ、種別ログとして取得する情報を次の表に示します。

表 1-6 運用ログ、種別ログとして取得する情報

分類	内容	運用ログ	種別ログ	参照先
入力したコマンド	オペレータが運用端末より入力したコマンド	○	×	—

分類	内容	運用 ログ	種別 ログ	参照先
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	○	×	「運用コマンドレファレンス Vol.1」 「運用コマンドレファレンス Vol.2」 各 コマンドに記述されている [応答メッ セージ]
ルーティングプロト コルのイベント情報	IPv4 ルーティング情報	○	×	「2 ルーティングプロトコルのイベン ト情報」
	IPv4 マルチキャストルーティン グ情報 【OP-MLT】	○	×	
	IPv6 ルーティング情報	○	×	
	IPv6 マルチキャストルーティン グ情報 【OP-MLT】	○	×	
	MPLS 情報 【OP-MPLS】	○	×	
装置関連の障害およ びイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの 障害情報	○	○	「3 装置関連の障害およびイベント情 報」
	装置のイベント発生部位ごとの イベント情報	○	○	
システム操作パネル の操作ログ情報	オペレータがシステム操作パネ ルで選択した操作情報	○	×	「4 システム操作パネルの操作ログ情 報」
	システム操作パネルの操作によ るイベント情報	○	×	

(凡例)

- ：メッセージ表示、またはログを取得します。
- ×
- ー：該当しません。

1.4.3 運用ログのフォーマット

運用中のメッセージは運用ログとして装置内に保存します。ログの格納時は運用メッセージとして画面出力する情報に**ログ種別**を付加したフォーマットになります。

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

入力コマンド、コマンド応答メッセージ、ルーティングプロトコルのイベント情報、システム操作パネルで選択した操作情報、システム操作パネルの操作によるイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-4 入力コマンド、コマンド応答メッセージ、ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマット

```

kkk      mm/dd hh:mm:ss      ttttttttttttttttt~ttttttttttttttt
 1              2                      3

```

- ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
 - KEY：入力コマンドおよびシステム操作パネルで選択した操作情報
 - RSP：コマンド応答メッセージおよびシステム操作パネルの操作によるイベント情報
 - RTM, MRP **【OP-MLT】**, MR6 **【OP-MLT】**, MPL **【OP-MPLS】**：ルーティングプロトコルのイベント情報
- 時刻・・・採取月、日、時、分、秒をテキスト表示します。
- メッセージテキスト。

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-5 装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

<u>kkk</u>	<u>mm/dd hh:mm:ss</u>	<u>ee</u>	<u>kkkkkkkkk</u>	<u>[iii...iii]</u>	<u>xxxxxxxx</u>	<u>yyyy:yyyyyyyyyyyy</u>
1	2	3	4	5	6	7

<u>tttt~tttt</u>
8

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを3文字の文字列で表示したもの。
 - ERR：装置のイベント発生部位ごとの障害情報
 - EVT：装置のイベント発生部位ごとのイベント情報
2. 時刻・・・採取月、日、時、分、秒をテキスト表示します。
3. イベントレベル
4. イベント発生部位または機能
5. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
6. メッセージ識別子
7. 付加情報
8. メッセージテキスト

1.4.4 種別ログのフォーマット

装置関連の障害情報およびイベント情報は発生順に運用ログとして保存しますが、このほかに種別ログとしても保存します。種別ログは、情報をメッセージ識別子ごとに分類した上で、同事象が最初に発生した日時および最後に発生した日時と累積回数を記録します。

種別ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-6 種別ログのフォーマット

<u>ee</u>	<u>kkkkkkkkk</u>	<u>[iii...iiil]</u>	<u>xxxxxxxx</u>	<u>yyyy:yyyyyyyyyyyy</u>
1	2	3	4	5

<u>mm/dd hh:mm:ss</u>	<u>mm/dd hh:mm:ss</u>	<u>ccc</u>
6	7	8

1. イベントレベル（E9～E3, R9～R5）
2. イベント発生部位または機能
3. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント発生部位に依存）
4. メッセージ識別子
5. 付加情報
6. 該当障害の最新の発生時刻
7. 該当障害の最旧の発生時刻
8. 該当障害の発生回数

1.4.5 ログのコード情報

(1) ログ種別

運用ログに付加されるログ種別には次の種類があります。

- ユーザのコマンド操作とその結果

- 装置が出力する動作情報
- 障害情報
- ユーザのシステム操作パネル操作とその結果

ログとして取得する情報とログ種別の対応を次の表に示します。運用ログのうち装置関連の障害およびイベント情報、および種別ログにはイベントレベルを付加します。

表 1-7 ログとして取得する情報とログ種別の対応

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
入力コマンドおよびシステム操作パネルで選択した操作情報	KEY	オペレータが運用端末から入力したコマンド、およびオペレータがシステム操作パネルで選択した操作情報	—
コマンド応答メッセージおよびシステム操作パネルの操作によるイベント情報	RSP	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ、およびシステム操作パネルの操作によって発生したイベント情報	—
ルーティングプロトコル情報	RTM	IPv4 ルーティング情報または IPv6 ルーティング情報	—
	BFD	BFD 情報 【OP-BFD】	—
	MRP	IPv4 マルチキャストルーティング情報 【OP-MLT】	—
	MR6	IPv6 マルチキャストルーティング情報 【OP-MLT】	—
	MPL	MPLS 情報 【OP-MPLS】	—
装置関連の障害およびイベント情報	ERR	装置の各イベント発生部位ごとの障害情報	E9 ～ E5
	EVT	装置の各イベント発生部位ごとのイベント情報	E4, E3, R9 ～ R5

(凡例) —：該当しません。

(2) イベントレベル

種別ログで示されるイベントは、重要度によって 7 段階でレベル分けされます。イベントレベルと内容を次の表に示します。

表 1-8 イベントレベルと内容

イベントレベル	表示内容 (種別)	内容
9	E9 (致命的障害) R9 (致命的障害回復)	装置全体が停止する障害 (装置再起動または装置運用停止)
8	E8 (重度障害) R8 (重度障害回復)	装置の一部が停止する障害 • 障害部位が CP-CPU の場合、該当 CP-CPU 再起動を伴う • 障害部位が PRU の場合、該当 PRU 再起動を伴う
7	E7 (RM 部分障害) R7 (RM 部分障害回復)	RM 部の一部が停止する障害
6	E6 (CP 部分障害, PRU 部分障害) R6 (CP 部分障害回復, PRU 部分障害回復)	PRU 部の一部 (NIF 部を含む) が停止する障害
5	E5 (他系障害) R5 (他系障害回復)	二重化に関する障害 (系切替不可)
4	E4 (ネットワーク障害)	回線に関する情報 (LAN)

イベントレベル	表示内容（種別）	内容
3	E3（警告）	警告

なお、イベントレベル E9 から E5 の障害が回復した場合、各レベルに対応して R9 から R5 までのレベル表示で運用メッセージを出力します。また、E9 から E5 の障害が発生した場合、運用ログおよび種別ログを「/primaryMC/var/log/system.log」、「/primaryMC/var/log/error.log」として MC に自動保存を行います。

(3) イベント発生部位

種別ログでは発生したイベントの部位または機能を識別子で示します。イベント発生部位を次の表に示します。

表 1-9 イベント発生部位

項番	識別子	イベント発生部位または機能
1	CONFIG	コンフィグレーション
2	ACCESS	装置アクセス権制御
3	IP	IP 制御機能
4	PPP	PPP プロトコル
5	MAC	MAC 制御機能
6	RM	RM 制御機能
7	CP	CP 制御機能
8	NIF	NIF 制御機能
9	LINELAN	LAN 回線
10	LINEWAN	WAN 回線
11	PRU	PRU 制御機能
12	FAN	ファンユニット
13	MC	MC
14	POW	電源部
15	BCU	基本制御部
16	PRU-B2	PRU-B2
17	PRU-B2B	PRU-B2B
18	PRU-C2	PRU-C2
19	PRU-D2	PRU-D2
20	PRU-D2B	PRU-D2B
21	PRU-E2	PRU-E2
22	NE1GSHP-4S	1000BASE-X・SFP・4 回線・階層化シェーパ機能付き（1024 ユーザ× 4QoS/ポート）
23	NE1GSHP-8S	1000BASE-X・SFP・8 回線・階層化シェーパ機能付き（1024 ユーザ× 4QoS/ポート）
24	NE10G-1ER	10BASE-ER（2m ～ 40km）・1 回線
25	NE10G-1LW	10GBASE-LW（2m ～ 10km）・1 回線
26	NE10G-1EW	10GBASE-EW（2m ～ 40km）・1 回線

項番	識別子	イベント発生部位または機能
27	NE10G-1RX	10GBASE-R・XFP・1 回線
28	NE10G-1RXA	10GBASE-R・XFP・1 回線
29	RB2-10G4RX	10GBASE-R, XFP, 4 回線, PRU-B2 内蔵
30	RE1-10G4RX	10GBASE-R, XFP, 4 回線, PRU-E1 内蔵
31	NE1G-48T	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・48 回線
32	NE1G-12SA	1000BASE-X・SFP・12 回線・VRRP 機能拡張
33	NE1G-12TA	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・12 回線・VRRP 機能拡張
34	NE1G-6GA	1000BASE-X・GBIC・6 回線・VRRP 機能拡張
35	NEMX-12	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・8 回線 + 1000BASE-X・SFP・4 回線
36	NP192-1S4	OC-192c/STM-64 POS (40km)・1 回線・G.652 シングルモード
37	NP192-1S	OC-192c/STM-64 POS (2km)・1 回線・G.652 シングルモード
38	NP48-4S	OC-48c/STM-16 POS・SFP・4 回線・シングルモード

(4) イベント発生インタフェース識別子

イベントが発生したインタフェース部位を識別子で示します。インタフェース部位の部位識別子の表示形式を次の表に示します。

表 1-10 インタフェース部位識別子の表示形式

識別子の表示形式	インタフェース部位
(なし)	RM 部
CP (CP 番号なし)	CP-CPU 部
PRU:p	PRU 部
NIF:nn	NIF 部
NIF:nn LINE:l	ライン系回線部 (LAN)
RM-LINE:0	RM イーサネット

(凡例)

p : PRU 番号
nn : NIF 番号
l : 回線番号

(5) メッセージ識別子および付加情報

発生したイベントの内容をコードで示したものです。内容の詳細は「3 装置関連の障害およびイベント情報」を参照してください。

(6) 該当イベントの最新および最旧の発生時刻

該当イベントが最初に発生した時刻および最新の発生時刻を示します。

(7) 該当イベントの発生回数

該当イベントが繰り返し発生している場合にその累計を示します。累計はログの採取開始から現在までに発生したイベントの回数となります。該当イベントが 255 以上発生している場合、発生回数の表示は 255 となります。

1.4.6 ログの自動保存と参照

(1) ログの自動保存

運用ログと種別ログは、以下に示す契機で対応する系の MC（運用系の場合は運用系の現用 MC，待機系の場合は待機系の現用 MC）上へ自動的に保存されます。またログの保存先を次の表に示します。

ログを自動保存する契機

1. イベントレベル E9 から E5 の重度障害が発生した場合
2. 運用コマンドの reload コマンドにより装置の再起動を行った場合
3. ログインまたはログアウトを行った場合
4. ppupdate に伴う装置の再起動を行った場合
5. リセットボタン押下に伴う装置再起動を行った場合
6. BCU Alternate スイッチ押下により、その系が再起動した場合

表 1-11 ログの保存先

ログの種類	MC 内の保存先
運用ログ	/primaryMC/var/log/system.log へ保存
種別ログ	/primaryMC/var/log/error.log へ保存

(2) ログの参照とファイルの作成方法

運用ログおよび種別ログは show logging コマンドを使用して参照します。これらのログはファイルとして取り出すこともできます。ファイルは show logging コマンド実行時にリダイレクト指定して作成します。show logging コマンド以外のコマンド出力結果をファイルとして取り出す場合も、同様にリダイレクト指定します。コマンドのリダイレクトによってファイルを作成する場合の格納ディレクトリを次の表に示します。

表 1-12 格納ディレクトリ

項目	格納ディレクトリ	備考
ユーザホームディレクトリ	/primaryMC/usr/home/<ユーザアカウント名>/	現用 MC に格納
	/secondaryMC/usr/home/<ユーザアカウント名>/	予備 MC に格納 【AX7800R】
テンポラリディレクトリ	/tmp/	装置が電源断や reload コマンドによって停止した場合、格納ファイルは削除されます。

【AX7800R】

次に、運用系から show logging コマンドを実行し、運用系の予備 MC のホームディレクトリにファイルを取得する例を示します。

運用系の運用ログを予備 MC に取得

```
> show logging > /secondaryMC/usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
```

待機系の運用ログを予備 MC に取得


```
> show logging standby > /secondaryMC/usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
```

運用系の種別ログを予備 MC に取得

```
> show logging reference > /secondaryMC/usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
>
```

待機系の種別ログを予備 MC に取得

```
> show logging reference standby > /secondaryMC/usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
```

(3) リモートホストでのログ取得

syslog 出力機能を使用してリモートホスト側にもログを取得できます。ただし、syslog 出力機能ではフレームロスなどによってログ情報が紛失する可能性があります。

syslog 出力機能については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 logger-syslog (ログ syslog 情報)」を参照してください。

(4) ログの E-Mail 送信機能

E-Mail 送信機能を使用してリモートホスト、PC などにログ情報を送ることができます。この機能ではメールの受信には対応していません。この機能によって送付されたメールに対して返信を行うと送信エラーとなります。

E-Mail 送信機能については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 logger-email (ログ E-Mail 情報)、コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 logger-smtp (SMTP サーバ情報)」を参照してください。

1.5 初期起動メッセージ

装置立ち上げ時に表示するメッセージの一覧を「表 1-13 立ち上げメッセージ」に、立ち上げ中に表示する障害メッセージを「表 1-14 立ち上げ中の障害メッセージ」に示します。なお、立ち上げ中には動作状況を示す情報としてこれらの表にないメッセージが表示されますが、無視してください。

また、立ち上げメッセージはシステム操作パネルにも表示されます。これは装置の初期診断の経過を示すものです。システム操作パネルに表示するメッセージの一覧を「表 1-15 システム操作パネルに表示される立ち上げメッセージ」に示します。

表 1-13 立ち上げメッセージ

メッセージ	内容
Starting 1st loader	第 1 段階の起動プログラムを開始しました。
Loading from MC slot 0	MC スロット 0 からソフトウェアのローディングを開始しました。
Loading from MC slot 1	MC スロット 1 からソフトウェアのローディングを開始しました。
Starting 2nd loader	第 2 段階の起動プログラムを開始しました。
Starting 3rd loader	第 3 段階の起動プログラムを開始しました。

表 1-14 立ち上げ中の障害メッセージ

メッセージ	内容
MC not found.	MC が実装されていません。 [対応] 本装置のソフトウェアをインストールしてある MC を実装して電源を再投入してください。
loading /boot ... failed.	MC からのソフトウェアのローディングに失敗しました。 [対応] 本装置のソフトウェアをインストールしてある MC を実装して電源を再投入してください。
Loading failed.	MC からのソフトウェアのローディングに失敗しました。 [対応] 本装置のソフトウェアをインストールしてある MC を実装して電源を再投入してください。

表 1-15 システム操作パネルに表示される立ち上げメッセージ

メッセージ	内容
上段：[POST] XX 下段：(空行)	POST 実行中を示します。XX は POST コードです。この表示状態が長時間（数分以上）続く場合、POST 障害停止が表示できない致命的な障害が発生している可能性があります。
上段：[BOOT] Starting 下段： 1st loader	POST, MD が終了し、第 1 段階の起動プログラムが動作開始したことを示します。
上段：[BOOT] Loading 下段： from MC slot 0	MC スロット 0 からソフトウェアのローディングを開始したことを示します。
上段：[BOOT] Loading 下段： from MC slot 1	MC スロット 1 からソフトウェアのローディングを開始したことを示します。
上段：[BOOT] Starting 下段： 2nd loader	第 2 段階の起動プログラムが動作開始したことを示します。

メッセージ	内容
上段：[BOOT] Starting 下段： 3rd loader	第 3 段階の起動プログラムが動作開始したことを示します。
上段：[BOOT] Loading 下段：→→→→→→	OS のロード中を示します。→は進行状況を示し、下段左端から右方向に順次表示されます。
上段：[BOOT] Loading 下段： Complete	OS のロード終了を示します。
上段：Initializing 下段：→→→→→→	OS が動作開始し、初期化中であることを示します。→は進行状況を示し、下段左端から右方向に順次表示されます。
上段：Initialized 下段：(空行)	OS が初期化完了したことを示します。
上段：[POST] FAULT 下段： XX	POST で障害検出し、停止していることを示します。XX は POST コードです。
上段：[MD] FAULT UUUU 下段： AAAAAAAAAAAAA	MD 障害検出により停止したことを示します。UUUU は障害検出部位の UNIT ID, SUB UNIT ID です。AAAAAAAAAAAA は Additional です。
上段：[BOOT] FAULT 下段： XX MMMMMMMM	障害リポートにより停止したことを示します。XX は障害検出部位の UNIT ID です。MMMMMMMM は MSG ID です。
上段：[BOOT] HALT 下段：(空行)	ユーザコマンド (reload stop) により停止したことを示します。

1.6 BCU 初期診断での障害検出

システム操作パネルの表示が POST 状態で変わらなくなった場合は、BCU の初期診断で障害を検出しています。次の表により対応してください。

表 1-16 BCU 初期診断コード

コード	部位	対応
43	メモリ #3	1. メモリスロット #3 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
44		
45	メモリ #2	1. メモリスロット #2 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
46		
48	メモリ #1	1. メモリスロット #1 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
49		
62	メモリ (すべて)	1. MS をすべて交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
69		
71		
72		
73	メモリ #3	1. メモリスロット #3 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
74	メモリ #2	1. メモリスロット #2 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
75	メモリ #1	1. メモリスロット #1 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
76	メモリ #0	1. メモリスロット #0 に実装されている MS を交換する。 2. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。
77		
78		
79		
81	BCU	1. BCU PK を交換する。
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88		
89		
上記以外	メモリ (すべて) / BCU	1. BCU/すべての MS の取り付け状況を確認する。 2. 取り付け状況に問題がない場合、MS をすべて交換する。 3. MS を交換しても障害回復しない場合は BCU PK を交換する。

2

ルーティングプロトコルのイベント情報

この章ではルーティングプロトコルのイベント情報の内容について説明します。ルーティングプロトコルのイベント情報では、IPv4 ルーティングプロトコル、IPv6 ルーティングプロトコルの動作状態を通知します。メッセージを運用端末に画面出力する場合は、コマンドで指定します。なお、マルチキャストルーティングプロトコルはメッセージを表示しないで、運用ログとして取得するだけです。

2.1 IPv4 ルーティング情報 (RTM)

2.2 IPv6 ルーティング情報 (RTM)

2.3 IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP) 【OP-MLT】

2.4 IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6) 【OP-MLT】

2.5 MPLS 情報 (MPL) 【OP-MPLS】

2.1 IPv4 ルーティング情報 (RTM)

IPv4 ルーティングプロトコルのイベント情報について説明します。なお、運用メッセージをコンソールに表示させる場合はコンフィグレーションの options monitor を定義してください。

2.1.1 RIP

RIP の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-1 RIP の運用メッセージ・運用ログ (ログ種別: RTM)

項番	メッセージテキスト	内容
1	rip_rcv_response: Bad metric (<Metric>) for net <Destination_Address> from <Source_Address> [(vpn:<VPN ID>)]	エラー (相手装置)
		不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信しました。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
		<Metric>: 経路情報のメトリック値 <Destination_Address>: 経路情報の宛先アドレス <Source_Address>: 送信元ゲートウェイ <VPN ID>: インタフェースの VPN ID (VPN 所属時だけ)
2	rip_rcv_response: Bad mask (<Mask>) for net <Destination_Address> from <Source_Address> [(vpn:<VPN ID>)]	エラー (相手装置)
		不正なネットワークマスクを持つ経路情報を受信しました。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
		<Mask>: 経路情報のネットワークマスク <Destination_Address>: 経路情報の宛先アドレス <Source_Address>: 送信元ゲートウェイ <VPN ID>: インタフェースの VPN ID (VPN 所属時だけ)
3	rip_rcv: Ignoring RIP <RIP_Command> packet from <Source_Address> [(vpn:<VPN ID>)] - ignoring version 0 packets	エラー (相手装置)
		バージョンフィールドが 0 のため、受信した RIP パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
		<RIP_Command>: 受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <Source_Address>: 送信元ゲートウェイ <VPN ID>: インタフェースの VPN ID (VPN 所属時だけ)

項番	メッセージテキスト	内容
4	rip_recv: Ignoring RIP <RIP_Command> packet from <Source_Address> [(vpn:<VPN ID>)] - Reserved field not zero	エラー（相手装置）
		リザーブフィールドが0ではないため、受信した RIP パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）を調査してください。
		<RIP_Command>：受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <Source_Address>：送信元ゲートウェイ <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
5	rip_recv: Ignoring RIP <RIP_Command> packet from <Source_Address> [(vpn:<VPN ID>)] - Authentication failure	エラー（相手装置）
		認証エラーのため、受信した RIP パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）を調査してください。
		<RIP_Command>：受信メッセージタイプ • Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <Source_Address>：送信元ゲートウェイ <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
6	rip_recv: Ignoring RIP <RIP_Command> packet from <Source_Address> [(vpn:<VPN ID>)] - TRACE packets not supported	ワーニング（相手装置）
		TRACE パケットは未サポートのため、受信した RIP パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）の仕様を確認してください。
		<RIP_Command>：受信メッセージタイプ • TraceOn, TraceOff <Source_Address>：送信元ゲートウェイ <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
7	rip_init: Old copy of rtm is running	エラー（自装置）
		すでにユニキャストルーティングプログラムが動作している可能性があります。 ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。

2.1.2 OSPF

OSPF の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-2 OSPF の運用メッセージ・運用ログ (ログ種別: RTM)

項番	メッセージテキスト	内容
1	OSPF SENT <Source_Address> -> <Destination_Address> [(vpn:<VPN ID>)] : <Error_String>	ワーニング (自装置)
		OSPF パケットの送信に失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<Source_Address>: 送信元 IP アドレス <Destination_Address>: 宛先 IP アドレス <Error_String>: エラー要因 <VPN ID>: インタフェースの VPN ID (VPN 所属時だけ)
2	OSPF: OSPF_ASE import filter ignored on non AS boundary router at Domain <Domain_ID> [on VPN <VPN ID>].	ワーニング (自装置)
		AS 境界ルータではないため、インポートフィルタを無視します。 [対応] 空のエクスポートフィルタ (OSPFASE) をコンフィグレーションに定義してください。
		<Domain_ID>: インポートフィルタ適用対象 OSPF の Domain ID <VPN ID>: インポートフィルタ適用対象 OSPF の VPN ID (VPN 所属時だけ)
3	OSPF: Graceful restart failed (in domain <DomainID>) because adjacency <RouterID> address <Address> doesn't help me.	ワーニング (相手装置/ネットワーク)
		隣接ルータがヘルパールータとして動作していないため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] 隣接ルータのグレースフル・リスタートの定義を確認してください。
		<Domain_ID>: OSPF の Domain ID <Router_ID>: 隣接ルータのルータ ID <Address>: 隣接ルータの IP アドレス
4	OSPF: Graceful restart failed (in domain <DomainID>) because adjacency <RouterID> address <Address> gives up me.	ワーニング (相手装置/ネットワーク)
		隣接ルータがヘルパールータの動作を停止したため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、隣接ルータの OSPF 状態とヘルパー停止要因を調査してください。
		<Domain_ID>: OSPF の Domain ID <Router_ID>: 隣接ルータのルータ ID <Address>: 隣接ルータの IP アドレス
5	OSPF: Graceful restart failed (in domain <DomainID>) because restart time is up.	ワーニング (自装置)
		リスタート時間内に再起動前の全隣接ルータと再接続・LSA 同期ができなかったため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] リスタート時間の定義を修正してください。
		<Domain_ID>: OSPF の Domain ID
6	OSPF: Graceful restart finished successfully (in domain <DomainID>).	情報 (自装置)
		グレースフル・リスタートに成功しました。 [対応] なし。
		<Domain_ID>: OSPF の Domain ID

項番	メッセージテキスト	内容
7	OSPF: Helper to adjacency <Router_ID> address <Address> failed because restart time is up.	ワーニング（相手装置）
		リスタート待ち時間が経過したため、ヘルパルルータの動作を停止しました。 [対応] 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。 停止していない場合、隣接ルータのリスタート時間を調整してください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス
8	OSPF: Helper to adjacency <RouterID> address <Address> failed because network topology is changed.	ワーニング（自装置／ネットワーク）
		トポロジ変更のため、ヘルパルルータの動作を停止しました。 [対応] 特に対処の必要はありません。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス
9	OSPF: Interface <Address> (<Interface_Name>) ignored, because configured in two areas or two domains [on VPN <VPN ID>].	ワーニング（自装置）
		同一インタフェースが複数のエリア、または複数のドメインに対して定義されています。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<Address>：インタフェースアドレス <Interface_Name>：インタフェース名称 <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
10	OSPF: <Interface_Type> option ignored for point-to-point interface <Address> (<Interface_Name>) [on VPN <VPN ID>].	ワーニング（自装置）
		ポイントポイント型インタフェースに対して定義されたインタフェースタイプを無視し、ポイントポイント型で動作します。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<Interface_Type>：インタフェースタイプ • Broadcast, NBMA, PointToPoint <Address>：インタフェースアドレス <Interface_Name>：インタフェース名称 <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
11	OSPF: routers option ignored for non-NBMA interface <Address> (<Interface Name>) [on VPN <VPN ID>].	ワーニング（自装置）
		インタフェースタイプが NBMA でないため、定義された routers オプションを無視します。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<Address>：インタフェースアドレス <Interface_Name>：インタフェース名称 <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
12	OSPF: nomulticast option ignored for multiple access interface <Address> (<Interface_Name>) [on VPN <VPN ID>].	ワーニング（自装置）
		ポイントポイント型でないインタフェースに対して定義された nomulticast オプションを無視し、OSPF パケットの宛先 IP アドレスとしてマルチキャストアドレス（224.0.0.5, 224.0.0.6）を使用します。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<Address>：インタフェースアドレス <Interface_Name>：インタフェース名称 <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）

項番	メッセージテキスト	内容
13	OSPF RECV [Area <Area ID>] <Source_Address> :< <Destination_Address> [(vpn:<VPN ID>)] : <Log_Type>.	ワーニング (自装置／相手装置) 受信した OSPF パケットが不正です。 ただし、OSPF インタフェースとして定義していないブロードキャスト型インタフェースから受信したマルチキャストパケットは、ログ採取せずに廃棄します。 [対応] ログ種別によって、対応が異なります。 • IP: bad destination <Source_Address> が直結ネットワークではない、または <Destination_Address> が OSPF 未定義のインタフェースの場合、OSPF インタフェースの定義を修正してください。 • IP: bad protocol • IP: received my own packet • OSPF: bad packet type • OSPF: bad version • OSPF: bad checksum • OSPF: packet too small • OSPF: packet size > ip length • OSPF: bad area id 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPF) を調査してください。 • OSPF: unknown neighbor Hello で認識していない隣接ルータから、Hello 以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • OSPF: area mismatch • OSPF: bad virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合、エリアの設定を修正してください。それ以外は対応不要です。 • OSPF: bad authentication type • OSPF: bad authentication key 認証の定義を修正してください。 • OSPF: interface down 特に対処の必要はありません。 • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: NBMA neighbor unknown OSPF インタフェースの定義を修正してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの定義を修正してください。 • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の定義を修正してください。 • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPF) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
		<Area ID>：エリア ID <Source_Address>：送信元 IP アドレス <Destination_Address>：宛先 IP アドレス <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ） <Log_Type>：ログ種別 • IP: bad destination • IP: bad protocol • IP: received my own packet • OSPF: bad packet type • OSPF: bad version • OSPF: bad checksum • OSPF: packet too small • OSPF: packet size > ip length • OSPF: bad area id • OSPF: unknown neighbor • OSPF: area mismatch • OSPF: bad virtual link • OSPF: bad authentication type • OSPF: bad authentication key • OSPF: interface down • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: NBMA neighbor unknown • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad
14	OSPF: Abort due to <Address> mask <Mask1> advertisement was blocked by LSA <LSID> mask <Mask2> Age <Age>.	エラー（自装置） LSDB<LSID> と経路間で矛盾があります。 ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。 <Address>：経路情報の宛先アドレス <Mask1>：経路情報のネットワークマスク <LSID>：LSA の LSID <Mask2>：LSA のネットワークマスク <Age>：LSA を生成してからの時間
15	OSPF: Lost adjacency <Router ID> address <Address>(<Interface Name>) due to sequence mismatch (<Sequence1> versus <Sequence2>)	ワーニング（自装置／相手装置） シーケンスの不一致によって隣接ルータを失いました。 [対応] 頻発する場合は OSPF パケット再送間隔（retransmitinterval）を長くしてください。 <Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス <Interface Name>：インタフェース名称 <Sequence1>：制御データ上のシーケンス番号 <Sequence2>：DD メッセージ内のシーケンス番号

項番	メッセージテキスト	内容
16	OSPF: Lost adjacency <Router_ID> address <Address>(<Interface Name>) because no Hello received recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータから定期的に送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置－隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔（hellointerval）を短くし、Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス <Interface Name>：インタフェース名称
17	OSPF: Lost adjacency <Router_ID> address <Address>(<Interface Name>) because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に発生します。 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔（hellointerval）を短くし、Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス <Interface Name>：インタフェース名称
18	OSPF: Lost adjacency <Router_ID1> address <Address>(<Interface Name>) due to bad LS Request (<LSID> <Router_ID2> <LS_Type>).	エラー（相手装置）
		不正な LS リクエストによって隣接ルータを失いました。 [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPF）を調査してください。
		<Router_ID1>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス <Interface Name>：インタフェース名称 <LSID>：LSA の LSID <Router_ID2>：LSA の広告ルータ ID <LS_Type>：LSA の LS タイプコード
19	OSPF: Adjacency <Router ID> address <Address>(<Interface Name>) is established.	情報（自装置／相手装置）
		OSPF の隣接ルータとの接続に成功しました。 [対応] なし。
		<Router ID>：隣接ルータのルータ ID <Address>：隣接ルータの IP アドレス <Interface Name>：インタフェース名称
20	OSPF: auth key overwritten by md5 on interface <Address> (<Interface_Name>) [on VPN <VPN ID>].	エラー（自装置）
		インタフェースに MD5 認証を定義してあるため、定義されている認証方式（平文パスワード認証）を無視します。 [対応] コンフィグレーションを調査し、不必要な認証方式を削除してください。
		<Address>：インタフェースアドレス <Interface_Name>：インタフェース名称 <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）

項番	メッセージテキスト	内容
21	OSPF: secondary auth key overwritten by md5 on interface <Address> (<Interface_Name>) [on VPN <VPN ID>].	ワーニング（自装置）
		インタフェースに MD5 認証を定義してあるため、定義されている第 2 認証方式（平文パスワード認証）を無視します。 [対応] コンフィギュレーションを調査し、不必要な認証方式を削除してください。
		<Address>: インタフェースアドレス <Interface_Name>: インタフェース名称 <VPN ID>: インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
22	OSPF: Checksum failed at LSA type <LS_Type> ID <LSID> adv-router <Router_ID> in this system's LSDB that belongs to Area <Area_ID>. Domain <Domain_ID> [on VPN <VPN ID>].	エラー（自装置）
		LSDB のチェックサムが不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
		<LS_Type>: LSA の LS タイプコード <LSID>: LSA の LSID <Router_ID>: LSA の広告ルータ ID <Area_ID>: LSA のエリア ID <Domain_ID>: LSA の Domain ID <VPN ID>: LSA の VPN ID（VPN 所属時だけ）
23	OSPF: Recovered from stub router (in [(vpn:<VPN ID>)] domain <Domain_ID>).	情報（自装置）
		スタブルータ動作を終了します。 [対応] なし。
		<Domain_ID>: OSPF の Domain ID <VPN ID>: OSPF の VPN ID（VPN 所属時だけ）

2.1.3 BGP4 【OP-BGP】

BGP4 の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-3 BGP4 の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：RTM）

項番	メッセージテキスト	内容
1	bgp_check_auth: Synchronization failure with BGP task <Task Name>	エラー（相手装置）
		BGP4 タスクが受信したメッセージのヘッダマーカーの値が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<Task Name>: BGP4 タスク名称
2	bgp_trace: Unsupported BGP version <Version>!!!	エラー（自装置）
		制御データ上の BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
		<Version>: 制御データ上の BGP バージョン番号

項番	メッセージテキスト	内容
3	bgp_log_notify: Notify message received from <BGP Name> [(<Description>)] is truncated (length <Length>)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ長
4	bgp_send: Sending <Length> bytes to <BGP Name> [(<Description>)] blocked (no spooling requested): <Error String>	ワーニング（自装置）
		ソケットバッファが一杯になり、該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称 <Length>：送信要求メッセージ長 <Error String>：エラー要因
5	bgp_send: Sending <Length> bytes to <BGP Name> [(<Description>)] failed: <Error String>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称 <Length>：送信要求メッセージ長 <Error String>：エラー要因
6	bgp_send: Sending <Length> bytes to <BGP Name> [(<Description>)] connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。
		<BGP Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称 <Length>：送信要求メッセージ長
7	bgp_send: Sending to <BGP Name> [(<Description>)] looping: <Error String>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称 <Error String>：エラー要因
8	bgp_send_open: Internal error! peer <BGP Name> [(<Description>)], version <Version>	エラー（自装置）
		該当ピアに送信する OPEN メッセージの BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
		<BGP Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称 <Version>：送信メッセージ内の BGP バージョン番号

項番	メッセージテキスト	内容
9	bgp_path_attr_error from <Routine>: Update error subcode <Code> (<Error String>) for peer <BGP Name> [(<Description>)] detected. <Length> bytes error data - 1st five:<Error Data>	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<Routine>：内部ルーチン名称 <BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Code>(<Error String>)：エラー要因 <Length>：エラーデータ長 <Error Data>：エラーデータの先頭 5 バイト
10	bgp_rcv: Read from peer <BGP Name> [(<Description>)] failed: <Error String>	ワーニング（自装置）
		該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Error String>：エラー要因
11	bgp_rcv: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Received unexpected EOF	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
12	bgp_read_message: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: <Message Type> message arrived with length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Message Type>：受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <Length>：受信メッセージ長
13	bgp_read_message: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: <Message Type1> arrived, expected <Message Type 2> [or <Message Type 2>]	エラー（相手装置）
		該当ピアから状態に適切ではないメッセージタイプのメッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Message Type1>：受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <Message Type2>：状態に適切なメッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive

項番	メッセージテキスト	内容
14	bgp_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: received short version <Version> message (<Length> octets)	エラー (相手装置)
		該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Version>: 受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <Length>: 受信メッセージ長
15	bgp_get_open: Received unsupported version <Version> message from peer <BGP Name> [(<Description>)]	ワーニング (相手装置)
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Version>: 受信メッセージの BGP バージョン番号
16	bgp_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: hold time too small (<Holdtime>)	エラー (相手装置)
		該当ピアからホールドタイムが 3 秒より小さい OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのコンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Holdtime>: 受信メッセージ内のホールドタイム
17	bgp_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: invalid BGP identifier <Router ID>	エラー (相手装置)
		該当ピアから不正な BGP 識別子の OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Router ID>: 受信メッセージ内の BGP 識別子
18	bgp_rcv_open: Peer <BGP Name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	ワーニング (相手装置)
		レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄されるかもしれません。 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで、フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称

項番	メッセージテキスト	内容
19	bgp_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Unsupported optional parameter <Option>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Option>：受信メッセージ内のオプションコード
20	bgp_rcv_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)] claims AS <AS1>, <AS2> configured	ワーニング（自装置／相手装置）
		該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <AS1>：受信メッセージの AS 番号 <AS2>：コンフィグレーション上のピアの AS 番号
21	bgp_rcv_open: Version mismatch from <BGP Name> [(<Description>)] (<Version1>) in version <Version2> negotiation	ワーニング（相手装置）
		BGP バージョン交渉時に該当ピアから NOTIFICATION メッセージ（バージョン不正）を受信しました。 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Version1>：受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <Version2>：自側の BGP バージョン番号
22	bgp_rcv_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)] accepted mismatched versions: peer <Version1> this system <Version2>	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態で KEEPALIVE メッセージを受信しました。 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Version1>：相手側の BGP バージョン番号 <Version2>：自側の BGP バージョン番号
23	bgp_pp_rcv: No group for <BGPP Name> found, dropping peer	ワーニング（自装置／相手装置）
		定義されていないピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGPP Name>：送信元ピア名称
24	bgp_pp_rcv: Dropping <BGPP Name>, group <BGPG Name> idled	情報（－）
		該当ピアグループが IDLE 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] なし。
		<BGPG Name>：ピアグループ名称 <BGPP Name>：送信元ピア名称

項番	メッセージテキスト	内容
25	bgp_pp_recv: Rejecting connection from <BGP Name> [(<Description>)], peer in state <State>	ワーニング (相手装置／ネットワーク)
		Idle, OpenConfirm, Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <State>: ピア状態・Idle, OpenConfirm, Established
26	bgp_pp_recv: Dropping <BGPP Name> version <Version>, <BGP Name> [(<Description>)] wants version 4	ワーニング (相手装置)
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを調査してください。
		<BGPP Name>, <BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Version>: 受信メッセージの BGP バージョン番号
27	bgp_pp_recv: Peer <BGP Name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	ワーニング (相手装置)
		レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄されるかもしれません。 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで、フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称
28	bgp_pp_recv: Peer <BGP Name> [(<Description>)] sent unexpected extra data, probably insane	エラー (相手装置)
		該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称
29	bgp_check_capability_match: Capability of peer <BGP Name> [(<Description>)] is unmatched	ワーニング (相手装置)
		本装置に設定されている Capability の設定が、該当ピアに設定されていません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称
30	bgp_write_flush: Sending <Length1> (sent <Length2>) bytes to <BGP Name> [(<Description>)] failed: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length1>: 送信要求データ長 <Length2>: 送信済データ長 <Error String>: エラー要因

項番	メッセージテキスト	内容
31	bgp_write_flush: Sending <Length1> (sent <Length2>) bytes to <BGP Name> [(<Description>)]: Connection closed	ワーニング (自装置／相手装置／ネットワーク)
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length1>: 送信要求データ長 <Length2>: 送信済データ長
32	bgp_write_flush: Sending to <BGP Name> [(<Description>)] (sent <Length1>, <Length2> remain[s]) looping: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length1>: 送信済データ長 <Length2>: 送信残データ長 <Error String>: エラー要因
33	bgp_peer_connected: task_get_addr_local(<BGP Name> [(<Description>)]): <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのコネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称 <Error String>: エラー要因
34	bgp_connect_start: Peer <BGP Name> [(<Description>)] local address <IPv4 Address> unavailable, connection failed	ワーニング (自装置)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが利用できない (バインド失敗) ためにコネクション接続が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称 <IPv4 Address>: ピアリングに使用するローカルアドレス
35	bgp_traffic_timeout: Holdtime expired for <BGP Name> [(<Description>)]	ワーニング (相手装置／ネットワーク)
		該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称
36	bgp_traffic_timeout: Error sending KEEPALIVE to <BGP Name> [(<Description>)]: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Error String>: エラー要因

項番	メッセージテキスト	内容
37	bgp_listen_accept: accept(<Socket>): <Error String>	ワーニング (自装置)
		コネクションの受付が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<Socket>: ソケットのディスクリプタ番号 <Error String>: エラー要因
38	bgp_listen_accept: task_get_addr_local() failed, terminating!!	エラー (自装置)
		コネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
39	bgp_listen_start: Couldn't get BGP listen socket!!	エラー (自装置)
		コネクション接続のためのソケット生成に失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
40	bgp_listen_start: listen: <Error String>	エラー (自装置)
		コネクションの受付準備が失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
		<Error String>: エラー要因
41	bgp_set_peer_if: BGP peer <BGP Name> [(<Description>)] interface for gateway <IPv4 Address> not found. Leaving peer idled	ワーニング (自装置)
		該当ピアのオプション gateway と接続されたインタフェースが見つかりません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称 <IPv4 Address>: ゲートウェイアドレス
42	bgp_set_peer_if: BGP peer <BGP Name> [(<Description>)] interface not found. Leaving peer idled	ワーニング (自装置)
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つかりません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称
43	bgp_set_peer_if: BGP peer <BGP Name> [(<Description>)] local address <IPv4 Address> not on shared net. Leaving peer idled	ワーニング (自装置)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称 <IPv4 Address>: コネクション接続に使用するローカルアドレス

項番	メッセージテキスト	内容
44	bgp_pp_timeout: Peer <BGPP Name> timed out waiting for OPEN	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGPP Name>：接続先ピア名称
45	bgp_peer_init: BGP peer <BGP Name> [[<Description>]] local address <IPv4 Address> not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスに対する インタフェースが見つかりません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称 <IPv4 Address>：コネクション接続に使用するローカルアドレス
46	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [[<Description>]]: Strange message header length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの受信メッセージはメッセージヘッダ内のメッセージ長 が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージのヘッダのメッセージ長
47	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [[<Description>]] unrecognized message type <Type>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの受信メッセージはメッセージタイプが不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Type>：メッセージタイプ
48	bgp_rcv_v4_update: Received OPEN message from <BGP Name> [[<Description>]], state is ESTABLISHED	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信しまし た。 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は不安定要因を 調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
49	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [[<Description>]] UPDATE length <Length> too small	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージ長が小さ過ぎます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ長

項番	メッセージテキスト	内容
50	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE unreachable prefix length <Length1> exceeds packet length <Length2>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がパケット長を超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 <Length2>：受信パケット長
51	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE zero attribute length followed by <Length> bytes of garbage	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが、実体のデータが存在します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：実体のデータ長
52	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE path attribute length <Length1> too large (<Length2> bytes remaining)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性の長さより大き過ぎます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージのパス属性長 <Length2>：実体のデータ長
53	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE no next hop found	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つかりません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
54	bgp_rcv_v4_update: External peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE included LOCALPREF attribute	エラー（相手装置）
		該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性を含んでいます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称

項番	メッセージテキスト	内容
55	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [<Description>] UPDATE no LOCALPREF attribute found	エラー（相手装置）
		該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性が見つかりません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア番号 <Description>：送信元ピア description 名称
56	bgp_rcv_v4_update: Peer <BGP Name> [<Description>] UPDATE has path attributes but no reachable prefixes!	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っているが到達性情報がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
57	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [<Description>] UPDATE: Invalid unreachable prefix length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ内のプレフィックス長
58	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [<Description>] UPDATE: Prefix length <Length1> exceeds unreachable prefix data remaining (<Length2> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超過しています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージ内のプレフィックス長 <Length2>：実体のデータ長
59	bgp_rcv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [<Description>] UPDATE: Ignoring unreachable route with two or more labels (<Length1> of <Length2>)	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの複数ラベルを持つ非到達経路情報の経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1> of <Length2>：メッセージ内の不正情報の位置

項番	メッセージテキスト	内容
60	bgp_recv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Ignoring unreachable route with RD 0 prefix (<Length1> of <Length2>)	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの RD 0 を持つ非到達経路情報の経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Length1> of <Length2>: メッセージ内の不正情報の位置
61	bgp_recv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Ignoring invalid unreachable route <IPv4 Address>/<Mask> (<Length1> of <Length2>)	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報の不正な経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <IPv4 Address>: 非到達経路情報の宛先アドレス <Mask>: 非到達経路情報のネットワークマスク <Length1> of <Length2>: メッセージ内の不正情報の位置
62	bgp_recv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] unreachable route <IPv4 Address>/ <Mask> not sent by peer (<Length1> of <Length2>)	ワーニング (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報の経路は該当ピアから送信されていません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <IPv4 Address>: 非到達経路情報の宛先アドレス <Mask>: 非到達経路情報のネットワークマスク <Length1> of <Length2>: 受信メッセージ内の不正情報の位置
63	bgp_recv_v4_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] route <IPv4 Address>/<Mask> already deleted!	ワーニング (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報の経路はすでに削除されています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <IPv4 Address>: 非到達経路情報の宛先アドレス <Mask>: 非到達経路情報のネットワークマスク
64	bgp_recv_v4_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] AS <AS1> received path with first AS <AS2>	エラー (相手装置)
		AS 番号 <AS1> のピアから次ホップの AS 番号が <AS2> の AS パスを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <AS1>: 送信元ピアの AS 番号 <AS2>: 受信メッセージ内の次ホップ AS 番号

項番	メッセージテキスト	内容
65	bgp_rcv_v4_reach: Ignoring routes because peer <BGP Name> [(<Description>)] next hop <IPv4 Address> is local.	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージのネクストホップが不適当なため、この UPDATE メッセージの経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv4 Address>：受信メッセージ内のネクストホップ
66	bgp_rcv_v4_reach: Ignoring routes in this UPDATE because peer <BGP Name> [(<Description>)] next hop <IPv4 Address> is this system.	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージのネクストホップが不適当なため、この UPDATE メッセージの経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv4 Address>：受信メッセージ内のネクストホップ
67	bgp_rcv_v4_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid prefix length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ内のプレフィックス長
68	bgp_rcv_v4_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Prefix length <Length1> exceeds prefix data remaining (<Length2> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長は実体のプレフィックス長を超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージ内のプレフィックス長 <Length2>：実体のプレフィックス長
69	bgp_rcv_v4_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Ignoring route with two or more labels (<Length1> of <Length2>)	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの複数ラベルを持つ経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1> of <Length2>：受信メッセージ内の不正情報の位置

項番	メッセージテキスト	内容
70	bgp_rcv_v4_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Ignoring route with RD 0 prefix (<Length1> of <Length2>)	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの RD 0 を持つ経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Length1> of <Length2>: 受信メッセージ内の不正情報の位置
71	bgp_rcv_v4_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Included invalid route <IPv4 Address>/<Mask> (<Length1> of <Length2>)	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージは不正な経路を含んでいます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <IPv4 Address>: 宛先アドレス <Mask>: ネットワークマスク <Length1> of <Length2>: 受信メッセージ内の不正情報の位置
72	bgp_rcv_v4_reach: Ignoring network 0 route <IPv4 Address>/<Mask> from peer <BGP Name> [(<Description>)] (<Length1> of <Length2>)	ワーニング (相手装置)
		該当ピアからのネットワーク 0 宛の経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<IPv4 Address>: 宛先アドレス <Mask>: ネットワークマスク <BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Length1> of <Length2>: 受信メッセージ内の不正情報の位置
73	bgp_rcv_v4_reach: Ignoring loopback route from peer <BGP Name> [(<Description>)] (<Length1> of <Length2>)	ワーニング (相手装置)
		該当ピアからのループバック経路を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Length1> of <Length2>: 受信メッセージ内の不正情報の位置
74	bgp_rcv_mp_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_UNREACH_NLRI attribute(<Length>): No address family	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Length>: 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長

項番	メッセージテキスト	内容
75	bgp_rcv_mp_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid address family (<Address Family>) in MP_UNREACH_NLRI attribute	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリーが不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Address Family>：受信した MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリー情報
76	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No address family	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_REACH_NLRI 属性長
77	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid address family (<Address Family>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリーが不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Address Family>：受信した MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリー情報
78	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No nexthop length	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ長がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_REACH_NLRI 属性長
79	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid nexthop length(<Length>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長

項番	メッセージテキスト	内容
80	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No nexthop	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップがありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長
81	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid rd of nexthop (<RD1>:<RD2>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <RD1>:<RD2> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD
82	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No number of snpa	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 数がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長
83	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No snpa length	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 長がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長
84	bgp_rcv_mp_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No snpa	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長

項番	メッセージテキスト	内容
85	bgp_peer_established: Peer <BGP Name> [<Description>]: connection established	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP4 コネクションが確立しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
86	bgp_ifachange: Peer <BGP Name> [<Description>]: Closed connection by changing interface state	情報（自装置／相手装置）
		インタフェース状態の変化によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [対応] インタフェースの状態変化要因を調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
87	bgp_terminate: Peer <BGP Name> [<Description>]: Closed connection by terminating bgp	情報（自装置）
		BGP4 タスクの停止によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [対応] BGP4 タスク停止要因を調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
88	bgp_peer_delete: Peer <BGP Name> [<Description>]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置）
		コンフィグレーション変更（ピア情報の削除）によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
89	bgp_init: Peer <BGP Name> [<Description>]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置）
		コンフィグレーション（clusterid または memberas）の変更によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
90	bgp_peer_clear: Peer <BGP Name> [<Description>]: Closed connection by clearing peer	情報（自装置）
		clear ip bgp コマンドの投入によって、BGP4 コネクションをクローズしました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
91	BGP: Completed the learning from receiving-speakers	情報（自装置）
		レシーブ・スピーカからの経路学習が完了しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
92	BGP:	ワーニング（相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	NOTIFICATION sent to <BGP Name> [(<Description>)]: code <Code>(<Code String>) [subcode <SubCode>(<SubCode String>)] [value <Value>] [data <Data>]	該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 [対応] ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを調査してください。ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。 <BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Code String>(<Code>) & <SubCode String>(<SubCode>): エラーコードとエラーサブコード 1. Message Header Error(1) • lost connection synchronization(1) • bad length(2) • bad message type(3) 2. Open Message Error(2) • unsupported version(1) • bad AS number(2) • bad BGP ID(3) • unsupported optional parameter(4) • authentication failure(5) 3. Update Message Error(3) • invalid attribute list(1) • unknown well known attribute(2) • missing well known attribute(3) • attribute flags error(4) • bad attribute length(5) • bad ORIGIN attribute(6) • bad address/prefix field(10) • AS path attribute problem(11) 4. Hold Timer Expired Error(4) 5. Finite State Machine Error(5) 6. Cease(6) • 不正な <Code> の場合 <Code String> は "invalid" を、不正な <SubCode> の場合 <SubCode String> は "unknown" を表示します。 • <Value> または <Data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。<Value>: 10 進表示, <Data>: 16 進表示
93	BGP: NOTIFICATION received from <BGP Name> [(<Description>)]: code <Code>(<Code String>) [subcode <SubCode>(<SubCode String>)] [value <Value>] [data <Data>]	ワーニング (自装置) 該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信しました。 [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを調査してください。 <BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Code String>(<Code>) & <SubCode String>(<SubCode>): エラーコードとエラーサブコード

項番	メッセージテキスト	内容
		1. Message Header Error(1) • lost connection synchronization(1) • bad length(2) • bad message type(3) 2. Open Message Error(2) • unsupported version(1) • bad AS number(2) • bad BGP ID(3) • unsupported optional parameter(4) • authentication failure(5) 3. Update Message Error(3) • invalid attribute list(1) • unknown well known attribute(2) • missing well known attribute(3) • attribute flags error(4) • bad attribute length(5) • bad ORIGIN attribute(6) • bad address/prefix field(10) • AS path attribute problem(11) 4. Hold Timer Expired Error(4) 5. Finite State Machine Error(5) 6. Cease(6) • 不正な <Code> の場合 <Code String> は "invalid" を、不正な <SubCode> の場合 <SubCode String> は "unknown" を表示します。 • <Value> または <Data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。<Value>：10 進表示, <Data>：16 進表示
94	BGP: No MD5 digest from <Source IPv4>+<Port No.> to <Destination IPv4>+<Port No.> [vpn:<VPN ID>]	ワーニング（相手装置） BGP4 コネクションで受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていません。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1.,2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP: Invalid MD5 digest from <Source IPv4>+<Port No.> to <Destination IPv4>+<Port No.> [vpn:<VPN ID>]」の回数を含みます。 [対応] 相手装置の BGP4 で MD5 認証が定義されているか調査してください。定義されていない場合は、MD5 認証の定義が一致するように設定してください。 定義が一致している場合は、送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。 <Source IPv4>：送信元 IP アドレス <Destination IPv4>：宛先 IP アドレス <Port No.>：TCP ポート番号 <VPN ID>：インタフェースの VPN ID（VPN 所属時だけ）
95	BGP:	ワーニング（自装置／相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	Invalid MD5 digest from <Source IPv4>+<Port No.> to <Destination IPv4>+<Port No.> [vpn:<VPN ID>]	BGP4 コネクションで受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正です。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1.,2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP: No MD5 digest from <Source IPv4>+<Port No.> to <Destination IPv4>+<Port No.> [vpn:<VPN ID>]」の回数を含みます。 [対応] 自装置と相手装置の BGP4 で MD5 認証キーが一致しているか調査してください。 MD5 認証キーが一致していない場合は、MD5 認証キーが一致するように設定してください。 MD5 認証キーが一致している場合は、送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。 <Source IPv4>: 送信元 IP アドレス <Destination IPv4>: 宛先 IP アドレス <Port No.>: TCP ポート番号 <VPN ID>: インタフェースの VPN ID (VPN 所属時だけ)
96	BGP: Start advertisement, giving up learning from several receiving-speakers	情報 (自装置) 一部のレシーブルーータからの経路学習を中断して、経路広告を開始します。 [対応] 特に対応は必要ありません。
97	bgp_pp_recv: Peer <BGP Name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー (相手装置) グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。 <BGP Name>: 接続先ピア名称
98	bgp_recv_open: Peer <BGP Name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー (相手装置) グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。 <BGP Name>: 接続先ピア名称
99	bgp_restart_timeout: Peer <BGP_Name> [(<Description>)]: Timed out waiting for reconnect.	エラー (自装置/相手装置) グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できませんでした。 [対応] ピアルータと通信可能か確認してください。ピアルータで BGP が動作中か確認してください。ピアルータが動作している場合にはピアルータの restart-time の値をピアルータが復旧し接続できる時間までのばしてください。 <BGP_Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称

項番	メッセージテキスト	内容
100	bgp_restart_timeout: Peer <BGP_Name> [(<Description>)]: Timed out waiting for End-Of-RIB marker from restart router.	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIBを受信できませんでした。 [対応] 該当ピアルータで BGP が動作中か確認してください。また動作中の場 合には stale-routes-retain-time の値をのばしてください。
		<BGP_Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
101	bgp_peer_established: Peer <BGP_Name> [(<Description>)] connection established with graceful restart.	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP コネクションが再確立しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP_Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
102	bgp_receive_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker received from <BGP_Name> [(<Description>)].	情報（自装置）
		End-Of-RIBを受信しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP_Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
103	bgp_send_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker sent to <BGP_Name> [(<Description>)].	情報（自装置）
		End-Of-RIBを送信しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP_Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称
104	BGP: Number of prefix received from <BGP Name> [(<Description>)]: reached <Routes1>, limit <Routes2>	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の 合計）が閾値を超えました。 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は、ピアが広告する 経路数を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Routes1>：ピアから学習した経路数 <Routes2>：ピアから学習する経路数の上限値
105	BGP: Number of prefix received from <BGP Name> [(<Description>)]: <Routes1> exceed limit <Routes2>	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の 合計）が上限値を超えました。 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Routes1>：ピアから学習した経路数 <Routes2>：ピアから学習する経路数の上限値

項番	メッセージテキスト	内容
106	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by maximum-prefix	情報 (相手装置)
		学習経路数制限により BGP4 コネクションをクローズしました。 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。ピアを再接続する場合は、ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから、運用コマンド clear ip bgp を入力してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称
107	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE included attribute type code (0) [- AS Path (<As Number>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		該当ピアからタイプコードが 0 のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信しました。 本運用メッセージは同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス • AS 番号列: AS_SEQ • {AS 番号列}: AS_SET • (AS 番号列): AS_CONFED_SET なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。
108	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_PATH attribute because peer supported 4-byte-as [- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_PATH 属性を受信したため、AS4_PATH 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。

項番	メッセージテキスト	内容
109	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_PATH attribute because number of AS numbers in AS_PATH attribute is less than number of AS numbers in AS4_PATH attribute[- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		AS_PATH 属性の AS 数が AS4_PATH 属性の AS 数より小さくなっているため、AS4_PATH 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。
110	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS_CONFED_SET segment because AS4_PATH attribute included AS_CONFED_SET segment [- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		AS4_PATH 属性に AS_CONFED_SET セグメントが含まれているため、AS_CONFED_SET セグメントを無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。
111	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_AGGREGATOR attribute because peer supported 4-byte-as [- AS4_AGGREGATOR <As Number> <IPv4 Address>]	ワーニング (相手装置)
		4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_AGGREGATOR 属性を受信したため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号 <IPv4 Address>: IPv4 アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
112	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_PATH attribute because AS number in AGGREGATOR attribute is not AS_TRANS [- AS4_PATH <Number of As>]: <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、 AS4_PATH 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同 一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してくだ さい。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、 すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されな い) ことがあります。
113	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_AGGREGATOR attribute because AS number in AGGREGATOR attribute is not AS_TRANS [- AS4_AGGREGATOR <As Number> <IPv4 Address>]	ワーニング (相手装置)
		AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、 AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同 一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してくだ さい。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号 <IPv4 Address>: IPv4 アドレス
114	BGP: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_AGGREGATOR attribute because there is not AGGREGATOR attribute [- AS4_AGGREGATOR <As Number> <IPv4 Address>]	ワーニング (相手装置)
		AGGREGATOR 属性が無いため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視し ました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同 一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してくだ さい。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号 <IPv4 Address>: IPv4 アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
115	BGP: Peer <BGP Name> [<Description>] Ignored a part of AS_PATH attribute because AS_PATH attribute and AS4_PATH attribute are disagreement [- AS_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング（相手装置） AS_PATH 属性と AS4_PATH 属性が不一致のため、AS_PATH 属性の一部を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。 <BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Number of As>：AS 番号の数 <Aspath>：AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。

2.1.4 IS-IS 【OP-ISIS】

IS-IS の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-4 IS-IS の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：RTM）

項番	メッセージテキスト	内容
1	ISIS: Graceful restart failed because restart time is up.	ワーニング（自装置） リスタート時間内に再起動前の全隣接ルータと再接続・LSA 同期ができなかったため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] リスタート時間の定義を修正してください。
2	ISIS: Graceful restart finished successfully.	情報（自装置） グレースフル・リスタートに成功しました。 [対応] なし。
3	ISIS SEND: Interface <Interface Name> PDU type <Type>: <Error String>	ワーニング（自装置） IS-IS パケットの送信に失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。 <Interface Name>：インタフェース名称 <Type>：隣接ルータの種類 <Error_String>：エラー要因
4	ISIS RECV:	ワーニング（自装置／相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	Interface <Interface Name> SystemID <System ID> PDU Type<PDU Type>: Received illegal PDU by <Log Type>.	隣接ルータから受信した IS-IS PDU が不正です。 [対応] ログ種別によって、対応が異なります。 • L1 area mismatch NET (装置 OSI アドレス) の定義におけるエリア識別子の定義を修正してください。 • bad authentication , no authentication TLV 認証の定義を修正してください。 • bad checksum , bad option size , corrupted LSP , ID Length mismatch , System ID confusion 隣接ルータが、不正な IS-IS PDU を送信しています。隣接ルータのルーティングプログラムを調査してください。 • Maximum Area Addresses mismatch 隣接ルータの最大エリア数を 3 にしてください。 • wrong circuit type サーキットタイプの定義を修正してください。 <Interface Name> : インタフェース名称 <System ID> : 送信元のシステム ID <PDU Type> : PDU の種類 • L1-LAN-IIH : レベル 1Hello PDU • L2-LAN-IIH : レベル 2Hello PDU • PtPt-IIH : ポイントーポイント型インタフェース Hello PDU • L1-LSP : レベル 1LSP • L2-LSP : レベル 2LSP • L1-CSNP : レベル 1CSNP • L2-CSNP : レベル 2CSNP • L1-PSNP : レベル 1PSNP • L2-PSNP : レベル 2PSNP <Log Type> : ログ種別 • L1 area mismatch : エリア識別子の不一致 • bad authentication : 認証モードの不一致、または認証失敗 • no authentication TLV : 認証 TLV が含まれていない • bad checksum : LSP のチェックサム不正 • bad option size : TLV 長とパケット長の不一致 • corrupted LSP : LSP のサイズ不正 • ID Length mismatch : ID レングスの不正 • System ID confusion : システム ID の重複 • Maximum Area Addresses mismatch : 最大エリア数の不正 • wrong circuit type : サーキットタイプの不一致
5	ISIS: Interface <Interface Name>: Lost Adjacency <System ID> type <Type> because no Hello were received recently.	ワーニング (相手装置) 隣接ルータから定期的に送られるはずの Hello PDU を一定時間受信しなかったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置ー隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [対応] 隣接ルータの Hello PDU を受信していない要因を調査してください。 <Interface Name> : インタフェース名称 <System ID> : 送信元のシステム ID <Type> : 隣接ルータの種類 • IS : ポイントーポイント型インタフェースの IS ルータ • L1-IS : レベル 1 IS ルータ • L2-IS : レベル 2 IS ルータ • unknown : 識別不能

項番	メッセージテキスト	内容
6	ISIS: Interface <Interface Name>: Lost Adjacency <System ID> type <Type> because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング（相手装置）
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置－隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [対応] 隣接ルータが隣接関係を切断した要因を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <System ID>：送信元のシステム ID <Type>：隣接ルータの種類 • IS：ポイントポイント型インタフェースの IS ルータ • L1-IS：レベル 1 IS ルータ • L2-IS：レベル 2 IS ルータ • unknown：識別不能
7	ISIS: Interface <Interface Name>: Lost Adjacency <System ID> type <Type> due to circuit level mismatch.	ワーニング（相手装置）
		隣接ルータと本装置との間で IS-IS インタフェースの動作レベルが一致しないため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータおよび本装置のレベル設定を変更した場合に発生します。 [対応] レベル設定を変更した要因を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <System ID>：送信元のシステム ID <Type>：隣接ルータの種類 • IS：ポイントポイント型インタフェースの IS ルータ • L1-IS：レベル 1 IS ルータ • L2-IS：レベル 2 IS ルータ • unknown：識別不能
8	ISIS: Interface <Interface Name>: Lost Adjacency <System ID> type <Type> due to Circuit ID mismatch (<Circuit ID1> versus <Circuit ID2>).	ワーニング（相手装置）
		インタフェースのサーキット ID の不一致により、隣接ルータとの接続を失いました。隣接ルータの動作停止などの要因により、隣接ルータがサーキット ID を変更した場合、発生します。 [対応] 隣接ルータがサーキット ID を変更した要因を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <System ID>：送信元のシステム ID <Type>：隣接ルータの種類 • IS：ポイントポイント型インタフェースの IS ルータ • L1-IS：レベル 1 IS ルータ • L2-IS：レベル 2 IS ルータ • unknown：識別不能 <Circuit ID1>：本装置が認識していたサーキット ID <Circuit ID2>：受信 Hello PDU から再計算したサーキット ID

項番	メッセージテキスト	内容
9	ISIS: Interface <Interface Name>: Lost Adjacency <System ID> type <Type> due to Area Addresses mismatch.	ワーニング（相手装置）
		隣接ルータと本装置間のエリアアドレス不一致により、隣接ルータとの接続を失いました。隣接ルータおよび本装置の NET 設定を変更した場合、発生します。 [対応] エリアアドレスを変更した要因を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <System ID>：送信元のシステム ID <Type>：隣接ルータの種類 • IS：ポイントポイント型インタフェースの IS ルータ • L1-IS：レベル 1 IS ルータ • L2-IS：レベル 2 IS ルータ • unknown：識別不能
10	ISIS: Interface <Interface Name>: Adjacency <System ID> type <Type> is established.	情報（自装置／相手装置）
		隣接装置と IS-IS 接続に成功しました。 [対応] なし。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <System ID>：送信元のシステム ID <Type>：隣接ルータの種類 • IS：ポイントポイント型インタフェースの IS ルータ • L1-IS：レベル 1 IS ルータ • L2-IS：レベル 2 IS ルータ • unknown：識別不能
11	ISIS RECV: Interface <Interface Name> : <Protocol Type> header too short.	ワーニング（相手装置）
		受信 PDU のヘッダサイズが共通ヘッダサイズ長よりも短いです。 [対応] 相手装置を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <Protocol Type>：PDU のプロトコル種別 • ES-IS：ES-IS プロトコル • IS-IS：IS-IS プロトコル
12	ISIS RECV: Interface <Interface Name> PDU Type <PDU Type>: IS-IS header wrong version.	ワーニング（相手装置）
		受信 PDU のヘッダの IS-IS バージョンが不正です。 [対応] 相手装置を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <PDU Type>：PDU の種類 • L1-LAN-IIH：レベル 1Hello PDU • L2-LAN-IIH：レベル 2Hello PDU • PtPt-IIH：ポイントポイント型インタフェース Hello PDU • L1-LSP：レベル 1LSP • L2-LSP：レベル 2LSP • L1-CSNP：レベル 1CSNP • L2-CSNP：レベル 2CSNP • L1-PSNP：レベル 1PSNP • L2-PSNP：レベル 2PSNP

項番	メッセージテキスト	内容
13	ISIS RECV: Interface <Interface Name> PDU Type <PDU Type>: Header too short.	ワーニング（相手装置）
		受信 PDU のヘッダサイズが各 IS-IS PDU のヘッダサイズの最小値よりも短いです。 [対応] 相手装置を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <PDU Type>：PDU の種類 • L1-LAN-IIH：レベル 1Hello PDU • L2-LAN-IIH：レベル 2Hello PDU • PtPt-IIH：ポイントーポイント型インタフェース Hello PDU • L1-LSP：レベル 1LSP • L2-LSP：レベル 2LSP • L1-CSNP：レベル 1CSNP • L2-CSNP：レベル 2CSNP • L1-PSNP：レベル 1PSNP • L2-PSNP：レベル 2PSNP
14	ISIS RECV: Interface <Interface Name> PDU Type <PDU Type>: PDU length <PDU Length> longer than received octets <Received Octets>.	ワーニング（相手装置）
		実際に受信した PDU 長の値が、受信 PDU 内に記述された PDU 長の値よりも小さな値となっています。 [対応] 相手装置を調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <PDU Type>：PDU の種類 • L1-LAN-IIH：レベル 1Hello PDU • L2-LAN-IIH：レベル 2Hello PDU • PtPt-IIH：ポイントーポイント型インタフェース Hello PDU • L1-LSP：レベル 1LSP • L2-LSP：レベル 2LSP • L1-CSNP：レベル 1CSNP • L2-CSNP：レベル 2CSNP • L1-PSNP：レベル 1PSNP • L2-PSNP：レベル 2PSNP <PDU Length>：PDU 長 <Received Octets>：受信 PDU 長
15	ISIS: Max DIS circuits exceeded for level <Level>, suppressing adjacencies on circuit <Interface Name>.	エラー（自装置）
		IS-IS のインタフェース数が、IS-IS の規格で規定された上限を超えています。このため、該当インタフェースで DIS として動作できません。 [対応] IS-IS のインタフェース数が、収容条件を超えています。コンフィグレーションを調査してください。
		<Level>：1, または 2 <Interface Name>：インタフェース名称
16	ISIS: Interface <Interface Name>(<Interface Address>): Can't advertise 64 or more IPv4 addresses from one interface.	エラー（自装置）
		一つのインタフェースに定義しているアドレス数が、IS-IS の規格で規定された上限を超えています。 [対応] IS-IS の仕様上、64 個以上の IPv4 アドレスを Hello PDU で広告できません。コンフィグレーションを調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <Interface address>：インタフェース IP アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
17	ISIS: Interface <Interface Name>(<Interface Address>): Can't advertise 16 or more IPv6 addresses from one interface.	エラー（自装置）
		一つのインタフェースに定義している IPv6 アドレス数が、IS-IS の規格で規定された上限を超えています。 [対応] IS-IS の仕様上、16 個以上の IPv6 アドレスを Hello PDU で広告できません。コンフィグレーションを調査してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <Interface address>：インタフェース IPv6 アドレス
18	ISIS RECV: Interface <Interface Name> SystemID <System ID> PDU Type <PDU Type>: Unknown authentication mode <Mode> length <Length>.	ワーニング（相手装置）
		識別不能の認証モードが、受信した PDU に含まれています。 [対応] 該当インタフェースに接続しているルータの認証モード種別を統一してください。また、同一エリア内での LSP の認証モード種別と、レベル 2 ルータ間での LSP の認証モード種別を統一してください。
		<Interface Name>：インタフェース名称 <System ID>：送信元のシステム ID <PDU Type>：PDU の種類 • L1-LAN-IIH：レベル 1Hello PDU • L2-LAN-IIH：レベル 2Hello PDU • PtPt-IIH：ポイントポイント型インタフェース Hello • PDU・L1-LSP：レベル 1LSP • L2-LSP：レベル 2LSP • L1-CSNP：レベル 1CSNP • L2-CSNP：レベル 2CSNP • L1-PSNP：レベル 1PSNP • L2-PSNP：レベル 2PSNP <Mode>：認証モード種別を示す数字 <Length>：認証データ長
19	ISIS: LSP space exceeded dropping exported routes.	エラー（自装置）
		LSP に空きがないため、一部の経路が IS-IS で広告できません。 [対応] 頻発する場合、広告している経路数等を調査してください。
20	ISIS: all dropped entries are reloaded successfully.	情報（自装置）
		LSP に空きができたため、IS-IS で一部の経路が広告できない状態が解消されました。 [対応] 特に対応する必要はありません。
21	ISIS: Recovered from overloading.	情報（自装置）
		オーバーロード広告を終了します。 [対応] なし。

2.1.5 BFD 情報【OP-BFD】

BFD 情報の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-5 BFD 情報の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：BFD）

項番	メッセージテキスト	内容
1	BFD: No BFD packets were received from the remote address <RemoteAddress> during detect time.	エラー（自装置／相手装置）
		障害検出の監視時間内に BFD パケットを受信しませんでした。 [対応] 自装置のコンフィグレーションおよび相手装置の設定を調査し、自装置の最小受信間隔を相手装置の最小送信間隔より長く設定してください。 問題がない場合は、相手装置との通信状態を確認してください。
		<RemoteAddress>：相手装置の IPv4 アドレスまたは相手装置の IPv6 アドレス • リンクローカルアドレス時、<IPv6-Address>%<Interface-name> を表示する
2	BFD: BFD packet from the remote address <RemoteAddress> has been ignored, because the received packet was invalid (<Log_Type>).	エラー（相手装置）
		受信した BFD パケットが不正のため、無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の BFD プログラムを調査してください
		<RemoteAddress>：相手装置の IPv4 アドレスまたは相手装置の IPv6 アドレス • リンクローカルアドレス時、<IPv6-Address>%<Interface-name> を表示する <Log_Type>：ログ種別 • authentication'<value>'：認証 <value> が不正（0 以外） • desired min tx interval'<value>'：最小送信間隔 <value> が不正（0, または 255,000,001 以上） • requier min rx interval'<value>'：最小受信間隔 <value> が不正（0） • detection time '<value>'：障害検出時間 <value> が不正（300,000,001（マイクロ秒）以上）
3	BFD: BFD packet failed transmission to remote address <RemoteAddress>, because of <ErrorString>.	エラー（自装置）
		BFD パケットの送信に失敗しました。 [対応] 頻発する場合はエラー要因を調査してください。
		<RemoteAddress>：相手装置の IPv4 アドレスまたは相手装置の IPv6 アドレス <ErrorString>：エラー要因

項番	メッセージテキスト	内容
4	BFD: BFD session status about the remote address <RemoteAddress> has changed from <OldState> to <NewState> [by <DiagCode>].	情報（自装置／相手装置）
		BFD セッション状態が変更されました。 [対応] なし。
		<RemoteAddress>：相手装置の IPv4 アドレスまたは相手装置の IPv6 アドレス - リンクローカルアドレス時、<IPv6-Address>%<Interface-name> を表示する <OldState>：変更前セッション状態 - Down, Init, Up, AdminDown <NewState>：変更後セッション状態 - Down, Init, Up, AdminDown <DiagCode>：相手装置から受信した診断コード - No Diagnostic (0) - Control Detection Time Expired (1) - Neighbor Signaled Session Down (3) - Forwarding Plane Reset (4) - Administratively Down (7)
5	BFD: BFD session in remote address <RemoteAddress> was not able to be cleared.	エラー（自装置）
		clear bfd session コマンドによる BFD セッションの切断に失敗しました。 [対応] コマンドを再投入してください。 頻発する場合は、相手装置との通信状態を確認してください。
		<RemoteAddress>：相手装置の IPv4 アドレスまたは相手装置の IPv6 アドレス リンクローカルアドレス時、<IPv6-Address>%<Interface-name> を表示する

2.1.6 VPN 【OP-MPLS】

VPN の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-6 VPN の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：RTM）

項番	メッセージテキスト	内容
1	Vpn <VPN ID> Routing information exceeded the maximum size defined with "max_routes (<Value>)".	ワーニング（相手装置）
		ローカル、およびリモートの VPN サイトから学習した経路数が最大経路数（ワーニング出力経路数）を超えました。 [対応] VPN サイトの経路数を確認し、必要に応じ VPN の管理者に連絡してください。
		<VPN ID>：対象 VPN 番号 <Value>：最大経路数

項番	メッセージテキスト	内容
2	Vpn <VPN ID> Routing information exceeded the maximum size defined with "warning_routes (<Value>)".	ワーニング（相手装置）
		ローカル、およびリモートの VPN サイトから学習した経路数がワーニング出力経路数を超過しました。 [対応] VPN サイトの経路数を確認し、必要に応じ VPN の管理者に連絡してください。
		<VPN ID>：対象 VPN 番号 <Value>：ワーニング出力経路数
3	Vpn <VPN ID> Routing information exceeded the maximum size defined with "max_local_routes (<Value>)".	ワーニング（相手装置）
		ローカルの VPN サイトから学習した経路数が最大経路数（ワーニング出力経路数）を超過しました。 [対応] VPN サイトの経路数を確認し、必要に応じ VPN サイトの管理者に連絡してください。
		<VPN ID>：対象 VPN 番号 <Value>：最大経路数
4	Vpn <VPN ID> Routing information exceeded the maximum size defined with "warning_local_routes (<Value>)".	ワーニング（相手装置）
		ローカルの VPN サイトから学習した経路数がワーニング出力経路数を超過しました。 [対応] VPN サイトの経路数を確認し、必要に応じ VPN サイトの管理者に連絡してください。
		<VPN ID>：対象 VPN 番号 <Value>：ワーニング出力経路数

2.1.7 IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通

IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-7 IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：RTM）

項番	メッセージテキスト	内容
1	*** Give up gdump. Because of no enough memory.	ワーニング（自装置）
		dump protocols unicast コマンドによるユニキャストルーティングプログラムの制御情報ダンプ収集中に、システムのメモリ残量が一時的に既定値を下回ったため、ダンプ収集を中断しました。 [対応] コマンド実行するために必要な空きメモリが不足しています。必要であればメモリを増設して再度実行してください。
2	Rtm: Graceful Restart terminated because this system failed to retain the routes.	ワーニング（自装置）
		経路を保持できなかったため、グレースフルリスタートに失敗しました。 [対応] グレースフルリスタート中に再び系切替やユニキャストルーティングプログラムの再起動が発生していないか調査してください。

2.2 IPv6 ルーティング情報 (RTM)

IPv6 ルーティングプロトコルのイベント情報について説明します。なお、運用メッセージをコンソールに表示させる場合はコンフィグレーションの options monitor を定義してください。

2.2.1 RIPng

RIPng の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-8 RIPng の運用メッセージ・運用ログ (ログ種別: RTM)

項番	メッセージテキスト	内容
1	ripng_recv: Bad metric (<Metric>) for net <Prefix> from <Source_Address>	エラー (相手装置)
		不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信しました。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
		<Metric>: 経路情報のメトリック値 <Prefix>: 経路情報の宛先プレフィックス <Source_Address>: 送信元ゲートウェイアドレス
2	ripng_recv: Bad prefixlen (<Prefixlen>) for net <Prefix> from <Source_Address>	エラー (相手装置)
		不正なプレフィックス長を持つ経路情報を受信しました。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
		<Prefixlen>: 経路情報のプレフィックス長 <Prefix>: 経路情報の宛先 <Source_Address>: 送信元ゲートウェイアドレス
3	ripng_recv: Ignoring RIPng <RIPng_Command> packet from <Source_Address> - ignoring invalid version packet	エラー (相手装置)
		バージョンフィールドが不正のため、受信した RIPng パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
		<RIPng_Command>: 受信メッセージタイプ • Request, Response <Source_Address>: 送信元ゲートウェイアドレス
4	ripng_recv: Packet hoplimit is <Hoplimit> hop limit must be 255.	エラー (相手装置)
		ホップリミットが不正なため、受信した RIPng パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を調査してください。
		<Hoplimit>: 受信ホップリミット
5	ripng_init: Old copy of rtm is running	エラー (自装置)
		すでにユニキャストルーティングプログラムが動作している可能性があります。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	ripng_recv: Ignoring RIPng <RIPng_Command> from<Source_Address> - source address is not link-local.	エラー（相手装置）
		ソースアドレスがリンクローカルアドレスではないため、受信した RIPng パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
		<RIPng_Command>：受信メッセージタイプ <Source_Address>：送信元ゲートウェイ
7	ripng_recv: Ignoring RIPng <RIPng_Command> from<Source_Address> - source port is not valid.	エラー（相手装置）
		不正なソースポートのため、受信した RIPng パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
		<RIPng_Command>：受信メッセージタイプ <Source_Address>：送信元ゲートウェイ
8	ripng_recv: Ignoring RIPng <RIPng_Command> packet from <Source_Address> - invalid or not implemented command	エラー（相手装置）
		無効または実装されていないコマンドのため、受信したパケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
		<RIPng_Command>：受信メッセージタイプ <Source_Address>：送信元ゲートウェイ
9	ripng_recv: Ignoring RIPng packet from <Source_Address> - too short packet (<Size>)	エラー（相手装置）
		RIPng ヘッダよりもパケット長が短いため、受信したパケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
		<Source_Address>：送信元ゲートウェイ <Size>：パケット長
10	ripng_recv: Ignoring RIPng request packet from <Source_Address> - the routing entries of improper length	エラー（相手装置）
		不正な長さの経路情報が含まれているため、受信した request パケットを無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
		<Source_Address>：送信元ゲートウェイ
11	ripng_recv: Ignoring a routing entry of improper length - packet from <Source_Address>	エラー（相手装置）
		不正な長さの経路情報を無視します。 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
		<Source_Address>：送信元ゲートウェイ

2.2.2 OSPFv3

OSPFv3 の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-9 OSPFv3 の運用メッセージ・運用ログ (ログ種別: RTM)

項番	メッセージテキスト	内容
1	OSPF6 SENT <Source_Address> (<Interface_Name>) -> <Destination_Address>: <Error_String>	ワーニング (自装置)
		OSPFv3 パケットの送信に失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<Source_Address>: 送信元 IPv6 アドレス <Interface_Name>: インタフェース名称 <Destination_Address>: 宛先 IPv6 アドレス <Error_String>: エラー要因
2	OSPF6: OSPF6_ASE import filter ignored on non AS boundary router at Domain <Domain_ID>.	ワーニング (自装置)
		AS 境界ルータではないため、インポートフィルタを無視します。 [対応] 空のエクスポートフィルタ (OSPF6ASE) をコンフィグレーションに定義してください。
		<Domain_ID>: インポートフィルタ適用対象 OSPFv3 の Domain_ID
3	OSPF6: Graceful restart failed (in domain <DomainID>) because adjacency <RouterID> doesn't help me.	ワーニング (相手装置/ネットワーク)
		隣接ルータがヘルパールータとして動作していないため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] 隣接ルータのグレースフル・リスタートの定義を修正してください。
		<Domain_ID>: OSPFv3 の Domain ID <Router_ID>: 隣接ルータのルータ ID
4	OSPF6: Graceful restart failed (in domain <DomainID>) because adjacency <RouterID> gives up me.	ワーニング (相手装置/ネットワーク)
		隣接ルータがヘルパールータの動作を停止したため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、隣接ルータの OSPF 状態とヘルパー停止要因を調査してください。
		<Domain_ID>: OSPFv3 の Domain ID <Router_ID>: 隣接ルータのルータ ID
5	OSPF6: Graceful restart failed (in domain <DomainID>) because restart time is up.	ワーニング (自装置)
		リスタート時間内に再起動前の全隣接ルータと再接続・LSA 同期ができなかったため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] リスタート時間の定義を修正してください。
		<Domain_ID>: OSPFv3 の Domain ID
6	OSPF6: Graceful restart finished successfully (in domain <DomainID>).	情報 (自装置)
		グレースフル・リスタートに成功しました。 [対応] なし。
		<Domain_ID>: OSPFv3 の Domain ID
7	OSPF6: Helper to adjacency <RouterID> failed because network topology is changed.	ワーニング (自装置/ネットワーク)
		トポロジー変更のため、ヘルパールータの動作を停止しました。 [対応] 特に対処の必要はありません。
		<Router_ID>: 隣接ルータのルータ ID

項番	メッセージテキスト	内容
8	OSPF6: Helper to adjacency <RouterID> failed because restart time is up.	ワーニング（相手装置）
		リスタート待ち時間が経過したため、ヘルパールータの動作を停止しました。 [対応] 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。停止していない場合、隣接ルータのリスタート時間を調整してください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID
9	OSPF6: Interface <Interface_Name> ignored, because configured in two areas or two domains	ワーニング（自装置）
		同一インタフェースが複数のエリア、または複数のドメインに対し定義されています。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<Interface_Name>：インタフェース名称
10	OSPF6 RECV [Area <Area ID>] RouterID <Source_ID> [(<Interface_Name>)] -> <Destination_Address>: <Log_Type>	ワーニング（自装置／相手装置）
		受信した OSPFv3 パケットが不正です。 ただし、OSPFv3 インタフェースとして定義していないブロードキャスト型インタフェースから受信したマルチキャストパケットは、ログ採取せずに廃棄します。 [対応] ログ種別によって、対応が異なります。 • IP: received my own packet • bad packet type • bad version • bad checksum • packet too small • packet size > ip length 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPFv3）を調査してください。 • unknown neighbor Hello で認識していない隣接ルータから、Hello 以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • area mismatch • bad virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合、エリアの設定を修正してください。それ以外は対応不要です。 • interface down 特に対処の必要はありません。 • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch OSPFv3 インタフェースの定義を修正してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの定義を修正してください。 • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の定義を修正してください。 • DD: MTU mismatch 隣接ルータと MTU 長が不一致であるため、経路情報の交換に失敗する場合があります。MTU 長を合わせてください。

項番	メッセージテキスト	内容
		• LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad • LS UPD: Unknown LSA type 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPFv3) を調査してください。 <Area ID> : エリア ID <Source_ID> : 送信元ルータ ID <Interface_Name> : インタフェース名称 <Destination_Address> : 宛先 IPv6 アドレス <Log_Type> : ログ種別 • IP: received my own packet • bad packet type • bad version • bad checksum • packet too small • packet size > ip length • unknown neighbor • area mismatch • bad virtual link • interface down • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion • DD: MTU mismatch • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad • LS UPD: Unknown LSA type
11	OSPF6: Conflict between LSDB <LSID> and route <Prefix> /<Prefixlen> - Export to OSPFv3 Bypassed.	エラー (自装置) LSDB<LSID> と経路間で矛盾があります。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。 <LSID> : LSA の LSID <Prefix> : 経路情報の宛先アドレス <Prefixlen> : 経路情報のプレフィックス長

項番	メッセージテキスト	内容
12	OSPF6: Lost adjacency <Router_ID> with interfaceID <ID> (<Interface_Name>) because no Hello received recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータから定期的送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置－隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔（hellointerval）を短くし、Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <ID>：隣接ルータのインタフェース ID <Interface_Name>：インタフェース名称
13	OSPF6: Lost adjacency <Router_ID> with interfaceID <ID> (<Interface_Name>) because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に発生します。 [対応] 頻発する場合 Hello パケット送信間隔（hellointerval）、Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <ID>：隣接ルータのインタフェース ID <Interface_Name>：インタフェース名称
14	OSPF6: Lost adjacency <Router_ID1> with interfaceID <ID> (<Interface_Name>) due to bad LS Request (<LSID> <Router_ID2> <LS_Type>).	エラー（相手装置）
		不正な LS リクエストによって隣接ルータを失いました。 [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPFv3）を調査してください。
		<Router_ID1>：隣接ルータのルータ ID <ID>：隣接ルータのインタフェース ID <Interface_Name>：インタフェース名称 <LSID>：LSA の LSID <Router_ID2>：LSA の広告ルータ ID <LS_Type>：LSA の LS タイプコード
15	OSPF6: Lost adjacency <Router ID> with interfaceID <ID> (<Interface_Name>) due to sequence mismatch (<Sequence1> versus <Sequence2>)	ワーニング（自装置／相手装置）
		シーケンス（またはオプション）の不一致によって隣接ルータを失いました。 [対応] 頻発する場合は OSPFv3 パケット再送間隔（retransmitinterval）を長くしてください。
		<Router_ID>：隣接ルータのルータ ID <ID>：隣接ルータのインタフェース ID <Interface_Name>：インタフェース名称 <Sequence1>：制御データ上のシーケンス番号 <Sequence2>：DD メッセージ内のシーケンス番号
16	OSPF6: Adjacency <Router ID> interface <Interface Name> is established.	情報（自装置／相手装置）
		OSPFv3 の隣接ルータとの接続に成功しました。 [対応] なし。
		<Router ID>：隣接ルータのルータ ID <Interface Name>：インタフェース名称

項番	メッセージテキスト	内容
17	OSPF6: Checksum failed at LSA type <LS_Type> ID <LSID> adv-router <Router_ID> in this system's LSDB that belongs to Area <Area_ID>, Domain <Domain_ID>.	エラー（自装置）
		LSDB のチェックサムが不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い、処置してください。
		<LS_Type> : LSA の LS タイプコード <LSID> : LSA の LSID <Router_ID> : LSA の広告ルータ ID <Area ID> : LSA のエリア ID <Domain_ID> : LSA の Domain_ID
18	OSPF6: Recovered from stub router (in domain <Domain_ID>).	情報（自装置）
		スタブルータ動作を終了します。 [対応] なし。
		<Domain_ID> : OSPFv3 の Domain_ID

2.2.3 BGP4+ 【OP-BGP】

BGP4+ の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-10 BGP4+ の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：RTM）

項番	メッセージテキスト	内容
1	bgp4+_check_auth: Synchronization failure with BGP task <Task Name>	エラー（相手装置）
		BGP4+ タスクが受信したメッセージのヘッダマーカの値が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<Task Name> : BGP4+ タスク名称
2	bgp4+_trace: Unsupported BGP version <Version>!!!	エラー（自装置）
		制御データ上の BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
		<Version> : 制御データ上の BGP バージョン番号
3	bgp4+_log_notify: Notify message received from <BGP Name> [(<Description>)] is truncated (length <Length>)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信メッセージ長

項番	メッセージテキスト	内容
4	bgp4+_send: Sending <Length> bytes to <BGP Name> [(<Description>)] blocked (no spooling requested): <Error String>	ワーニング (自装置)
		ソケットバッファが一杯となったため該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length>: 送信要求メッセージ長 <Error String>: エラー要因
5	bgp4+_send: Sending <Length> bytes to <BGP Name> [(<Description>)] failed: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length>: 送信要求メッセージ長 <Error String>: エラー要因
6	bgp4+_send: Sending <Length> bytes to <BGP Name> [(<Description>)]: connection closed	ワーニング (自装置/相手装置/ネットワーク)
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length>: 送信要求メッセージ長
7	bgp4+_send: sending to <BGP Name> [(<Description>)] looping: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Error String>: エラー要因
8	bgp4+_send_open: Internal error! peer <BGP Name> [(<Description>)], version <Version>	エラー (自装置)
		該当ピアに送信する OPEN メッセージの BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Version>: 送信メッセージ内の BGP バージョン番号
9	bgp4+_path_attr_error from <Routine>: Update error subcode <Code> (<Error String>) for peer <BGP Name> [(<Description>)] detected. <Length> bytes error data - 1st five:<Error Data>	エラー (相手装置)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<Routine>: 内部ルーチン名称 <BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Code>(<Error String>): エラー要因 <Length>: エラーデータ長 <Error Data>: エラーデータの先頭 5 バイト

項番	メッセージテキスト	内容
10	bgp4+_recv: Read from peer <BGP Name> [(<Description>)] failed: <Error String>	ワーニング（自装置）
		該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Error String>：エラー要因
11	bgp4+_recv: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Received unexpected EOF	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
12	bgp4+_read_message: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: <Message Type> message arrived with length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Message Type>：受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <Length>：受信メッセージ長
13	bgp4+_read_message: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: <Message Type1> arrived, expected <Message Type2> [or <Message Type 2>]	エラー（相手装置）
		該当ピアから状態に適切でないメッセージタイプのメッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Message Type1>：受信メッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive <Message Type2>：状態に適切なメッセージタイプ • invalid, Open, Update, Notification, KeepAlive
14	bgp4+_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Received short version <Version> message (<Length> octets)	エラー（相手装置）
		該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Version>：受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <Length>：受信メッセージ長

項番	メッセージテキスト	内容
15	bgp4+_get_open: Received unsupported version <Version> message from peer <BGP Name> [(<Description>)]	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Version>：受信メッセージの BGP バージョン番号
16	bgp4+_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Hold time too small (<Holdtime>)	エラー（相手装置）
		該当ピアからホールドタイムが 3 秒より小さい OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのコンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Holdtime>：受信メッセージ内のホールドタイム
17	bgp4+_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Invalid BGP4+ identifier <Router ID>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正な BGP4+ 識別子の OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Router ID>：受信メッセージ内の BGP4+ 識別子
18	bgp4+_get_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Unsupported optional parameter <Option>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Option>：受信メッセージ内のオプションコード
19	bgp4+_recv_open: Peer <BGP Name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	ワーニング（相手装置）
		レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄されるかもしれません。 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで、フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称

項番	メッセージテキスト	内容
20	bgp4+_recv_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)] claims AS <AS1>, <AS2> configured	ワーニング (自装置／相手装置)
		該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <AS1>: 受信メッセージの AS 番号 <AS2>: コンフィグレーション上のピアの AS 番号
21	bgp4+_recv_open: Version mismatch from <BGP Name> [(<Description>)] (<Version1>) in version <Version2> negotiation.	ワーニング (相手装置)
		BGP バージョン交渉時に該当ピアから NOTIFICATION メッセージ (バージョン不正) を受信しました。 [対応] ピアが BGP をサポートしているか調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Version1>: 受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <Version2>: 自側の BGP バージョン番号
22	bgp4+_recv_open: Peer <BGP Name> [(<Description>)] accepted mismatched versions: Peer <Version1> this system <Version2>	ワーニング (相手装置)
		該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態で KEEPALIVE メッセージを受信しました。 [対応] ピアが BGP4+ をサポートしているか調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Version1>: 相手側の BGP バージョン番号 <Version2>: 自側の BGP バージョン番号
23	bgp4+_pp_recv: No group for <BGPP Name> found, dropping peer	ワーニング (自装置／相手装置)
		定義されていないピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGPP Name>: 送信元ピア名称
24	bgp4+_pp_recv: Dropping <BGPP Name>, group <BGPG Name> idled	情報 (一)
		該当ピアグループが IDLE 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] なし
		<BGPG Name>: ピアグループ名称 <BGPP Name>: 送信元ピア名称
25	bgp4+_pp_recv: Rejecting connection from <BGP Name> [(<Description>)], peer in state <State>	ワーニング (相手装置／ネットワーク)
		Idle, OpenConfirm, Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <State>: ピア状態 • Idle, OpenConfirm, Established

項番	メッセージテキスト	内容
26	bgp4+_pp_recv: Dropping <BGPP Name> version <Version>, <BGP Name> [(<Description>)] wants version 4	ワーニング (相手装置)
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを調査してください。
		<BGPP Name>, <BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Version>: 受信メッセージの BGP バージョン番号
27	bgp4+_pp_recv: Peer <BGP Name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	ワーニング (相手装置)
		レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄されるかもしれません。 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで、フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称
28	bgp4+_pp_recv: Peer <BGP Name> [(<Description>)] sent unexpected extra data, probably insane	エラー (相手装置)
		該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称
29	bgp4+_check_capability_match: Capability of peer <BGP Name> [(<Description>)] is unmatched	ワーニング (相手装置)
		本装置に設定されている Capability の設定が、該当ピアに設定されていません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称
30	bgp4+_write_flush: Sending <Length1> (sent <Length2>) bytes to <BGP Name> [(<Description>)] failed: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length1>: 送信要求データ長 <Length2>: 送信済データ長 <Error String>: エラー要因
31	bgp4+_write_flush: Sending <Length1> (sent <Length2>) bytes to <BGP Name> [(<Description>)]: Connection closed	ワーニング (自装置／相手装置／ネットワーク)
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length1>: 送信要求データ長 <Length2>: 送信済データ長

項番	メッセージテキスト	内容
32	bgp4+_write_flush: Sending to <BGP Name> [(<Description>)] (sent <Length1>, <Length2> remain[s]) looping: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Length1>: 送信済データ長 <Length2>: 送信残データ長 <Error String>: エラー要因
33	bgp4+_peer_connected: task_get_addr_local(<BGP Name> [(<Description>)]): <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへのコネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに 失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称 <Error String>: エラー要因
34	bgp4+_connect_start: Peer <BGP Name> [(<Description>)] local address <IPv6 Address> unavailable, connection failed	ワーニング (自装置)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが利用でき ない (バインド失敗) ためにコネクション接続が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称 <IPv6 Address>: ピアリングに使用するローカルアドレス
35	bgp4+_traffic_timeout: Holdtime expired for <BGP Name> [(<Description>)]	ワーニング (相手装置/ネットワーク)
		該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してくだ さい。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称
36	bgp4+_traffic_timeout: Error sending KEEPALIVE to <BGP Name> [(<Description>)]: <Error String>	ワーニング (自装置)
		該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<BGP Name>: 送信先ピア名称 <Description>: 送信先ピア description 名称 <Error String>: エラー要因
37	bgp4+_listen_accept: accept(<Socket>): <Error String>	ワーニング (自装置)
		コネクションの受付が失敗しました。 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
		<Socket>: ソケットのディスクリプタ番号 <Error String>: エラー要因

項番	メッセージテキスト	内容
38	bgp4+_listen_accept: bgp4+_get_peer_if() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するリンクローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
39	bgp4+_listen_accept: task_get_addr_local() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
40	bgp4+_listen_start: Couldn't get BGP listen socket!!	エラー（自装置）
		コネクション接続のためのソケット生成に失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
41	bgp4+_listen_start: listen: <Error String>	エラー（自装置）
		コネクションの受付準備が失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って、処置してください。
		<Error String>：エラー要因
42	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <BGP Name> [(<Description>)] interface for gateway <IPv6 Address> not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアのオプション gateway と接続されたインタフェースが見つかりません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称 <IPv6 Address>：ゲートウェイアドレス
43	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <BGP Name> [(<Description>)] interface not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つかりません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
44	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <BGP Name> [(<Description>)] local address <IPv6 Address> not on shared net. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称 <IPv6 Address>：コネクション接続に使用するローカルアドレス

項番	メッセージテキスト	内容
45	bgp4+_pp_timeout: Peer <BGPP Name> timed out waiting for OPEN	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGPP Name>：接続先ピア名称
46	bgp4+_peer_init: BGP peer <BGP NAME> [(<Description>)] local address <IPv6 Address> not found. Leaving peer idle	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスに対するインターフェースが見つかりません。 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称 <IPv6 Address>：コネクション接続に使用するローカルアドレス
47	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Strange message header length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの受信メッセージはメッセージヘッダ内のメッセージ長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージのヘッダのメッセージ長
48	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] unrecognized message type <Type>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージはメッセージタイプが不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Type>：メッセージタイプ
49	bgp4+_recv_update: Received OPEN message from <BGP Name> [(<Description>)], state is ESTABLISHED	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は不安定要因を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
50	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE length <Length> too small	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージ長が小さ過ぎます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ長

項番	メッセージテキスト	内容
51	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE unreachable prefix length <Length1> exceeds packet length <Length2>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がパケット長を超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 <Length2>：受信パケット長
52	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE unreachable prefix length <Length> too long	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ内のプレフィックス長
53	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE prefix length <Length1> exceeds unreachable prefix data remaining (<Length2> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージ内のプレフィックス長 <Length2>：実体のデータ長
54	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] unreachable route <IPv6 Address>/ <Prefix Length> not sent by peer (<Length1> of <Length2>)	ワーニング（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報の経路は該当ピアから送信されていません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv6 Address>：非到達経路情報の宛先アドレス <Prefix Length>：非到達経路情報のネットワークプレフィックス長 <Length1> of <Length2>：受信メッセージ内の不正情報の位置
55	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] route <IPv6 Address>/<Prefix Length> already deleted!	ワーニング（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報の経路はすでに削除されています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv6 Address>：非到達経路情報の宛先アドレス <Prefix Length>：非到達経路情報のネットワークマスク

項番	メッセージテキスト	内容
56	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE zero attribute length followed by <Length> bytes of garbage	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが、実体のデータが存在します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：実体のデータ長
57	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE path attribute length <Length1> too large (<Length2> bytes remaining)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性の長さより大き過ぎます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length1>：受信メッセージのパス属性長 <Length2>：実体のデータ長
58	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE no next hop found	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つかりません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
59	bgp4+_recv_update: External peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE included LOCALPREF attribute	エラー（相手装置）
		該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性を含んでいます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
60	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE no LOCALPREF attribute found	エラー（相手装置）
		該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性が見つかりません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア番号 <Description>：送信元ピア description 名称
61	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE has path attributes but no reachable prefixes!	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っていますが、対応する経路情報を持っていません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称

項番	メッセージテキスト	内容
62	bgp4+_recv_update: Peer <BGP Name> [(<Description>)] AS <AS1> received path with first AS <AS2>	エラー（相手装置）
		AS 番号 <AS1> のピアから次ホップの AS 番号が <AS2> の AS パスを受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <AS1>：送信元ピアの AS 番号 <AS2>：受信メッセージ内の次ホップ AS 番号
63	bgp4+_recv_update: Ignores prefix from peer <BGP Name> [(<Description>)] in RFC-1771's NLRI field	ワーニング（相手装置）
		RFC2858 に従わないで RFC1771 に従ったフォーマットの経路情報を無視します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
64	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No address family	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_REACH_NLRI 属性長
65	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No nexthop length	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ長がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_REACH_NLRI 属性長
66	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No nexthop	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップがありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_REACH_NLRI 属性長

項番	メッセージテキスト	内容
67	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No number of snpa	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 数がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長
68	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No snpa length	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 長がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長
69	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<Length>) : No snpa	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA がありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信した MP_REACH_NLRI 属性長
70	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE multi-protocol prefix length <Length1> exceeds prefix data remaining (<Length2> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が残データ量と比較して長すぎます。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length1> : 受信メッセージ内のプレフィックス長 <Length2> : 実体のデータ長
71	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE multi-protocol prefix length <Length> too long	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name> : 送信元のピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称 <Length> : 受信メッセージ長

項番	メッセージテキスト	内容
72	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] bad next hop address length <Length>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの経路のネクストホップアドレス長が不正です。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：ネクストホップアドレス長
73	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] next hop <IPv6 Address> improper, ignoring routes in this update	エラー（相手装置）
		該当ピアからの経路のネクストホップアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv6 Address>：ネクストホップアドレス
74	bgp4+_recv_reach: Ignoring routes in this UPDATE, because peer <BGP Name> [(<Description>)] next hop <IPv6 Address> this system.	エラー（相手装置）
		該当ピアからの経路のネクストホップが自装置の持つアドレスです。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv6 Address>：ネクストホップアドレス
75	bgp4+_recv_reach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] unknown family/subfamily <Family>/ <SubFamily>	エラー（相手装置）
		該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の経路情報を受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Family>：アドレスファミリー <SubFamily>：サブアドレスファミリ
76	bgp4+_recv_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE: Invalid length of MP_UNREACH_NLRI attribute(<Length>) : No address family	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリーがありません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長

項番	メッセージテキスト	内容
77	bgp4+_recv_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE prefix length <Length> exceeds unreachable multi-protocol prefix data remaining (<Length> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長で残りの到達経路情報のデータ長を超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：ネクストホップアドレス長
78	bgp4+_recv_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE unreachable multi-protocol prefix length <Length> too long	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Length>：受信メッセージ内のプレフィックス長
79	bgp4+_recv_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] multi-protocol route <IPv6 Address>/ <Prefix Length> already deleted!	ワーニング（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報の経路はすでに削除されています。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv6 Address>：非到達経路情報の宛先アドレス <Prefix Length>：非到達経路情報のネットワークプレフィックス長
80	bgp4+_recv_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] unknown family/subfamily <Family>/ <SubFamily>	エラー（相手装置）
		該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の非到達経路情報を受信しました。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Family>：アドレスファミリー <SubFamily>：サブアドレスファミリ
81	bgp4+_recv_unreach: Peer <BGP Name> [(<Description>)] unreachable multi-protocol route <IPv6 Address>/<Prefix Length> not sent by peer (<Length1> of <Length2>)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報の経路は該当ピアから送信されていません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <IPv6 Address>：非到達経路情報の宛先アドレス <Prefix Length>：非到達経路情報のネットワークプレフィックス長 <Length1> of <Length2>：受信メッセージ内の不正情報の位置

項番	メッセージテキスト	内容
82	bgp4+_peer_established: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: connection established	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP4+ コネクションが確立しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
83	bgp4+_ifachange: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by changing interface state	情報（自装置／相手装置）
		インタフェース状態の変化によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [対応] インタフェースの状態変化要因を調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
84	bgp4+_terminate: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by terminating bgp4+	情報（自装置）
		BGP4+ タスクの停止によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [対応] BGP4+ タスク停止要因を調査してください。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
85	bgp4+_peer_delete: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置）
		コンフィグレーション変更（ピア情報の削除）によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
86	bgp4+_init: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置）
		コンフィグレーション（clusterid）によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
87	bgp4+_peer_clear: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by clearing peer	情報（自装置）
		clear ipv6 bgp コマンドの投入によって、BGP4+ コネクションをクローズしました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
88	BGP4+: Completed the learning from receiving-speakers	情報（自装置）
		レシーブルータからの経路学習が完了しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
89	BGP4+:	ワーニング（相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	NOTIFICATION sent to <BGP Name> [(<Description>)]: code <Code> (<Code String>) [subcode <SubCode> (<SubCode String>)] [value <Value>] [data <Data>]	該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 [対応] ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを調査してください。ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合はピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。 <BGP Name> : 送信先ピア名称 <Description> : 送信先ピア description 名称 <Code String>(<Code>) & <SubCode String>(<SubCode>) : エラーコードとエラーサブコード - Message Header Error(1) - lost connection synchronization(1) - bad length(2) - bad message type(3) - Open Message Error(2) - unsupported version(1) - bad AS number(2) - bad BGP ID(3) - unsupported optional parameter(4) - authentication failure(5) - Update Message Error(3) - invalid attribute list(1) - unknown well known attribute(2) - missing well known attribute(3) - attribute flags error(4) - bad attribute length(5) - bad ORIGIN attribute(6) - Optional Attribute Error (9) - bad address/prefix field(10) - AS path attribute problem(11) - Hold Timer Expired Error(4) - Finite State Machine Error(5) - Cease(6) - 不正な <Code> の場合 <Code String> は "invalid" を, 不正な <SubCode> の場合 <SubCode String> は "unknown" を表示します。 <Value> または <Data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。<Value> : 10 進表示, <Data> : 16 進表示
90	BGP4+: NOTIFICATION received from <BGP Name> [(<Description>)]: code <Code> (<Code String>) [subcode <SubCode> (<SubCode String>)] [value <Value>] [data <Data>]	ワーニング (自装置) 該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信しました。 [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを調査してください。 <BGP Name> : 送信元ピア名称 <Description> : 送信元ピア description 名称

項番	メッセージテキスト	内容
		<Code String>(<Code>) & <SubCode String>(<SubCode>) : エラーコードとエラーサブコード 1. Message Header Error(1) • lost connection synchronization(1) • bad length(2) • bad message type(3) 2. Open Message Error(2) • unsupported version(1) • bad AS number(2) • bad BGP ID(3) • unsupported optional parameter(4) • authentication failure(5) 3. Update Message Error(3) • invalid attribute list(1) • unknown well known attribute(2) • missing well known attribute(3) • attribute flags error(4) • bad attribute length(5) • bad ORIGIN attribute(6) • Optional Attribute Error (9) • bad address/prefix field(10) • AS path attribute problem(11) 4. Hold Timer Expired Error(4) 5. Finite State Machine Error(5) 6. Cease(6) • 不正な <Code> の場合 <Code String> は "invalid" を、不正な <SubCode> の場合 <SubCode String> は "unknown" を表示します。 • <Value> または <Data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。<Value> : 10 進表示, <Data> : 16 進表示
91	BGP4+: No MD5 digest from <Source IPv6>+<Port No.> to <Destination IPv6>+<Port No.>	ワーニング (相手装置) BGP4+ コネクションで受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていません。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1.,2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP4+: Invalid MD5 digest from <Source IPv6>+<Port No.> to <Destination IPv6>+<Port No.>」の回数を含みません。 [対応] 相手装置の BGP4+ で MD5 認証が定義されているか調査してください。定義されていない場合は、MD5 認証の定義が一致するように設定してください。 定義が一致している場合は、送信元 BGP4+ ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。 <Source IPv6> : 送信元 IPv6 アドレス <Destination IPv6> : 宛先 IPv6 アドレス <Port No.> : TCP ポート番号
92	BGP4+:	ワーニング (自装置/相手装置)

項番	メッセージテキスト	内容
	Invalid MD5 digest from <Source IPv6>+<Port No.> to <Destination IPv6>+<Port No.>	BGP4+ コネクションで受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正です。 この運用メッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1.,2. の契機で出力されます。 ただし、上記回数には、「BGP4+: No MD5 digest from <Source IPv6>+<Port No.> to <Destination IPv6>+<Port No.>」の回数を含みません。 [対応] 自装置と相手装置の BGP4+ で MD5 認証キーが一致しているか調査してください。 MD5 認証キーが一致していない場合は、MD5 認証キーが一致するように設定してください。 MD5 認証キーが一致している場合は、送信元 BGP4+ ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。 <Source IPv6>：送信元 IPv6 アドレス <Destination IPv6>：宛先 IPv6 アドレス <Port No.>：TCP ポート番号
93	BGP4+: Start advertisement, giving up learning from several receiving-speakers	情報（自装置） 一部のレシーブルータからの経路学習を中断して、経路広告を開始します。 [対応] 特に対応は必要ありません。
94	bgp4+_pp_recv: Peer <BGP Name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。 <BGP Name>：接続先ピア名称
95	bgp4+_recv_open: Peer <BGP Name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。 <BGP Name>：接続先ピア名称
96	bgp4+_restart_timeout: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Timed out waiting for reconnect.	エラー（自装置／相手装置） グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できませんでした。 [対応] ピアルータと通信可能か確認してください。ピアルータで BGP4+ が動作中か確認してください。ピアルータが動作している場合にはピアルータの restart-time の値をピアルータが復旧し接続できる時間までのばしてください。 <BGP Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称

項番	メッセージテキスト	内容
97	bgp4+_restart_timeout: Peer <BGP_Name> [<Description>]: Timed out waiting for End-Of-RIB marker from restart router.	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できませんでした。 [対応] 該当ピアルータで BGP4+ が動作中か確認してください。また動作中の 場合には stale-routes-retain-time の値をのばしてください。
		<BGP_Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
98	bgp4+_peer_established: Peer <BGP_Name> [<Description>]: connection established with graceful restart.	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP コネクションが再確立しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP_Name>：接続先ピア名称 <Description>：接続先ピア description 名称
99	bgp4+_receive_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker received from <BGP_Name> [<Description>].	情報（自装置）
		End-Of-RIB を受信しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP_Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称
100	bgp4+_send_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker sent to <BGP_Name> [<Description>].	情報（自装置）
		End-Of-RIB を送信しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<BGP_Name>：送信先ピア名称 <Description>：送信先ピア description 名称
101	BGP4+: Number of prefix received from <BGP Name> [<Description>]: reached <Routes1>, limit <Routes2>	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合 計）が閾値を超えました。 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は、ピアが広告する経 路数を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Routes1>：ピアから学習した経路数 <Routes2>：ピアから学習する経路数の上限値
102	BGP4+: Number of prefix received from <BGP Name> [<Description>]: <Routes1> exceed limit <Routes2>	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合 計）が上限値を超えました。 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。
		<BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Routes1>：ピアから学習した経路数 <Routes2>：ピアから学習する経路数の上限値

項番	メッセージテキスト	内容
103	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)]: Closed connection by maximum-prefix	情報（相手装置）
		学習経路数制限により BGP4+ コネクションをクローズしました。 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。ピアを再接続する場合は、ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから、運用コマンド clear ipv6 bgp を入力してください。
		<BGP Name>: 接続先ピア名称 <Description>: 接続先ピア description 名称
104	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] UPDATE included attribute type code (0) [- AS Path (<As Number>): <Aspath>]	ワーニング（相手装置）
		該当ピアからタイプコードが 0 のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信しました。 本運用メッセージは同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス • AS 番号列: AS_SEQ • {AS 番号列}: AS_SET • (AS 番号列): AS_CONFED_SET なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。
105	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_PATH attribute because peer supported 4-byte-as [- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング（相手装置）
		4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_PATH 属性を受信したため、AS4_PATH 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。

項番	メッセージテキスト	内容
106	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_PATH attribute because number of AS numbers in AS_PATH attribute is less than number of AS numbers in AS4_PATH attribute[- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		AS_PATH 属性の AS 数が AS4_PATH 属性の AS 数より小さくなっているため、AS4_PATH 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。
107	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS_CONFED_SET segment because AS4_PATH attribute included AS_CONFED_SET segment [- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		AS4_PATH 属性に AS_CONFED_SET セグメントが含まれているため、AS_CONFED_SET セグメントを無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。
108	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_AGGREGATOR attribute because peer supported 4-byte-as [- AS4_AGGREGATOR <As Number> <IPv4 Address>]	ワーニング (相手装置)
		4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_AGGREGATOR 属性を受信したため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号 <IPv4 Address>: IPv4 アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
109	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_PATH attribute because AS number in AGGREGATOR attribute is not AS_TRANS [- AS4_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング (相手装置)
		AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、AS4_PATH 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <Number of As>: AS 番号の数 <Aspath>: AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない (AS 番号の途中までしか出力されない) ことがあります。
110	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_AGGREGATOR attribute because AS number in AGGREGATOR attribute is not AS_TRANS [- AS4_AGGREGATOR <As Number> <IPv4 Address>]	ワーニング (相手装置)
		AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号 <IPv4 Address>: IPv4 アドレス
111	BGP4+: Peer <BGP Name> [(<Description>)] Ignored AS4_AGGREGATOR attribute because there is not AGGREGATOR attribute [- AS4_AGGREGATOR <As Number> <IPv4 Address>]	ワーニング (相手装置)
		AGGREGATOR 属性が無いため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を調査してください。
		<BGP Name>: 送信元ピア名称 <Description>: 送信元ピア description 名称 <As Number>: AS 番号 <IPv4 Address>: IPv4 アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
112	BGP4+: Peer <BGP Name> [<Description>] Ignored a part of AS_PATH attribute because AS_PATH attribute and AS4_PATH attribute are disagreement [- AS_PATH (<Number of As>): <Aspath>]	ワーニング（相手装置） AS_PATH 属性と AS4_PATH 属性が不一致のため、AS_PATH 属性の一部を無視しました。 本運用メッセージを含む 4 バイト AS 番号関連のログメッセージは、同一ピアでの前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。 <BGP Name>：送信元ピア名称 <Description>：送信元ピア description 名称 <Number of As>：AS 番号の数 <Aspath>：AS パス なお、一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため、すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。

2.2.4 IS-IS 【OP-ISIS】

「2.1.4 IS-IS 【OP-ISIS】」を参照してください。

2.2.5 RA

RA の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-11 RA の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：RTM）

項番	メッセージテキスト	内容
1	rs_input: Cannot locate interface for RS from <Address1> to <Address2>	エラー（自装置） 受信したルータ要求に対応するインタフェースを見つけることができないので、そのルータ要求を無視します。 [対応] 頻繁に出る場合は、そのインタフェースの状態を調査してください。 <Address1>：ルータ要求送信元アドレス <Address2>：ルータ要求宛先アドレス
2	rs_input: ND option check failed for an RS from <Address> on <Interface_Name>	エラー（相手装置） 該当アドレスからのルータ要求に対する ND オプションチェックに失敗したので、そのルータ要求を無視します。 [対応] ルータ要求送信元端末で、ルータ要求の設定を調査してください。 <Address>：ルータ要求送信元アドレス <Interface_Name>：ルータ要求受信インタフェース名称
3	rs_input: RS from unspecified src on <Interface_Name> has a link-layer address option	エラー（相手装置） 未指定アドレス (::) からのルータ要求にリンクレイヤアドレスオプションが設定されているので、そのルータ要求を無視します。 [対応] ルータ要求送信元端末で、ルータ要求の設定を調査してください。 <Interface_Name>：ルータ要求受信インタフェース名称

項番	メッセージテキスト	内容
4	rs_input: RS received on non advertising interface(<Interface_Name>)	ワーニング (自装置)
		ルータ広告を行わないインタフェースでルータ要求を受信したので、そのルータ要求を無視します。 [対応] そのルータ要求に応答する必要がある場合は、そのインタフェースでルータ広告を有効にしてください。
		<Interface_Name>: ルータ要求受信インタフェース名称
5	rs_input: RS with invalid hop limit (<Hoplimit>) received from <Address> on <Interface_Name>	エラー
		受信したルータ要求パケットの Hoplimit が正しい値 (255) ではないため、ルータ要求を無視します。 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
		<Hoplimit>: 受信ルータ要求メッセージホップリミット値 <Address>: ルータ要求送信元アドレス <Interface_Name>: ルータ要求受信インタフェース名称
6	rs_input: RS with invalid ICMP6 code(<Code>) received from <Address> on <Interface_Name>	エラー
		受信したルータ要求パケットの ICMP6 コードが正しい値 (0) ではないため、ルータ要求を無視します。 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
		<Code>: 受信ルータ要求メッセージ ICMP6 コード値 <Address>: ルータ要求送信元アドレス <Interface_Name>: ルータ要求受信インタフェース名称
7	rs_input: RS from <Address> on <Interface_Name> does not have enough length (len = <Length>)	エラー
		受信したルータ要求パケットが短いため、ルータ要求を無視します。 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
		<Address>: ルータ要求送信元アドレス <Interface_Name>: ルータ要求受信インタフェース名称 <Length>: 受信ルータ要求パケット長
8	ra_nd6_options: bad ND option length(0) (type = <Type>)	エラー (相手装置)
		ND オプションの長さが不正です。 [対応] 付随して出力される rs_input, ra_input のエラーの対応をしてください。
		<Type>: 受信した ND オプションタイプ番号
9	ra_output: Cannot send RA for I/F <Interface_Name> (lack of active linklocal addr)	エラー (自装置)
		該当するインタフェースに有効なリンクローカルアドレスが存在しないので、ルータ広告が送信できません。 [対応] 頻繁に発生する場合は、そのインタフェースの状態を確認してください。
		<Interface_Name>: ルータ広告送信インタフェース名称
10	ra_output: Cannot send RA for I/F <Interface_Name>	エラー (自装置)
		該当するインタフェースよりルータ広告が送信できません。 [対応] 頻繁に発生する場合は、そのインタフェースの状態を確認してください。
		<Interface_Name>: ルータ広告送信インタフェース名称

項番	メッセージテキスト	内容
11	ra_output: not send RA for I/F <Interface_Name> (linkmtu <Value_own> is greater than the physical interface MTU <Phymtu>)	ワーニング（自装置）
		該当インタフェースの MTU 長を超える値を指定しているので、ルータ 広告は出力されません。 [対応] ルータ広告を送信するルータの設定を調査してください。
		<Interface_Name>：ルータ広告送信インタフェース名称 <Value_own>：自装置の MTU オプション値 <Phymtu>：該当インタフェースの物理 MTU 長

2.2.6 IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通

「2.1.7 IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通」を参照してください。

2.3 IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP) 【OP-MLT】

2.3.1 PIM-DM

PIM-DM の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-12 PIM-DM の運用メッセージ・運用ログ (ログ種別：MRP)

項番	メッセージテキスト	内容
1	Memory allocation error for timer.	エラー (自装置)
		タイマ用のメモリ獲得に失敗しました。 [対応] コンフィグレーションが収容条件を超えていないか調査してください。 必要であればメモリを増設してください。
2	Memory allocation error for graft entry, source address <source address>, group address <group address>.	エラー (自装置)
		PIM Graft メッセージ送信用のメモリ獲得に失敗しました。 [対応] コンフィグレーションが収容条件を超えていないか調査してください。 必要であればメモリを増設してください。
		<source address>: 送信元 IP アドレス <group address>: グループアドレス
3	Memory allocation error for source entry, source address <source address>.	エラー (自装置)
		マルチキャストデータ送信元情報エントリ用のメモリ獲得に失敗しました。 [対応] コンフィグレーションが収容条件を超えていないか調査してください。 必要であればメモリを増設してください。
		<source address>: 送信元 IP アドレス
4	Memory allocation error for group entry, group address <group address>.	エラー (自装置)
		マルチキャストグループ情報エントリ用のメモリ獲得に失敗しました。 [対応] コンフィグレーションが収容条件を超えていないか調査してください。 必要であればメモリを増設してください。
		<group address>: グループアドレス
5	Memory allocation error for multicast routing entry.	エラー (自装置)
		マルチキャストルーティング情報用のメモリ獲得に失敗しました。 [対応] コンフィグレーションが収容条件を超えていないか調査してください。 必要であればメモリを増設してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	Ignoring interface <interface ID>, has invalid address (<interface address>) and/or mask(<subnet mask>).	エラー（自装置）
		カーネルから不正な IP アドレスまたはサブネットマスク値を取得しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については，「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき，最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は，合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<interface ID>：インタフェース ID（内部情報） <interface address>：インタフェース IP アドレス <subnet mask>：サブネットマスク値
7	Invalid IP address <interface address>.	エラー（自装置）
		PIM の動作を enable 指定したインタフェースの IP アドレスに不正があります。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については，「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき，最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は，合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<interface address>：不正 IP アドレス
8	Can not open configuration file.	エラー（自装置）
		コンフィグレーションファイルがオープンできませんでした。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については，「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき，最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は，合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
9	Unknown command'<word>'in configuration file.	エラー（自装置）
		コンフィグレーションファイル内に不正な文字列 <word> があります。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については，「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき，最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は，合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<word>：不正文字列

項番	メッセージテキスト	内容
10	Received packet too short (<receive size> bytes) for IP header.	エラー（相手装置）
		IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<receive size>：受信サイズ
11	Kernel request not accurate, source address <source address> destination address <destination address>.	エラー（自装置）
		カーネルから不正なデータを受信しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス
12	Received packet (<receive size> bytes) from <source address> shorter than header + data length (<IP header size> + <data size> bytes).	エラー（相手装置）
		IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを <source address> から受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<receive size>：受信サイズ <source address>：送信元 IP アドレス <IP header size>：IP ヘッダサイズ <data size>：IP ヘッダ内で設定されたデータサイズ
13	Received IP data field too short (<receive size> bytes) for IGMP, from <source address>.	エラー（相手装置）
		IGMP メッセージサイズより小さいパケット（31 以下）を受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<receive size>：受信サイズ <source address>：送信元 IP アドレス
14	Received IP data field too short (<receive size> bytes) for PIM header, from <source address> to <destination address>.	エラー（相手装置）
		PIM メッセージサイズより小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-DM）を調査してください。
		<receive size>：受信サイズ <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
15	New querier <Querier IP address> (was <old Querier IP address>) on interface <interface name>.	イベント（自装置）
		インタフェース <interface name> で、Querier が変わりました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<Querier IP address>：Querier IP アドレス <old Querier IP address>：前 Querier IP アドレス <interface name>：インタフェース名
16	New querier <Querier IP address> (was me) on interface <interface name>.	イベント（自装置）
		インタフェース <interface name> で、Querier が変わりました。（前の Querier は自装置でした。） [対応] 特に対応は必要ありません。
		<Querier IP address>：Querier IP アドレス <interface name>：インタフェース名
17	Received IGMPv1 query from <source address> on interface <interface name>.	ワーニング（相手装置）
		IGMP バージョン 1 の Query メッセージを受信しました。 [対応] 相手装置の IGMP バージョンを自装置の IGMP バージョンにあわせてください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <interface name>：インタフェース名
18	Ignoring group membership query from non-adjacent node <node address>.	ワーニング（相手装置）
		隣接していない装置から Query メッセージを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の定義を調査してください。
		<node address>：送信元 IP アドレス
19	Ignoring group membership report from non-adjacent host <host address>.	ワーニング（相手装置）
		隣接していないホストから Report メッセージを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の定義を調査してください。
		<host address>：送信元 IP アドレス
20	Ignoring group leave report from non-adjacent host <host address>.	ワーニング（相手装置）
		隣接していないホストから Leave メッセージを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の定義を調査してください。
		<host address>：送信元 IP アドレス
21	PIM hello holdtime from <source address>: invalid OptionLength = <option length>.	ワーニング（相手装置）
		holdtime オプション長が不正（2 以外）な PIM Hello メッセージを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-DM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <option length>：オプション長

項番	メッセージテキスト	内容
22	PIM assert message received from <source address1>, multicast source address <source address2>, multicast group <group address>, preference <preference>, metric <metric>, but created a new multicast routing entry because no matching one was found.	イベント（自装置）
		PIM Assert メッセージを受信しましたが、該当するマルチキャストルーティングエントリが存在しなかったため、新規に作成しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <source address1>：Assert 送信元 IP アドレス <source address2>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <preference>：プリファレンス <metric>：メトリック値
23	PIM assert message from <source address1>, multicast source address <source address2>, multicast group <group address>, preference <preference>, metric <metric> received on upstream interface, but did not change upstream neighbor.	イベント（自装置）
		PIM Assert メッセージを上流インタフェースから受信しましたが、上流隣接ルータは変わりませんでした。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <source address1>：Assert 送信元 IP アドレス <source address2>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <preference>：プリファレンス <metric>：メトリック値
24	PIM assert message from <source address1>, multicast source address <source address2>, multicast group <group address>, preference <preference>, metric <metric> received on upstream interface, changed upstream neighbor to <source address1>.	イベント（自装置）
		PIM Assert メッセージを上流インタフェースから受信し、上流隣接ルータが変更されました。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <source address1>：Assert 送信元 IP アドレス <source address2>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <preference>：プリファレンス <metric>：メトリック値
25	PIM assert message from <source address1>, multicast source address <source address2>, multicast group <group address>, preference <preference>, metric <metric> received on downstream interface, pruning the interface.	イベント（自装置）
		PIM Assert メッセージを下流インタフェースから受信しました。PIM Assert メッセージを受信したインタフェースを刈り込みます。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <source address1>：Assert 送信元 IP アドレス <source address2>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <preference>：プリファレンス <metric>：メトリック値
26	PIM assert message from <source address1>, multicast source address <source address2>, multicast group <group address>, preference <preference>, metric <metric> received on downstream interface, sending PIM assert message back and scheduling prune.	イベント（自装置）
		PIM Assert メッセージを下流インタフェースから受信しました。PIM Assert メッセージを受信したインタフェースから PIM Assert メッセージを送信し、インタフェースの刈り込み準備を実施します。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <source address1>：Assert 送信元 IP アドレス <source address2>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <preference>：プリファレンス <metric>：メトリック値

項番	メッセージテキスト	内容
27	Now negative cache for source <source address>, group <group address> - pruning.	イベント（自装置）
		<source address> と <group address> のマルチキャストルーティングキャッシュがネガティブキャッシュになりました。上流隣接ルータに PIM Prune メッセージを送信します。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス
28	Now forwarding state for source <source address>, group <group address> - grafting.	イベント（自装置）
		<source address> と <group address> のマルチキャストルーティングキャッシュがフォワーディング状態になりました。上流隣接ルータに PIM Graft メッセージを送信します。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス
29	Failed to enable multicast function on interface <interface name>.	エラー（自装置）
		<interface name> で、マルチキャスト動作の設定に失敗しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<interface name>：インタフェース名称
30	Failed to disable multicast function on interface <interface name>.	エラー（自装置）
		<interface name> で、マルチキャスト動作の解除設定に失敗しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<interface name>：インタフェース名称

項番	メッセージテキスト	内容
31	Could not delete multicast routing table for source address <source address> and multicast group <group address> (error number <errno>).	エラー（自装置）
		<source address> と <group address> で指定したマルチキャストルーティングテーブルの削除に失敗しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <errno>：エラーナンバー（内部情報）
32	Could not add/change multicast routing table for source address <source address> and multicast group <group address> (error number <errno>).	エラー（相手装置）
		<source address> と <group address> で指定したマルチキャストルーティングテーブルの追加または変更失敗しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <errno>：エラーナンバー（内部情報）
33	Deleted multicast routing cache entry: source <source address>, group <group address>.	イベント（自装置）
		<source address> と <group address> のマルチキャストルーティングキャッシュを削除しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス
34	Kernel system call error occurred (error number <errno>).	エラー（自装置）
		カーネルのシステムコールを実行してエラーが発生しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<errno>：エラーナンバー（内部情報）

項番	メッセージテキスト	内容
35	Failed to send PIM message from <source address> to <destination address>.	エラー（自装置）
		PIM メッセージの送信に失敗しました。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. RM のダンプ情報を採取してください。収集方法については、「運用コマンドレファレンス Vol.1 reload」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、合わせて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス

2.3.2 PIM-SM

PIM-SM の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-13 PIM-SM の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：MRP）

項番	メッセージテキスト	内容
1	IGMP: received packet too short (<len> bytes) for IP header	エラー（相手装置）
		IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<len>：受信サイズ
2	IGMP: received packet (<len1> bytes) from<source address> shorter than header + data length (<len2> + <len3> bytes)	エラー（相手装置）
		IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <len1>：受信サイズ <len2>：受信した IP ヘッダのサイズ <len3>：受信した IP パケットのデータサイズ
3	IGMP: received IP data field too short (<len> bytes) for IGMP header, from <source address>to <destination address>	エラー（相手装置）
		IGMP ヘッダ長（8）より小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<len>：受信した IP パケットのデータサイズ <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
4	IGMP: ignoring packet from <source address> to <destination address> - invalid igmp header checksum (data '<data>', length '<len>')	エラー（相手装置）
		IGMP ヘッダのチェックサムエラーによって、受信 IGMP パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <data>：IGMP 受信データの先頭 1 バイト（パケット種別）の内容 <len>：IGMP 受信データ長
5	IGMP: ignoring <packet> from <source address> to <destination address> - invalid group address '<group address>'	エラー（相手装置）
		パケット内のグループアドレスが不正のため、受信 IGMP パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Group Membership Report", "Group Leave Report" <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <group address>：受信グループアドレス
6	IGMP: Querier was changed on interface <interface name> - new querier <Querier IP address> (was <old Querier IP address>)	イベント（自装置）
		インタフェース上で、Querier ルータが変わりました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<interface name>：インタフェース名 <Querier IP address>：Querier IP アドレス <old Querier IP address>：前回の Querier IP アドレス
7	PIM: received packet too short (<len> bytes) for IP header	エラー（相手装置）
		IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<len>：受信サイズ
8	PIM: received packet (<len1> bytes) from<source address> shorter than header + data length (<len2> + <len3> bytes)	エラー（相手装置）
		IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <len1>：受信サイズ <len2>：受信した IP ヘッダのサイズ <len3>：受信した IP パケットのデータサイズ

項番	メッセージテキスト	内容
9	PIM: received IP data field too short (<len> bytes) for PIM header, from <source address> to<destination address>	エラー（相手装置）
		PIM ヘッダ長（4）より小さいパケットを受信しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を 調査してください。
		<len>：受信した IP パケットのデータサイズ <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス
10	PIM: ignoring packet from <source address> to <destination address> - invalid pim header checksum (data '<data>', length '<len>')	エラー（相手装置）
		PIM ヘッダのチェックサムエラーによって、受信 PIM パケットを無視 しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を 調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <data>：PIM 受信データの先頭バイト（パケット種別）の内容 <len>：PIM 受信データ長
11	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - packet too short (<len> bytes)	エラー（相手装置）
		パケットサイズが最小パケット長より小さいため、受信 PIM パケット を無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を 調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Register", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <len>：PIM 受信データ長

項番	メッセージテキスト	内容
12	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - invalid encoded unicast address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディングユニキャストアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <cause>：詳細要因 • address family '<value>'： アドレスファミリー <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>'： エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • source address '<address>'： 送信元 IP アドレス <address> が不正 • upstream neighbor address '<address>'： 上流隣接 IP アドレス <address> が不正 • BSR address '<address>'： BSR アドレス <address> が不正 • RP address '<address>'： ランデブーポイントアドレス <address> が不正
13	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - invalid encoded source address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディング送信元 IP アドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Join/Prune" <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <cause>：詳細要因 • address family '<value>'： アドレスファミリー <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>'： エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外）

項番	メッセージテキスト	内容
14	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> - invalid encoded group address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディンググループアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <cause>：詳細要因 - address family '<value>': アドレスファミリー <value> が不正（1 以外） - encoding type '<value>': エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） - mask length '<value>': グループマスク長 <value> が不正（4 以上 32 以下ではない） - group address '<address>': グループアドレス <address> が不正
15	PIM: ignoring Hello message from <source address> - invalid holdtime option length (<len>)	エラー（相手装置）
		Hello パケット内の holdtime オプション長が不正（2 以外）のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <len>：受信 holdtime オプション長
16	PIM: ignoring Hello message from <source address> - no holdtime option	エラー（相手装置）
		Hello パケット内に holdtime オプションがないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス
17	PIM: ignoring Register message from <source address> to <destination address> - invalid inner source address '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IP パケットの送信元 IP アドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <inner source address>：カプセル化内送信元 IP アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
18	PIM: ignoring Register message from <source address> to <destination address> - invalid inner group address '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IP パケットのグループアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IP マルチキャスト通信プログラムを調査してください。 カプセル化内グループアドレスが PIM-SSM の範囲に含まれる場合には、相手装置の PIM-SSM 設定を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <inner group address>：カプセル化内グループアドレス
19	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> to <destination address> - invalid hash mask length '<value>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内のハッシュマスク長が不正（33 以上）のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <destination address>：宛先 IP アドレス <value>：受信パケットに設定されたハッシュマスク長
20	PIM: BSR information was changed - lost BSR information	ワーニング（相手装置）
		Bootstrap ルータからの広告がなくなったため、BSR 情報をクリアしました。 [対応] Bootstrap ルータからの広告がなくなった要因を調査してください。
21	PIM: BSR information was changed - new BSR address <IP address>	イベント（自装置）
		BSR アドレスが変更されました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<IP address>：BSR アドレス BSR アドレスが本装置の場合は、IP アドレスの後に "(this system)" が表示されます。
22	PIM: started learning multicast routing entries due to a system change	イベント（自装置）
		待機系から運用系への系切替による、マルチキャストエントリ学習を開始しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
23	PIM: completed learning multicast routing entries after the system change	イベント（自装置）
		待機系から運用系への系切替による、マルチキャストエントリ学習が終了しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。

項番	メッセージテキスト	内容
24	PIM: Deleted Neighbor <neighbor address> with interface (<interface name>) because no Hello received recently	ワーニング（相手装置）
		隣接ルータから定期的に送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため、隣接関係を削除しました。隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置と隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [対応] 隣接ルータに異常がないことを確認してください。 異常がない場合、本装置の CPU 負荷が上がっていないか、次に示す運用コマンドで確認してください。 • show rm cpu • show cp cpu • show pru information
		<neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス <interface name>：インタフェース名称
25	PIM: Deleted Neighbor <neighbor address> with interface (<interface name>) because this system received Hello message with holdtime of zero	イベント（自装置）
		隣接ルータからホールドタイム値0の Hello パケットを受信したため、隣接関係を削除しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス <interface name>：インタフェース名称
26	PIM: Found Neighbor <neighbor address> with interface (<interface name>) - Generation ID is <GID>	イベント（相手装置）
		新たな隣接ルータを検出しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス <interface name>：インタフェース名称 <GID>：Generation ID（Generation ID が未サポートの場合は、"NONE" と表示します）
27	PIM: Deleted Neighbor <neighbor address> with interface (<interface name>) because error detected on the interface	イベント（相手装置）
		インタフェースに障害が発生したため、隣接関係を削除しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス <interface name>：インタフェース名称
28	PIM: Generation ID of Neighbor <neighbor address> changed from <old GID> to <new GID>	イベント（相手装置）
		隣接ルータの Generation ID が変化しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス <old GID>：変化前の Generation ID（隣接ルータが未サポートの場合は、"NONE" と表示します） <new GID>：変化後の Generation ID（隣接ルータが未サポートの場合は、"NONE" と表示します）

2.3.3 DVMRP

DVMRP の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-14 DVMRP の運用メッセージ・運用ログ (ログ種別: MRP)

項番	メッセージテキスト	内容
1	dvmrp_recv_prune: prune message truncated from neighbor <Neighbor>.	エラー (相手装置)
		近隣から受信した Prune メッセージはパケット長が短いため (39 以下) 削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム (DVMRP) を調査してください。
		<Neighbor>: 近隣の IP アドレス
2	dvmrp_recv_prune: warning: extra prune information from neighbor <Neighbor> source <source address> group <group address>.	エラー (相手装置)
		近隣から受信した Prune メッセージはパケット長が定格を超えているため (41 以上) 削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム (DVMRP) を調査してください。
		<Neighbor>: 近隣の IP アドレス <source address>: 送信元 IP アドレス <group address>: グループアドレス
3	dvmrp_recv_prune: no entry for source <source address> group <group address> from neighbor <Neighbor>.	ワーニング (相手装置)
		近隣から受信した Prune に対する (S,G) エントリは存在しません。 メッセージを無視します。 [対応] 頻発する場合は、相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム (DVMRP) を調査してください。
		<Neighbor>: 近隣の IP アドレス <source address>: 送信元 IP アドレス <group address>: グループアドレス
4	dvmrp_recv_prune: source <source address> group <group address> from non-dependent neighbor <Neighbor>.	ワーニング (相手装置)
		(S,G) の Prune を送信した近隣は従属でないのでメッセージを無視します。 [対応] 頻発する場合は、相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム (DVMRP) を調査してください。
		<Neighbor>: 近隣の IP アドレス <source address>: 送信元 IP アドレス <group address>: グループアドレス
5	dvmrp_recv_graft: graft message truncated from neighbor <Neighbor>.	エラー (相手装置)
		近隣から受信した Graft メッセージはパケット長が短いため (35 以下) 削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム (DVMRP) を調査してください。
		<Neighbor>: 近隣の IP アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
6	dvmrp_recv_graft: warning: extra graft information from neighbor <Neighbor> source <source address> group <group address>.	エラー（相手装置）
		近隣から受信した Graft メッセージはパケット長が定格を超えているため（37 以上）削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス <source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス
7	dvmrp_recv_graft: no entry for source <source address> group <group address> from neighbor <Neighbor>.	ワーニング（相手装置）
		近隣から受信した Graft に対する（S,G）エントリは存在しません。 メッセージを無視します。Graft_Ack は返します。 [対応] 頻発する場合は、相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス <source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス
8	dvmrp_recv_graft: received graft from unpruned neighbor <Neighbor>.	ワーニング（相手装置）
		削除されてない近隣から Graft メッセージを受信しました。メッセージを無視します。Graft_Ack は返します。 [対応] 頻発する場合は、相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス
9	dvmrp_recv_graftack: graft ack message truncated from neighbor <Neighbor>.	エラー（相手装置）
		近隣から受信した Graft_Ack メッセージはパケット長が短い（35 以下）削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス
10	dvmrp_recv_graftack: warning: extra graft ack information from neighbor <Neighbor> source <source address> group <group address>.	エラー（相手装置）
		近隣から受信した Graft_Ack メッセージはパケット長が定格を超えているため（37 以上）削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス <source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス

項番	メッセージテキスト	内容
11	dvmrp_recv_graftack: no entry for source <source address> group <group address> from neighbor <Neighbor>.	ワーニング（相手装置）
		近隣から受信した Graft_Ack に対する（S,G）エントリは存在しません。メッセージを無視します。 [対応] 頻発する場合は、相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <group address>：グループアドレス <Neighbor>：近隣の IP アドレス
12	dvmrp_recv_probe: generation id of neighbor <Neighbor> changed from <old GID> to <new GID>.	イベント（相手装置）
		近隣の GID が変化しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス <old GID>：変化前の GID <new GID>：変化後の GID
13	dvmrp_recv_report: ignoring route report before probe from neighbor <Neighbor>.	ワーニング（相手装置）
		近隣から Probe を受信する前に Report を受信しました。メッセージを無視します。 [対応] 頻発する場合は、相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス
14	dvmrp_recv_report: received truncated route report from neighbor <Neighbor>.	エラー（相手装置）
		近隣から受信した Report メッセージはパケット長が短いため削除しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス
15	dvmrp_recv_report: received bad mask from neighbor <Neighbor>.	エラー（相手装置）
		近隣から受信した Report メッセージに異常なマスクパターンが格納されていました。メッセージを無視します。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<Neighbor>：近隣の IP アドレス
16	dvmrp_recv_report: <source address>/<Mask> metric <Metric> out of range.	エラー（相手装置）
		近隣から受信した report メッセージに規定外のメトリック値（0 または 33 以上）を含んでいました。このエントリだけ無視します。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IP マルチキャストルーティングプログラム（DVMRP）を調査してください。
		<source address>：送信元 IP アドレス <Mask>：送信元 IP アドレスマスク <Metric>：メトリック値

2.4 IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6) 【OP-MLT】

2.4.1 IPv6 PIM-SM

IPv6 PIM-SM の運用ログを次の表に示します。

表 2-15 IPv6 PIM-SM の運用ログ (ログ種別：MR6)

項番	メッセージテキスト	内容
1	MLD: ignoring <packet> from <source address> - invalid scope <group address>	エラー (相手装置)
		MLD パケットに含まれるグループアドレスが不適切なスコープ (ノードローカル, リンクローカル) のため, MLD パケットを無視します。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<packet>: パケット種別 • "Multicast Listener Query", "Multicast Listener Report", "Multicast Listener Done", "MLDv2 Multicast Listener Report" <group address>: MLD グループアドレス <source address>: 送信元 IPv6 アドレス
2	MLD: ignoring <packet> from <source address> - message received from a non linklocal address	エラー (相手装置)
		非リンクローカルアドレスをソースに持つ MLD パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<packet>: パケット種別 • "Multicast Listener Query" <source address>: 送信元 IPv6 アドレス
3	MLD: Querier was changed on interface <Interface Name> - new querier <Querier IPv6 address> (was <old Querier IPv6 address>)	イベント (自装置)
		インタフェース上で, Querier ルータが変わりました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<Interface Name>: インタフェース名 <Querier IPv6 address>: Querier IPv6 アドレス • Querier IPv6 アドレスが本装置の場合は, "(this system)" を表示します。 <old Querier IPv6 address>: 前回の Querier IPv6 アドレス • 前回の Querier IPv6 アドレスが本装置の場合は, "(this system)" を表示します。

項番	メッセージテキスト	内容
4	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - packet too short (<len> bytes)	エラー（相手装置）
		パケットサイズが最小パケット長より小さいため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Hello", "Register", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>：送信元 IPv6 アドレス <len>：PIM 受信データ長
5	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - invalid encoded unicast address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディングユニキャストアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Hello", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>：送信元 IPv6 アドレス <cause>：詳細要因 • address family '<value>'： アドレスファミリー <value> が不正（2 以外） • encoding type '<value>'： エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • source address '<address>'： 送信元アドレス <address> が不正 • upstream neighbor address '<address>'： 上流隣接アドレス <address> が不正 • BSR address '<address>'： BSR アドレス <address> が不正 • RP address '<address>'： ランデブーポイントアドレス <address> が不正
6	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - invalid encoded source address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディングソースアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 • "Join/Prune" <source address>：送信元 IPv6 アドレス <cause>：詳細要因 • address family '<value>'： アドレスファミリー <value> が不正（2 以外） • encoding type '<value>'： エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外）

項番	メッセージテキスト	内容
7	PIM: ignoring <packet> message from <source address> - invalid encoded group address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディンググループアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<packet>：パケット種別 "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>：送信元 IPv6 アドレス <cause>：詳細要因 - address family '<value>': アドレスファミリー <value> が不正（2 以外） - encoding type '<value>': エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） - mask length '<value>': グループマスク長 <value> が不正（8 以上 128 以下でない） - group address '<address>': グループアドレス <address> が不正
8	PIM: ignoring Hello message from <source address> - invalid holdtime option length (<len>)	エラー（相手装置）
		Hello パケット内の holdtime オプション長が不正（2 以外）のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <len>：受信 holdtime オプション長
9	PIM: ignoring Hello message from <source address> - no holdtime option	エラー（相手装置）
		Hello パケット内に holdtime オプションがないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス
10	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner source address '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのソースアドレスが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <inner source address>：カプセル化内送信元アドレス

項番	メッセージテキスト	内容
11	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner source address scope '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットの送信元アドレスの スコープが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <inner source address>：カプセル化内送信元アドレス
12	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner group address '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのグループアドレ スが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <inner group address>：カプセル化内グループアドレス
13	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner group address scope '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのグループアドレ スのスコープが不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <inner group address>：カプセル化内グループアドレス
14	PIM: ignoring Register message from <source address> - invalid inner IP version '<version>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのバージョンが 6 ではないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを 調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <version>：カプセル化内 IP パケットバージョン
15	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> - invalid hash mask length '<value>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内のハッシュマスク長が不正（129 以上）のため、 受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <value>：受信パケットに設定されたハッシュマスク長

項番	メッセージテキスト	内容
16	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> - invalid BSR address <IPv6 Address>	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内の BSR アドレス不正のため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <IPv6 address>：BSR アドレス
17	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> - cannot find a route to the BSR (<IPv6 Address>)	ワーニング（自装置）
		Bootstrap パケット内の BSR アドレスへのユニキャスト経路が見つからないため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] Bootstrap パケット内の BSR アドレスへの経路が存在するか確認してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <IPv6 address>：BSR アドレス
18	PIM: ignoring Candidate-RP-Advertisement message from <source address> - non global address (<IPv6 Address>) as RP	エラー（相手装置）
		Candidate-RP-Advertisement パケット内に含まれるランデブーポイントアドレスが不正なため、受信 PIM パケットを無視しました。 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
		<source address>：送信元 IPv6 アドレス <IPv6 Address>：ランデブーポイントアドレス
19	PIM: BSR information was changed - lost BSR information	ワーニング（相手装置）
		Bootstrap ルータからの広告がなくなったため、BSR 情報をクリアしました。 [対応] Bootstrap ルータからの広告がなくなった要因を調査してください。
20	PIM: BSR information was changed - new BSR address <IPv6 address>	イベント（自装置）
		BSR アドレスが変更されました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<IPv6 address>：BSR アドレス BSR アドレスが本装置の場合は、IPv6 アドレスの後に "(this system)" が表示されます。
21	PIM: Add interface <Interface Name> to the output interface list of (S,G) = (<source address>, <group address>)	イベント（自装置）
		マルチキャスト中継エントリ (S,G) の出力インタフェースリストにインタフェース <Interface Name> を追加しました（本メッセージは syslog 専用イベント情報の出力が有効なときにだけ syslog インタフェースへ出力します。syslog 専用イベント情報は debug protocols ipv6-multicast コマンドで有効にできます）。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<Interface Name>：インタフェース名 <source address>：送信元 IPv6 アドレス <group address>：IPv6 グループアドレス

項番	メッセージテキスト	内容
22	PIM: Delete interface <Interface Name> from the output interface list of (S,G) = (<source address>, <group address>)	イベント（自装置）
		マルチキャスト中継エントリ（S,G）の出力インタフェースリストから インタフェース <Interface Name> を削除しました（本メッセージは syslog 専用イベント情報の出力が有効なときにだけ syslog インタ フェースへ出力します。syslog 専用イベント情報は debug protocols ipv6-multicast コマンドで有効にできます）。 [対応] 特に対応は必要ありません。
		<Interface Name>：インタフェース名 <source address>：送信元 IPv6 アドレス <group address>：IPv6 グループアドレス
23	PIM: started learning multicast routing entries due to a system change (learning time is about <Time> seconds)	イベント（自装置）
		待機系から運用系への系切替による、マルチキャストエントリ学習を 開始しました（学習時間は約 <Time> 秒です）。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <Time>：再学習時間
24	PIM: completed learning multicast routing entries after the system change	イベント（自装置）
		待機系から運用系への系切替による、マルチキャストエントリ学習が 終了しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。
25	PIM: Deleted Neighbor <neighbor address> because no Hello received recently	ワーニング（相手装置）
		隣接ルータから定期的に送信されるはずの Hello パケットを一定時間 受信しなかったため、隣接関係を削除しました。隣接ルータが動作を 停止した場合、または本装置と隣接ルータ間の通信に不具合がある場 合に発生します。 [対応] 隣接ルータに異常がないことを確認してください。 異常がない場合、本装置の CPU 負荷が上がっていないか、次に示す運 用コマンドで確認してください。 • show rm cpu • show cp cpu • show pru information
		<neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス
26	PIM: Deleted Neighbor <neighbor address> because this system received Hello message with holdtime of zero	イベント（自装置）
		隣接ルータからホールドタイム値 0 の Hello パケットを受信したため、 隣接関係を削除しました。 [対応] 特に対応は必要ありません。 <neighbor address>：隣接ルータの Neighbor アドレス

2.5 MPLS 情報 (MPL) 【OP-MPLS】

2.5.1 MPLS

MPLS の運用メッセージ・運用ログを次の表に示します。

表 2-16 MPLS の運用メッセージ・運用ログ（ログ種別：MPL）

項番	メッセージテキスト	内容
1	mpls: MPLS isn't supported by this PRU. Check the mpls configuration. (PRU : <PRUNo.>)	エラー
		次の PRU に MPLS 情報を定義できません。 [対応] PRU 種別を確認してください。
		<PRU No> : PRU 番号, または "-" (PRU 番号が不明の場合)
2	mpls: LDP started working because 'local-address' was defined.	情報
		local address 定義が追加されたため, MPLS プログラムを起動しました。 [対応] なし。
3	mpls: LDP stopped working because 'local-address' was deleted.	ワーニング
		local address 定義が削除されたため, MPLS プログラムを停止しました。 [対応] なし。
4	mpls: LDP restarted working because 'local-address' was modified.	ワーニング
		local address 定義が変更されたため, MPLS プログラムを再起動しました。 [対応] なし。
5	mpls: LDP can not work without 'local-address' configuration.	ワーニング
		local address 定義がないため, MPLS プログラムを起動できません。 [対応] local address を定義してください。
6	mpls_global_repair: interface down detected (interface <Interface Name>).	情報
		監視論理インタフェースの障害を検出しました。 [対応] なし。
		<Interface Name> : 監視論理インタフェース名
7	mpls_global_repair: repair failure for some LSP (ip address <IP Address>).	エラー
		Global Repair 機能による障害通知受信で, 一部の LSP が経路切替に失敗しました。 [対応] 運用コマンドで LSP 状態を確認して運用コマンドで切り替えてください。
		<IP Address> : 障害通知送信元 IP Address

項番	メッセージテキスト	内容
8	mpls_local_repair: repair executed (interface <Interface Name>).	情報
		LSP の出力インタフェースの障害を検出し、LSP の経路切替を実施します。 [対応] なし。
		<Interface Name> : 障害の発生したインタフェース名が表示されます。
9	mplsd stopped(code:<code>)	エラー
		MPLS デーモンが停止しました。 [対応] 停止要因が 0x001 の場合、搭載メモリを確認してください。停止要因が 0x002 の場合、BCU2 であることを確認してください。
		<code> : 停止要因 • 0x001 : BCU メモリ不足 • 0x002 : 未対応 BCU
10	mpls: LSP setup failed, because lack of label occurred.	エラー
		ラベルが不足したため、LSP 設定に失敗しました。 [対応] static_label_range コンフィグレーションおよび収容条件を見直した後に、restart mpls コマンドにより MPLS プログラムを再起動してください。
11	mpls_ldp_session: ldp session has become operational (ip address <IP Address> , peer <Peer Address>)	情報
		LDP セッションが確立しました。 [対応] なし。
		<IP Address> : 自 IP Address <Peer Address> : 接続先 IP Address

項番	メッセージテキスト	内容
12	mpls_ldp_session: ldp session has shut down (ip address <IP Address> , peer <Peer Address> : <Reason>(code:<code>))	情報／エラー LDP のセッションが切断されました。 [対応] 切断理由によって対応が異なります。 • Configuration changed or unsupported hardware : コンフィグレーション, BCU, PRU, NIF 種別を確認してください。 • Hello expired : Hello タイマのタイムアウト • Keepalive expired : Keepalive タイマのタイムアウト 回線, インタフェース, 対向装置との通信状態を確認してください。 • Illegal message received : 不正なメッセージを受信 対向装置を確認してください。 • Notification message received : LDP Notification メッセージを受信 <code>を確認して, 対向または自 LDP プログラムの状態を調査してください。 • Unknown : その他 上記以外の場合です。 回線, インタフェース, 対向装置との通信状態を確認してください。 <IP Address> : 自 IP Address <Peer Address> : 接続先 IP Address <Reason> : 切断理由 • Configuration changed or unsupported hardware : コンフィグレーションが変更されたか, MPLS 未対応のハードウェアを使用している • Hello expired : Hello タイマのタイムアウト • Keepalive expired : Keepalive タイマのタイムアウト • Illegal message received : 不正なメッセージを受信 • Notification message received : LDP Notification メッセージを受信 • Unknown : その他 <code> : LDP Notification メッセージのコード (Notification message received の場合は, 受信コード。 Notification message received 以外の場合は, 送信コード) • 0x80000001 : LDP ID 不正 • 0x80000002 : LDP のプロトコルバージョン不正 • 0x80000003 : PDU 長不正 • 0x80000005 : メッセージ長不正 • 0x80000007 : TLV 長不正 • 0x80000008 : TLV の値不正 • 0x80000009 : Hello タイマのタイムアウト • 0x8000000A : シャットダウン要求 • 0x80000010 : LDP 設定時に接続先とのパラメータ不整合発生 (Hello) • 0x80000011 : LDP 設定時に接続先とのパラメータ不整合発生 (ラベル広告モード) • 0x80000012 : LDP 設定時に接続先とのパラメータ不整合発生 (最大 PDU 長) • 0x80000013 : LDP 設定時に接続先とのパラメータ不整合発生 (ラベル範囲外) • 0x80000014 : Keepalive タイマのタイムアウト • 0x80000018 : Keepalive のタイマ不正 • 0x80000019 : 内部エラー

3

装置関連の障害およびイベント情報

この章では、装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明します。装置関連の障害およびイベント情報は、すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって、イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると、指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

3.1 コンフィグレーション

3.2 アクセス

3.3 プロトコル

3.4 装置の各部位

3.5 回線

3.6 オプション機構

3.7 基本制御機構

3.8 パケットルーティング機構

3.9 ネットワークインタフェース機構・イーサネット

3.10 ネットワークインタフェース機構・POS

3.1 コンフィグレーション

3.1.1 イベント発生部位 = CONFIG

イベント発生部位 = CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-1 イベント発生部位 = CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	CONFIG	00010005	0100	There is mismatch between active and standby configuration.
運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルが異なります。 [対応] コンフィグレーションを変更した場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 上記以外の場合、copy startup-config コマンドを使用し、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。					
2	E3	CONFIG	00010006	0100	Active and standby configuration is identical.
運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルが一致しました。 [対応] なし。					
3	E3	CONFIG	00010007	0100	Simplex mode is selected. Therefore, it is ignored mismatch between active and standby configuration.
一重化モードになりました。したがって運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルの不一致を無視します。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。					
4	E3	CONFIG	00030001	0100	This system restarted due to the change in the timezone configuration.
タイムゾーンのコンフィグレーションが変更されたことによって、本装置は再起動しました。 [対応] なし。					
5	E3	CONFIG	00030002	0100	"Configure" is already exit due to BCU changed from active to standby.
運用系から待機系に系切替したため、コンフィグレーションの編集を終了しました。 [対応] なし。					
6	E3	CONFIG	00030003	0100	Compiling of the configuration file is possible.
コンフィグレーションが編集可能になりました。 [対応] なし。					
7	E3	CONFIG	00030004	0100	Synchronization started due to the inconsistency in the configuration file between active BCU and standby BCU.
運用系と待機系の間のコンフィグレーションが不一致のために同期をとります。 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
8	E3	CONFIG	00030005	0100	Synchronization succeeded between active BCU and standby BCU.
					運用系と待機系でコンフィグレーションの同期が取れました。 [対応] なし。
9	E3	CONFIG	00030006	0100	Configuration data was successfully modified. Configuration data do not modified to standby BCU because standby BCU is not ready.
					運用系のコンフィグレーションを編集しました。ただし、待機系 BCU が立ち上がっていないため、待機系のコンフィグレーションの反映は行っていない。 [対応] 待機系を立ち上げた後に、コンフィグレーションコマンドの save (write) を使用して運用系のコンフィグレーションと待機系のコンフィグレーションを一致させてください。
10	E3	CONFIG	00030007	0100	Synchronization failed between active BCU and standby BCU.
					運用系と待機系でコンフィグレーションの同期に失敗しました。 [対応] 1. 運用系と待機系のバージョンが不一致でないか show system コマンドを使用して確認してください。 2. 運用系と待機系のバージョンが不一致の場合は、reload コマンドを使用して待機系を再起動させてください。 3. 運用系と待機系のバージョンが一致している場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) を使用して運用系のコンフィグレーションと待機系のコンフィグレーションを一致させてください。
11	E3	CONFIG	00040001	0100	SSH is defined in configuration file for SSH by the state where it does not install.
					SSH が未インストール状態で、SSH のコンフィグレーションが定義されています。 [対応] なし。
12	E3	CONFIG	00050001	0100	BGP4 or BGP4+ information defined by the configuration file is ignored, since BGP4 or BGP4+ function license is not given.
					スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された BGP4 または BGP4+ 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] BGP4 または BGP4+ ライセンスが設定されていません。BGP4 または BGP4+ 機能を使用する場合は、BGP ライセンスを設定してください。
13	E3	CONFIG	00050002	0100	Multicast information defined by the configuration file is ignored, since multicast function license is not given.
					スタートアップコンフィグレーションファイルで定義されたマルチキャスト情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] マルチキャストライセンスが設定されていません。マルチキャスト機能を使用する場合は、マルチキャストライセンスを設定してください。
14	E3	CONFIG	00050003	0100	IS-IS information defined by the configuration file is ignored, since IS-IS function license is not given.
					スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された IS-IS 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] IS-IS ライセンスが設定されていません。IS-IS 機能を使用する場合は、IS-IS ライセンスを設定してください。

3.1 コンフィグレーション

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
15	E3	CONFIG	00050005	0100	Retrieval_mode_2 of flow configuration defined by the configuration file is ignored, since retrieval_mode_2 license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された flow コンフィグレーションの retrieval_mode_2 はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] フィルタリング機能および QoS 制御にて、フロー検出条件モード 2 (retrieval_mode_2) を使用するライセンスが設定されていません。フロー検出条件モード 2 (retrieval_mode_2) を使用する場合は、Flow エントリ 64K 拡張ライセンスを設定してください。					
16	E3	CONFIG	00050006	0100	NetFlow version9 information defined by the configuration file is ignored, since NetFlow version9 function license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された NetFlow Version9 情報は、ライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] ADV ライセンスが設定されていません。ADV 機能を使用する場合は、ADV ライセンスを設定してください。					
17	E3	CONFIG	00050007	0100	MPLS and/or VPN information defined by the configuration file is ignored, since MPLS and/or VPN function license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された MPLS 情報または VPN 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] MPLS または VPN が設定されていません。MPLS 機能または VPN 機能を使用する場合は、MPLS ライセンスを設定してください。					
18	E3	CONFIG	00050009	0100	BFD information defined by the configuration file is ignored, since BFD function license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された BFD 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] BFD ライセンスが設定されていません。BFD 機能を使用する場合は、BFD ライセンスを設定してください。					
19	E3	CONFIG	0005000a	0100	Retrieval_entry_partition of flow configuration defined by the configuration file is ignored, since retrieval_entry_partition license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された flow コンフィグレーションの retrieval_entry_partition はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] フィルタリング機能および QoS 制御で、フロー検出エントリ分配 (retrieval_entry_partition) を使用するライセンスが設定されていません。フロー検出エントリ分配 (retrieval_entry_partition) を使用する場合は、Flow エントリ 64K 拡張ライセンスを設定してください。					
20	E3	CONFIG	0005000b	0100	Rp-address of candidate-bsr configuration defined by the configuration file is ignored, since rp-address license is not given.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された candidate-bsr コンフィグレーションの rp-address はライセンスが与えられていないため無効となります。 [対応] BSR 候補で、ランデブーポイント候補指定機能 (pim sparse candidate-bsr rp-address) を使用するライセンスが設定されていません。ランデブーポイント候補指定機能 (rp-address) を使用する場合は、ランデブーポイント候補指定機能ライセンスを設定してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
21	E3	CONFIG	01a00723	0180	PRU defined in the configuration file not found. Check whether PRU board mounted.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された Line 情報に PRU ボードが実装されていません。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルの Line 情報の NIF 番号と、PRU ボードの実装状態との対応を確認してください。					
22	E3	CONFIG	90305000	0140	A kind of NIF unmatched between the configuration file and mounted NIF board. Check mounted NIF board and the configuration file.
実装された NIF ボードの種別がスタートアップコンフィグレーションファイルで定義された Line 情報と異なっています。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された Line 情報と実装している NIF ボードの種別を確認し、NIF ボードを交換するか、Line 情報を変更してください。Line 情報と NIF ボードの実装との関係は、「運用ガイド 5.5 ボードの実装状態を確認する」を参照してください。同 NIF の未定義の回線に Line 情報の追加を行う場合は、誤っている Line 情報の削除を行った後に追加を行うようにしてください。NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
23	E3	CONFIG	90305001	0140	Line number specified in the configuration file is not found on the mounted NIF. Replace NIF or change line number defined in the configuration file.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された Line 情報の Line 番号は該当 NIF ボード上にありません。 [対応] NIF ボードを交換するか、コンフィグレーションの Line 情報の Line 番号を変更してください。NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
24	E3	CONFIG	90305002	0140	NIF defined in the configuration file not found. Check whether NIF board mounted.
スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された Line 情報に対応する NIF ボードが実装されていません。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルで定義された Line 情報に対応する NIF ボードが実装されているか確認してください。Line 番号と NIF ボードの実装との関係については、「運用ガイド 5.5 ボードの実装状態を確認する」を参照してください。					
25	E3	CONFIG	90305003	0140	The interface_mode parameter specified in the system configuration cannot be used for the mounted NIF. Change the interface_mode parameter defined in the system configuration.
system コンフィグレーションで定義された interface_mode パラメータではこの NIF は使用できません。 [対応] 実装している NIF ボードに対応した interface_mode パラメータに変更してください。interface_mode パラメータと NIF ボードの実装との関係については、AX7800R の場合には「解説書 Vol.1 3.2.1(5) インタフェース数」、AX7700R の場合には「解説書 Vol.1 3.2.2(5) インタフェース数」を参照してください。					

3.1 コンフィグレーション

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
26	E5	CONFIG	00010001	0100	BCU swap suppressed temporarily. There is mismatch between active and standby configuration.
					運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルが異なっているため、一時的に切り替え機能を抑止しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] コンフィグレーションを変更した場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 上記以外の場合、copy startup-config コマンドを使用し、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。
27	E5	CONFIG	0001000b	0100	There is mismatch between active and standby configuration.
					高可用性モード運用中に、運用系と待機系のランニングコンフィグレーションの不一致が発生しました。それ以降のオンラインコンフィグレーション変更が実行できなくなります。 [対応] コンフィグレーションコマンドの save (write) を実行し、運用系と待機系のランニングコンフィグレーションを一致させてください。
28	E8	CONFIG	00000001	0100	This system using the cached configuration(<Error>).
					スタートアップコンフィグレーションファイルがない、または内容に誤りがあるため、スタートアップコンフィグレーションファイルを使用しないで、一時保存コンフィグレーションファイル (/config.cache/cache.cnf) を使用して運用しています。<Error> に誤りの内容を表示しています。 [対応] copy backup-config コマンドを使用し、一時保存コンフィグレーションファイル (/config.cache/cache.cnf) をスタートアップコンフィグレーションファイルにコピーしてください。コピー後コンフィグレーションの内容を確認して誤りがあれば編集してください。
29	E8	CONFIG	00000002	0100	This system is using the cached configuration file because the size of the current configuration file exceeds its memory capacity.
					スタートアップコンフィグレーションファイルのファイルサイズがコンフィグレーションファイル格納用メモリの上限を超えたため、一時保存コンフィグレーションファイル (/config.cache/cache.cnf) を使用して運用しています。 [対応] 1. copy backup-config コマンドを使用し、一時保存コンフィグレーションファイル (/config.cache/cache.cnf) をスタートアップコンフィグレーションファイルへ入れ替えてください。コピー後コンフィグレーションの内容を確認し誤りがあれば編集してください。 2. BCU ボードのメモリボードが抜去された可能性があります。BCU ボードのメモリ量をチェックしてください。
30	E8	CONFIG	00000101	0100	This system using the default configuration(<Error>).
					一時保存コンフィグレーションファイルがない、または内容に誤りがあるため、一時保存コンフィグレーションファイルを使用しないで、初期導入時 (コンフィグレーション未設定の状態) のコンフィグレーションで運用しています。<Error> に誤りの内容を表示しています。 [対応] 1. copy backup-config コマンドを使用し、ホームディレクトリなどに待避してあるバックアップコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルにコピーしてください。 2. コンフィグレーションファイルを待避していない場合は、新しくバックアップコンフィグレーションファイルを作成してください。作成後 copy backup-config コマンドを使用して作成したコンフィグレーションをスタートアップコンフィグレーションファイルへ入れ替えてください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
31	E8	CONFIG	00000102	0100	This system is using the default configuration file because the size of the cached configuration file exceeds its memory capacity.
一時保存コンフィグレーションファイルのファイルサイズがコンフィグレーションファイル格納用メモリの上限を超えたため、初期導入時のコンフィグレーション（コンフィグレーション未設定の状態）で運用しています。 [対応] - copy backup-config コマンドを使用し、ホームディレクトリなどに待避してあるバックアップコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルにコピーしてください。 - コンフィグレーションファイルを待避していない場合は、新しくバックアップコンフィグレーションファイルを作成してください。作成後 copy backup-config コマンドを使用して作成したコンフィグレーションをスタートアップコンフィグレーションファイルへ入れ替えてください。 - BCU ボードのメモリボードが抜去された可能性があります。BCU ボードのメモリ量をチェックしてください。					
32	E8	CONFIG	00010002	0100	BCU swap suppressed temporarily. There is mismatch between active and standby configuration.
運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルが異なっているため、一時的に系切替機能を抑止しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] コンフィグレーションを変更した場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 上記以外の場合は、copy startup-config コマンドを使用し、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なお、コンソールは運用系の RM に接続しログインしてください。					
33	R5	CONFIG	00010001	0100	BCU swap suppression canceled. Active and standby configuration is identical.
運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルが一致したため、系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します)。 [対応] なし。					
34	R5	CONFIG	00010003	0100	Simplex mode is selected. Therefore, it is ignored mismatch between active and standby configuration.
一重化モードになりました。したがって運用系と待機系のスタートアップコンフィグレーションファイルの不一致を無視します。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。					
35	R5	CONFIG	00010004	0100	BCU swap suppression by mismatch of configuration canceled.
スタートアップコンフィグレーションファイルの不一致による系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。					
36	R5	CONFIG	0001000b	0100	Active and standby configuration is identical.
運用系と待機系のランニングコンフィグレーションが一致しました。 [対応] なし。					

3.1 コンフィグレーション

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
37	R8	CONFIG	00000001 00000002 00000101 00000102	0100	Configuration file replaced to the correct one with the copy command. This system runs on the correct one.
38	R8	CONFIG	00010002	0100	BCU swap suppression canceled. Active and standby configuration is identical.
39	R8	CONFIG	00010008	0100	BCU swap suppression by mismatch of configuration canceled.

3.2 アクセス

3.2.1 イベント発生部位 = ACCESS

イベント発生部位 = ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-2 イベント発生部位 = ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	ACCESS	00000001	0201 0202 0205	Unknown host address <IP-address>.
ftp, telnet または rlogin で接続しようとしたますが、<IP-address> からの接続を許可しませんでした。 <IP-address> は IP アドレス、または IPv6 アドレスです。 [対応] 1. 本装置に対して不正なアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセス）が行われた可能性があります。IP アドレスまたは IPV6 アドレスが<IP-address> のリモートホストをチェックしてください。 2. <IP-address> からのリモートアクセスを許可している場合はコンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションをチェックしてください。 3. <IP-address> からのリモートアクセスを許可したい場合はコンフィグレーションでアクセス許可の指定を行ってください。					
2	E3	ACCESS	00000002	0201 0202 0205	Login incorrect <UserName>.
<UserName> のアカウントでログインしようとしたますが、ログインを許可しませんでした。 [対応] 1. 本装置に対してコンソールまたはコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセス（アカウント、パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。コンソールまたはコンフィグレーションで許可したリモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。					
3	E3	ACCESS	00010001	0204	SNMP agent program received packet from <ip-address> with unexpected community name <CommunityName>.
SNMP エージェントは、<ip-address> から、期待していないコミュニティ名 <CommunityName> のパケットを受信しました。 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャ以外からアクセスが行われました。このメッセージは、SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名がコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名と一致していない場合に出力します。本装置にアクセスする SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名が<IP-address> と<CommunityName> に一致しているか確認してください。一致していない場合、不正なアクセスが行われている可能性があります。<IP-address> の SNMP マネージャに対して、アクセスしないよう SNMP マネージャの管理者に連絡してください。 2. <IP-address> と<CommunityName> が正しい場合、コンフィグレーションを正しく設定していない可能性があります。SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名が正しくコンフィグレーションに設定してあるか確認してください。正しく設定されていない場合は、SNMP マネージャの設定を行ってください。 3. 本装置では不正な IP アドレスまたはコミュニティからのアクセスに対して、連続する運用ログの出力を抑止しています。最大 16 個の不正アクセス IP アドレス情報を保持していて、保持されている IP アドレスからの不正アクセスログは 128 回に 1 回出力します。					

3.2 アクセス

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
4	E3	ACCESS	00020001	0206	Login incorrect <User Name> for AUX port.
					<User Name> のアカウントで AUX ポート経由の PPP リンクを確立しようとしたが、許可しませんでした。 [対応] - AUX ポートに対する PPP アクセス時に、不正なアクセス（アカウント、パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。 - このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されても運用状況に問題がない場合もあります。
5	E3	ACCESS	00020002	0206	AUX port no Configuration.
					AUX ポートのコンフィグレーションが未定義のため、AUX ポート経由のリンクを確立できませんでした。 [対応] AUX ポートに関するコンフィグレーションを確認してください。
6	E3	ACCESS	00030001	0201 0202 0205	Local authentication succeeded.
					ユーザからのログイン要求に対し、ローカル認証を行い認証に成功しました。 [対応] なし。
7	E3	ACCESS	00030002	0201 0202 0205	Local authentication failed.
					ユーザからのログイン要求に対し、ローカル認証を行い認証に失敗しました。 [対応] - 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 - このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。
8	E3	ACCESS	00030003	0201 0202 0205	RADIUS authentication accepted from <host>.
					ユーザからのログイン要求に対し、RADIUS 認証を行い認証に成功しました（<host>：RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名）。 [対応] なし。
9	E3	ACCESS	00030004	0201 0202 0205	RADIUS authentication rejected from <host>. "<message>"
					ユーザからのログイン要求に対し RADIUS 認証を行いました。RADIUS サーバによって否認されました（<host>：RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名、<message>：RADIUS サーバからの応答メッセージ）。 [対応] - 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 - このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 - RADIUS サーバの設定を確認してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
10	E3	ACCESS	00030005	0201 0202 0205	RADIUS server (<host>) didn't response.
ユーザからのログイン要求に対し RADIUS 認証を行おうとしましたが、RADIUS サーバが応答を返しませんでした (<host>: RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名)。 [対応] 1. RADIUS サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. RADIUS サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバが起動していることを確認してください。 4. RADIUS サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。					
11	E3	ACCESS	00030006	0201 0202 0205	RADIUS server configuration not defined.
ユーザからのログイン要求に対し RADIUS 認証を行おうとしましたが、RADIUS サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [対応] 1. RADIUS コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. radius コマンドでパラメータ no を指定し、RADIUS サーバのコンフィグレーションが抑止されていないか確認してください。					
12	E3	ACCESS	00030007	0201 0202 0205	Invalid response received from <host>.
ユーザからのログイン要求に対し RADIUS/TACACS+ 認証を行いました。RADIUS/TACACS+ サーバからの応答が不正でした (<host>: RADIUS/TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名)。 [対応] RADIUS/TACACS+ 鍵が本装置と RADIUS/TACACS+ サーバ間で一致していることを確認してください。					
13	E3	ACCESS	00030008	0201 0202 0205	RADIUS authentication failed.
ユーザからのログイン要求に対し、RADIUS 認証を行い認証に失敗しました。 [対応] その他に RADIUS 認証に関する運用ログが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。					
14	E3	ACCESS	0003000a	0201 0202 0205	Can't communicate with RADIUS server (<host>).
RADIUS サーバと通信できません (<host>: RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名)。 [対応] 1. RADIUS サーバまでの経路があることを確認してください。 2. RADIUS サーバをホスト名で指定している場合は、名前解決ができることを確認してください。					
15	E3	ACCESS	0003000b	0201 0202	RADIUS authorization response with no contents.
RADIUS コマンド承認を行いました。RADIUS サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [対応] RADIUS サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に Class,ALAXALA-Allow-Commands,ALAXALA-Deny-Commands が正しく設定されていることを確認してください。					

3.2 アクセス

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
16	E3	ACCESS	00030013	0201 0202 0205	TACACS+ authentication accepted from <host>.
					ユーザからのログイン要求に対し、TACACS+ 認証を行い認証に成功しました（<host>：TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名）。 [対応] なし。
17	E3	ACCESS	00030014	0201 0202 0205	TACACS+ authentication rejected from <host>.
					ユーザからのログイン要求に対し、TACACS+ 認証を行いましたが、TACACS+ サーバにより否認されました（<host>：TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名）。 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. 本ログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって本ログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. TACACS+ サーバの設定を確認してください。
18	E3	ACCESS	00030015	0201 0202 0205	TACACS+ server (<host>) didn't response.
					ユーザからのログイン要求に対し TACACS+ 認証、コマンド承認（TACACS+ コンフィグレーションでコマンド承認指定ありの場合）を行おうとしましたが、TACACS+ サーバが応答を返しませんでした（<host>：TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名）。 [対応] 1. TACACS+ サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。
19	E3	ACCESS	00030016	0201 0202 0205	TACACS+ server configuration is not defined.
					ユーザからのログイン要求に対し TACACS+ 認証を行おうとしましたが、TACACS+ サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [対応] 1. TACACS+ コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド tacacs+ に no パラメータを指定したことにより、TACACS+ サーバのコンフィグレーションが抑止されていないか確認してください。
20	E3	ACCESS	00030018	0201 0202 0205	TACACS+ authentication failed.
					ユーザからのログイン要求に対し、TACACS+ 認証を行い認証に失敗しました。 [対応] 他に TACACS+ 認証に関する運用ログが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
21	E3	ACCESS	0003001a	0201 0202 0205	Can't communicate with TACACS+ server (<host>).
TACACS+ サーバと通信できません (<host> : TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名)。 [対応] 1. TACACS+ サーバまでの経路があることを確認してください。 2. TACACS+ サーバをホスト名で指定している場合は、名前解決ができることを確認してください。 3. TACACS+ サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 4. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。 5. TACACS+ サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。					
22	E3	ACCESS	0003001b	0201 0202	TACACS+ authorization response with no contents.
TACACS+ コマンド承認を行いました、TACACS+ サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [対応] TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に class,allow-commands,deny-commands が正しく設定してあることを確認してください。					
23	E3	ACCESS	0003001c	0201 0202 0205	TACACS+ authorization rejected from <host>.
TACACS+ コマンド承認を行いました、TACACS+ サーバにより否認されました (<host> : TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名)。 [対応] 1. TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）の service 名が正しいことを確認してください。 2. TACACS+ サーバ側でエラーが発生していないことを確認してください。					
24	E3	ACCESS	0003001d	0201 0202	Local authorization response with no contents.
ローカルコマンド承認を行いました、ユーザ名とそれに対応したコマンドクラスまたはコマンドリストの設定がありませんでした。 [対応] ローカルログインで認証されたユーザに、コマンドクラス (login user class) またはコマンドリスト (login user allow-commands, login user deny-commands) が正しく設定されていることを確認してください。					

3.3 プロトコル

3.3.1 イベント発生部位 = PPP

イベント発生部位 =PPP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-3 イベント発生部位 =PPP の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E4	PPP	a5010001	0350	Peer system refused the LCP protocol. Check the peer's PPP implementation and configuration.
相手装置が LCP プロトコルの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコルの実装と設定を確認してください。					
2	E4	PPP	a5010002	0350	Peer system made no response to this system's LCP-Request packet. Check the interface cable connection and the peer's status/ CRC length.
LCP のリンク設定要求フレーム送信に対する相手装置の応答がありません。 [対応] 1. 相手装置側のケーブル接続が正しいかを確認してください。 2. 相手装置の状態を確認し、立ち上げが完了しているかを確認してください。 3. 相手装置の CRC 長を確認してください。 4. 相手装置のスクランブル設定を確認してください。					
3	E4	PPP	a5010003	0350	PPP connection reset due to the peer system's Configure-Request packet.
オープン中リンクで相手装置から Configure-Request を受信してリンクがリセットしました。相手装置の再立ち上げなどによってリンクが再設定されます。 [対応] なし。					
4	E4	PPP	a5010004	0350	Failed in establishing the PPP connection due to the LCP Configuration Option negotiation loop. Check the PPP configuration of both this system and the peer system.
LCP Configuration Option の調停に失敗したため、PPP リンクを確立できませんでした。 [対応] 本装置と相手装置の PPP コンフィグレーションを確認してください。					
5	E4	PPP	a5010005	0350	Illegal LCP packet received.
オープン中リンクで不正な LCP パケットを受信しました。 [対応] LCP リンクは自動的に再設定されるため、特に対応の必要はありません。					
6	E4	PPP	a5010006	0350	PPP connection terminated at the peer system's request. Make sure that the connection of the peer system is open if needed.
相手装置からの要求でリンクが切断されました。 [対応] 通信を継続する必要がある場合は、相手装置を通信可能な状態にしてください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
7	E4	PPP	a5010007	0350	Peer system refused the LCP control packet. Check the peer's PPP implementation and configuration.
相手装置が LCP 制御パケットの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコルの実装と設定を確認してください。					
8	E4	PPP	a5010008	0350	PPP link established.
PPP リンクが確立しました。 [対応] なし。					
9	E4	PPP	a5010009	0350	Link quality problem detected with Link Quality Monitoring. Check the interface cable connection or line status.
リンク品質監視によってリンク品質の低下を検出しました。 [対応] ケーブルの接続がしっかりと行われているか、該当回線の状態を確認ください。確認方法の詳細については「運用ガイド 8.4 ネットワークインタフェースの通信障害」を参照ください。 系切替が発生すると一時的に相手装置からのリンク品質監視パケット（Echo-Request）の応答ができない場合があります。それによって、相手装置がリンク品質の低下を検出し、リンク切断を行うことがあります。系切替によるリンク切断を起こさないようにするために、下記の対応 1. または、2. を実施してください。 1. リンク品質監視の感度を鈍くする。 PPP のリンク品質監視の感度を鈍くします。コンフィグレーションコマンド ppp の品質監視試行回数（echo_trial_times）に対する品質監視成功回数（echo_success_times）が相対的に小さくなるように設定してください。 2. リンク品質監視を停止する。 PPP のリンク品質監視の実行を停止します。コンフィグレーションコマンド ppp の品質監視実行間隔（echo_interval）を 0 に設定してください。					
10	E4	PPP	a501000a	0350	Loop detected by PPP packet. Check the network configuration.
PPP パケットのループを検出しました。 [対応] パケットがループするようなネットワーク構成になっていないか見直してください。					
11	E4	PPP	a501000b	0350	Unknown protocol packet received. Check the protocol supported on this system and the peer system individually.
相手装置から、本装置が認識できないプロトコルでの通信を要求しています。 [対応] 本装置と相手装置でのサポートプロトコルを確認してください。					
12	E4	PPP	a5010101	0350	Peer system refused the IPCP protocol. Check the peer's IP configuration.
相手装置が IPCP プロトコルの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の IP 定義が有効になっていないと思われます。相手装置に正しく IP 定義をしてください。					
13	E4	PPP	a5010102	0350	Peer system made no response to this system's IPCP-Request packet. Check the interface cable connection and the peer's status/IP support.
IPCP のリンク設定要求フレーム送信に対する相手装置の応答がありません。 [対応] 1. 相手装置側のケーブル接続が正しいかを確認してください。 2. 相手装置の状態を確認し、立ち上げが完了しているかを確認してください。 3. 相手装置の IP プロトコルのサポート状態を確認してください。					

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
14	E4	PPP	a5010103	0350	IPCP connection reset due to the peer system's Configure-Request packet.
オープン中リンクで Configure-Request パケットを受信したので IPCP リンクをリセットしました。何らかの理由で相手装置が IPCP をリセットしたため、IPCP リンクが再設定動作に入ったことを示します。 [対応] なし。					
15	E4	PPP	a5010104	0350	Failed in establishing the IPCP connection due to the IPCP Configuration Option negotiation loop. Check the IPCP configuration of both this system and the peer system.
IPCP Configuration Option の調停に失敗したため、IPCP リンクを確立できませんでした。 [対応] 本装置と相手装置の IPCP コンフィグレーションを確認してください。					
16	E4	PPP	a5010105	0350	Illegal IPCP packet received. Check the peer system's PPP implementation and configuration.
オープン中リンクで IPCP パケットを受信しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコルの実装と設定を確認してください。					
17	E4	PPP	a5010106	0350	IPCP connection terminated at the peer system's request. Make sure that the connection of the peer system is open if needed.
相手装置からの要求で IPCP リンクが切断されました。 [対応] IP 通信を行う必要がある場合、相手装置の IPCP を通信可能な状態にしてください。					
18	E4	PPP	a5010107	0350	Peer system refused the IPCP control packet. Check the peer's PPP implementation and configuration.
相手装置が IPCP 制御パケットの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコルの仕様を確認してください。					
19	E4	PPP	a5010201	0350	Peer system refused the IPV6CP protocol. Check the peer's IPV6CP configuration.
相手装置が IPCP 制御パケットの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコルの仕様を確認してください。					
20	E4	PPP	a5010202	0350	Peer system made no response to this system's IPV6CP-Request packet. Check the interface cable connection and the peer's status/IPv6 support.
IPV6CP のリンク設定要求フレーム送信に対する相手装置の応答がありません。 [対応] 1. 相手装置側のケーブル接続が正しいかを確認してください。 2. 相手装置の状態を確認し、立ち上げが完了しているかを確認してください。 3. 相手装置の IPv6 プロトコルのサポート状態を確認してください。					
21	E4	PPP	a5010203	0350	IPV6CP connection reset due to the peer system's Configure-Request packet.
オープン中リンクで IPV6CP の Configure-Request パケットを受信したので IPV6CP リンクをリセットしました。何らかの理由で相手装置が IPV6CP をリセットしたため、IPV6CP リンクが再設定動作に入ったことを示します。 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
22	E4	PPP	a5010204	0350	Failed in establishing the IPV6CP connection due to the IPV6CP Configuration Option negotiation loop. Check the IPV6CP configuration of both this system and the peer system.
IPV6CP ネゴシエーションループによって IPV6CP リンク確立できませんでした。 [対応] 本装置と相手装置の IPV6CP コンフィグレーションを確認してください。					
23	E4	PPP	a5010205	0350	Illegal IPV6CP packet received. Check the peer system's PPP implementation.
オープン中リンクで IPV6CP パケットを受信しました。 [対応] 相手装置側の PPP プロトコルの実装を確認してください。					
24	E4	PPP	a5010206	0350	IPV6CP connection terminated at the peer system's request. Make sure that the connection of the peer system is open if needed.
相手装置からの要求で IPV6CP リンクが切断されました。 [対応] IPv6 通信を行う必要がある場合、相手装置の IPV6CP を通信可能な状態にしてください。					
25	E4	PPP	a5010207	0350	Peer system refused the IPV6CP control packet. Check the peer's PPP implementation and configuration.
相手装置が IPV6CP 制御パケットの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコル仕様を確認してください。					
26	E4	PPP	a5010301	0350	Peer system refused the OSINLCP protocol. Check the peer's OSI configuration.
相手装置が OSINLCP プロトコルの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の OSI 定義が有効になっていないと思われます。相手装置の OSI 定義を確認してください。					
27	E4	PPP	a5010302	0350	Peer system made no response to this system's OSINLCP-Request packet. Check the interface cable connection and the peer's status/OSI support.
OSINLCP のリンク設定要求フレーム送信に対する相手装置の応答がありません。 [対応] 相手装置側のケーブル接続が正しいかを確認してください。相手装置の状態を確認し、立ち上げが完了しているかを確認してください。相手装置の OSI プロトコルのサポート状態を確認してください。					
28	E4	PPP	a5010303	0350	OSINLCP connection reset due to the peer system's Configure-Request packet.
オープン中リンクで OSINLCP の Configure-Request パケットを受信したため、OSINLCP リンクをリセットしました。何かの理由で相手装置が OSINLCP をリセットしたため、OSINLCP リンクが再設定動作に入ったことを示します。 [対応] なし。					
29	E4	PPP	a5010304	0350	Failed in establishing the OSINLCP connection due to the OSINLCP Configuration Option negotiation loop. Check the OSINLCP configuration of both this system and the peer system.
OSINLCP ネゴシエーションループによって OSINLCP リンク確立できませんでした。 [対応] 本装置と相手装置の OSINLCP コンフィグレーションを確認してください。					

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
30	E4	PPP	a5010305	0350	Illegal OSINLCP packet received. Check the peer system's PPP implementation.
オープン中リンクで OSINLCP パケットを受信しました。 [対応] 相手装置側の PPP プロトコルの実装を確認してください。					
31	E4	PPP	a5010306	0350	OSINLCP connection terminated at the peer system's request. Make sure that the connection of the peer system is open if needed.
相手装置からの要求で OSINLCP リンクが切断されました。 [対応] OSI 通信を行う必要がある場合、相手装置の OSINLCP を通信可能な状態にしてください。					
32	E4	PPP	a5010307	0350	Peer system refused the OSINLCP control packet. Check the peer's PPP implementation and configuration.
相手装置が OSINLCP 制御パケットの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコル仕様を確認してください。					
33	E4	PPP	a5010401	0350	Peer system refused the MPLSCP protocol. Check the peer's MPLS configuration.
相手装置が MPLSCP プロトコルの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の MPLS 定義が有効になっていないと思われます。相手装置の MPLS 定義を確認してください。					
34	E4	PPP	a50103402	0350	Peer system made no response to this system's MPLSCP-Request packet. Check the interface cable connection and the peer's status/MPLS support.
MPLSCP のリンク設定要求フレーム送信に対する相手装置の応答がありません。 [対応] 相手装置側のケーブル接続が正しいかを確認してください。相手装置の状態を確認し、立ち上げが完了しているかを確認してください。相手装置の MPLS プロトコルのサポート状態を確認してください。					
35	E4	PPP	a50103403	0350	MPLSCP connection reset due to the peer system's Configure-Request packet.
オープン中リンクで MPLSCP の Configure-Request パケットを受信したので MLSCP リンクをリセットしました。何らかの理由で相手装置が MPLSCP をリセットしたため、MPLSCP リンクが再設定動作に入ったことを示します。 [対応] なし。					
36	E4	PPP	a5010404	0350	Failed in establishing the MPLSCP connection due to the MPLSCP Configuration Option negotiation loop. Check the MPLSCP configuration of both this system and the peer system.
MPLSCP ネゴシエーションループによって MPLSCP リンク確立できませんでした。 [対応] 本装置と相手装置の MPLSCP コンフィグレーションを確認してください。					
37	E4	PPP	a5010405	0350	Illegal MPLSCP packet received. Check the peer system's PPP implementation.
オープン中リンクで MPLSCP パケットを受信しました。 [対応] 相手装置側の PPP プロトコルの実装を確認してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
38	E4	PPP	a5010406	0350	MPLSCP connection terminated at the peer system's request. Make sure that the connection of the peer system is open if needed.
相手装置からの要求で MPLSCP リンクが切断されました。 [対応] MPLS 通信を行う必要がある場合、相手装置の MPLSCP を通信可能な状態にしてください。					
39	E4	PPP	a5010407	0350	Peer system refused the MPLSCP control packet. Check the peer's PPP implementation and configuration.
相手装置が MPLSCP 制御パケットの受信を拒否しました。 [対応] 相手装置の PPP プロトコル仕様を確認してください。					

3.3.2 イベント発生部位 = IP

イベント発生部位 = IP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-4 イベント発生部位 = IP の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	IP	53000001	0630	DHCP packet won't relayed. Because DHCP relay agent address doesn't agreed with interface's IP address.
DHCP リレーエージェントアドレスとインタフェースに設定した IP アドレスが不一致です。このため、DHCP パケットは中継されません。 [対応] コンフィグレーションコマンドの relay-interface で指定するリレーエージェントアドレスをリレーインタフェースに指定したインタフェースに存在する IP アドレスに変更してください。または、リレーインタフェースに指定したインタフェースの IP アドレスに、コンフィグレーションコマンドの relay-interface で指定したリレーエージェントアドレスを追加・変更をしてください。					
2	E3	IP	53000002	0630	DHCP packet will relayed. Because DHCP relay agent address agreed with interface's IP address.
DHCP リレーエージェントアドレスとインタフェースに設定したアドレスが一致しました。DHCP パケットは中継されます。 [対応] 対応の必要はありません。					
3	E4	IP	50000003	0600	Duplication of IPv4 address <IPv4 address> with the node of MAC address <MAC address> was detected.
IPv4 アドレス <IPv4 address> が、MAC アドレス <MAC address> を持つ装置と競合しています。 [対応] 1. 自 IPv4 アドレスまたは MAC アドレス <MAC address> を持つ装置の IPv4 アドレスを変更してください。 2. VRRP 使用時、RM CPU の負荷が高い状況では、本メッセージが頻発する場合があります。その場合には、該当 VRRP を構成している装置間にて、VRRP コンフィグレーションの advertisement-interval の値を大きくしてください。					

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
4	E4	IP	50000006	0600	The number of pieces of the ARP entry exceeds the capacity of this system.
ARP テーブルのエントリが本装置の最大エントリ数を超えています。 [対応] show ip arp コマンドですべての ARP テーブルを表示し、ARP テーブルのエントリが収容条件を超えていないか確認してください。最大エントリ数を超えている場合は、次に示す対応を行ってください。 1. arp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear arp-cashe コマンドを実行し、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し、ARP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。					
5	E4	IP	50000013	0600	The number of pieces of the IPv4 unicast routing information exceeds the capacity of this system.
規定以上の IPv4 ユニキャスト経路が設定されているため、これ以上の経路情報を追加できません。 [対応] show ip route コマンドで現在の経路情報のエントリ数を確認してください。 1. 経路情報が最大エントリ数を超える場合は、経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. 経路情報のエントリ数が最大エントリ数を超えていない場合、経路情報に不要な情報があれば削除してください。					
6	E4	IP	50000014	0600	IPv4 unicast routing information can't be registered at hardware tables.
IPv4 ユニキャスト経路情報のハードウェアテーブル登録に失敗しました。IPv4 ユニキャスト経路情報がソフトウェアのテーブルとハードウェアのテーブルで不一致になっています。 [対応] 通信できない宛先に関連する IPv4 経路情報に対して clear ip route <IP address> コマンドを実行してください。					
7	E4	IP	50000015	0600	The number of pieces of the IPv4 VPN unicast routing information exceeds the capacity of this system.
規定以上の IPv4 VPN ユニキャスト経路が設定されているため、これ以上の経路情報を追加できません。 [対応] show ip route コマンドで現在の経路情報のエントリ数を確認してください。 1. 経路情報が最大エントリ数を超える場合は、経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. 経路情報のエントリ数が最大エントリ数を超えていない場合、経路情報に不要な情報があれば削除してください。 3. コンフィグレーションに system pru_resource vpnrouter-d1 以外を定義しています。VPN を使用する場合は、system pru_resource vpnrouter-d1 の定義を追加してください。					
8	E4	IP	51000006	0600	The number of pieces of the IPv4 Multicast Routing entry exceeds the capacity of this system.
IPv4 マルチキャストルーティングエントリ数が装置の収容条件を超えています。 [対応] 現在の IPv4 マルチキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。収容条件を超えている場合は、以下のような対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
9	E4	IP	60000002	0600	The number of pieces of the NDP entry exceeds the capacity of this system.
NDP テーブルのエントリが装置の最大エントリ数を超過しています。 [対応] show ipv6 neighbors コマンドですべての NDP テーブルを表示し、NDP テーブルのエントリが最大値を超えていないか確認してください。 最大エントリ数を超過している場合は、次に示す対応を行ってください。 1. ndp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear ipv6 neighbors コマンドを実行し、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し、NDP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。					
10	E4	IP	60000003	0600	Duplication of IPv6 address <IPv6 address> with the node of MAC address <MAC address> was detected.
アドレス重複検出処理で IPv6 アドレスの重複を検出しました。本装置に設定した <IPv6 address> が、<MAC address> の装置と競合しています。自装置の <IPv6 address> は使用不能となります。使用不能状態となった IPv6 アドレスは変更もしくは削除後、再定義するまで使用不能状態のままとなります。アドレス重複により使用不能となっているアドレスは、show ipv6 interface コマンドで確認してください。 [対応] 1. 本装置に設定した <IPv6 address> が誤っている場合は、本装置の <IPv6 address> を変更してください。 2. 他装置の <IPv6 address> が誤っている場合は、競合している他装置の <IPv6 address> を修正してください。その後、本装置の <IPv6 address> を削除し、再定義してください。 3. VRRP 使用時、RM CPU の負荷が高い状況では、本メッセージが頻発する場合があります。その場合には、該当 VRRP を構成している装置間にて、VRRP コンフィグレーションの advertisement-interval の値を大きくしてください。					
11	E4	IP	60000008	0600	The number of pieces of the IPv6unicast routing information exceeds the capacity of this system.
規定以上の IPv6 ユニキャスト経路が設定されているため、これ以上の経路情報を追加できません。 [対応] show ipv6 route コマンドで現在の経路情報のエントリ数を確認してください。 1. 経路情報が最大エントリ数を超える場合は、経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. 経路情報のエントリ数が最大エントリ数を超過していない場合、経路情報に不要な情報があれば削除してください。					
12	E4	IP	60000014	0600	IPv6 unicast routing information can't be registered at hardware tables.
IPv6 ユニキャスト経路情報のハードウェアテーブル登録に失敗しました。IPv6 ユニキャスト経路情報がソフトウェアのテーブルとハードウェアのテーブルで不一致になっています。 [対応] 通信できない宛先に関連する IPv6 経路情報に対して clear ipv6 route <Prefix> コマンドを実行してください。					
13	E4	IP	61000005	0600	The number of pieces of the IPv6 Multicast Routing entry exceeds the capacity of this system.
IPv6 マルチキャストルーティングエントリ数が装置の収容条件を超えています。 [対応] 現在の IPv6 マルチキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。収容条件を超えている場合は、以下のような対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。					

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
14	E4	IP	a0010010	0630	The number of pieces of IPv4 Unicast Routing entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv4 ユニキャストルーティングエントリ数が PRU<PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の IPv4 ユニキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、次に示す対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。 3. 1. および 2. を実施してもエントリ数が減らない、または通信できない場合は、clear ip route * コマンドですべての経路情報を更新してください。
15	E4	IP	a0010011	0630	The number of pieces of IPv4 Multicast Routing entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv4 マルチキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の IPv4 マルチキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、以下のような対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。
16	E4	IP	a0010012	0630	The number of pieces of IPv4 VPN Unicast Routing entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv4 VPN ユニキャストルーティングエントリ数が PRU<PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の IPv4 ユニキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、以下のような対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。 3. 1. および 2. を実施してもエントリ数が減らない、または通信できない場合は、clear ip route [vpn <VPN ID>] * コマンドですべての VPN を指定して、すべての経路情報を更新してください。
17	E4	IP	a0010015	0630	The number of pieces of IPv4 Unicast Routing entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv4 ユニキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、経路情報のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。
18	E4	IP	a0010016	0630	The number of pieces of IPv4 Multicast Routing entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv4 マルチキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、経路情報のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
19	E4	IP	a0010017	0630	The number of pieces of IPv4 VPN Unicast Routing entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv4 VPN ユニキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、経路情報のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。
20	E4	IP	a0010020	0630	The number of pieces of IPv6 Unicast Routing entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv6 ユニキャストルーティングエントリ数が PRU<PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の IPv6 ユニキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、次に示す対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。 3. 1. および 2. を実施してもエントリ数が減らない、または通信できない場合は、clear ipv6 route * コマンドですべての経路情報を更新してください。
21	E4	IP	a0010021	0630	The number of pieces of IPv6 Multicast Routing entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv6 マルチキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の IPv6 マルチキャスト経路情報のエントリ数を確認し、経路エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、以下のような対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。
22	E4	IP	a0010025	0630	The number of pieces of IPv6 Unicast Routing entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv6 ユニキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、経路情報のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。
23	E4	IP	a0010026	0630	The number of pieces of IPv6 Multicast Routing entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					IPv6 マルチキャストルーティングエントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、経路情報のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。
24	E4	IP	a0010030	0630	The number of pieces of ARP entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					ARP エントリ数が PRU<PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の ARP 情報のエントリ数を確認し、ARP エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、次に示す対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
25	E4	IP	a0010035	0630	The number of pieces of ARP entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					ARP エントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、ARP のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。
26	E4	IP	a0010040	0630	The number of pieces of NDP entry exceeds the capacity of PRU <PRU No>.
					NDP エントリ数が PRU<PRU No> の収容条件を超えています。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 現在の NDP 情報のエントリ数を確認し、NDP エントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は、次に示す対応を行ってください。 1. 経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。
27	E4	IP	a0010045	0630	The number of pieces of NDP entry 80 percent over the capacity of PRU <PRU No>.
					NDP エントリ数が PRU <PRU No> の収容条件の 80%を超えました。 <PRU No>：PRU の番号 [対応] 今後、NDP のエントリ数を増加する場合は、エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。

3.3.3 イベント発生部位 = MAC

イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-5 イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	MAC	20120005	0800	Link Aggregation Group(<LA_ID>) disabled administratively.
					コンフィグレーションによってリンクアグリゲーションは運用停止に指定されました。 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
2	E3	MAC	20120006	0800	Link Aggregation Group(<LA_ID>) enabled administratively.
					コンフィグレーションによってリンクアグリゲーションは運用停止を解除しました。 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
3	E3	MAC	20120007	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Different Partner System ID is detected.
					LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の System ID がポート間で一致しなかったためリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 以下を確認してください。 - 相手装置と正しく接続しているか - 相手装置の System ID 設定は正しいか
4	E3	MAC	20120008	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Different Partner Key is detected.
					LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の Key がポート間で一致しなかったためリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 以下を確認してください。 - 相手装置と正しく接続しているか - 相手装置の Key 設定は正しいか
5	E3	MAC	20120009	0800	Port(<NIF>/<Line>) removed from Link Aggregation Group(<LA_ID>).
					コンフィグレーションのリンク削除によりリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
6	E3	MAC	20120010	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Port down.
					回線が DOWN 状態になりリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 回線の状態を確認してください。
7	E3	MAC	20120011	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Different Port data rate .
					速度の異なる回線がリンクアグリゲーショングループ内に存在し、速度の遅い回線をリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 離脱された回線に関し、本装置および相手装置の設定状態を確認してください。
8	E3	MAC	20120012	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Half-duplex port on LACP mode.
					LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて半二重で動作中の回線をリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 離脱された回線に関し、本装置および相手装置の設定状態を確認してください。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
9	E3	MAC	20120013	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Denied by the LACP partner.
LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて、LACP により相手装置から接続拒否されリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 相手装置の設定を確認してください。					
10	E3	MAC	20120014	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - LACPDU timeout.
LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて、相手装置からの LACPDU を受信せずタイムアウトによりリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 相手装置の設定、運用状態を確認してください。					
11	E3	MAC	20120015	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Configuration is changed.
コンフィグレーション変更によりリンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。					
12	E3	MAC	20120016	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Port moved is detected.
リンクアグリゲーショングループ内でポートが移動したことにより、リンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。					
13	E3	MAC	20120017	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Partner Aggregation bit is FALSE.
LACP モードで相手装置のアグリゲーションビットが FALSE のため、リンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。					
14	E3	MAC	20120018	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Partner Port number is changed.
相手装置のポート番号が変更したため、リンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
15	E3	MAC	20120019	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Partner Port priority is changed.
					相手装置のポート優先度値が変更したため、リンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
16	E3	MAC	20120020	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - Operation of detach port limit.
					離脱ポート制限により、リンクアグリゲーショングループから離脱しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
17	E3	MAC	20120021	0800	Port(<NIF>/<Line>) added to Link Aggregation Group(<LA_ID>).
					リンクアグリゲーショングループにポートが追加されました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
18	E3	MAC	20120022	0800	Port(<NIF>/<Line>) attached to Link Aggregation Group(<LA_ID>).
					リンクアグリゲーショングループにポートが集約されました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
19	E3	MAC	20120023	0800	Port(<NIF>/<Line>) attached to Link Aggregation Group(<LA_ID>) - A standby port became active.
					スタンバイリンクによる運転を開始しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
20	E3	MAC	20120024	0800	Port(<NIF>/<Line>) detached from Link Aggregation Group(<LA_ID>) - This port became a standby port.
					スタンバイリンクによる運転を停止しました。 <NIF>/<Line>:NIF 番号 /Line 番号 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。
21	E4	MAC	20120002	0800	Link Aggregation Group(<LA_ID>) is Up.
					リンクアグリゲーショングループが UP 状態になりました。 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] なし。

3.3 プロトコル

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
22	E4	MAC	20120003	0800	Link Aggregation Group(<LA_ID>) is Down - All port detached.
リンクアグリゲーショングループ内のすべてのポートが離脱されリンクアグリゲーショングループが DOWN 状態になりました。 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し、以下を確認してください。 - 回線が DOWN していないか - LACP モードにおいて回線が半二重になっていないか - 相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か					
23	E4	MAC	20120004	0800	Link Aggregation Group(<LA_ID>) is Down - The number of the detached port exceeded the configured number.
リンクアグリゲーショングループ内の離脱ポート数が定義された制限を超えてリンクアグリゲーショングループが DOWN 状態になりました。 <LA_ID>: リンクアグリゲーション ID [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し、以下を確認してください。 - 回線が DOWN していないか - LACP モードにおいて回線が半二重になっていないか - 相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か					

3.4 装置の各部位

3.4.1 イベント発生部位 = RM

イベント発生部位 = RM の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-6 イベント発生部位 = RM の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	RM	00003001	1000	RM restarted due to abort reset operation.
					RM が再起動されました。要因は RESET スイッチ押下です。 [対応] なし。
2	E3	RM	00003002	1000	RM restarted due to default reset operation.
					RM が再起動されました。要因はデフォルトリセット押下です。 [対応] なし。
3	E3	RM	00003003	1000	RM restarted due to fatal error detected by software.
					致命的障害をソフトウェアが検出し RM を再起動しました。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員へ送付してください。ダンプ情報の収集方法については「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。
4	E3	RM	00003004	1000	RM restarted due to user operation.
					RM が再起動されました。要因は reload コマンドです。 [対応] なし。
5	E3	RM	00003005	1000	RM restarted due to fatal error detected by kernel.
					致命的障害をカーネルが検出し RM を再起動しました。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員へ送付してください。ダンプ情報の収集方法については「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。
6	E3	RM	00003006	1000	RM restarted due to WDT timeout.
					RM が再起動されました。要因は WDT（ウォッチドッグタイマ）タイムアウト検出です。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員へ送付してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。
7	E3	RM	00003007	1000	RM restarted due to hardware error detected by kernel.
					RM が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員へ送付してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
8	E3	RM	00003008	1000	RM restarted due to the hardware error detected.
					RM が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員へ送付してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。
9	E3	RM	00003009	1000	RM restarted because the primary MC was removed.
					RM が再起動されました。要因は現用 MC の挿抜です。 [対応] なし。
10	E3	RM	00003201	1000	RM CPU overloaded.
					RM の CPU 過負荷が発生しています。 [対応] 1. 多数のユーザがログインしている場合、必要最小限のユーザ以外はログアウトしてください。 2. ftp からの利用が多い場合、必要最小限のコネクション以外は切断してください。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 上記 1, 2, 3 で回復しない場合、ネットワーク構成が複雑すぎる可能性があります。ネットワーク構成を見直してください。 5. show ip route コマンド, ppupdate コマンドなど CPU 使用率の高いコマンドを実行した場合にこのメッセージが出力されることがあります。その場合は無視してください。
11	E3	RM	00003202	1000	RM recovered from CPU overload.
					RM の CPU 過負荷が回復しました。 [対応] なし。
12	E3	RM	00003301	1000	RM congestion detected.
					RM で処理するパケットの輻輳を検出しました。 [対応] 1. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 2. 上記 1 で回復しない場合、ネットワーク構成が複雑すぎる可能性があります。ネットワーク構成を見直してください。 3. ping などパケットを送受信するコマンドを多数実行した場合にこのメッセージが出力されることがあります。
13	E3	RM	00003302	1000	RM has recovered from congestion.
					RM が輻輳から回復しました。 [対応] なし。
14	E3	RM	00003901	1001	Warning Do not remove CompactFlash card for <device> at Mc <slot>.
					set mc disable コマンドを実行しないで予備 MC を抜きました。 [対応] なし。
15	E3	RM	00005001	1001	Configuration file access error.
					コンフィグレーションファイルにアクセスできませんでした。 [対応] 1. 頻繁に発生する場合には装置を再起動してください。 2. 再起動後に現象が再現する場合には、ダンプおよびログ情報を保守員へ送付してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E3	RM	00005002	1001	Login <USER> from <HOST> (<TERM>).
ユーザがログインしました。 <USER>：ユーザ名を表示。 <HOST>：ホスト識別子を表示。 ・ リモート運用端末の場合：IP アドレスまたは IPv6 アドレス ・ コンソール端末の場合：console ・ AUX 端末の場合：aux <TERM>：端末名を表示。 ・ リモート運用端末の場合：tty0 ～ tty4 ・ コンソール端末の場合：console または tty00 ・ AUX 端末の場合：tty01 [対応] なし。					
17	E3	RM	00005003	1001	Logout <USER> from <HOST> (<TERM>).
ユーザがログアウトしました。 <USER>：ユーザ名を表示。 <HOST>：ホスト識別子を表示。 ・ リモート運用端末の場合：IP アドレスまたは IPv6 アドレス ・ コンソール端末の場合：console ・ AUX 端末の場合：aux <TERM>：端末名を表示。 ・ リモート運用端末の場合：tty0 ～ tty4 ・ コンソール端末の場合：console または tty00 ・ AUX 端末の場合：tty01 [対応] なし。					
18	E3	RM	00005004	1001	Standby BCU:closed administratively.
待機系 BCU に対する close standby コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。					
19	E3	RM	00005005	1001	PRU <PRU No.>:closed administratively.
指定された PRU に対する close pru コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。					
20	E3	RM	00005006	1001	NIF <NIF No.>:closed administratively.
指定された NIF に対する close nif コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。					
21	E3	RM	00005007	1001	NIF <NIF No.> Line <Line No.>:closed administratively.
指定された回線に対する close コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。					
22	E3	RM	00005012	1001	Interface <interface name>:closed administratively.
指定されたインタフェースに対する close コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
23	E3	RM	00005014	1001	Standby BCU:freed administratively.
					待機系 BCU に対する free standby コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。
24	E3	RM	00005015	1001	PRU <PRU No.>:freed administratively.
					指定された PRU に対する free pru コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。
25	E3	RM	00005016	1001	NIF <NIF No.>:freed administratively.
					指定された NIF に対する free nif コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。
26	E3	RM	00005017	1001	NIF <NIF No.> Line <Line No.>:freed administratively.
					指定された回線に対する free コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。
27	E3	RM	00005022	1001	Interface <interface name>:freed administratively.
					指定されたインタフェースに対する free コマンドを正常に受け付けました。 [対応] なし。
28	E3	RM	00008601	1001	NTP synchronization lost xxx.
					NTP サーバとの同期状態が失われました (xxx=NTP サーバの IP アドレス)。 [対応] show ntp status コマンドで NTP の状態を確認してください。 同期がとれていない状態が継続するようであれば、NTP コンフィグレーション、NTP サーバの動作状態および通信可否を確認してください。
29	E3	RM	00008602	1001	NTP protocol error detected xxx.
					NTP サーバから不正なパケットを受信しました (xxx=NTP サーバの IP アドレス)。 [対応] NTP サーバを確認してください。
30	E3	RM	00008603	1001	NTP no server found to synchronize.
					同期できるサーバがありません。 [対応] NTP コンフィグレーション、NTP サーバの動作状況および通信可否を確認してください。
31	E3	RM	01200160	1001	Standby BCU closed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、待機系 BCU を CLOSE しました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし。
32	E3	RM	01200162	1001	PRU <PRU No.> closed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、PRU <PRU No.> を CLOSE しました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし。

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
33	E3	RM	01200163	1001	NIF <NIF No.> closed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、NIF <NIF No.> を CLOSE しました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし。
34	E3	RM	01200164	1001	Standby BCU freed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、待機系 BCU を FREE しました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし。
35	E3	RM	01200166	1001	PRU <PRU No.> freed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、PRU <PRU No.> を FREE しました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし。
36	E3	RM	01200167	1001	NIF <NIF No.> freed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、NIF <NIF No.> を FREE しました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし。
37	E3	RM	01200168	1001	Standby BCU will be closed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、待機系 BCU は CLOSE します。 (本メッセージは系切替直後の待機系だけ表示します) [対応] なし。
38	E3	RM	01200169	1001	Standby BCU closed because of SOP operation.
					システム操作パネルの指示で、待機系 BCU を CLOSE しました。 (本メッセージは系切替直後の運用系だけ表示します) [対応] なし。
39	E3	RM	01300456	1001	Standby system restarted with active system restarted.
					運用系の再起動に伴い、待機系は再起動しました。本メッセージは、CSW モードが double_fixed モードまたは double1_fixed モードの場合に、運用系が再起動したときに表示されます。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] なし。
40	E3	RM	01700501	1001	Statistics table initialized.
					装置の時刻が変更されたため、CPU 使用率とバッファ使用率を保持している統計情報テーブルを初期化しました。 [対応] なし。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
41	E3	RM	01700502	1001	RM overloaded. There is the possibility of RM failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.
					ユーザコマンド入力に対する応答か、SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。RM が過負荷状態である可能性があります。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。
42	E3	RM	01700503	1001	There is the possibility of RM failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.
					ユーザコマンド入力に対する応答か、SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。
43	E3	RM	01800100	1001	Dump command executed.
					ダンプコマンド実行による、メモリダンプ情報の収集が完了しました。 [対応] なし。
44	E3	RM	01800614	1001	Dump file (*) write error.
					(*) で示すダンプファイルの書き込みに失敗しました。 [対応] 1. (*) で示すダンプファイルの拡張子が ".000" ~ ".999" である場合は、障害ダンプ格納用領域 (/primaryMC/var/dump/) の空きが不足していることを示しています。この場合は該当領域にある不要なダンプファイルを erase dumpfile<ダンプファイル名> コマンドを使用して削除してください。 2. (*) で示すダンプファイルの拡張子が ".cmd" である場合は、dump cp, dump pru, dump nif コマンドで採取したダンプファイルを格納するディレクトリのあるパーティションの空き領域が不足していることを示しています。dump cp, dump pru, dump nif コマンド実行時に格納ディレクトリを指定していない場合は、デフォルトの障害ダンプ格納用領域 (/primaryMC/var/dump/) が使用されるので、上記 1 と同様の対応を行ってください。dump cp, dump pru, dump nif コマンド実行時に格納ディレクトリを指定した場合は、指定したディレクトリのあるパーティションの空き領域を確保するため、rm コマンドを使用してパーティション内の不要なファイルを削除してください。
45	E3	RM	01900250	1001	RM software started up.
					RM ソフトウェアの起動を開始しました。 [対応] なし。
46	E3	RM	01910201	1001	System started collecting new "error.log".
					種別ログを新規に採取し始めました。 [対応] なし。
47	E3	RM	01910202	1001	System restarted by user operation.
					ユーザ操作による装置再起動を行います。 [対応] なし。
48	E3	RM	01910203	1001	System restarted after hardware reset.
					リセットスイッチによる装置再起動を行います。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
49	E3	RM	02002010	1001	System failed switching to admin mode.
					MIB Set 時の Admin mode への変更に失敗しました。 [対応] 他の管理者が admin になっています。show sessions コマンドで、ログインユーザおよび admin ユーザを確認してください。
50	E3	RM	02002012	1001	Specified MIB doesn't exist, or it does not have read/write attribute.
					設定した MIB は存在しないか、または、read/write 属性の MIB ではありません。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し、設定した MIB が read/write 属性であることを確認してください。
51	E3	RM	02002013	1001	Incorrect instance value specified.
					MIB Set の時に設定したインスタンス値は、正しくありません。 [対応] インスタンス値を確認して設定してください。
52	E3	RM	02002014	1001	MIB value specified was out of range.
					MIB Set の時に MIB 値を、設定範囲外の値で設定しようとしています。 [対応] MIB 値の範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 5. SNMP 情報」を参照してください。
53	E3	RM	02002015	1001	Data length of the MIB value was too long.
					MIB Set の時に設定した MIB 値のデータ長が長過ぎます。 [対応] MIB 値として設定できる文字数は、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 5. SNMP 情報」を参照してください。
54	E3	RM	02002016	1001	MIB Set failed due to the lack of necessary MIBs.
					設定する上で必要な MIB が足りないために、MIB Set を行うことができませんでした。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し、設定時に必要な項目が満たされていることを確認してください。
55	E3	RM	02002017	1001	Illegal character used in MIB setting.
					設定できない文字を使用して、MIB Set を行おうとしています。 [対応] 「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 3. 装置管理情報」の設定できる文字を確認して設定してください。
56	E3	RM	02002018	1001	MIB Set failed to configured the configuration file because the preliminary configuration file is under editing.
					バックアップコンフィグレーションファイルが編集のため、スタートアップコンフィグレーションファイルに、MIB の Set を行うことができませんでした。 [対応] バックアップコンフィグレーションファイルの編集を中止してください。
57	E3	RM	02002019	1001	Failed in contact the configuration file while setting up MIB.
					MIB 設定のための、スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスに失敗しました。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスエラーになる要因を取り除いてから再度実行してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
58	E3	RM	02002020	1001	MIB value has failed to establish. Errors occurred in the "config" command.
					MIB Set 時にコンフィグレーション編集時のエラーが発生したため、MIB を設定できませんでした。 [対応] コンフィグレーションのエラーについては、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 17. コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」～「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 18. その他のエラーメッセージ」を参照して対応してください。
59	E3	RM	02002021	1001	Not all MIB configured.
					MIB Set に失敗したため、MIB 値は途中でしか設定されていません。 [対応] 再度設定してください。また、それでもできない場合には、telnet などでもログインし、MIB 値を設定してください。(telnet などでも設定できない場合は、保守員に連絡してください。)
60	E3	RM	02002023	1001	System failed to save the configuration while processing MIB settings.
					snmp マネージャからの MIB set 時に、コンフィグレーションの save 処理でエラーが発生しました。 [対応] コンフィグレーションが MC に save されていないので、telnet などでも save してください。
61	E3	RM	02002024	1001	<object Name> set as <MIB Value> at the request of <IP-address>.
					<object Name> は、<IP-address> からの要求によって、<MIB Value> に設定されました。 [対応] なし。
62	E3	RM	02002026	1001	The reflecting MIB SET to SNMPv3 MIB to the configuration failed : <Cause>
					SNMPv3 MIB に対する MIB SET のコンフィグレーションへの反映が失敗しました。 <Cause>: 失敗の理由。 [対応] <Cause> に示す理由について、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 17. コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」～「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 18. その他のエラーメッセージ」を参照して対応してください。
63	E3	RM	0b073400	1001	System started with CSW double mode.
					CSW 転送状態を、double 運用で起動しました。 [対応] なし。
64	E3	RM	0b073401	1001	CSW mode change to single.
					CSW 転送状態が、single 運用に切り替わりました。 [対応] • コマンドによる single 運用切替時は問題ありません。 • double 運用時に本メッセージが出力され復帰しない場合、ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
65	E3	RM	0b073402	1001	CSW mode change to double.
					CSW 転送状態が、double 運用に切り替わりました。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
66	E3	RM	0b073403	1001	System started with CSW single mode because standby CSW not ready.
					待機系 BCU の CSW が使用できないため、CSW 転送状態を single 運用で起動しました。 [対応] 待機系 BCU の運用状態を確認してください。 - 未実装の場合、実装して立ち上げてください。 - 待機系 BCU 立ち上げ中状態であれば、立ち上がるまで待ってください。 - ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
67	E3	RM	0b073404	1001	Packet transfer stopped in double_fixed mode or double1_fixed mode because standby CSW not ready.
					待機系 BCU の CSW が使用できないため、パケット転送を停止しました。本メッセージは CSW モードが double_fixed モードまたは double1_fixed モードの場合に待機系障害が発生した時に表示されます。 [対応] 待機系 BCU の運用状態を確認してください。 - 未実装の場合、実装して立ち上げてください。 - 待機系 BCU 立ち上げ中状態であれば、立ち上がるまで待ってください。 - ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 - double_fixed モードまたは double1_fixed モードの必要がなければ、set mode コマンド（「運用コマンドレファレンス Vol.2 10. 二重化管理」を参照）によって転送モードを変更することで、single 運用でパケット転送を再開できます。
68	E3	RM	0b073405	1001	System start with CSW single mode because this system not support CSW double mode.
					一重化だけのシステムでは CSW 転送状態が double 運用はサポートしていません。single 運用で動作します。 [対応] 二重化対応のシステムで設定した MC を使用していると考えられます。本メッセージを出力させたくない場合は、set mode コマンド（「運用コマンドレファレンス Vol.2 10. 二重化管理」を参照）によって、single 運用の設定に変更してください。
69	E3	RM	0b073406	1001	Failed to write CSW mode to MC.
					CSW 転送モードの設定コマンド（set mode csw）で、MC に対して書き込みが失敗しました。 - コマンド結果正常終了時は待機系 MC 書き込み失敗を示します。 - コマンド結果異常終了時は運用系 MC 書き込み失敗を示します。MC への書き込みが失敗しても、運用形態として CSW 転送モードの変更処理は実施されます。書き込み失敗後系切替などで該当 MC から読み込まれる設定は失敗前のモードとなります。 [対応] コマンド結果との組み合わせで、対象 BCU カードに搭載されている MC の容量などの状態を確認してください。 - 容量不足の場合、不要なファイルを削除し、空き容量を作成してください。 - MC 故障の場合、MC を交換してください。
70	E3	RM	0b073407	1001	System started with CSW doble_fixed mode. System switchover restrained.
					CSW 転送状態を、double_fixed 運用で起動しました。系切替は抑止されています。 [対応] なし。
71	E3	RM	0b073408	1001	CSW mode change to double_fixed. System switchover restrained.
					CSW 転送状態が、double_fixed 運用に切り替わりました。系切替は抑止されました。 [対応] なし。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
72	E3	RM	0b073409	1001	System started with CSW double1 mode.
					CSW 転送状態を、double1 運用で起動しました。 [対応] なし。
73	E3	RM	0b07340a	1001	CSW mode change to double1.
					CSW 転送状態が、double1 運用に切り替わりました。 [対応] なし。
74	E3	RM	0b07340b	1001	System started with CSW double1_fixed mode. System switchover restrained.
					CSW 転送状態を、double1_fixed 運用で起動しました。系切替は抑止されています。 [対応] なし。
75	E3	RM	0b07340c	1001	CSW mode change to double1_fixed. System switchover restrained.
					CSW 転送状態が、double1_fixed 運用に切り替わりました。系切替は抑止されました。 [対応] なし。
76	E3	RM	0d10b002	1001	The not used IP address which a dhcp_server can lease out is not a subnet <SUBNET_ADDRESS>.
					dhcp_server が貸し出す未使用の IP アドレスが subnet<SUBNET_ADDRESS> にありません。 [対応] dhcp_server が割り当てることができる subnet のクライアントの最大数を調査してください。 <SUBNET_ADDRESS>：割り当て範囲サブネットアドレス
77	E3	RM	0d10b003	1001	The dhcp_server reused the abandoned IP address <IP_ADDRESS>.
					dhcp_server は、廃棄された IP アドレスを再利用しました。 [対応] なし。 <IP_ADDRESS>：割り当て IP アドレス
78	E3	RM	0d10b004	1001	The IP address <IP_ADDRESS> which the dhcp_server schedule to lease out is already used by others.
					dhcp_server が貸し出そうとした IP アドレス <IP_ADDRESS> は、すでに他で使用されています。 [対応] 貸出し IP アドレスの範囲と固定割り当て IP アドレスが重複していないか調査してください。 <IP_ADDRESS>：割り当て予定 IP アドレス
79	E3	RM	0d10b005	1001	Failed in NS UPDATE by dhcp_server. : <Map>
					dhcp_server による NS UPDATE 処理が失敗しました。 [対応] 本装置のゾーン定義、および認証キー定義と DNS サーバ側の定義を確認してください。 また、認証キーを使用する場合は本装置と DNS サーバの時刻情報が合っていることを確認してください。 <Map>：エラーが発生したマップ

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
80	E3	RM	0e008001	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : virtual router's state has transitioned to <State>.
					仮想ルータの運用状態が <State> へ遷移しました。 [対応] なし。
81	E3	RM	0e008002	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : VRRP packet received by the virtual router with IP TTL not equal to 255.
					IP ヘッダの TTL (Time-to-Live) が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。
82	E3	RM	0e008003	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : VRRP packet received with a packet length less than the length of the VRRP header.
					パケット長が不正の VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。
83	E3	RM	0e008004	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : VRRP packet received that does not pass the authentication check.
					受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットの認証に失敗しました。 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置のパスワードの設定と、本装置のパスワードの設定を確認してください。
84	E3	RM	0e008005	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : VRRP packet received for which the address list does not match the locally configured list for the virtual router.
					受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された仮想ルータの IP アドレスと本装置の設定が一致しません。 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の仮想ルータの IP アドレスと、本装置の仮想ルータの IP アドレスの設定を確認してください。
85	E3	RM	0e008006	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : VRRP packet received for which the advertisement interval is different than the one configured for local virtual router.
					受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された送信間隔と本装置の設定が一致しません。 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の送信間隔と、本装置の送信間隔の設定を確認してください。
86	E3	RM	0e008007	1000	VRRP packet received with unsupported version number.
					受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された VRRP のバージョンが本装置の VRRP バージョンと一致しません。 [対応] 本装置と仮想ルータを構成する場合は、相手装置の VRRP のバージョンを IPv4 の場合は 2, IPv6 の場合は 3 に設定してください。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
87	E3	RM	0e008008	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : virtual router's priority was changed to <Priority>.
					VRRP の優先度を <Priority> に変更しました。 [対応] なし。
88	E3	RM	0e008010	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : interface (<Interface Name>) is down.
					VRRP を定義しているインタフェースをダウンしました。 [対応] なし。
89	E3	RM	0e008011	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : interface (<Interface Name>) is up.
					VRRP を定義しているインタフェースをアップしました。 [対応] なし。
90	E3	RM	0e008012	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : virtual router was finished.
					仮想ルータを終了しました。 [対応] なし。
91	E3	RM	0e008013	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : unsupported hardware.
					VRRP に未対応のインタフェースです。 [対応] VRRP に対応したハードウェアと交換してください。
92	E3	RM	0e008015	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : VRRP packet received by the virtual router with IP HopLimit not equal to 255.
					IP ヘッダの HopLimit が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。
93	E3	RM	0e008016	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : virtual router's priority changed to <Priority>, because error detected on line by vrrp-polling.
					VRRP ポーリングによって、回線障害を検出したため、VRRP の優先度を <Priority> に変更しました。 [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は、コンフィグレーションを調整することで解決できる場合があります。詳細は「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 virtual-router (VRRP 情報)」を参照してください。
94	E3	RM	0e008017	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : interface (<Interface Name>) is down because error detected on line by vrrp-polling.
					VRRP ポーリングによって、回線障害を検出したため、VRRP を定義しているインタフェースをダウンしました。 [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は、コンフィグレーションを調整することで解決できる場合があります。詳細は「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 virtual-router (VRRP 情報)」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
95	E3	RM	0e008018	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : interface (<Interface Name>) is up because recovery detected on line by vrrp-polling.
					VRRP ポーリングによって、障害回復を検出したため、VRRP を定義しているインタフェースをアップしました。 [対応] なし。
96	E3	RM	0e008019	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : virtual router's critical interface (<Interface Name>) is down.
					障害監視インタフェースがダウンしました。 [対応] なし。
97	E3	RM	0e008020	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : virtual router's critical interface (<Interface Name>) is up.
					障害監視インタフェースがアップしました。 [対応] なし。
98	E3	RM	0e008021	1000	Virtual router (<Interface Name> VRID <VRID>) : NIF<NIF No.> VRID is restricted
					VRID は制限されています。 [対応] NIF# が入力されたコンフィグレーションに対応しておりません。 「解説書 Vol.2 4.12(13) 仮想ルータ ID(VRID)」に記述されている以外の NIF に交換してください。 - コンフィグレーションの VRID を「解説書 Vol.2 4.12(13) 仮想ルータ ID(VRID)」にしたがって入力してください。
99	E3	RM	0f306003 0f406003	1001	The multicast routing program will restart, because the multicast (PIM) max-interfaces configuration changed.
					ランニングコンフィグレーションの IP マルチキャスト (PIM) 情報 max-interfaces サブコマンドが変更されたため、IP マルチキャストルーティングプログラムを再起動します。 [対応] このログが取得された後、「mrp restarted」のログが取得され、IP マルチキャストルーティングプログラムが再起動することを確認してください。
100	E3	RM	0f406004	1001	IPv4 multicast routing entry had exceeded maximum value <Num> for limit, entry has discarded.
					IPv4 マルチキャストルーティングエントリが制限により最大値 <Num> を超えたためエントリを廃棄しています。 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 - 想定以上の IPv4 マルチキャストルーティングエントリ追加要求が発生していないか確認をしてください。IPv4 マルチキャストルーティングエントリが制限により最大値を超えています。 - コンフィグレーション (pim mroute-limit コマンド) を確認してください。 - ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。 <Num> : IPv4 マルチキャストルーティングエントリ数の最大数
101	E3	RM	0f406005	1001	IPv4 multicast routing entry has recovered from the state of discard.
					IPv4 マルチキャストルーティングエントリを廃棄する状態から回復しました。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
102	E3	RM	0f406006	1001	IGMP source-limit <Num> has been exceeded on interface <interface name> due to over-request.Request have been discarded.
					インタフェース <interface name> で、IGMP ソース制限値 <Num> を超える要求がありました。要求を廃棄しています。 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 - 想定以上の IGMP グループに属するソース追加要求が発生していないか確認をしてください。 - コンフィグレーション（multicast source-limit コマンド）を確認してください。 - ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。 <Num>：IGMP ソース数制限値 <interface name>：インタフェース名称
103	E3	RM	0f406007	1001	IGMP source-limit on requests on interface <interface name> has recovered from state of discard.
					インタフェース <interface name> で、IGMP グループに属するソースを廃棄する状態から回復しました。 [対応] なし。 <interface name>：インタフェース名称
104	E3	RM	0f406008	1001	IGMP group-limit <Num> has been exceeded on interface <interface name> due to over-request.Request have been discarded.
					インタフェース <interface name> で、IGMP グループ制限値 <Num> を超える要求がありました。要求を廃棄しています。 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 - 想定以上の IGMP グループ追加要求が発生していないか確認をしてください。 - コンフィグレーション（multicast group-limit コマンド）を確認してください。 - ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。 <Num>：IGMP グループ数制限値 <interface name>：インタフェース名称
105	E3	RM	0f406009	1001	IGMP group-limit on requests on interface <interface name> has recovered from state of discard.
					インタフェース <interface name> で、IGMP グループを廃棄する状態から回復しました。 [対応] なし。 <interface name>：インタフェース名称
106	E3	RM	12009006	1001	Flow configuration cannot set, because lack of memory occurred.
					RM のメモリ不足が発生したため、フローコンフィグレーションの設定ができませんでした。 [対応] 本装置の収容条件を満たしていません。以下の手順を実施してください。 - コンフィグレーションコマンド flow qos のリストを設定・変更時にこのメッセージが出力された場合は show qos ip-flow コマンドで、コンフィグレーションコマンド flow filter のリストの設定・変更時では show ip filter コマンドで、設定したコンフィグレーションコマンド flow qos, flow filter のフロー統計情報が表示されないことを確認してください。その場合、リストを指定したコンフィグレーションコマンド flow qos, flow filter のインタフェースを削除してください。 「解説書 Vol.1 3.2 収容条件」を参照してネットワーク構成を見直し、その結果に応じてメモリ増設を検討してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
107	E3	RM	12009007	1001	Failed in setting flow configuration.
フローコンフィグレーションの設定に失敗しました。 [対応] 以下手順を実施してください。 1. 収容条件を確認してください。フローコンフィグレーションが収容条件以内となるようにフローコンフィグレーションのフロー検出条件を変更、またはフローコンフィグレーションを削除、もしくはメモリ増設を行ってください。 2. 1で現象が解消されない場合は、ダンプおよびログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。					
108	E3	RM	12009008	1000	Since a parameter that does not support at this BCU was in flow configuration, it was ignored.
この BCU で未サポートなパラメータがフローコンフィグレーションにあったため、そのパラメータを無視しました。なお、このログメッセージは待機系側で出力されます。 [対応] フローコンフィグレーションの中で、待機系 BCU で設定できないパラメータを削除後、copy backup-config コマンドにてコンフィグレーションを再度、装置に反映するか、または装置を再起動するか、もしくは、搭載している待機系の BCU を見直してください。					
109	E3	RM	1920a003	1001	The multicast routing program will restart, because the multicast (PIM6) max-interfaces configuration changed.
ランニングコンフィグレーションの IPv6 マルチキャスト (PIM6) 情報 max-interfaces サブコマンドが変更されたため、IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動します。 [対応] このログが取得された後、「pim6sd restarted」のログが取得され、IP マルチキャストルーティングプログラムが再起動することを確認してください。					
110	E3	RM	1920a005	1001	IPv6 multicast routing entry had exceeded maximum value <Num> for limit, entry has discarded.
IPv6 マルチキャストルーティングエントリが制限により最大値 <Num> を超えたためエントリを廃棄しています。 [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上の IPv6 マルチキャストルーティングエントリ追加要求が発生していないか確認をしてください。IPv6 マルチキャストルーティングエントリが制限により最大値を超えています。 • コンフィグレーション (pim6 mroute-limit コマンド) を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上、本装置の構成を再検討してください。 <Num> : IPv6 マルチキャストルーティングエントリ数の最大数					
111	E3	RM	1920a006	1001	IPv6 multicast routing entry has recovered from the state of discard.
IPv6 マルチキャストルーティングエントリを廃棄する状態から回復しました。 [対応] なし。					
112	E3	RM	1a00c002	0000	Slight error occurred in the DNS relay program (Daemon) during operation.
運用中に DNS リレープログラムに軽度の故障が発生しました。 [対応] 正常な運用ができていない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show dns-relay コマンドで運用状態を表示します。 2. 表示内容を確認し、運用ガイドに従った対処を行ってください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
113	E3	RM	1a00c003	0000	DNS relay program (Daemon) is unable to communicate with nameserver.
ネームサーバと DNS リレーとの通信でエラーが発生しました。 [対応] 次に示す処置を行ってください。 1. ネームサーバへのルーティングが存在するか確認してください。 2. ネームサーバの状態を確認してください。					
114	E3	RM	1a00c004	0000	DNS relay program (Daemon) is unable to communicate with client.
クライアントと DNS リレーとの通信でエラーが発生しました。 [対応] 次に示す処置を行ってください。 1. クライアントへのルーティングが存在するか確認してください。 2. クライアントの状態を確認してください。					
115	E3	RM	1a00c005	0000	The number of the requests received from clients is beyond the capacity of DNS relay program (Daemon).
クライアントからの要求が最大収容数を超えました。 [対応] 原因がネームサーバの処理限界による場合とネームサーバの設定誤りによる場合があります。次に示す処置を行ってください。 1. show dns-relay コマンドで運用状態を表示します。 2. 表示内容を確認し、「運用ガイド」に従った対処を行ってください。					
116	E3	RM	1a00c006	0000	Lack of memory occurred in the DNS relay program (Daemon).
クライアントからの要求時にメモリ不足が発生しました。 [対応] 一つのクエリーをリレーするのに必要なメモリを確保できませんでした。メモリを増設するか他サービスを停止することによってメモリを確保してください。					
117	E3	RM	1a00c007	0000	DNS relay program (Daemon) is unable to communicate with nameserver, because nameserver not defined.
resolv.confが見つからないので、ネームサーバと通信できません。 [対応] ネームサーバを決定する resolv.confが見つかりません。このままですとドメイン解決は行えませんが、DNS リゾルバのコンフィグレーションを確認してください。					
118	E3	RM	1e001002	1001	Ignoring NetFlow bgp-nexthop-tos (aggregation type) from NetFlow version not 9.
NetFlow version 9 ではないため、bgp-nexthop-tos 集約は無効になります。 [対応] NetFlow version 9 を設定してください。 NetFlow version 9 の設定については「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 6. フロー統計」の flow-export-version を参照してください。					
119	E3	RM	1f00b012	1001	Change of the action parameter of flow filter configuration at <Interface Name> which specified pd_prefix was not completed.
pd_prefix を指定した <Interface Name> のフローフィルタコンフィグレーションの action パラメータの変更ができませんでした。 [対応] <Interface Name> に設定されているフローフィルタコンフィグレーションで、フロー検出条件の宛先 IPv6 アドレス、または送信元 IPv6 アドレスに pd_prefix を指定したすべてのリスト情報を再度入力してください。 フローフィルタコンフィグレーションが設定されていない場合はこのログが収集されても問題ありません。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
120	E3	RM	1f00b013	1001	Synchronization of flow filter configuration that specified pd_prefix was not completed.
pd_prefix を指定したフローフィルタコンフィグレーションの同期ができませんでした。 [対応] フローフィルタコンフィグレーションで、フロー検出条件の宛先 IPv6 アドレス、または送信元 IPv6 アドレスに pd_prefix を指定したすべてのリスト情報を再度入力してください。該当するフローフィルタコンフィグレーションが設定されていない場合はこのログが収集されても問題ありません。					
121	E3	RM	20150002	1001	oadpd paused, because of the preferred LLDP.
LLDP 機能と混在をサポートしていない PRU が検出されたため、OADP PDU の送受信を一時停止しました。このメッセージは LLDP プログラムを優先的に起動し、OADP PDU の送受信を自動的に停止させた場合に出力されます。 [対応] LLDP 機能だけを使用したい場合は、OADP 機能のコンフィグレーションを削除してください。LLDP 機能と OADP 機能を共存させたい場合は、LLDP 機能と混在をサポートしている PRU だけ、本装置に搭載してください。LLDP 機能のコンフィグレーションを誤って投入した場合は、LLDP 機能のコンフィグレーションを削除してください。サポートしている PRU は「解説書 Vol.2 9.2 OADP 機能」を参照してください。					
122	E3	RM	20150003	1001	oadpd resumed.
一時停止していた OADP PDU の送受信を再開しました。このメッセージは、優先的に起動していた LLDP プログラムが停止した場合、またはすべての PRU が LLDP 機能と混在をサポートしている種類に変更された場合、もしくは OADP PDU の送受信を自動的に再開した場合に出力されます。 [対応] なし。					
123	E4	RM	27000013	0000	System accounting failed (<number> times).
ログイン・ログアウト・コマンドのアカウントिंगが失敗しました。本ログは、アカウントिंगが失敗したときに、間隔をあけて出力されます。なお、1 回でも成功した場合や、1 時間失敗が起きなかった場合には、失敗回数はクリアされます。 <number>: 連続して失敗した回数 [対応] 1. RADIUS または TACACS+ のコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS または TACACS+ サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS または TACACS+ サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。					
124	E7	RM	00003101	1000	RM memory exhausted. Possibly too many users logged in, or too many sessions(via ftp,http,...) established.
RM のメモリが不足しています。 [対応] 1. 多数のユーザがログインしている場合、必要最小限のユーザ以外はログアウトしてください。 2. ftp からの利用が多い場合、必要最小限のコネクション以外は切断してください。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 本装置の収容条件を満たしていない可能性があります。「解説書 Vol.1 3.2 収容条件」を参照してネットワーク構成を見直し、その結果に応じてメモリ増設を検討してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
125	E7	RM	01100001	1001	RM software failure occurred during operation.
			01200001		
			01300001		
			01400001		
			01500001		
			01600001		
			01700001		
			01800001		
			01900001		
			01910001		
			01a00001		
			03000001		
			04000001		
			05000001		
			06100001		
			06200001		
			06300001		
			06400001		
			06500001		
			07000001		
			08000001		
			09100001		
			09200001		
			09300001		
			09400001		
			09500001		
			09600001		
			09700001		
			09800001		
			12000001		
運用中に RM ソフトウェアに障害が発生しました。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. show rm cpu コマンドで RM の CPU 使用率を確認してください。 3. reload コマンドで装置を再起動してください。 4. ダンプとログおよび障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のすべてのファイル) を保守員へ送付してください。ダンプおよび障害待避情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 5. 保守員は上記ダンプとログおよび障害待避情報を支援部署へ送付してください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
126	E7	RM	01100002 01200002 01300002 01400002 01500002 01600002 01700002 01800002 01900002 01910002 01a00002 03000002 04000002 05000002 06100002 06200002 06300002 06400002 06500002 07000002 08000002 09100002 09200002 09300002 09400002 09500002 09600002	1001	RM software failure occurred during operation.
運用中に RM ソフトウェアに障害が発生しました。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. ダンプとログおよび障害待避情報（/primaryMC/var/core 下のすべてのファイル）を保守員へ送付してください。 ダンプおよび障害待避情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 4. 保守員は上記ダンプとログおよび障害待避情報を支援部署へ送付してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
127	E7	RM	01100004 01200004 01300004 01400004 01500004 01600004 01700004 01800004 01900004 01910004 01a00004 03000004 04000004 05000004 06100004 06200004 06300004 06400004 06500004 07000004 08000004 09100004 09200004 09300004 09400004 09500004 09600004 12000004	1001	RM software failure occurred during operation.
運用中に RM ソフトウェアに障害が発生しました。 【対応】 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. ダンプとログおよび障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のすべてのファイル) を保守員へ送付してください。ダンプおよび障害待避情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 4. 保守員は上記ダンプとログおよび障害待避情報を支援部署へ送付してください。					
128	E7	RM	01200101	1001	RM software process stopped.
CP を制御する RM のプロセスが停止しました。 【対応】 1. CP が再起動したことを、show system コマンドを使用して確認してください。 2. ダンプとログと障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のすべてのファイル) およびコンフィグレーションを保守員へ送付してください。ダンプおよび障害待避情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. この現象が頻発する場合は装置を再起動してください。 4. 保守員は上記ダンプとログおよび障害待避情報を支援部署へ送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
129	E7	RM	02002001	1001	snmpd aborted.
SNMP エージェントプログラム (snmpd) を強制終了しました。 [対応] 1. SNMP エージェントプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル snmpd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
130	E7	RM	02002003	1001	rmon aborted.
RMON プログラム (rmon) を強制終了しました。 [対応] 1. RMON の障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル rmon.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、RMON プログラム (rmon) は自動的に再起動されます。RMON プログラム (rmon) が再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
131	E7	RM	02002022	1001	Some errors occurred while checking the status of the configuration file.
MIB Set 時に、コンフィグレーションファイルの状態に、何らかのエラーが発生しました。 [対応] 装置の再起動が必要です。再起動をする前に保守員に連絡してください。					
132	E7	RM	05001001	1001	Rtm aborted [:<Error_String>].
ユニキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 [対応] エラー要因：メモリ不足による強制終了 1. メモリ領域が不足したことが原因です。使用制限（「解説書 Vol.1 3.2 収容条件」）をオーバーしていないか確認してください。使用制限内である場合は、次の「エラー要因：その他の要因による強制終了」の対応を行ってください。 エラー要因：その他の要因による強制終了 1. ユニキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：RTM）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. ユニキャストルーティングプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/rtm 下のファイル rt_trace, /primaryMC/var/core 下のファイル rtm.core, およびログ情報、コンフィグレーション) を収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 5. なお、ユニキャストルーティングプログラムは自動的に再起動されます。ユニキャストルーティングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。 <Error_String>：エラー要因 Cannot allocate memory：メモリ不足による強制終了 空白：その他の要因による強制終了					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
133	E7	RM	0d00b001	1001	dhcpcd aborted.
					DHCP リレープログラム (dhcpcd) を強制終了しました。DHCP リレーが、メモリ領域不足などの異常を検出し動作継続を断念し強制終了しました。 【対応】 - DHCP リレープログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core/dhcpcd.core), 制御情報ダンプ (/primaryMC/var/log/dhcpperr.log), およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 - 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお, DHCP リレープログラムは自動的に再起動されます。DHCP リレープログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。
134	E7	RM	0d10b001	1001	dhcp_sever aborted.
					DHCP サーバプログラム (dhcp_server) を強制終了しました。DHCP サーバが、メモリ領域不足などの異常を検出し動作継続を断念し強制終了しました。 【対応】 DHCP サーバプログラムの dump protocols dhcp コマンドを実行し、詳細情報を収集してください。
135	E7	RM	0e008014	1000	vrrpd aborted.
					VRRP プログラムを強制終了しました。 【対応】 - VRRP プログラムの障害待避情報 (/var/log/ 下のファイル daemon.log) およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 - 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお, VRRP プログラムは自動的に再起動されます。VRRP プログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
136	E7	RM	0f106001 0f206001 0f306001 0f406001	1001	mrp aborted.
					IP マルチキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 【対応】 - IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ (ログ種別: MRP) が発生していないかを確認し, 対応する処置を行ってください。 - IP マルチキャストルーティングプログラムの障害待避情報 (DVMRP の場合は /primaryMC/var/mrp 下のファイル mr_trace, mr_dump.gz, /primaryMC/var/core 下のファイル mrp.core を, PIM-SM の場合は /primaryMC/var/core 下のファイル pimd.core を, PIM-DM の場合は /primaryMC/var/core 下のファイル pimdd.core) およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 - 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 - なお, IP マルチキャストルーティングプログラムは自動的に再起動されます。IP マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
137	E7	RM	11109901	1001	policy aborted. ポリシールーティングプログラムを強制終了しました。 [対応] 1. ポリシールーティングプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル policyd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、あわせて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお、ポリシールーティングプログラムは自動的に再起動されます。ポリシールーティングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。
138	E7	RM	13008201	1001	mplsd aborted. There is the possibility the number of LSP exceeds the capacity of this system. MPLS プログラム (mplsd) を強制終了しました。LSP 数が LDP の最大パス数の収容条件を超えている可能性があります。 [対応] 1. 非 VPN の IP 経路数または Basic LDP セッション数を減らし、収容条件内に収まるようにしてください。収容条件については、「解説書 Vol.1 3.2 収容条件」を参照してください。 2. MPLS プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル mplsd.core), およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお、MPLS プログラムは自動的に再起動されるため、収容条件を超えている状態が継続している場合は再起動を繰り返します。
139	E7	RM	19106001	1001	pmr6p: aborted. IPv6 マルチキャストルーティング管理プログラムを強制終了しました。 [対応] 1. IPv6 マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MR6）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル pmr6p.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、IPv6 マルチキャストルーティング管理プログラムは自動的に再起動されます。IPv6 マルチキャストルーティング管理プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。
140	E7	RM	1920a002	1001	pim6sd aborted. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 [対応] 1. IPv6 マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MR6）が発生していないかを確認し、対応する処置を行ってください。 2. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル pim6sd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 4. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、IPv6 マルチキャストルーティングプログラムは自動的に再起動されます。IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
141	E7	RM	1a00c000	0000	DNS relay program (Daemon) aborted. DNS リレープログラム (dnsRelayd) を強制終了しました。 [対応] 1. dnsRelayd の障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル dnsRelayd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、DNS リレープログラム (dnsRelayd) は自動的に再起動されます。DNS リレープログラム (dnsRelayd) が再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
142	E7	RM	1e001000	1001	flowd aborted. フロー統計エージェントプログラム (flowd) を強制終了しました。 [対応] 1. フロー統計エージェントプログラム (flowd) の障害待避情報 (/primaryMC/var/core/flowd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法に関しては、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、フロー統計エージェントプログラム (flowd) は自動的に再起動します。再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
143	E7	RM	1f00b011	1001	dhcp6_server aborted. IPv6 DHCP サーバプログラム (dhcp6_server) を強制終了しました。 IPv6 DHCP サーバが、メモリ領域不足などの異常を検出し、動作継続を断念して強制終了しました。 [対応] dump protocols ipv6-dhcp server コマンドを投入し、詳細情報を収集してください。制御情報ダンプの投入方法は「運用コマンドレファレンス Vol.2」を参照してください。
144	E7	RM	20100001	1001	L2Manager aborted L2 管理プログラム (L2Manager) を強制終了しました。 [対応] 1. L2 管理プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル L2Manager.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお、L2 管理プログラムは自動的に再起動されます。L2 管理プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
145	E7	RM	20120001	1001	LAd aborted リンクアグリゲーションプログラム (LAd) を強制終了しました。 [対応] 1. リンクアグリゲーションプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル LAd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお、リンクアグリゲーションプログラムは自動的に再起動されます。リンクアグリゲーションプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
146	E7	RM	20140001	1001	lldpd aborted.
LLDP プログラム (lldpd) を強制終了しました。 [対応] 1. LLDP プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル lldpd.core) およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法については,「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお, LLDP プログラムは自動的に再起動されます。LLDP プログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
147	E7	RM	20150001	1001	oadpd aborted.
OADP プログラム (oadpd) を強制終了しました。 [対応] 1. OADP プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル oadpd.core) およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法については,「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお, OADP プログラムは自動的に再起動されます。OADP プログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
148	E7	RM	20700001	1001	efmoamd aborted.
IEEE802.3ah/OAM プログラム (efmoamd) を強制終了しました。 [対応] 1. IEEE802.3ah/OAM プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル efmoamd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については,「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお, IEEE802.3ah/OAM プログラムは自動的に再起動されます。IEEE802.3ah/OAM プログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
149	E7	RM	23100001	1001	sopd aborted.
システム操作パネルプログラム (sopd) を強制終了しました。 [対応] 1. システム操作パネルプログラム (sopd) の障害待避情報 (/primaryMC/var/core/sopd.core) およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法に関しては,「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお, システム操作パネルプログラム (sopd) は自動的に再起動します。再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
150	E7	RM	27000001	0000	accountingd aborted.
アカウンティングプログラム (acctd) を強制終了しました。 [対応] 1. アカウンティングプログラムのダンプ情報 (/primaryMC/var/accounting/ 下のファイル accounting_dump.gz) およびログ情報, コンフィグレーションを収集してください。収集方法については,「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき, 最近行われたネットワークの構成変更 (他の装置を含む) などがある場合は, 併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお, アカウンティングプログラムは自動的に再起動されます。アカウンティングプログラムが再起動しない場合, または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
151	E7	RM	27000011	0000	System accounting temporary stopped because accounting event congestion detected.
					アカウントिंगイベント送信が輻輳したため、ログイン・ログアウト・コマンドのアカウントングを一時停止しました。 【対応】 - show accounting コマンドにてエラーが発生している RADIUS または TACACS+ サーバを確認してください。 - エラーが発生している RADIUS または TACACS+ サーバのコンフィグレーションの設定を確認してください。また、RADIUS または TACACS+ サーバ側の設定も正しいことを確認してください。
152	E7	RM	2c000001	1001	bfdd aborted.
					BFD プログラム (bfdd) を強制終了しました。 【対応】 - BFD プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core/bfdd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 - 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、BFD プログラムは自動的に再起動されます。BFD プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
153	E8	RM	01500306	1001	CP initialization cancelled due to a failure in sending the routing information to CP.
					CP へのルーティング情報の配布に失敗したため、CP の初期化を中止しました。 RM ソフトウェアが過負荷状態である可能性があります。 【対応】 - 過負荷状態が発生しているログ (E3 RM 01700502 1001 RM overloaded, ...) がある場合は、そのメッセージに従った対応を行ってください。 - reload cp コマンドによって CP を再起動してください。

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
154	E9	RM	01100003 01200003 01300003 01400003 01500003 01600003 01700003 01800003 01900003 01910003 01a00003 03000003 04000003 05000003 06100003 06200003 06300003 06400003 06500003 07000003 08000003 09100003 09200003 09300003 09400003 09500003 09600003 12000003	1001	System restarted due to RM software failure occurred during initialization.
初期化中に RM ソフトウェアに障害が発生し、装置を再起動しました。 [対応] 1. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. ダンプとログおよび障害待避情報（/primaryMC/var/core 下のすべてのファイル）を保守員へ送付してください。 ダンプおよび障害待避情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 保守員は上記ダンプとログおよび障害待避情報を支援部署へ送付してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
155	E9	RM	01100005 01200005 01300005 01400005 01500005 01600005 01700005 01800005 01900005 01910005 01a00005 03000005 04000005 05000005 06100005 06200005 06300005 06400005 06500005 07000005 08000005 09100005 09200005 09300005 09400005 09500005 09600005 09700005 09800005 0b070005 12000005	1001	System restarted due to RM software failure occurred during operation.
運用中に RM ソフトウェアに障害が発生し、装置を再起動しました。 なお、このログは BCU のリセットスイッチ、または BCU ALTERNATE スイッチ押下時にも表示される場合があります。 [対応] 1. BCU のリセットスイッチ、または BCU ALTERNATE スイッチ押下時は、対応不要です。 2. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 3. ダンプとログおよび障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のすべてのファイル) を保守員へ送付してください。ダンプおよび障害待避情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 4. 保守員は上記ダンプとログおよび障害待避情報を支援部署へ送付してください。					
156	R7	RM	00003101	1000	RM recovered from memory exhaustion.
RM のメモリ不足が回復しました。 [対応] RM のメモリ不足から回復した場合でも、本装置の収容条件を満たしていない可能性があります。「解説書 Vol.1 3.2 収容条件」を参照してネットワーク構成を見直し、その結果に応じてメモリ増設を検討してください。					
157	R7	RM	01200101	1001	RM software process restarted.
CP を制御する RM のプロセスが再起動しました。 このメッセージは CP を制御する RM のプロセスが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
158	R7	RM	02002001	1001	snmpd restarted. SNMP エージェントプログラム (snmpd) を再起動しました。 このメッセージは、SNMP エージェントプログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] 1. SNMP エージェントプログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル snmpd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
159	R7	RM	02002003	1001	rmon restarted. RMON プログラム (rmon) を再起動しました。 このメッセージは、RMON プログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] 1. RMON の障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル rmon.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、RMON プログラム (rmon) は自動的に再起動されます。RMON プログラム (rmon) が再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
160	R7	RM	05001001	1001	Rtm restarted. ユニキャストルーティングプログラムを再起動しました。 このメッセージは、ユニキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart unicast (IPv4) コマンドもしくは restart unicast (IPv6) コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
161	R7	RM	0d00b001	1001	dhcpcd restarted. DHCP リレープログラム (dhcpcd) を再起動しました。このメッセージは DHCP リレープログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
162	R7	RM	0d10b001	1001	dhcp_server restarted. DHCP サーバプログラム (dhcp_server) を再起動しました。このメッセージは DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
163	R7	RM	0e008014	1000	vrrpd restarted. VRRP プログラムを再起動しました。 このメッセージは VRRP プログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
164	R7	RM	0f106001 0f206001 0f306001 0f406001	1001	mrp restarted.
IP マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。このメッセージは、IP マルチキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart ipv4-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。					
165	R7	RM	11109901	1001	policy restarted.
ポリシールーティングプログラムを再起動しました。このメッセージは、ポリシールーティングプログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。					
166	R7	RM	13008201	1001	mpls restarted.
MPLS プログラムを再起動しました。このメッセージは、MPLS プログラムが自動的に再起動した場合、または運用コマンド restart mpls によって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] MPLS プログラムが自動的に再起動した場合 1. MPLS プログラムの障害待避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル mplsdc.core)、およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）等がある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。なお、MPLS プログラム (mplsd) は自動的に再起動されます。MPLS プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。 運用コマンド restart mpls によって再起動を要求した場合 なし。 運用コマンド restart mpls については、「運用コマンドレファレンス Vol.2 restart mpls 【OP-MPLS】」を参照してください。					
167	R7	RM	19106001	1001	pmr6p restarted.
IPv6 マルチキャストルーティング管理プログラムを再起動しました。このメッセージは IPv6 マルチキャストルーティング管理プログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。					
168	R7	RM	1920a002	1001	pim6sd restarted.
IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。このメッセージは、IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart ipv6-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。					
169	R7	RM	1a00c000	0000	DNS relay program (Daemon) restarted.
DNS リレープログラム (dnsRelayd) を再起動しました。このメッセージは DNS リレープログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
170	R7	RM	1e001000	1001	flowd restarted.
					フロー統計エージェントプログラム (flowd) を再起動しました。このメッセージはフロー統計エージェントプログラム (flowd) が自動的に再起動した場合、または restart sflow / restart netflow コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
171	R7	RM	1f00b011	1001	dhcp6_server restarted.
					IPv6 DHCP サーバプログラム (dhcp6_server) を再起動しました。 このメッセージは、IPv6 DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
172	R7	RM	20100001	1001	L2Manager restarted
					L2 管理プログラム (L2Manager) を再起動しました。このメッセージは L2 管理プログラムが自動的に再起動した場合によって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
173	R7	RM	20120001	1001	LAd restarted.
					リンクアグリゲーションプログラム (LAd) を再起動しました。このメッセージは、リンクアグリゲーションプログラムが自動的に再起動した場合、または restart link-aggregation コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
174	R7	RM	20140001	1001	lldpd restarted.
					LLDP プログラム (lldpd) を再起動しました。このメッセージは LLDP プログラムが自動的に再起動した場合、または restart lldp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
175	R7	RM	20150001	1001	oadpd restarted.
					OADP プログラム (oadpd) を再起動しました。このメッセージは OADP プログラムが自動的に再起動した場合、または restart oadp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
176	R7	RM	20700001	1001	efmoamd restarted.
					IEEE802.3ah/OAM プログラム (efmoamd) を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.3ah/OAM プログラムが自動的に再起動した場合、または restart efmoam コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
177	R7	RM	23100001	1001	sopd restarted.
					システム操作パネルプログラム (sopd) を再起動しました。 このメッセージはシステム操作パネルプログラム (sopd) が自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
178	R7	RM	27000001	0000	accountingd restarted.
アカウンティングプログラム (acctd) を再起動しました。このメッセージはアカウンティングプログラムが自動的に再起動した場合、または restart accounting コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] 1. コマンド要求以外で自動的に再起動した場合は、アカウンティングプログラムの障害退避情報 (/primaryMC/var/core 下のファイル acctd.core) およびログ情報、コンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 上記で収集した情報を保守員へ送付してください。そのとき、最近行われたネットワークの構成変更（他の装置を含む）などがある場合は、併せて保守員に連絡してください。 3. 保守員は上記情報を支援部署へ送付してください。 なお、再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。					
179	R7	RM	27000011	0000	System accounting recovered from congestion.
アカウンティングイベント送信が輻輳から回復したため、ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングを再開しました。 [対応] なし。					
180	R7	RM	2c000001	1001	bfd restart.
BFD プログラム (bfd) を再起動しました。 このメッセージは、BFD プログラムが自動的に再起動した場合、または restart bfd コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。					
181	R8	RM	01500306	1001	Started sending the routing information to CP.
CP へのルーティング情報の配布を開始しました。 [対応] なし。					

3.4.2 イベント発生部位 = CP

イベント発生部位 = CP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-7 イベント発生部位 = CP の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	CP	01500013	1132	Invalid message received from CP.
CP より無効なメッセージを受信しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。					
2	E3	CP	01500014 12000014	1132	Failed in sending the message to CP.
CP へのメッセージの送信に失敗しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
3	E3	CP	01500015	1132	Failed in receiving the message from CP.
					CP からのメッセージの受信に失敗しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
4	E3	CP	01500205	1132	Invalid interrupt received from CP.
					CP より無効な割り込みを受信しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
5	E3	CP	01500312	1130	CP stopped because standby CSW not ready.
					待機系 BCU の CSW が使用できないため、運用系 CP を停止しました。本メッセージは CSW モードが double_fixed モードまたは double1_fixed モードの場合に待機系障害が発生したときに表示されます。 [対応] 待機系 BCU の運用状態を確認してください。 - 待機系 BCU 立ち上げ中状態であれば、立ち上がるまで待ってください。 - ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 - double_fixed モードまたは double1_fixed モードの必要がなければ、set mode コマンドにより転送モードを変更することで、single 運用でパケット転送を再開できます。
6	E3	CP	01a00013	1132	Invalid message received from CP.
					CP より無効なメッセージを受信しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
7	E3	CP	01a00014	1132	Failed in sending the message to CP.
					CP へのメッセージの送信に失敗しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
8	E3	CP	01a00015	1132	Failed in receiving the message to CP.
					CP からのメッセージの受信に失敗しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
9	E3	CP	0d000014	1132	Failed in sending the message to CP.
					CP へのメッセージの送信に失敗しました。 [対応] ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。
10	E3	CP	80000005	1133	Failed in copying CP software to the flash memory.
					CP ソフトウェアの CP フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回 CP 起動に時間がかかりますが、運用には影響ありません。 このログが頻繁に出力される場合、該当 BCU ボードを交換してください。 BCU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
11	E3	CP	a4000000	1132	Failed the policy configuration in setting or changing.
					Policy コンフィグレーションの設定または変更が失敗しました。 [対応] 1. コンフィグレーション設定中にメッセージが出力された場合、ポリシー定義を削除後、再度定義し直してください。 2. ポリシールーティング機能の出力先インタフェースに該当する PRU を閉塞状態にした際、メッセージが出力されることがありますが、その場合、対応の必要はありません。 3. ポリシールーティング機能の出力先インタフェースに該当する PRU の障害が発生した際、メッセージが出力されることがありますが、その場合、PRU の障害メッセージに対応した処置を行ってください。 4. 1 を実施した後もメッセージが出力される場合は、CP と PRU のダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。CP ダンプおよびログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照およびオンラインにて dump cp および dump pru の各コマンドを入力し採取してください。 5. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。
12	E3	CP	a4000001	1132	Failed in setting of the flow list.<List No.> of configuration.
					フローリスト <List No.> のコンフィグレーションの反映に失敗しました。 [対応] 収容条件を確認してください。収容条件を超えている場合、反映に失敗したフローリスト <List No.> を削除してください。超えていない場合は、反映に失敗したフローリスト <List No.> が定義してあるフローフィルタ情報またはフロー QoS 情報を削除して、もう一度設定し直してください。
13	E3	CP	a4000002	1132	The number of UPC entries of Flow Qos exceeded the maximum number.
					Flow qos の UPC エントリ数が最大数を超えました。 [対応] 収容条件を確認してください。収容条件を超えている場合、不要なフロー情報を削除してください。超えていない場合は、削除してもう一度設定し直してください。
14	E3	CP	a4000003	1132	Failed the policy configuration in setting or changing due to the insufficient memory capacity of CP.
					メモリ不足のため、Policy コンフィグレーションの設定または変更が失敗しました。 [対応] 1. CP ダンプと show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。CP ダンプの収集方法はオンラインにて dump cp コマンドを入力し採取してください。show tech-support コマンドについては、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は CP ダンプおよび show tech-support コマンドで収集した情報を支援部署に送付してください。
15	E3	CP	a4000004	1132	Failed the port-mirroring configuration in setting or changing.
					Port-mirroring コンフィグレーションの設定または変更が失敗しました。 [対応] 1. ポートミラーリング定義を削除後、再度定義し直してください。 2. 1 で現象が解消されない場合は、該当するポートミラーリング定義を削除後、再度定義し直してください。 3. 2 でも現象が解消されない場合は、CP ダンプと show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。CP ダンプの収集方法はオンラインにて dump cp コマンドを入力し採取してください。show tech-support コマンドについては、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 4. 保守員は CP ダンプおよび show tech-support コマンドで収集した情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
16	E3	CP	a4000005	1132	Started the modification of flow qos priority by legacy shaper mode change.
QoS キューリスト情報のレガシーシェーパーモード変更によるフロー QoS 情報の出力優先度のハードウェアへの再設定を開始しました。 [対応] 1. 反映中は、ポリシングの帯域に揺らぎが発生し、期待するキューイングが行われない場合があります。該当する物理回線のトラフィックを低減することをお勧めします。 2. フローリスト数に応じて反映に時間が掛かります。終了のメッセージまでお待ちください。					
17	E3	CP	a4000006	1132	Completed the modification of flow qos priority by legacy shaper mode change.
QoS キューリスト情報のレガシーシェーパーモード変更によるフロー QoS 情報の出力優先度のハードウェアへの再設定が終了しました。 [対応] なし。					
18	E3	CP	a4000007	1132	Failed the modification of flow qos priority by legacy shaper mode change.
QoS キューリスト情報のレガシーシェーパーモード変更によるフロー QoS 情報の出力優先度のハードウェアへの再設定に失敗しました。 [対応] 1. レガシーシェーパーモードを元に戻し、再度レガシーシェーパーモードの変更を実施してください。 2. 変更できない場合、CP ダンプ、PRU ダンプ、コンフィグレーションおよびログ情報を収集し、保守員に渡してください。PRU ダンプはレガシーシェーパーモードを変更した物理回線を収容する PRU のものを採取してください。CP ダンプ、PRU ダンプ、コンフィグレーションおよびログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照およびオンラインにて dump cp および dump pru の各コマンドを入力し採取してください。					
19	E3	CP	a4000016	1132	Failed the policy_mpls configuration in setting or changing due to the insufficient memory capacity of CP.
メモリ不足のため、flow filter コンフィグレーションの MPLS ポリシールーティング機能の設定または変更失敗しました。 [対応] 1. CP ダンプと show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。CP ダンプの収集方法はオンラインにて dump cp コマンドを入力し採取してください。show tech-support コマンドについては、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は CP ダンプおよび show tech-support コマンドで収集した情報を支援部署に送付してください。					
20	E3	CP	a4000017	1132	Failed in update of the sending and receiving control function of hardware about the mirroring port.
ミラーリングポートの送受信抑止機能がハードウェアに反映されませんでした。 [対応] 1. 該当するポートミラーリングの送受信抑止定義を削除後、再度定義し直してください。 2. 1 で現象が解消されない場合は、該当するポートミラーリング定義を削除後、再度定義し直してください。 3. 2 でも現象が解消されない場合は、CP ダンプと show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。CP ダンプの収集方法はオンラインにて dump cp コマンドを入力し採取してください。show tech-support コマンドについては、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 4. 保守員は CP ダンプおよび show tech-support コマンドで収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
21	E3	CP	d0002001	1132	The number of QoS entries used with NetFlow exceeded the maximum number.
NetFlow で使用している QoS エントリ数と QoS で使用しているエントリ数の合計が最大数を超えました。NetFlow 統計を停止します。 【対応】 収容条件を確認してください。収容条件を超えている場合、NetFlow で使用している QoS エントリ数か QoS で使用しているエントリ数を減らしてください。収容条件については、AX7800R の場合には「解説書 Vol.1 3.2.1(12)(d) NetFlow 統計のエントリ数」、AX7700R の場合には「解説書 Vol.1 3.2.2(11)(d) NetFlow 統計のエントリ数」を参照してください。					
22	E4	CP	80000003	1132	Congestion detected on CP.
CP ソフトウェアで処理するパケットの輻輳を検出しました。ネットワークの負荷が CP の処理能力を超えたために、パケット廃棄が頻発しています。 【対応】 1. CP が輻輳から回復しない場合、または現象が頻発する場合はネットワーク構成を見直してください。輻輳によって廃棄の発生しているキューの詳細情報は、「運用コマンドレファレンス Vol.2 show qos queueing」で参照できます。 2. ネットワーク構成に問題がない場合は、CP ダンプ・PRU ダンプ・イベントダンプ・コンフィグレーションおよびログ情報を収集し、保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。イベントダンプの採取契機については「運用ガイド 表 8-6 イベントダンプ採取イベント一覧」を参照してください。 3. CP ダンプ・PRU ダンプは、オンラインでそれぞれ dump cp コマンド・dump pru コマンドを入力し採取してください。 4. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。					
23	E4	CP	80000004	1132	CP recovered from congestion.
CP ソフトウェアのパケット処理が輻輳から回復しました。 【対応】 なし。					
24	E8	CP	01500003 01500004	1131	CP restarted due to its software failure detected.
初期化中に CP ソフトウェア障害（MD 読み込みエラー）が発生しました。CP を復旧します。 【対応】 1. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。 3. BCU ボードを交換して再起動してください。					
25	E8	CP	01500012	1130	CP restarted due to the health check error detected.
RM から CP への動作確認に失敗しました。CP を復旧します。 【対応】 1. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。					
26	E8	CP	01500012 01500016 01500200	1132	CP restarted due to its software failure detected.
初期化中に CP ソフトウェア障害（ソフトウェア書き込みエラー）が発生しました。CP を復旧します。 【対応】 1. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
27	E8	CP	01500210	1130	CP restarted due to its hardware failure detected.
	BCU ハードウェア障害が発生しました。CP を復旧します。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。 3. BCU ボードを交換して再起動してください。				
28	E8	CP	01500211	1130	CP restarted due to its hardware failure detected.
	初期化時の自己診断中に BCU ハードウェア障害が発生しました。CP を復旧します。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。 3. BCU ボードを交換して再起動してください。				
29	E8	CP	01500301	1132	CP restarted, but not recovered from software failure.
	CP ソフトウェア障害からの復旧に失敗したため、CP を停止しました。 [対応] 1. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。				
30	E8	CP	01500302	1132	CP restarted, but not recovered from hardware failure.
	CP ハードウェア障害からの復旧に失敗したため、CP を停止しました。 [対応] 1. ログを確認し、他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。				
31	E8	CP	01500311 12000311	1130	CP restarted due to timeout of message detected.
	制御用メッセージの受信タイムアウトが発生したため、CP は再起動します。 [対応] 1. ダンプおよびログ情報を保守員に渡してください。ダンプ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。この障害に該当するダンプ情報が存在しない場合は、ログ情報だけ渡してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署に送付してください。				
32	E8	CP	80000001	1131	CP software restarted due to its failure.
	CP ソフトウェア障害を検出しました。 [対応] 1. CP ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。				
33	E8	CP	80000001	1132	CP software restarted due to its failure.
	CP ソフトウェア障害を検出しました。 [対応] 1. CP ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
34	R8	CP	01500014	1130	CP initialized.
	CP の初期化が完了しました。 [対応] なし。				
35	R8	CP	01500303	1130	CP event initialized as a result of changing this router from active to standby.
	このシステムは運用系から待機系に系切替したため、過去の CP 管理情報を初期化しました（待機系でだけ表示）。 [対応] なし。				

3.4.3 イベント発生部位 = NIF

イベント発生部位 =NIF の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-8 イベント発生部位 =NIF の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	NIF	90000000	1240	NIF enabled administratively.
	コンフィグレーションによって NIF は閉塞を解除しました。 [対応] なし。				
2	E3	NIF	90001000	1240	NIF disabled administratively.
	コンフィグレーションによって NIF は閉塞されました。 [対応] なし。				
3	E3	NIF	90005002	1240	NIF restarted due to the difference in software version and NIF.
	ソフトウェアバージョンと NIF でサポートしている機能が不一致のため、NIF を再起動します。 [対応] なし。				
4	E6	NIF	90002000	1240	NIF stopped because its hardware failure detected during the self diagnosis.
	NIF の自己診断中に障害を検出しました。NIF を停止します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
5	E6	NIF	90002001	1240	NIF stopped because its hardware failure.
					NIF でハードウェア障害を検出しました。NIF を停止します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
6	E6	NIF	90002002	1240	NIF board not found.
					NIF ボードの未実装を検出しました。 [対応] NIF ボードが実装されていないか、または半挿し状態です。close nif コマンドを実行し NIF を実装後、NIF を起動してください。
7	E6	NIF	90005000	1240	NIF not initialized because PRU and NIF boards mismatched.
					PRU 種別と NIF 種別の組み合わせに誤りがあるため、初期化できませんでした。 [対応] PRU 種別と NIF 種別の組み合わせが正しくなるように、PRU または NIF ボードを交換してください。PRU および NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
8	E6	NIF	90005001	1240	NIF not initialized because of its unknown NIF.
					不明な NIF ボードのため、初期化できませんでした。 [対応] ソフトウェアバージョンでサポートされていない NIF ボードです。NIF ボード種別とソフトウェアのバージョンを確認し、NIF ボードを交換するか、ソフトウェアをアップデートしてください。NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。ソフトウェアのアップデート方法については、「運用ガイド 10. ソフトウェアアップデート」を参照してください。
9	R6	NIF	01a00015	1240	NIF initialized.
					NIF の初期化が完了しました。 [対応] なし。

3.4.4 イベント発生部位 = PRU

イベント発生部位 =PRU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-9 イベント発生部位 =PRU の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	PRU	01a00721	1681	PRU disabled by the configuration.
					コンフィグレーションコマンドによって PRU は運用停止に指定されました。 [対応] なし。

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
2	E3	PRU	01a00722	1681	PRU enabled by the configuration.
					コンフィグレーションコマンドによって PRU は運用停止を解除しました。 [対応] なし。
3	E3	PRU	80000017	1682	PRU restarted due to the difference in configuration between active and standby.
					運用系と待機系のコンフィグレーションが不一致のため、PRU を再起動します。 [対応] 1. コンフィグレーションを変更した場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 2. 上記以外の場合、copy startup-config コマンドを使用して、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。
4	E3	PRU	80000018	1682	PRU restarted due to the difference in license key between active and standby.
					運用系と待機系のライセンスキー情報が不一致のため、PRU を再起動します。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンドを実行し、待機系を再起動してください。
5	E3	PRU	80000019	1682	PRU restarted due to the difference in software version between active and standby.
					運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致のため、PRU を再起動します。 [対応] 1. 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 2. 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 3. copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 4. 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。
6	E8	PRU	01a00711	1681	PRU restarted because its hardware failure detected.
					初期化中に PRU ハードウェア障害が発生しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ダンプ、ログ情報を保守員に渡してください。ダンプ、ログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換してしてください。
7	E8	PRU	01a00712	1681	Failed in sending the configuration to PRU.
					PRU 関連のコンフィグレーション配布に失敗しました。 [対応] 1. ログ情報を保守員に渡してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。
8	E8	PRU	01a00713	1681	PRU not initialized because it is unknown PRU.
					不明な PRU ボードのため、初期化できませんでした。 [対応] 1. ログ情報を保守員に渡してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
9	E8	PRU	01a00714	1681	PRU restarted, but not recovered from hardware failure.
PRU ハードウェア障害からの復旧に失敗したため、PRU を停止しました。 [対応] 1. 該当 PRU が close pru コマンドにより閉塞されていない状態で抜去されていないか確認してください。 2. 上記1で抜去されている場合は、該当 PRU を実装し、free pru コマンドで再起動した後、show system コマンドで同 PRU が active となることを確認してください。 3. 上記1で該当 PRU が抜去されていない場合は、ダンプおよびログ情報を保守員に渡し、PRU ボードを交換してください。 ダンプ、ログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。					
10	E8	PRU	01a00715	1681	PRU not initialized because power supply is insufficient.
電源容量不足のため、PRU 内蔵型高密度ポート NIF の起動を中止しました。 [対応] 1. 電源ユニットの実装状態、および稼働状態を確認してください。もし、正常に稼働している電源ユニットが不足している場合は、増設してください。※ 電源ユニットの増設手順は「ハードウェア取扱説明書 5.4 電源機構の増設および交換」を参照してください。 2. 電源ユニットの増設完了後、free pru コマンドで PRU 内蔵型高密度ポート NIF の再起動をしてください。					
11	E8	PRU	80000006	1680	PRU not initialized because it is unknown PRU.
不明な PRU ボードのため初期化できませんでした。 [対応] S/W バージョンでサポートされていない PRU ボードです。PRU ボード種別と S/W のバージョンを確認してください。					
12	E8	PRU	80000007	1680	PRU hardware failure detected.
PRU のハードウェアの障害を検出しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
13	E8	PRU	80000014	1682	HDC on PRU failure detected.
PRU 上のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
14	E8	PRU	80000015	1680	PRU stopped because its hardware failure detected.
PRU のハードウェアの障害を検出しました。PRU を停止します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

3.4 装置の各部位

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
15	E8	PRU	80000016	1680	PRU board not found.
PRU ボードの未実装を検出しました。 [対応] PRU ボードが実装されていないか、または半挿し状態です。close pru コマンドを実行し PRU を実装後、PRU を起動してください。					
16	E8	PRU	80000020	1680	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
BCU と PRU との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで情報を収集してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも収集してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し、復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ、RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には、同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを、1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し、BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また、3 ～ 5 を実施した場合は、4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
17	E8	PRU	80000021	1680	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで情報を収集してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも収集してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し、復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し、NIF を再起動してください。ただし、PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は、NIF ボード交換時の PRU の閉塞と、交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
18	E8	PRU	80000022	1680	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで情報を収集してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも収集してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し、復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し、NIF を再起動してください。ただし、PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は、NIF ボード交換時の PRU の閉塞と、交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
19	E8	PRU	80000023	1680	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで情報を収集してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも収集してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し、復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し、NIF を再起動してください。ただし、PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は、NIF ボード交換時の PRU の閉塞と、交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
20	R8	PRU	01a00701	1681	PRU initialized.
PRU の初期化が完了しました。 [対応] なし。					
21	R8	PRU	01a00702	1681	PRU event initialized as a result of changing this system from active to standby.
本装置は運用系から待機系に系切替したため、過去の PRU イベント情報を初期化しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] なし。					
22	R8	PRU	01a00703	1681	PRU error information initialized as a result of closing PRU.
PRU が close pru コマンドによって閉塞されたため、過去の PRU 障害情報（障害発生回数）を初期化しました。 [対応] なし。					
23	R8	PRU	01a00704	1681	PRU error information initialized as a result of disabling PRU.
PRU がコンフィグレーションコマンドによって閉塞されたため、過去の PRU 障害情報（障害発生回数）を初期化しました。 [対応] なし。					

※ PRU 内蔵型高密度ポート NIF に必要な電源ユニットの個数は、AX7804R-AC の場合で 2 個、AX7808R-AC の場合で 3 個です。

3.5 回線

3.5.1 イベント発生部位 = LINELAN

イベント発生部位 =LINELAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-10 イベント発生部位 =LINELAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	LINELAN	90110000	1350	Line enabled administratively.
コンフィグレーションによって回線は閉塞を解除しました。 [対応] なし。					
2	E3	LINELAN	90111000	1350	Line disabled administratively.
コンフィグレーションによって回線は閉塞されました。 [対応] なし。					
3	E4	LINELAN	25100012	1350	NIF <NIF No.> Line <Line No.>:closed because of uni-directional link detection.
片方向リンク障害を検出したため、回線を close 状態にしました。 NIF <NIF No.> Line <Line No.> : NIF 番号 /Line 番号 [対応] 1. 接続先で IEEE802.3ah/OAM 機能が有効であることを確認してください。 2. test interfaces コマンドを実行し、装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 3. 装置およびケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。 その後、free コマンドでポートの close 状態を解除してください。					
4	E4	LINELAN	25100013	1350	NIF <NIF No.> Line <Line No.>:closed because of loop detection.
ループ障害を検出したため、回線を close 状態にしました。 NIF <NIF No.> Line <Line No.> : NIF 番号 /Line 番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。					
5	E4	LINELAN	80100000	1350	cp congestion-control start.
CP ソフトウェアで輻輳を検知し、輻輳制御機能を開始しました。 [対応] ネットワークの負荷が CP の処理能力を超えたために、パケット廃棄が頻発し、輻輳制御機能により回線を閉塞しています。輻輳制御機能の制御時間に達しても回線が閉塞解除しない場合、または現象が頻発する場合はネットワーク構成を見直すなどして、輻輳の要因を排除してください。					
6	E4	LINELAN	80100001	1350	cp congestion-control end.
CP ソフトウェアで行っていた輻輳制御機能を終了しました。 [対応] なし。					
7	E4	LINELAN	80100002	1350	CP congestion detected on exception-port.
輻輳制御閉塞対象外ポートで CP 輻輳を検知しました。 [対応] 現象が頻発して通信に影響する場合はネットワーク構成を見直すなどして、CP 輻輳の要因を排除してください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
8	E4	LINELAN	90110001	1350 1353	Line status up.
					回線状態が UP になりました。 [対応] なし。
9	E4	LINELAN	90110002	1350	Transceiver mounted.
					トランシーバの実装を検出しました。 [対応] なし。
10	E4	LINELAN	90111001	1350 1353	Error detected on the line.
					回線障害が発生しました。 [対応] 以下を実行してください。 1. ケーブルが抜けている、または半挿し状態の場合、ケーブルを正しく接続してください。 2. 相手装置の立ち上げが完了していない場合、立ち上げ完了までお待ちください。 3. 指定のケーブル（「ハードウェア取扱説明書」記載のケーブル）を使用していない、またはケーブルが断線している場合、ケーブルを交換してください。 4. オートネゴシエーションの設定の場合、「解説書 Vol.1 4. イーサネット」を確認し、固定接続にしてください。
11	E4	LINELAN	90111002	1350	Transceiver not mounted.
					トランシーバの未実装を検出しました。 [対応] トランシーバが実装されていない。または半挿しの場合は正しく接続してください。
12	E4	LINELAN	90111003	1350 1353 1357	Auto negotiation failed.
					オートネゴシエーションが失敗しました。 [対応] 以下を実行してください。 1. ケーブルが半挿し状態の場合、ケーブルを正しく接続してください。 2. 指定のケーブル（「ハードウェア取扱説明書」記載のケーブル）を使用していない場合、またケーブルが断線している場合、ケーブルを交換してください。 3. オートネゴシエーションの設定の場合、「解説書 Vol.1 4. イーサネット」を確認し、固定接続にしてください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
13	E4	LINELAN	90111004	1350	Many failures occurred in receiving frames to the targeted Line due to the Line troubles. Execute the Line tests to check the Line condition.
回線ノイズなどによるエラーのため、該当回線でのフレーム受信失敗が多発しています。ログの出力条件および統計項目を以下に示します。 1. 出力条件 以下の統計項目値の合計が、コンフィグレーションコマンド <code>frame-error-notice</code> で指定されたエラー通知条件を満たす場合に出力します。ただし、<code>no_display</code> パラメータを設定している場合は本条件を満たしていてもログを出力しません。コンフィグレーションコマンドについては「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 <code>frame-error-notice</code>」を参照してください。 2. 統計項目 • CRC errors • Alignment • Fragments • Jabber • Overrun • Symbol errors • Layer 1 Symbol errors • Layer 2 Symbol errors • Short frames • Long frames • Descramble errors 【対応】 1. 回線テストを実行し、NIF ボードまたはケーブルに障害がないか確認してください。回線テストの方法は「運用ガイド 9.7 回線をテストする」を参照してください。 2. NIF ボードまたはケーブルが正常な場合、接続先の機器を調査してください。エラー内容の詳細については、<code>show interfaces</code> コマンドの上記の統計項目により確認してください。障害部位の切り分け手順については、「運用ガイド 8.4 ネットワークインタフェースの通信障害」を参照してください。					
14	E4	LINELAN	90111005	1350	Many failures occurred in sending frames to the targeted Line due to the Line troubles. Execute the Line tests to check the Line condition.
回線ノイズなどによるエラーのため、該当回線でのフレーム送信失敗が多発しています。ログの出力条件および統計項目を以下に示します。 1. 出力条件 以下の統計項目値の合計が、コンフィグレーションコマンド <code>frame-error-notice</code> で指定されたエラー通知条件を満たす場合に出力します。ただし、<code>no_display</code> パラメータを設定している場合は本条件を満たしていてもログを出力しません。コンフィグレーションコマンドについては「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1 <code>frame-error-notice</code>」を参照してください。 2. 統計項目 • Late collision • Excessive collision • Carrier sense lost • Excessive deferral • Underrun 【対応】 1. 回線テストを実行し、NIF ボードまたはケーブルに障害がないか確認してください。回線テストの方法は「運用ガイド 9.7 回線をテストする」を参照してください。 2. NIF ボードまたはケーブルが正常な場合、接続先の機器を調査してください。エラー内容の詳細については、<code>show interfaces</code> コマンドの上記の統計項目により確認してください。障害部位の切り分け手順については、「運用ガイド 8.4 ネットワークインタフェースの通信障害」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
15	E4	LINELAN	90115000	1350	Transceiver not supported.
未サポートのトランシーバを検出しました。 [対応] サポートしているトランシーバを実装してください。					

3.5.2 イベント発生部位 = LINEWAN

イベント発生部位 = LINEWAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-11 イベント発生部位 = LINEWAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	LINEWAN	90120000	1450	Line enabled administratively.
コンフィグレーションによって回線は運用停止を解除しました。 [対応] なし。					
2	E3	LINEWAN	90121000	1450	Line disabled administratively.
コンフィグレーションによって回線は運用停止に指定されました。 [対応] なし。					
3	E4	LINEWAN	80100000	1450	cp congestion-control start.
CP ソフトウェアで輻輳を検知し、輻輳制御機能を開始しました。 [対応] ネットワークの負荷が CP の処理能力を超えたために、パケット廃棄が頻発し、輻輳制御機能により回線を閉塞しています。輻輳制御機能の制御時間に達しても回線が閉塞解除しない場合、または現象が頻発する場合はネットワーク構成を見直すなどして、輻輳の要因を排除してください。					
4	E4	LINEWAN	80100001	1450	cp congestion-control end.
CP ソフトウェアで行っていた輻輳制御機能を終了しました。 [対応] なし。					
5	E4	LINEWAN	80100002	1450	CP congestion detected on exception-port.
輻輳制御閉塞対象外ポートで CP 輻輳を検知しました。 [対応] 現象が頻発して通信に影響する場合はネットワーク構成を見直すなどして、CP 輻輳の要因を排除してください。					
6	E4	LINEWAN	90120001	1450	Line status up.
回線状態が UP になりました。 [対応] なし。					
7	E4	LINEWAN	90120002	1450	Transceiver mounted.
トランシーバの実装を検出しました。 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
8	E4	LINEWAN	90121001	1450	Error detected on the line.
回線障害が発生しました。 [対応] 以下を実行してください。 1. ケーブルが抜けているか、半挿し状態の場合は、ケーブルを正しく接続してください。 2. 相手装置の立ち上げが完了していない場合は、立ち上げ完了までお待ちください。 3. 指定のケーブル（「ハードウェア取扱説明書」記載のケーブル）を使用していない、またはケーブルが断線していた場合は、ケーブルを交換してください。					
9	E4	LINEWAN	90121002	1450	Transceiver not mounted.
トランシーバの未実装を検出しました。 [対応] トランシーバが実装されていない、または半挿しの場合は、正しく接続してください。					
10	E4	LINEWAN	90121003	1450	Many failures occurred in receiving frames to the targeted Line due to the Line troubles. Execute the Line tests to check the Line condition.
回線ノイズなどによるエラーのため、該当回線でのフレーム受信失敗が多発しています。ログの出力条件および統計項目を以下に示します。 1. 出力条件 以下の統計項目値の合計が、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で指定されたエラー通知条件を満たす場合に出力します。ただし、no_display パラメータを設定している場合は本条件を満たしていてもログを出力しません。コンフィグレーションコマンドについては「コンフィグレーションコマンドリファレンス Vol.1 frame-error-notice」を参照してください。 2. 統計項目 ・ CRC errors ・ Short frames ・ Long frames ・ Aborted frames [対応] 1. 回線テストを実行し、NIF ボードまたはケーブルに障害がないか確認してください。回線テストの方法は「運用ガイド 9.7 回線をテストする」を参照してください。 2. NIF ボードまたはケーブルが正常な場合、接続先の機器を調査してください。エラー内容の詳細については、show interfaces コマンドの上記の統計項目により確認してください。障害部位の切り分け手順については、「運用ガイド 8.4 ネットワークインタフェースの通信障害」を参照してください。					
11	E4	LINEWAN	90121004	1450	Many failures occurred in sending frames to the targeted Line due to the Line troubles. Execute the Line tests to check the Line condition.
回線ノイズなどによるエラーのため、該当回線でのフレーム送信失敗が多発しています。ログの出力条件および統計項目を以下に示します。 1. 出力条件 以下の統計項目値の合計が、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で指定されたエラー通知条件を満たす場合に出力します。ただし、no_display パラメータを設定している場合は本条件を満たしていてもログを出力しません。コンフィグレーションコマンドについては「コンフィグレーションコマンドリファレンス Vol.1 frame-error-notice」を参照してください。 2. 統計項目 ・ Underrun ・ Aborted frames [対応] 1. 回線テストを実行し、NIF ボードまたはケーブルに障害がないか確認してください。回線テストの方法は「運用ガイド 9.7 回線をテストする」を参照してください。 2. NIF ボードまたはケーブルが正常な場合、接続先の機器を調査してください。エラー内容の詳細については、show interfaces コマンドの上記の統計項目により確認してください。障害部位の切り分け手順については、「運用ガイド 8.4 ネットワークインタフェースの通信障害」を参照してください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
12	E4	LINEWAN	90125000	1450	Transceiver not supported.
					未サポートのトランシーバを検出しました。 [対応] サポートしているトランシーバを実装してください。

3.6 オプション機構

3.6.1 イベント発生部位 = MC

イベント発生部位 =MC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-12 イベント発生部位 =MC の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	MC	00000106	2000	Primary MC slot is identical with boot mode (primary MC : slot <MC slot No.>, boot mode : slot <MC slot No.>).
本装置の起動 MC は、起動時の優先 MC の設定と一致しています。 (起動 MC : <MC スロット番号>, 優先 MC : <MC スロット番号>) [対応] なし。					
2	E3	MC	00000107	2000	Primary MC slot is different from boot mode (primary MC : slot <MC slot No.>, boot mode : slot <MC slot No.>).
本装置の起動 MC が、起動時の優先 MC の設定と異なっています。 (起動 MC : <MC スロット番号>, 優先 MC : <MC スロット番号>) [対応] なし。					
3	E3	MC	00000109	2000	Primary MC slot is selected by selection mode (primary MC : slot <MC slot No.>, boot mode : slot <MC slot No.>).
本装置の起動 MC は、選択モードから選択したものです。 (起動 MC : <MC スロット番号>, 優先 MC : <MC スロット番号>) [対応] なし。					
4	E3	MC	0000010a	2000	Primary MC slot is selected from boot mode, because selection mode has timed out (primary MC : slot <MC slot No.>, boot mode : slot <MC slot No.>).
本装置の起動 MC は選択モードがタイムアウトしたものです。 (起動 MC : <MC スロット番号>, 優先 MC : <MC スロット番号>) [対応] なし。					
5	E3	MC	00000110	2000	Control software version is different between active and standby.
両系の制御ソフトウェアが異なっています。 [対応] なし。					
6	E3	MC	00000111	2000	Difference in control software version between active and standby was fixed.
両系の制御ソフトウェア不一致が回復しました。 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
7	E3	MC	00000112	2000	Simplex mode is selected. Therefore, it is ignored difference in control software version between active and standby.
一重化モードになりました。したがって両系の制御ソフトウェアの不一致を無視します。 [対応] なし。					
8	E3	MC	0000011a	2000	There is mismatch between active and standby license key.
運用系と待機系のライセンスキー情報が異なります。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンドを実行し、待機系を再起動してください。					
9	E3	MC	0000011b	2000	Active and standby license key is identical.
運用系と待機系のライセンスキー情報が一致しました。 [対応] なし。					
10	E3	MC	0000011c	2000	Simplex mode is selected. Therefore, it is ignored mismatch between active and standby license key.
一重化モードになりました。したがって運用系と待機系のライセンスキー情報の不一致を無視します。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。					
11	E5	MC	00000102	2000	Control software version is different between active and standby. Replace control software on standby system with correct version and restart.
両系の制御用ソフトウェアが異なります。待機系の制御用ソフトウェアを入れ替えて、再立ち上げしてください。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] 1. 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 2. 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 3. copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 4. 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
12	E5	MC	00000116	2000	BCU swap suppressed temporarily. There is mismatch between active and standby license key.
運用系と待機系のライセンスキー情報が異なっているため、一時的に系切替機能を抑止しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンドを実行し、待機系を再起動してください。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
13	E5	MC	0000011e	2000	Invalid block on the CompactFlash card which mounted on <slot> was detected. There is a possibility that the breakdown of the Card occurs. Please replace the Card mounted on <slot>.
MC 内に不良ブロックを検出しました。 なお、本メッセージは MC256A1/MC256A2 使用時に表示します。 <slot>:MC 実装位置 (Slot0 または Slot1) [対応] MC 故障が発生する可能性がありますので、該当する MC を交換してください。					
14	E8	MC	00000101	2000	Control software version is different between active and standby. Replace control software with correct version and restart.
両系の制御用ソフトウェアが異なっています。制御用ソフトウェアを入れ替えて、再立ち上げしてください。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] - 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 - 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 - copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 - 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
15	E8	MC	00000103	2000	CP initialization cancelled due to a failure in loading CP software program.
CP ソフトウェアファイルの読み込みに失敗したため、CP の初期化を中止しました。 [対応] MC を交換してください。					
16	E8	MC	00000117	2000	BCU swap suppressed temporarily. There is mismatch between active and standby license key.
運用系と待機系のライセンスキー情報が異なっているため、一時的に系切替機能を抑止しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] - 運用系から synchronize コマンドを実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 - synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンドを実行し、待機系を再起動してください。					
17	E8	MC	01500320	2000	Unable to start CP. Use the right type of software.
ソフトウェアモデルとハードウェアモデルの不一致を検出したため、CP の起動を停止しました。 [対応] ハードウェアモデルに対応したソフトウェアがインストールされた MC に交換してください。					
18	R5	MC	00000102	2000	Difference in control software version between active and standby was fixed.
両系の制御用ソフトウェア不一致が回復しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
19	R5	MC	0000010e	2000	Simplex mode is selected. Therefore, it is ignored difference in control software version between active and standby.
					一重化モードになりました。従って両系の制御ソフトウェアの不一致を無視します。 [対応] なし。
20	R5	MC	0000010f	2000	BCU swap suppression by difference of control software version canceled.
					制御用ソフトウェア不一致による系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。
21	R5	MC	00000116	2000	BCU swap suppression canceled. Active and standby license key is identical
					運用系と待機系のライセンスキー情報が一致したため、系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。
22	R5	MC	00000118	2000	Simplex mode is selected. Therefore, it is ignored mismatch between active and standby license key.
					一重化モードになりました。従って運用系と待機系のライセンスキー情報の不一致を無視します。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。
23	R5	MC	00000119	2000	BCU swap suppression by mismatch of license key canceled.
					ライセンスキー情報の不一致による系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。
24	R5	MC	0000011e	2000	The CompactFlash card which has a possibility of breakdown was removed from <slot>.
					故障の可能性がある MC が取り外されました。 なお、本メッセージは MC256A1/MC256A2 使用時に表示します。 <slot>:MC 実装位置 (Slot0 または Slot1) [対応] なし。
25	R8	MC	00000101	2000	Difference in control software version between active and standby was fixed.
					両系の制御用ソフトウェア不一致が回復しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。
26	R8	MC	00000113	2000	BCU swap suppression by difference of control software version canceled.
					制御用ソフトウェア不一致による系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
27	R8	MC	00000117	2000	BCU swap suppression canceled. Active and standby license key is identical
運用系と待機系のライセンスキー情報が一致したため、系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] なし。					
28	R8	MC	0000011d	2000	BCU swap suppression by mismatch of license key canceled.
ライセンスキー情報の不一致による系切替機能の抑止を解除しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] なし。					

3.6.2 イベント発生部位 = FAN

イベント発生部位 =FAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-13 イベント発生部位 =FAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E8	FAN	00000001	1800	Error detected on <FAN>. Replace <FAN>. <FAN> : { FAN0 FAN1 FAN2 FAN3 }
表示されたファンユニットで障害を検出しました。 付加情報で停止したファンを識別できます。 また、ファンの位置およびファンユニットについては、運用コマンドレファレンス vol.1 show system コマンドの「運用コマンドレファレンス Vol.1 表 10-2 ファン番号と、運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 付加情報 = 1800:NN***** * は不定値です。無視してください。 NN は 16 進数で各ビットがファン番号に対応します。 - AX7804R-AC の場合 2⁰ ビット =FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット =FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット =FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 - AX7804R-DC の場合 2⁰ ビット =FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット =FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット =FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 - AX7808R-AC の場合 2⁰ ビット =FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット =FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット =FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2³ ビット =FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2⁴ ビット =FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2⁵ ビット =FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
	- AX7808R-DC の場合 2^0 ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2^1 ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2^2 ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2^3 ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2^4 ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2^5 ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 - AX7702R-AC の場合 2^0 ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2^1 ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2^2 ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2^3 ビット = FAN0(4) 1= 正常, 0= 停止 - AX7816R-AC の場合 付加情報 = 1800:0NNN***** * は不定値です。無視してください。 NNN は 16 進数で各ビットがファン番号に対応します。 2^0 ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2^1 ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2^2 ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2^3 ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2^4 ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2^5 ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 2^6 ビット = FAN2(7) 1= 正常, 0= 停止 2^7 ビット = FAN2(8) 1= 正常, 0= 停止 2^8 ビット = FAN2(9) 1= 正常, 0= 停止 2^9 ビット = FAN3(10) 1= 正常, 0= 停止 2^{10} ビット = FAN3(11) 1= 正常, 0= 停止 2^{11} ビット = FAN3(12) 1= 正常, 0= 停止 - AX7816R-DC の場合 付加情報 = 1800:0NNN***** * は不定値です。無視してください。 NNN は 16 進数で各ビットがファン番号に対応します。 2^0 ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2^1 ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2^2 ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2^3 ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2^4 ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2^5 ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 2^6 ビット = FAN2(7) 1= 正常, 0= 停止 2^7 ビット = FAN2(8) 1= 正常, 0= 停止 2^8 ビット = FAN2(9) 1= 正常, 0= 停止 2^9 ビット = FAN3(10) 1= 正常, 0= 停止 2^{10} ビット = FAN3(11) 1= 正常, 0= 停止 2^{11} ビット = FAN3(12) 1= 正常, 0= 停止 [対応] 保守員に連絡してください。 保守員は停止したファンの含まれているファンユニットを交換してください。				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
2	E8	FAN	00000002	1800	<FAN> stopped. Replace <FAN> immediately. <FAN> : { FAN0 FAN1 FAN2 FAN3 }
表示されたファンユニットが停止しました。 直ちに該当ファンユニットの交換を行ってください。 [対応] 保守員に連絡してください。保守員は該当ファンユニットを交換してください。					
3	E9	FAN	00000022	1800	Fan unit is down. Replace fan and restart the device.
ファンユニットの障害が発生しました。 [対応] ファンユニットを交換し、装置を再起動してください。					
4	R8	FAN	00000001	1800	<FAN> is normal. <FAN> : { FAN0 FAN1 FAN2 FAN3 }
表示されたファンユニットは正常状態になりました。 付加情報でその他のファンの状態を識別できます。 また、ファンの位置およびファンユニットについては、運用コマンドレファレンス vol.1 show system コマンドの「運用コマンドレファレンス Vol.1 表 10-2 ファン番号と、運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 付加情報 = 1800:NN***** * は不定値です。無視してください。 NN は 16 進数で各ビットがファン番号に対応します。					
- AX7804R-AC の場合 2⁰ ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 - AX7804R-DC の場合 2⁰ ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 - AX7808R-AC の場合 2⁰ ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2³ ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2⁴ ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2⁵ ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 - AX7808R-DC の場合 2⁰ ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2³ ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2⁴ ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2⁵ ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 - AX7702R-AC の場合 2⁰ ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2¹ ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2² ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2³ ビット = FAN0(4) 1= 正常, 0= 停止					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
					- AX7816R-AC の場合 付加情報 = 1800:0NNN***** * は不定値です。無視してください。 NNN は 16 進数で各ビットがファン番号に対応します。 2^0 ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2^1 ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2^2 ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2^3 ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2^4 ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2^5 ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 2^6 ビット = FAN2(7) 1= 正常, 0= 停止 2^7 ビット = FAN2(8) 1= 正常, 0= 停止 2^8 ビット = FAN2(9) 1= 正常, 0= 停止 2^9 ビット = FAN3(10) 1= 正常, 0= 停止 2^{10} ビット = FAN3(11) 1= 正常, 0= 停止 2^{11} ビット = FAN3(12) 1= 正常, 0= 停止 - AX7816R-DC の場合 付加情報 = 1800:0NNN***** * は不定値です。無視してください。 NNN は 16 進数で各ビットがファン番号に対応します。 2^0 ビット = FAN0(1) 1= 正常, 0= 停止 2^1 ビット = FAN0(2) 1= 正常, 0= 停止 2^2 ビット = FAN0(3) 1= 正常, 0= 停止 2^3 ビット = FAN1(4) 1= 正常, 0= 停止 2^4 ビット = FAN1(5) 1= 正常, 0= 停止 2^5 ビット = FAN1(6) 1= 正常, 0= 停止 2^6 ビット = FAN2(7) 1= 正常, 0= 停止 2^7 ビット = FAN2(8) 1= 正常, 0= 停止 2^8 ビット = FAN2(9) 1= 正常, 0= 停止 2^9 ビット = FAN3(10) 1= 正常, 0= 停止 2^{10} ビット = FAN3(11) 1= 正常, 0= 停止 2^{11} ビット = FAN3(12) 1= 正常, 0= 停止 [対応] なし。

3.6.3 イベント発生部位 = POW

イベント発生部位 = POW の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-14 イベント発生部位 =POW の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	POW	00000201	2200	The power supply redundant system changed to 2+1 redundant.
					電源冗長方式を「2+1」に変更しました。2 個の電源を実装した場合は装置を運用できます。3 個の電源を実装した場合は冗長構成になります。 [対応] 1. PRU 内蔵型高密度ポート NIF の運用に伴い、電源冗長方式が変更されました。本ログメッセージは、AX7804R-AC でだけ表示されます。本ログメッセージが出力された以降は、以下に示す電源ユニット数が必要となります。 ・電源運用モードが「auto」の場合 装置の運用を継続するためには、2 個以上の電源ユニットが必要です。 ・電源運用モードが「redundancy」の場合 装置の運用を継続するためには、3 個の電源ユニットが必要です。電源ユニットが 2 個しか存在しない場合は、電源ユニットの増設をしてください。 2. 上記 1. で必要電源ユニット数が足りている場合は対応不要です。必要な電源ユニット数が不足している場合は、電源ユニットの増設を行ってください。
2	E3	POW	00000202	2200	The power supply redundant system changed to 3+1 redundant.
					電源冗長方式を「3+1」に変更しました。3 個の電源を実装した場合は装置を運用できます。4 個の電源を実装した場合は冗長構成になります。 [対応] 1. PRU 内蔵型高密度ポート NIF の運用に伴い、電源冗長方式が変更されました。本ログメッセージは、AX7808R-AC でだけ表示されます。本ログメッセージが出力された以降は、以下に示す電源ユニット数が必要となります。 ・電源運用モードが「auto」の場合 装置の運用を継続するためには、3 個以上の電源ユニットが必要です。 ・電源運用モードが「redundancy」の場合 装置の運用を継続するためには、4 個の電源ユニットが必要です。電源ユニットが 3 個しか存在しない場合は、電源ユニットの増設をしてください。 2. 上記 1. で必要電源ユニット数が足りている場合は対応不要です。必要な電源ユニット数が不足している場合は、電源ユニットの増設を行ってください。
3	E3	POW	00000204	2200	The power supply redundant system returned to 2:2 redundant because active system restarted.
					運用系の再起動に伴い、電源冗長方式を「2 対 2 冗長」に戻しました。2 個の電源を実装することで装置を運用できます。4 個の電源を実装することで冗長構成になります。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] 電源冗長方式が変更されただけで対応は不要です。
4	E3	POW	00000205	2200	The power supply redundant system changed to 1+2 redundant.
					電源冗長方式を「1+2」に変更しました。1 個の電源を実装することで装置を運用できます。3 個の電源を実装することで冗長構成になります。本ログメッセージは、AX7804R-AC でだけ表示されます。 [対応] 電源冗長方式が変更されただけで対応は不要です。
5	E3	POW	00000206	2200	The power supply redundant system changed to 1:1 redundant.
					電源冗長方式を「1 対 1 冗長」に変更しました。1 個の電源を実装することで装置を運用できます。2 個の電源を実装することで冗長構成になります。本ログメッセージは、AX7804R-AC でだけ表示されます。 [対応] 電源冗長方式が変更されただけで対応は不要です。
6	E8	POW	00000001	2200	<POW> is disconnect. <POW> is power off.

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
					表示された電源ユニットは未実装です。表示された電源ユニットは電源 OFF です。 AX7804R-AC, AX7804R-DC, AX7808R-AC, AX7808R-DC, AX7702R-AC の場合 <POW> の部分は, POW0,POW1,POW2,POW3 のうち, 未実装または電源 OFF の電源ユニットが表示されます。 AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 <POW> の部分は, POW0-0,POW1-0,POW0-1,POW1-1 のうち, 未実装または電源 OFF の電源ユニットが表示されます。 (例) AX7808R-AC を例にログの表示を示します。 - POW0 is disconnect. POW0 は未実装です。 - POW1 is power off. POW1 は電源 OFF です。 - POW2, POW3 is disconnect. POW0 is power off. POW2,POW3 は未実装です。POW0 は電源 OFF です。 付加情報で電源ユニットの状態を確認できます。 付加情報 = 2200:0M0S***** * は不定値です。無視してください。 M は 16 進数で各ビットが電源ユニットの実装状態に対応します。 - AX7804R-AC の場合 2^0 ビット = POW0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1 1 = 実装, 0 = 未実装 - AX7804R-DC の場合 2^0 ビット = POW0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1 1 = 実装, 0 = 未実装 - AX7808R-AC の場合 2^0 ビット = POW0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1 1 = 実装, 0 = 未実装 2^2 ビット = POW2 1 = 実装, 0 = 未実装 2^3 ビット = POW3 1 = 実装, 0 = 未実装 - AX7808R-DC の場合 2^0 ビット = POW0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1 1 = 実装, 0 = 未実装 - AX7702R-AC の場合 2^0 ビット = POW0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1 1 = 実装, 0 = 未実装 - AX7816R-AC の場合 2^0 ビット = POW0-0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1-0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^2 ビット = POW0-1 1 = 実装, 0 = 未実装 2^3 ビット = POW1-1 1 = 実装, 0 = 未実装 - AX7816R-DC の場合 2^0 ビット = POW0-0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^1 ビット = POW1-0 1 = 実装, 0 = 未実装 2^2 ビット = POW0-1 1 = 実装, 0 = 未実装 2^3 ビット = POW1-1 1 = 実装, 0 = 未実装 S は 16 進数で各ビットが電源ユニットの電源供給状態に対応します。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
	- AX7804R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7804R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7808R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW2 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW3 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7808R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7702R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7816R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW0-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW1-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7816R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW0-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW1-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし [対応] - 電源スイッチを確認し, ON にしてください。 - 電源ケーブルの接続と電源供給元を確認し, 正しく接続してください。 - 電源ユニットの実装状態を確認してください。 - 上記 1, 2, 3 で回復しない場合, 保守員に連絡してください。 保守員は電源ユニットを交換してください。				
7	E8	POW	00000102	2200	Power unit isn't redundantly mounted.
	電源が冗長実装ではありません。 [対応] 電源が停止して「E8 POW 00000001 2200 <POW> is disconnect. <POW> is power off.」の運用ログが出力されている場合, そのメッセージの対応に従ってください。電源実装が冗長構成ではない場合, set mode コマンドで電源運用モードを「auto」に設定してください。				
8	E9	POW	00000001	2200	<POW> is disconnect. <POW> is power off.

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
					表示された電源ユニットは未実装です。表示された電源ユニットは電源 OFF です。 AX7804R-AC, AX7804R-DC, AX7808R-AC, AX7808R-DC, AX7702R-AC の場合 <POW> の部分は, POW0,POW1,POW2,POW3 のうち, 未実装または電源 OFF の電源ユニットが表示されま す。 AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 <POW> の部分は, POW0-0,POW1-0,POW0-1,POW1-1 のうち, 未実装または電源 OFF の電源ユニットが表示 されます。 (例) AX7808R-AC を例にログの表示を示します。 1. POW0 is disconnect. POW0 は未実装です。 2. POW1 is power off. POW1 は電源 OFF です。 3. POW2, POW3 is disconnect. POW0 is power off. POW2,POW3 は未実装です。POW0 は電源 OFF です。 付加情報で電源ユニットの状態を確認できます。 付加情報 = 2200:0M0S***** * は不定値です。無視してください。 M は 16 進数で各ビットが電源ユニットの実装状態に対応します。 - AX7804R-AC の場合 2^0 ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7804R-DC の場合 2^0 ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7808R-AC の場合 2^0 ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 2^2 ビット = POW2 1= 実装, 0= 未実装 2^3 ビット = POW3 1= 実装, 0= 未実装 - AX7808R-DC の場合 2^0 ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7702R-AC の場合 2^0 ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7816R-AC の場合 2^0 ビット = POW0-0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1-0 1= 実装, 0= 未実装 2^2 ビット = POW0-1 1= 実装, 0= 未実装 2^3 ビット = POW1-1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7816R-DC の場合 2^0 ビット = POW0-0 1= 実装, 0= 未実装 2^1 ビット = POW1-0 1= 実装, 0= 未実装 2^2 ビット = POW0-1 1= 実装, 0= 未実装 2^3 ビット = POW1-1 1= 実装, 0= 未実装 S は 16 進数で各ビットが電源ユニットの電源供給状態に対応します。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
	- AX7804R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7804R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7808R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW2 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW3 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7808R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7702R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7816R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW0-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW1-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7816R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW0-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW1-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし [対応] - 電源スイッチを確認し, ON にしてください。 - 電源ケーブルの接続と電源供給元を確認し, 正しく接続してください。 - 電源ユニットの実装状態を確認してください。 - 上記 1, 2, 3 で回復しない場合, 保守員に連絡してください。 保守員は電源ユニットを交換してください。				
9	R8	POW	00000001	2200	<POW> is normal.
	表示された電源ユニットは正常状態になりました。 AX7804R-AC, AX7804R-DC, AX7808R-AC, AX7808R-DC, AX7702R-AC の場合 <POW> の部分は, POW0,POW1,POW2,POW3 のうち, 正常状態の電源ユニットが表示されます。 AX7816R-AC, AX7816R-DC の場合 <POW> の部分は, POW0-0,POW1-0,POW0-1,POW1-1 のうち, 正常状態の電源ユニットが表示されます。 (例) AX7808R-AC を例にログの表示を示します。 POW0, POW1, POW2, POW3 is normal. POW0,POW1,POW2,POW3 は正常状態になりました。 付加情報で電源ユニットの状態を確認できます。 付加情報 = 2200:0M0S***** * は不定値です。無視してください。 M は 16 進数で各ビットが電源ユニットの実装状態に対応します。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
	- AX7804R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7804R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7808R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 2² ビット = POW2 1= 実装, 0= 未実装 2³ ビット = POW3 1= 実装, 0= 未実装 - AX7808R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7702R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7816R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0-0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1-0 1= 実装, 0= 未実装 2² ビット = POW0-1 1= 実装, 0= 未実装 2³ ビット = POW1-1 1= 実装, 0= 未実装 - AX7816R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0-0 1= 実装, 0= 未実装 2¹ ビット = POW1-0 1= 実装, 0= 未実装 2² ビット = POW0-1 1= 実装, 0= 未実装 2³ ビット = POW1-1 1= 実装, 0= 未実装 S は 16 進数で各ビットが電源ユニットの電源供給状態に対応します。 - AX7804R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7804R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7808R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2² ビット = POW2 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2³ ビット = POW3 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7808R-DC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7702R-AC の場合 2⁰ ビット = POW0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2¹ ビット = POW1 1= 正常に供給, 0= 供給なし				

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
	- AX7816R-AC の場合 2^0 ビット = POW0-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2^1 ビット = POW1-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2^2 ビット = POW0-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2^3 ビット = POW1-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし - AX7816R-DC の場合 2^0 ビット = POW0-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2^1 ビット = POW1-0 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2^2 ビット = POW0-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし 2^3 ビット = POW1-1 1= 正常に供給, 0= 供給なし [対応] なし。				
10	R8	POW	00000102	2200	Power unit is mounted redundantly or mode changed.
	電源が冗長実装になりました。または、運用モードが変更されました。 [対応] なし。				

3.7 基本制御機構

3.7.1 イベント発生部位 = BCU

イベント発生部位 = BCU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-15 イベント発生部位 = BCU の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	BCU	00000302	2301 2302 2303 2304 2305 2306 2307 2308 2309	BCU hardware error detected by kernel.
ソフトウェア動作中にハードウェア障害を検出しました。 [対応] 頻度が高い場合はログ情報を保守員へ送付してください。 保守員はログ情報を支援部署へ送付してください。					
2	E3	BCU	01200170	2301	Fan speed is high because temperature of BCU hardware exceeded tolerance level of high temperature.
ハードウェアの温度が許容範囲を上回ったため、FAN を高速回転にしました。 [対応] 装置周辺の環境（通風、熱源の有無など）を確認し、改善してください。					
3	E3	BCU	01200171	2301	Fan speed is normal because temperature of BCU hardware returned to normal level.
ハードウェアの温度が正常に戻ったため、FAN を通常回転にしました。 [対応] なし。					
4	E3	BCU	01300408	2314	This system(BCU0) changed from standby to active. BCU1 is standby.
このシステム（BCU0）は旧運用系（BCU1）に致命的障害が発生したため、待機系から運用系に系切替しました。BCU1 が現在待機系です。 [対応] show logging standby コマンドを実行して、待機系で発生した部分障害のメッセージを確認し、そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には、しばらく待ってからご確認ください。					
5	E3	BCU	01300409	2314	This system (BCU1) changed from standby to active. BCU0 is standby.
このシステム（BCU1）は旧運用系（BCU0）に致命的障害が発生したため、待機系から運用系に系切替しました。BCU0 が現在待機系です。 [対応] show logging standby コマンドを実行して、待機系で発生した部分障害のメッセージを確認し、そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には、しばらく待ってからご確認ください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
6	E3	BCU	01300410	2314	This system (BCU0) changed from active to standby. BCU1 is active.
					このシステム (BCU0) は致命的障害が発生したため、運用系から待機系に系切替しました。BCU1 が現在運用系です。 [対応] show logging standby コマンドを実行して、待機系で発生した部分障害のメッセージを確認し、そのメッセージに応じた対応を行ってください。
7	E3	BCU	01300411	2314	This system (BCU1) changed from active to standby. BCU0 is active.
					このシステム (BCU1) は致命的障害が発生したため、運用系から待機系に系切替しました。BCU0 が現在運用系です。 [対応] show logging standby コマンドを実行して、待機系で発生した部分障害のメッセージを確認し、そのメッセージに応じた対応を行ってください。
8	E3	BCU	01300412	2314	System mode changed from duplex to simplex.
					運用モードを、二重化運用から一重化運用に変更しました。 [対応] なし。
9	E3	BCU	01300413	2314	System mode changed from simplex to duplex.
					運用モードを、一重化運用から二重化運用に変更しました。 [対応] なし。
10	E3	BCU	01300414	2314	Time is corrected to the same value as active system.
					時刻を運用系と同じ値に修正しました。 (本メッセージは待機系でだけ表示します) [対応] なし。
11	E3	BCU	01300417	2314	This system (BCU0) changed from standby to active. BCU1 is standby.
					このシステム (BCU0) は旧運用系 (BCU1) でのブートまたは系切替コマンドの実行によって、待機系から運用系に系切替しました。BCU1 が現在待機系です。 [対応] なし。
12	E3	BCU	01300418	2314	This system (BCU1) changed from standby to active. BCU0 is standby.
					このシステム (BCU1) は旧運用系 (BCU0) でのブートまたは系切替コマンドの実行によって、待機系から運用系に系切替しました。BCU0 が現在待機系です。 [対応] なし。
13	E3	BCU	01300419	2314	This system (BCU0) changed from active to standby. BCU1 is active.
					このシステム (BCU0) はブートまたは系切替コマンドの実行によって、運用系から待機系に系切替しました。BCU1 が現在運用系です。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
14	E3	BCU	01300420	2314	This system (BCU1) changed from active to standby. BCU0 is active.
					このシステム (BCU1) はブートまたは系切替コマンドの実行によって、運用系から待機系に系切替しました。 BCU0 が現在運用系です。 [対応] なし。
15	E3	BCU	01300421	2314	This system (BCU0) will be changed from active to standby and restarted because of BCU ALTERNATE SWITCH pressed.
					このシステム (BCU0) は BCU ALTERNATE スイッチによって運用系から待機系に系切替し、再起動を行います。 [対応] なし。
16	E3	BCU	01300422	2314	This system (BCU1) will be changed from active to standby and restarted because of BCU ALTERNATE SWITCH pressed.
					このシステム (BCU1) は BCU ALTERNATE スイッチによって運用系から待機系に系切替し、再起動を行います。 [対応] なし。
17	E3	BCU	01300442	2314	Partial error detected on other system. Replace unit having error. This system (BCU0) is active.
					待機系 BCU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] show logging standby コマンドを実行して、待機系で発生した部分障害のメッセージを確認し、そのメッセージに応じた対応を行ってください。
18	E3	BCU	01300443	2314	Partial error detected on other system. Replace unit having error. This system (BCU1) is active.
					待機系 BCU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] show logging standby コマンドを実行して、待機系で発生した部分障害のメッセージを確認し、そのメッセージに応じた対応を行ってください。
19	E3	BCU	01300450	2314	Standby system closed. Cancel closed state, and restart operation of standby system. This system (BCU0) is standby.
					運用系 BCU からのヘルスチェックメッセージが届きません。運用系の動作が不正になっている可能性があります。 BCU0 が現在待機系です。 [対応] 1. 運用系側で show system コマンドを実行し、二重化運用が正しく行われているかを確認してください。 2. 本障害が頻発する場合には、運用系のダンプおよび両系のログ情報を送付してください。ダンプやログ情報の採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 4. 上記終了後、両系の BCU ボードを交換してください。

3.7 基本制御機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
20	E3	BCU	01300451	2314	Standby system closed. Cancel closed state, and restart operation of standby system. This system (BCU1) is standby.
運用系 BCU からのヘルスチェックメッセージが届きません。運用系の動作が不正になっている可能性があります。BCU1 が現在待機系です。 [対応] 1. 運用系側で show system コマンドを実行し、二重化運用が正しく行われているかを確認してください。 2. 本障害が頻発する場合には、運用系のダンプおよび両系のログ情報を送付してください。ダンプやログ情報の採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 3. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 4. 上記終了後、両系の BCU ボードを交換してください。					
21	E5	BCU	01300430	2314	System cannot execute BCU swap. This system (BCU0) is active.
運用系の切り替えが実行できませんでした。 [対応] 1. 運用系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。ダンプやログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 上記 2 終了後、両系の BCU ボードを交換してください。					
22	E5	BCU	01300431	2314	System cannot execute BCU swap. This system (BCU0) is standby.
運用系の切り替えが実行できませんでした。 [対応] 1. 運用系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。ダンプやログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 上記 2 終了後、両系の BCU ボードを交換してください。					
23	E5	BCU	01300432	2314	System cannot execute BCU swap. This system (BCU1) is active.
運用系の切り替えが実行できませんでした。 [対応] 1. 運用系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。ダンプやログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 上記 2 終了後、両系の BCU ボードを交換してください。					
24	E5	BCU	01300433	2314	System cannot execute BCU swap. This system (BCU1) is standby.
運用系の切り替えが実行できませんでした。 [対応] 1. 運用系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。ダンプやログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 上記 2 終了後、両系の BCU ボードを交換してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
25	E5	BCU	01300434	2314	Health check error detected on other system. This system (BCU0) is active.
二重化 RM 間で通信障害が発生しました。 [対応] - show logging コマンドを実行してこの種別ログに対応する回復ログ「R5 BCU 01300434 2314 Health check error recovered. This system(BCU0) is active.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 - 上記回復ログが出力されていない場合は、show logging コマンドを実行して RM 間通信障害発生時の種別ログ「E3 BCU 00000302 2308 BCU hardware error detected by kernel.」が出力されていないかどうかを確認してください。上記種別ログが出力されている場合は、両系の BCU ボードを交換してください。 - 上記 RM 間通信障害発生時の種別ログが出力されていない場合は、待機系 BCU 致命的障害発生時の種別ログ「E5 BCU 01300438 2314 Fatal error detected on mate system. This system (BCU0) is active.」が出力されていないかどうかを確認してください。上記種別ログが出力されている場合は、待機系の障害内容を確認し、その対応に従ってください。 - 上記待機系 BCU 致命的障害発生時の種別ログが出力されていない場合、または上記 3 の対応後でも、この種別ログが出力される場合は、保守員に連絡してください。					
26	E5	BCU	01300436	2314	Health check error detected on other system. This system (BCU1) is active.
二重化 RM 間で通信障害が発生しました。 [対応] - show logging コマンドを実行してこの種別ログに対応する回復ログ「R5 BCU 01300436 2314 Health check error recovered. This system(BCU1) is active.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 - 上記回復ログが出力されていない場合は、show logging コマンドを実行して RM 間通信障害発生時の種別ログ「E3 BCU 00000302 2308 BCU hardware error detected by kernel.」が出力されていないかどうかを確認してください。上記種別ログが出力されている場合は、両系の BCU ボードを交換してください。 - 上記 RM 間通信障害発生時の種別ログが出力されていない場合は、待機系 BCU 致命的障害発生時の種別ログ「E5 BCU 01300440 2314 Fatal error detected on mate system. This system (BCU1) is active.」が出力されていないかどうかを確認してください。上記種別ログが出力されている場合は、待機系の障害内容を確認し、その対応に従ってください。 - 上記待機系 BCU 致命的障害発生時の種別ログが出力されていない場合、または上記 3 の対応後でも、この種別ログが出力される場合は、保守員に連絡してください。					
27	E5	BCU	01300438	2314	Fatal error detected on other system. This system (BCU0) is active.
待機系 BCU で致命的障害が発生しました。 [対応] - 待機系が再起動した後、show logging standby および show logging reference standby コマンドを実行して障害内容を確認し、その障害メッセージに対応した処理を行ってください。 - 待機系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。待機系のダンプは、いったん待機系の予備 MC にコピーした後、MC を運用系に実装して、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照して収集してください。保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 - 待機系の現用 MC に ppupdate コマンドでソフトウェアのアップデートを実行した場合このログが収集されますが問題ありません。					

3.7 基本制御機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
28	E5	BCU	01300439	2314	Fatal error detected on other system. This system (BCU0) is standby.
運用系 BCU で致命的障害が発生しました。 [対応] 1. 運用系が再起動した後、show logging および show logging reference コマンドを実行して障害内容を確認し、その障害メッセージに対応した処理を行ってください。 2. 運用系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。運用系のダンプは「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照して収集してください。保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 運用系の現用 MC に ppupdate コマンドでソフトウェアのアップデートを実行した場合このログが収集されますが問題ありません。					
29	E5	BCU	01300440	2314	Fatal error detected on other system. This system (BCU1) is active.
待機系 BCU で致命的障害が発生しました。 [対応] 1. 待機系が再起動した後、show logging standby および show logging reference standby コマンドを実行して障害内容を確認し、その障害メッセージに対応した処理を行ってください。 2. 待機系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。待機系のダンプは、いったん待機系の予備 MC にコピーした後、MC を運用系に実装して、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照して収集してください。保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 待機系の現用 MC に ppupdate コマンドでソフトウェアのアップデートを実行した場合このログが収集されますが問題ありません。					
30	E5	BCU	01300441	2314	Fatal error detected on other system. This system (BCU1) is standby.
運用系 BCU で致命的障害が発生しました。 [対応] 1. 運用系が再起動した後、show logging および show logging reference コマンドを実行して障害内容を確認し、その障害メッセージに対応した処理を行ってください。 2. 運用系のダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。運用系のダンプは「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照して収集してください。保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。 3. 運用系の現用 MC に ppupdate コマンドでソフトウェアのアップデートを実行した場合このログが収集されますが問題ありません。					
31	E5	BCU	01300444	2314	Timeout detected, other system was not ready. This system (BCU0) is active.
待機系が立ち上がりません。 [対応] 待機系のシステム操作パネルを確認してください。システム操作パネルが点滅している場合は、「1.2 障害部位の確認」を参照してください。待機系のシステム操作パネルが点滅していない場合、BCU ボードが半挿し状態になっている可能性があります。BCU ボードがきちんと実装されているか、もう一度確認してください。					
32	E5	BCU	01300445	2314	Timeout detected, other system was not ready. This system (BCU0) is standby.
運用系が立ち上がりません。 [対応] 運用系のシステム操作パネルを確認してください。システム操作パネルが点滅している場合は、「1.2 障害部位の確認」を参照してください。運用系のシステム操作パネルが点滅していない場合、BCU ボードが半挿し状態になっている可能性があります。BCU ボードがきちんと実装されているか、もう一度確認してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
33	E5	BCU	01300446	2314	Timeout detected, other system was not ready. This system (BCU1) is active.
					待機系が立ち上がりません。 [対応] 待機系のシステム操作パネルを確認してください。システム操作パネルが点滅している場合は、「1.2 障害部位の確認」を参照してください。待機系のシステム操作パネルが点滅していない場合、BCU ボードが半挿し状態になっている可能性があります。BCU ボードがきちんと実装されているか、もう一度確認してください。
34	E5	BCU	01300447	2314	Timeout detected, other system was not ready. This system (BCU1) is standby.
					運用系が立ち上がりません。 [対応] 運用系のシステム操作パネルを確認してください。システム操作パネルが点滅している場合は、「1.2 障害部位の確認」を参照してください。運用系のシステム操作パネルが点滅していない場合、BCU ボードが半挿し状態になっている可能性があります。BCU ボードがきちんと実装されているか、もう一度確認してください。
35	E5	BCU	01300448	2314	Standby BCU board does not exist. Install standby BCU board. This system (BCU0) is active.
					待機系 BCU ボードが未実装です。待機系 BCU ボードを装着してください。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] 待機系 BCU ボードを「運用ガイド 9.4 ボード、メモリの取り外し／増設」を参照しながら実装してください。
36	E5	BCU	01300449	2314	Standby BCU board does not exist. Install standby BCU board. This system (BCU1) is active.
					待機系 BCU ボードが未実装です。待機系 BCU ボードを装着してください。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] 「運用ガイド 9.4 ボード、メモリの取り外し／増設」を参照しながら、待機系 BCU ボードを実装してください。
37	E5	BCU	01300452	2314	Error detected on the standby BCU (BCU0) .
					待機系 BCU (BCU0 の CP 部) の障害を検出しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] - show logging standby および show logging reference standby コマンドを実行して障害内容を確認し、その障害メッセージに対応した処理をしてください。 - 待機系の CP ダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。待機系のダンプは、いったん待機系の予備 MC にコピーした後、MC を運用系に実装して、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照して収集してください。 - 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。
38	E5	BCU	01300453	2314	Error detected on the standby BCU (BCU1) .
					待機系 BCU (BCU1 の CP 部) の障害を検出しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] - show logging standby および show logging reference standby コマンドを実行して障害内容を確認し、その障害メッセージに対応した処理をしてください。 - 待機系の CP ダンプおよび両系のログ情報を保守員へ送付してください。待機系のダンプは、いったん待機系の予備 MC にコピーした後、MC を運用系に実装して、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照して収集してください。 - 保守員は上記ダンプおよびログ情報を支援部署へ送付してください。

3.7 基本制御機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
39	E7	BCU	00010001	2303 2304 2305 2306 2307 2308 2309	BCU hardware error detected during diagnosis.
自己診断テストでハードウェア障害を検出しました。 [対応] 1. ダンプ、ログ情報を保守員に渡してください。ダンプ、ログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。 3. 保守員は BCU ボードを交換してください。					
40	E7	BCU	00020102	2301	BCU hardware exceeded tolerance level of low temperature(2 degree). Check room temperature.
ハードウェアの温度が許容温度範囲の最低値を下回りました。 [対応] 1. 装置周辺の環境（室温など）を確認し、改善してください。 2. メインファンを確認し、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。 3. 上記 1, 2 で回復しない場合、保守員に連絡してください。 4. 保守員はログ情報を支援部署へ送付してください。					
41	E7	BCU	00020103	2301	BCU hardware exceeded tolerance level of high temperature (43 degree). Check that room temperature and the fan is operating normally.
ハードウェアの温度が許容温度範囲の最高値を上回りました。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風、熱源の有無など）を確認し、改善してください。 2. メインファンを確認し、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。 3. 上記 1, 2 で回復しない場合、保守員に連絡してください。 4. 保守員はログ情報を支援部署へ送付してください。					
42	E7	BCU	00020104	2301	BCU hardware is becoming high temperature (58 degree). immediately, and check that room temperature and the fan is operating normally.
ハードウェアの温度は、装置の運用に支障をきたす高温値に接近しています。 [対応] 1. 装置が誤動作を起こす恐れがありますので、早急に装置周辺の環境（通風、熱源の有無など）を確認し、改善してください。 2. メインファンを確認し、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。 3. 上記 1, 2 で回復しない場合、保守員に連絡してください。 4. 保守員はログ情報を支援部署へ送付してください。					
43	E8	BCU	01500302	2313	CP stopped because of its existing hardware failure.
BCU ハードウェア障害からの復旧に失敗したため、CP を停止しました。 [対応] 1. ダンプ、ログ情報を保守員に渡してください。ダンプ、ログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。 3. 保守員は BCU ボードを交換してください。					
44	E8	BCU	01500321	2315	BCU not initialized because it is unknown BCU.
不明な BCU ボードのため、初期化できませんでした。 [対応] 1. ログ情報を保守員に渡してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付願います。					

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
45	E8	BCU	01500331	2313	Recovery due to the failure was restrained.
					該当ボードは障害による復旧を抑止しています。 [対応] show logging コマンド、または show logging コマンドで standby パラメータを指定してログを確認してください。 障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。
46	E8	BCU	80000000	2313 2315	BCU hardware failure detected.
					BCU ハードウェア (CP 部) の障害を検出しました。 [対応] - CP ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - BCU ボードを交換して BCU を再起動してください。 BCU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
47	E9	BCU	00000001	2301	CPU overheated.
					CPU が高温になりました。 [対応] - 装置周辺の環境 (通風、熱源の有無など) を確認し、改善してください。 - メインファンを確認し、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。 - 上記 1、2 で回復しない場合、保守員に連絡してください。 - 保守員は BCU を交換してください。
48	E9	BCU	00000003	2301	This system (BCU0) will be restarted because BCU power failure detected on other system.
					このシステム (BCU0) は BCU1 の電源障害を検出したため、再起動します。 本メッセージは、BCU1 が運用系かつ BCU0 が待機系の BCU 二重化運用時に、BCU1 の電源障害による系切替が発生した場合に新運用系 (BCU0) で表示します。 なお、再起動後に運用系 (BCU0) の RM および CP の起動情報は次のように設定します。 - RM の起動要因：リポートコマンドによる再起動 - RM リポート回数：初期化 - CP の起動要因：電源スイッチ ON による起動 - CP リスタート回数：初期化 [対応] 保守員は BCU ボード (BCU1) を交換してください。
49	E9	BCU	00000302	2312	BCU hardware error detected by kernel.
					ソフトウェア動作中にハードウェア障害を検出しました (温度監視 LSI 故障)。 [対応] - ダンプ、ログ情報を保守員に渡してください。ダンプ、ログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。 - 保守員は BCU ボードを交換してください。
50	E9	BCU	00020105	2301	BCU hardware is becoming high temperature which give damage to this system. (65 degree)
					ハードウェアの温度は、装置の運用に致命的な障害を与える温度値に達しました。 [対応] - 装置周辺の環境 (通風、熱源の有無など) を確認し、改善してください。 - メインファンを確認し、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。 - 上記 1、2 で回復しない場合、保守員に連絡してください。 - 保守員はログ情報を支援部署へ送付してください。

3.7 基本制御機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
51	E9	BCU	01500330	2315	BCU hardware error detected by software.
	ソフトウェア動作中にハードウェア障害（CSW 障害）を検出しました。 [対応] 1. ダンプ、ログ情報を保守員に渡してください。ダンプ、ログ情報の収集方法については、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は上記ログ情報を支援部署に送付してください。 3. 保守員は BCU ボードを交換してください。				
52	R5	BCU	01300430	2314	BCU swap available. This system (BCU0) is active.
	運用系の切り替え機能が回復しました。 [対応] なし。				
53	R5	BCU	01300431	2314	BCU swap available. This system (BCU0) is standby.
	運用系の切り替え機能が回復しました。 [対応] なし。				
54	R5	BCU	01300432	2314	BCU swap available. This system (BCU1) is active.
	運用系の切り替え機能が回復しました。 [対応] なし。				
55	R5	BCU	01300433	2314	BCU swap available. This system (BCU1) is standby.
	運用系の切り替え機能が回復しました。 [対応] なし。				
56	R5	BCU	01300434	2314	Health check error recovered. This system (BCU0) is active.
	二重化 RM 間の通信障害が回復しました。 [対応] なし。				
57	R5	BCU	01300436	2314	Health check error recovered. This system (BCU1) is active.
	二重化 RM 間の通信障害が回復しました。 [対応] なし。				
58	R5	BCU	01300438	2314	Other system recovered from fatal error. This system (BCU0) is active.
	待機系 BCU の致命的障害が回復しました。 [対応] なし。				
59	R5	BCU	01300439	2314	Other system recovered from fatal error. This system (BCU0) is standby.
	運用系 BCU の致命的障害が回復しました。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
60	R5	BCU	01300440	2314	Other system recovered from fatal error. This system (BCU1) is active.
					待機系 BCU の致命的障害が回復しました。 [対応] なし。
61	R5	BCU	01300441	2314	Other system recovered from fatal error. This system (BCU1) is standby.
					運用系 BCU の致命的障害が回復しました。 [対応] なし。
62	R5	BCU	01300444	2314	Other system restarted. This system (BCU0) is active.
					待機系が起動しました。このメッセージは、待機系が立ち上がらない種別ログ (Timeout was detected, mate system is not ready.) が出力された後に待機系が起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
63	R5	BCU	01300445	2314	Other system restarted. This system (BCU0) is standby.
					運用系が起動しました。このメッセージは、運用系が立ち上がらない種別ログ (Timeout was detected, mate system is not ready.) が出力された後に運用系が起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
64	R5	BCU	01300446	2314	Other system restarted. This system (BCU1) is active.
					待機系が起動しました。このメッセージは、待機系が立ち上がらない種別ログ (Timeout was detected, mate system is not ready.) が出力された後に待機系が起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
65	R5	BCU	01300447	2314	Other system restarted. This system (BCU1) is standby.
					運用系が起動しました。このメッセージは、運用系が立ち上がらない種別ログ (Timeout was detected, mate system is not ready.) が出力された後に運用系が起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
66	R5	BCU	01300448	2314	Standby BCU installed. This system operated normally.This system (BCU0) is active.
					待機系 BCU ボードが実装されたことによって、正常運用になりました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。
67	R5	BCU	01300449	2314	Standby BCU installed. This system operated normally. This system (BCU1) is active.
					待機系 BCU ボードが実装されたことによって、正常運用になりました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。

3.7 基本制御機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
68	R5	BCU	01300452	2314	Standby BCU (BCU0) recovered from error.
	待機系 BCU (BCU0 の CP 部) の障害が回復しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。				
69	R5	BCU	01300453	2314	Standby BCU (BCU1) recovered from error.
	待機系 BCU (BCU1 の CP 部) の障害が回復しました。 (本メッセージは運用系でだけ表示します) [対応] なし。				
70	R7	BCU	00020102	2301	The temperature of BCU hardware returned to normal level (5 degree).
	ハードウェアの温度が正常温度に戻りました。 [対応] なし。				
71	R7	BCU	00020103	2301	The temperature of BCU hardware returned to normal level (40 degree).
	ハードウェアの温度が正常温度に戻りました。 [対応] なし。				
72	R7	BCU	00020104	2301	BCU hardware recovered to normal from high temperature(55 degree). However, be careful until it is becoming temperature of tolerance level.
	ハードウェアの温度は、装置運用に支障をきたす高温値から回復しました。しかし、まだ許容範囲を上回る温度なので注意が必要です。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. メインファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。 3. 上記 1，2 で回復しない場合，保守員に連絡してください。保守員はログ情報を支援部署へ送付してください。				

3.8 パケットルーティング機構

3.8.1 イベント発生部位 = PRU-B2

イベント発生部位 =PRU-B2 の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-16 イベント発生部位 =PRU-B2 の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	PRU-B2	80000009	3482	HDC on PRU is updated.
動作中の PRU-B2 ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。					
2	E3	PRU-B2	80000012	3483	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
PRU-B2 ハードウェアデペンデッドコードの PRU-B2 フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回 PRU-B2 起動に時間がかかりますが、運用には影響ありません。このログメッセージが頻繁に出力される場合、該当 PRU-B2 ボードを交換してください。					
3	E3	PRU-B2	80000017	3482	PRU restarted due to the difference in configuration between active and standby.
運用系と待機系のコンフィグレーションが不一致のため、PRU-B2 を再起動します。 [対応] 1. コンフィグレーションを変更した場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 2. 上記以外の場合、copy startup-config コマンドを使用して、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。					
4	E3	PRU-B2	80000018	3482	PRU restarted due to the difference in license key between active and standby.
運用系と待機系のライセンスキー情報が不一致のため、PRU-B2 を再起動します。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンドを実行し、待機系を再起動してください。					
5	E3	PRU-B2	80000019	3482	PRU restarted due to the difference in software version between active and standby.
運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致のため、PRU-B2 を再起動します。 [対応] 1. 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 2. 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 3. copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 4. 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
6	E3	PRU-B2	a400050a	3480	Flow retrieval_mode_2 does not support.
本 PRU はフロー検出条件モード 2 を未サポートです。 [対応] フロー検出条件モード 2 を使用する場合は、フロー検出条件モード 2 対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出条件モード 2 対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
7	E3	PRU-B2	a400050c	3480	Flow retrieval_entry_partition does not support.
					本 PRU はフロー検出エントリ分配を未サポートです。 【対応】 フロー検出エントリ分配を使用する場合は、フロー検出エントリ分配対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出エントリ分配対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。
8	E8	PRU-B2	80000007	3480	PRU hardware failure detected.
					PRU-B2 のハードウェアの障害を検出しました。PRU-B2 を復旧します。 【対応】 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
9	E8	PRU-B2	80000008	3481	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
					PRU-B2 の自己診断中に障害を検出しました。PRU-B2 を再起動します。 【対応】 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
10	E8	PRU-B2	80000013	3482	PRU restarted due to the health check error detected.
					CP から PRU-B2 への動作確認に失敗しました。PRU-B2 を再起動します。 【対応】 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
11	E8	PRU-B2	80000014	3482	HDC on PRU failure detected.
					PRU-B2 上のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU-B2 を復旧します。 【対応】 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
12	E8	PRU-B2	80000020	3480	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted. BCU と PRU-B2 との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ, RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には, 同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを, 1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し, BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また, 3～5 を実施した場合は, 4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
13	E8	PRU-B2	80000021	3480	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted. PRU-B2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
14	E8	PRU-B2	80000022	3480	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted. PRU-B2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
15	E8	PRU-B2	80000023	3480	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
PRU-B2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.8.2 イベント発生部位 = PRU-B2B

イベント発生部位 =PRU-B2B の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-17 イベント発生部位 =PRU-B2B の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	PRU-B2B	80000009	4182	HDC on PRU is updated.
動作中の PRU-B2B ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。					
2	E3	PRU-B2B	80000012	4183	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
PRU-B2B ハードウェアデペンデッドコードの PRU-B2B フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回 PRU 起動に時間がかかりますが, 運用には影響ありません。このログメッセージが頻繁に出力される場合, 該当 PRU ボードを交換してください。 PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
3	E3	PRU-B2B	80000017	4182	PRU restarted due to the difference in configuration between active and standby.
運用系と待機系のコンフィグレーションが不一致のため, PRU-B2B を再起動します。 [対応] 1. コンフィグレーションを変更した場合は, コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 2. 上記以外の場合, copy startup-config コマンドを使用して, スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。					
4	E3	PRU-B2B	80000018	4182	PRU restarted due to the difference in license key between active and standby.
運用系と待機系のライセンスキー情報が不一致のため, PRU-B2B を再起動します。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し, 運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後, 運用系から reload コマンドを実行し, 待機系を再起動してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
5	E3	PRU-B2B	80000019	4182	PRU restarted due to the difference in software version between active and standby.
運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致のため、PRU-B2B を再起動します。 [対応] - 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 - 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 - copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 - 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
6	E3	PRU-B2B	a4000019	4182	PRU does not support the configuration parameter of min_upc_red of UPC-RED.
本 PRU は UPC-RED による最低帯域監視をサポートしていません。 [対応] 該当 PRU に対するコンフィグレーションから、UPC-RED による最低帯域監視を実施するパラメータ (min_upc_red) を削除してください。					
7	E3	PRU-B2B	a400050a	4180	Flow retrieval_mode_2 does not support.
本 PRU はフロー検出条件モード 2 を未サポートです。 [対応] フロー検出条件モード 2 を使用する場合は、フロー検出条件モード 2 対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出条件モード 2 対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
8	E3	PRU-B2B	a400050c	4180	Flow retrieval_entry_partition does not support.
本 PRU はフロー検出エントリ分配を未サポートです。 [対応] フロー検出エントリ分配を使用する場合は、フロー検出エントリ分配対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出エントリ分配対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
9	E8	PRU-B2B	80000007	4180	PRU hardware failure detected.
PRU-B2B のハードウェアの障害を検出しました。PRU-B2B を復旧します。 [対応] - ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E8	PRU-B2B	80000008	4181	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
PRU-B2B の自己診断中に障害を検出しました。PRU-B2B を再起動します。 [対応] - PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
11	E8	PRU-B2B	80000013	4182	PRU restarted due to the health check error detected.
CP から PRU-B2B への動作確認に失敗しました。PRU-B2B を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ, ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
12	E8	PRU-B2B	80000014	4182	HDC on PRU failure detected.
PRU-B2B 上のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU-B2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
13	E8	PRU-B2B	80000020	4180	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
BCU と PRU-B2B との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ, RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には, 同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを, 1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し, BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また, 3 ～ 5 を実施した場合は, 4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
14	E8	PRU-B2B	80000021	4180	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted.
PRU-B2B と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
15	E8	PRU-B2B	80000022	4180	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted.
					PRU-B2B と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2B を復旧します。 [対応] - ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 - 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
16	E8	PRU-B2B	80000023	4180	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
					PRU-B2B と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-B2B を復旧します。 [対応] - ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 - PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。

3.8.3 イベント発生部位 = PRU-C2

イベント発生部位 = PRU-C2 の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-18 イベント発生部位 = PRU-C2 の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	PRU-C2	80000009	3782	HDC on PRU is updated.
					動作中の PRU-C2 ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。
2	E3	PRU-C2	80000012	3783	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
					PRU-C2 ハードウェアデペンデッドコードの PRU-C2 フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回, PRU-C2 起動に時間がかかりますが, 運用には影響ありません。このログメッセージが頻繁に出力される場合, 該当 PRU-C2 ボードを交換してください。

3.8 パケットルーティング機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
3	E3	PRU-C2	80000017	3782	PRU restarted due to the difference in configuration between active and standby.
運用系と待機系のコンフィグレーションが不一致のため、PRU-C2 を再起動します。 [対応] 1. コンフィグレーションを変更した場合は、コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 2. 上記以外の場合、copy startup-config コマンドを使用して、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。					
4	E3	PRU-C2	80000018	3782	PRU restarted due to the difference in license key between active and standby.
運用系と待機系のライセンスキー情報が不一致のため、PRU-C2 を再起動します。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンドを実行し、待機系を再起動してください。					
5	E3	PRU-C2	80000019	3782	PRU restarted due to the difference in software version between active and standby.
運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致のため、PRU-C2 を再起動します。 [対応] 1. 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 2. 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 3. copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 4. 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
6	E8	PRU-C2	80000007	3780	PRU hardware failure detected.
PRU-C2 のハードウェアの障害を検出しました。PRU-C2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
7	E8	PRU-C2	80000008	3781	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
PRU-C2 の自己診断中に障害を検出しました。PRU-C2 を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E8	PRU-C2	80000013	3782	PRU restarted due to the health check error detected.
CP から PRU-C2 への動作確認に失敗しました。PRU-C2 を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
9	E8	PRU-C2	80000014	3782	HDC on PRU failure detected.
					PRU-C2 上のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU-C2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
10	E8	PRU-C2	80000020	3780	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
					BCU と PRU-C2 との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-C2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ, RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には, 同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを, 1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し, BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また, 3 ～ 5 を実施した場合は, 4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
11	E8	PRU-C2	80000021	3780	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted.
					PRU-C2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-C2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
12	E8	PRU-C2	80000022	3780	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted.
					PRU-C2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-C2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
13	E8	PRU-C2	80000023	3780	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
PRU-C2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-C2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.8.4 イベント発生部位 = PRU-E2 【AX7700R】

イベント発生部位 =PRU-E2 の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-19 イベント発生部位 =PRU-E2 の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	PRU-E2	80000009	3082	HDC on PRU is updated.
動作中の PRU-E2 ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。					
2	E3	PRU-E2	80000012	3083	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
PRU-E2 ハードウェアデペンデッドコードの PRU-E2 フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回, PRU-E2 起動に時間がかかりますが, 運用には影響ありません。 このログメッセージが頻繁に出力される場合, 該当 PRU-E2 ボードを交換してください。					
3	E3	PRU-E2	a400050a	3080	Flow retrieval_mode_2 does not support.
本 PRU はフロー検出条件モード 2 を未サポートです。 [対応] フロー検出条件モード 2 を使用する場合は, フロー検出条件モード 2 対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出条件モード 2 対応の PRU 種別については, 「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
4	E3	PRU-E2	a400050c	3080	Flow retrieval_entry_partition does not support.
本 PRU はフロー検出エントリ分配を未サポートです。 [対応] フロー検出エントリ分配を使用する場合は, フロー検出エントリ分配対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出エントリ分配対応の PRU 種別については, 「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
5	E8	PRU-E2	80000007	3080	PRU hardware failure detected.
					PRU-E2 のハードウェアの障害を検出しました。PRU-E2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
6	E8	PRU-E2	80000008	3081	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
					PRU-E2 の自己診断中に障害を検出しました。PRU-E2 を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ, ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
7	E8	PRU-E2	80000013	3082	PRU restarted due to the health check error detected.
					CP から PRU-E2 への動作確認に失敗しました。PRU-E2 を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ, ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
8	E8	PRU-E2	80000014	3082	HDC on PRU failure detected.
					PRU-E2 のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU-E2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
9	E8	PRU-E2	80000020	3080	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
					BCU と PRU-E2 との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-E2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ, RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には, 同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを, 1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し, BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また, 3～5 を実施した場合は, 4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
10	E8	PRU-E2	80000021	3080	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted.
PRU-E2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-E2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
11	E8	PRU-E2	80000022	3080	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted.
PRU-E2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-E2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
12	E8	PRU-E2	80000023	3080	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
PRU-E2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-E2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.8.5 イベント発生部位 = PRU-D2

イベント発生部位 = PRU-D2 の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-20 イベント発生部位 =PRU-D2 の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	PRU-D2	80000009	3982	HDC on PRU is updated.
					動作中の PRU-D2 ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。
2	E3	PRU-D2	80000012	3983	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
					PRU-D2 ハードウェアデペンデッドコードの PRU-D2 フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回、PRU-D2 起動に時間がかかりますが、運用には影響ありません。 このログメッセージが頻繁に出力される場合、該当 PRU-D2 ボードを交換してください。
3	E8	PRU-D2	80000007	3980	PRU hardware failure detected.
					PRU-D2 のハードウェアの障害を検出しました。PRU-D2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
4	E8	PRU-D2	80000008	3981	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
					PRU-D2 の自己診断中に障害を検出しました。PRU-D2 を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
5	E8	PRU-D2	80000013	3982	PRU restarted due to the health check error detected.
					CP から PRU-D2 への動作確認に失敗しました。PRU-D2 を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。
6	E8	PRU-D2	80000014	3982	HDC on PRU failure detected.
					PRU-D2 のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU-D2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
7	E8	PRU-D2	80000020	3980	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
BCU と PRU-D2 との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ, RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には, 同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを, 1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し, BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また, 3 ~ 5 を実施した場合は, 4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
8	E8	PRU-D2	80000021	3980	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted.
PRU-D2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
9	E8	PRU-D2	80000022	3980	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted.
PRU-D2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
10	E8	PRU-D2	80000023	3980	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
PRU-D2 と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2 を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.8.6 イベント発生部位 = PRU-D2B

イベント発生部位 =PRU-D2B の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-21 イベント発生部位 =PRU-D2B の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	PRU-D2B	80000009	4282	HDC on PRU is updated.
動作中の PRU-D2B ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。					
2	E3	PRU-D2B	80000012	4283	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
PRU-D2B ハードウェアデペンデッドコードの PRU-D2B フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回 PRU 起動に時間がかかりますが, 運用には影響ありません。このログメッセージが頻繁に出力される場合, 該当 PRU ボードを交換してください。 PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
3	E3	PRU-D2B	80000017	4282	PRU restarted due to the difference in configuration between active and standby.
運用系と待機系のコンフィグレーションが不一致のため, PRU-D2B を再起動します。 [対応] 1. コンフィグレーションを変更した場合は, コンフィグレーションコマンドの save (write) でコンフィグレーションをセーブしてください。 2. 上記以外の場合, copy startup-config コマンドを使用して, スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なおコンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。					
4	E3	PRU-D2B	80000018	4282	PRU restarted due to the difference in license key between active and standby.
運用系と待機系のライセンスキー情報が不一致のため, PRU-D2B を再起動します。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンドを実行し, 運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後, 運用系から reload コマンドを実行し, 待機系を再起動してください。					

3.8 パケットルーティング機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
5	E3	PRU-D2B	80000019	4282	PRU restarted due to the difference in software version between active and standby.
運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致のため、PRU-D2B を再起動します。 [対応] 1. 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 2. 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 3. copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 4. 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
6	E3	PRU-D2B	a4000019	4282	PRU does not support the configuration parameter of min_upc_red of UPC-RED.
本 PRU は UPC-RED による最低帯域監視をサポートしていません。 [対応] 該当 PRU に対するコンフィグレーションから、UPC-RED による最低帯域監視を実施するパラメータ (min_upc_red) を削除してください。					
7	E8	PRU-D2B	80000007	4280	PRU hardware failure detected.
PRU-D2B のハードウェアの障害を検出しました。PRU-D2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E8	PRU-D2B	80000008	4281	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
PRU-D2B の自己診断中に障害を検出しました。PRU-D2B を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU ボードを交換して PRU を再起動してください。 PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E8	PRU-D2B	80000013	4282	PRU restarted due to the health check error detected.
CP から PRU-D2B への動作確認に失敗しました。PRU-D2B を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
10	E8	PRU-D2B	80000014	4282	HDC on PRU failure detected.
PRU-D2B 上のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。PRU-D2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
11	E8	PRU-D2B	80000020	4280	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
BCU と PRU-D2B との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と BCU です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 6 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ, RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には, 同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを, 1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し, BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また, 3 ~ 5 を実施した場合は, 4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
12	E8	PRU-D2B	80000021	4280	Hardware failure detected between PRU - lower number NIF, and PRU restarted.
PRU-D2B と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の低い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
13	E8	PRU-D2B	80000022	4280	Hardware failure detected between PRU - higher number NIF, and PRU restarted.
PRU-D2B と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. 障害が発生した PRU 内の高い番号の NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.8 パケットルーティング機構

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
14	E8	PRU-D2B	80000023	4280	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
PRU-D2B と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU-D2B を復旧します。 [対応] 1. ログ情報, コンフィグレーションファイル, show tech-support コマンドで情報を収集してください。また, PRU ダンプが採取されていた場合は, PRU ダンプも収集してください。採取方法は, 「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは, PRU と NIF です。PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。PRU ボードなどの交換方法については, 「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。上記手順で復旧した場合は 4 を実施し, 復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. PRU 配下のすべての NIF ボードを交換し, NIF を再起動してください。ただし, PRU が障害中の状態のままで復旧していない場合は, NIF ボード交換時の PRU の閉塞と, 交換後の PRU 再起動が必要となります。 4. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

3.9 ネットワークインタフェース機構・イーサネット

3.9.1 イベント発生部位 = NE1GSHP-4S

イベント発生部位 = NE1GSHP-4S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-22 イベント発生部位 = NE1GSHP-4S の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	NE1GSHP-4S	90205010	5450	NIF dose not support legacy shaper.
この NIF はレガシーシェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対する構造定義からレガシーシェーパ情報を削除してください。					
2	E3	NE1GSHP-4S	90205014	5450	The maximum frame length of jumbo frame exceeds the effective value of this NIF.
ジャンボフレーム最大フレーム長がこの NIF の有効な値を超過しています。 [対応] 該当回線は、コンフィグレーションで設定したジャンボフレーム最大フレーム長で動作せず、該当 NIF で有効なジャンボフレーム最大フレーム長で動作します。該当回線に対するコンフィグレーションのジャンボフレーム最大フレーム長を見直してください。					
3	E3	NE1GSHP-4S	a4000004	5450	NIF does not support mirror port.
この NIF は Port-mirroring 機能のミラーポートとしての運用をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF のポートに対して定義した port-mirroring コンフィグレーションのミラーポート情報を他の NIF のポートへ変更するか、該当 NIF のポートをミラーポートとして定義した port-mirroring コンフィグレーションを削除してください。					
4	E3	NE1GSHP-4S	a400000c	5440	NIF does not support queue-length.
NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。					
5	E6	NE1GSHP-4S	90202000	5440	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
6	E6	NE1GSHP-4S	90202001	5450	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
7	E6	NE1GSHP-4S	90202002	5440	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
					PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
8	E6	NE1GSHP-4S	90204000	5440	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
					NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
9	E6	NE1GSHP-4S	90204001	5450	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
					回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
10	R6	NE1GSHP-4S	90203000	5440	NIF recovered from hardware failure.
					NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
11	R6	NE1GSHP-4S	90203001	5450	Line recovered from hardware failure.
					NIF は回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。

3.9.2 イベント発生部位 = NE10G-1ER

イベント発生部位 =NE10G-1ER の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-23 イベント発生部位 =NE10G-1ER の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NE10G-1ER	90205000	5550	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NE10G-1ER	a400000c	5540	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
3	E3	NE10G-1ER	a400000e	5550	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
					設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
4	E3	NE10G-1ER	a400000f	5550	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
5	E6	NE10G-1ER	90202000	5540	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
6	E6	NE10G-1ER	90202001	5550	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
7	E6	NE10G-1ER	90202002	5540	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NE10G-1ER	90204000	5540	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	NE10G-1ER	90204001	5550	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	R6	NE10G-1ER	90203000	5540	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
11	R6	NE10G-1ER	90203001	5550	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.3 イベント発生部位＝NE10G-1LW

イベント発生部位＝NE10G-1LW の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-24 イベント発生部位＝NE10G-1LW の装置関連の障害およびイベント情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NE10G-1LW	90205000	5650	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NE10G-1LW	a400000c	5640	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
3	E3	NE10G-1LW	a400000e	5650	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
					設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
4	E3	NE10G-1LW	a400000f	5650	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
5	E6	NE10G-1LW	90202000	5640	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
6	E6	NE10G-1LW	90202001	5650	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
7	E6	NE10G-1LW	90202002	5640	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NE10G-1LW	90204000	5640	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	NE10G-1LW	90204001	5650	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	R6	NE10G-1LW	90203000	5640	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
11	R6	NE10G-1LW	90203001	5650	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.4 イベント発生部位 = NE10G-1EW

イベント発生部位 = NE10G-1EW の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-25 イベント発生部位 =NE10G-1EW の装置関連の障害およびイベント情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NE10G-1EW	90205000	5750	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NE10G-1EW	a400000c	5740	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
3	E3	NE10G-1EW	a400000e	5750	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
					設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
4	E3	NE10G-1EW	a400000f	5750	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
5	E6	NE10G-1EW	90202000	5740	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
6	E6	NE10G-1EW	90202001	5750	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
7	E6	NE10G-1EW	90202002	5740	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NE10G-1EW	90204000	5740	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	NE10G-1EW	90204001	5750	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	R6	NE10G-1EW	90203000	5740	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
11	R6	NE10G-1EW	90203001	5750	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.5 イベント発生部位 = NE1GSHP-8S

イベント発生部位 = NE1GSHP-8S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-26 イベント発生部位 =NE1GSHP-8S の装置関連の障害およびイベント情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NE1GSHP-8S	90205010	5950	NIF does not support legacy shaper.
					この NIF はレガシーシェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからレガシーシェーパ情報を削除してください。
2	E3	NE1GSHP-8S	90205014	5950	The maximum frame length of jumbo frame exceeds the effective value of this NIF.
					ジャンボフレーム最大フレーム長がこの NIF の有効な値を超過しています。 [対応] 該当回線は、コンフィグレーションで設定したジャンボフレーム最大フレーム長で動作せず、該当 NIF で有効なジャンボフレーム最大フレーム長で動作します。該当回線に対するコンフィグレーションのジャンボフレーム最大フレーム長を見直してください。
3	E3	NE1GSHP-8S	a4000004	5950	NIF does not support mirror port.
					この NIF は Port-mirroring 機能のミラーポートとしての運用をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF のポートに対して定義した port-mirroring コンフィグレーションのミラーポート情報を他の NIF のポートへ変更するか、該当 NIF のポートをミラーポートとして定義した port-mirroring コンフィグレーションを削除してください。
4	E6	NE1GSHP-8S	90202000	5940	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
5	E6	NE1GSHP-8S	90202001	5950	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
6	E6	NE1GSHP-8S	90202002	5940	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
					PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
7	E6	NE1GSHP-8S	90204000	5940	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NE1GSHP-8S	90204001	5950	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	R6	NE1GSHP-8S	90203000	5940	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
10	R6	NE1GSHP-8S	90203001	5950	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.6 イベント発生部位 = NE10G-1RX

イベント発生部位 = NE10G-1RX の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-27 イベント発生部位 = NE10G-1RX の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	NE10G-1RX	90205000	6050	NIF does not support shaper.
	NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。				
2	E3	NE10G-1RX	a400000c	6040	NIF does not support queue-length.
	NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
3	E3	NE10G-1RX	a400000e	6050	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
4	E3	NE10G-1RX	a400000f	6050	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
5	E6	NE10G-1RX	90202000	6040	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
6	E6	NE10G-1RX	90202001	6050	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
7	E6	NE10G-1RX	90202002	6040	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
8	E6	NE10G-1RX	90204000	6040	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
					NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
9	E6	NE10G-1RX	90204001	6050	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
					回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
10	R6	NE10G-1RX	90203000	6040	NIF recovered from hardware failure.
					NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。
11	R6	NE10G-1RX	90203001	6050	Line recovered from hardware failure.
					回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。

3.9.7 イベント発生部位 = NE10G-1RXA

イベント発生部位 = NE10G-1RXA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-28 イベント発生部位 = NE10G-1RXA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
1	E3	NE10G-1RXA	90205000	7750	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位（または VLAN 単位）の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位（または VLAN 単位）の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NE10G-1RXA	a400000c	7740	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
3	E3	NE10G-1RXA	a400000e	7750	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
4	E3	NE10G-1RXA	a400000f	7750	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
5	E6	NE10G-1RXA	90202000	7740	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
6	E6	NE10G-1RXA	90202001	7750	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
7	E6	NE10G-1RXA	90202002	7740	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
8	E6	NE10G-1RXA	90204000	7740	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	NE10G-1RXA	90204001	7750	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	R6	NE10G-1RXA	90203000	7740	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
11	R6	NE10G-1RXA	90203001	7750	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.8 イベント発生部位 = NE1G-48T

イベント発生部位 = NE1G-48T の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-29 イベント発生部位 = NE1G-48T の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	NE1G-48T	90205000	6150	NIF does not support shaper.
NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。					
2	E3	NE1G-48T	90205011	6150	NIF does not support LLQ+3WFQ of queue mode.
NIF はキューモード情報の LLQ+3WFQ をサポートしません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションから QoS キューリスト情報の LLQ+3WFQ 情報を削除してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
3	E3	NE1G-48T	90205012	6150	NIF does not support rate_limit.
					NIF はポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションから QoS インタフェース情報のポート帯域制御情報を削除してください。
4	E3	NE1G-48T	90205017	6150	Unable to use configured discard mode. It controls by tail-drop mode of a default threshold.
					この NIF は定義された廃棄制御モードでは動作しません。このため、廃棄閾値固定のテールドロップで動作します。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションから QoS インタフェース情報の廃棄制御情報を削除してください。
5	E3	NE1G-48T	a400000c	6140	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
6	E3	NE1G-48T	a4000014	6150	Line does not support LLQ+3WFQ of queue mode.
					回線はキューモード情報の LLQ+3WFQ をサポートしません。 [対応] 該当回線に対するコンフィグレーションから QoS キューリスト情報の LLQ+3WFQ 情報を削除してください。
7	E3	NE1G-48T	a4000015	6150	Line does not support rate_limit.
					回線はポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 該当回線に対するコンフィグレーションから QoS インタフェース情報のポート帯域制御情報を削除してください。
8	E6	NE1G-48T	90202000	6140	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
9	E6	NE1G-48T	90202001	6150	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
10	E6	NE1G-48T	90202002	6140	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	E6	NE1G-48T	90204000	6140	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
12	E6	NE1G-48T	90204001	6150	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
13	R6	NE1G-48T	90203000	6140	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
14	R6	NE1G-48T	90203001	6150	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.9 イベント発生部位 = NE1G-12SA

イベント発生部位 = NE1G-12SA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-30 イベント発生部位 =NE1G-12SA の装置関連の障害およびイベント情報

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NE1G-12SA	90205000	6250	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NE1G-12SA	a400000c	6240	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
3	E3	NE1G-12SA	a400000e	6250	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
					設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
4	E3	NE1G-12SA	a400000f	6250	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
5	E6	NE1G-12SA	90202000	6240	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
6	E6	NE1G-12SA	90202001	6250	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
7	E6	NE1G-12SA	90202002	6240	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NE1G-12SA	90204000	6240	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	NE1G-12SA	90204001	6250	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	R6	NE1G-12SA	90203000	6240	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
11	R6	NE1G-12SA	90203001	6250	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.10 イベント発生部位 = NE1G-12TA

イベント発生部位 = NE1G-12TA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-31 イベント発生部位 =NE1G-12TA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	NE1G-12TA	90205000	6350	NIF does not support shaper.
	NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。				
2	E3	NE1G-12TA	90205001	6350	10BASE-T half does not support port rate limiting feature.
	10BASE-T の半二重設定の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 10BASE-T の全二重設定に変更してください。				
3	E3	NE1G-12TA	90205002	6350	10BASE-T half (auto) does not support port rate limiting feature.
	10BASE-T の半二重設定 (auto) の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 10BASE-T の全二重設定に変更してください。				
4	E3	NE1G-12TA	90205004	6350	100BASE-TX half does not support port rate limiting feature.
	100BASE-TX の半二重設定の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 100BASE-TX の全二重設定に変更してください。				
5	E3	NE1G-12TA	90205005	6350	100BASE-TX half (auto) does not support port rate limiting feature.
	100BASE-TX の半二重設定 (auto) の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 100BASE-TX の全二重設定に変更してください。				
6	E3	NE1G-12TA	a400000c	6340	NIF does not support queue-length.
	NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。				
7	E3	NE1G-12TA	a400000e	6350	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
	設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。				
8	E3	NE1G-12TA	a400000f	6350	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
	設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
9	E6	NE1G-12TA	90202000	6340	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E6	NE1G-12TA	90202001	6350	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	E6	NE1G-12TA	90202002	6340	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
12	E6	NE1G-12TA	90204000	6340	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
13	E6	NE1G-12TA	90204001	6350	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
14	R6	NE1G-12TA	90203000	6340	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
15	R6	NE1G-12TA	90203001	6350	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.11 イベント発生部位 = NE1G-6GA

イベント発生部位 = NE1G-6GA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-32 イベント発生部位 = NE1G-6GA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	NE1G-6GA	90205000	6450	NIF does not support shaper.
NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。					
2	E3	NE1G-6GA	a400000c	6440	NIF does not support queue-length.
NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。					
3	E3	NE1G-6GA	a400000e	6450	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
4	E3	NE1G-6GA	a400000f	6450	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
5	E6	NE1G-6GA	90202000	6440	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

3.9 ネットワークインタフェース機構・イーサネット

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E6	NE1G-6GA	90202001	6450	Line restarted because of its hardware failure.
	回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。				
7	E6	NE1G-6GA	90202002	6440	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
	PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。				
8	E6	NE1G-6GA	90204000	6440	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。				
9	E6	NE1G-6GA	90204001	6450	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
	回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。				
10	R6	NE1G-6GA	90203000	6440	NIF recovered from hardware failure.
	NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。				
11	R6	NE1G-6GA	90203001	6450	Line recovered from hardware failure.
	回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。				

3.9.12 イベント発生部位 = NEMX-12

イベント発生部位 = NEMX-12 の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-33 イベント発生部位 = NEMX-12 の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	NEMX-12	90205000	6850	NIF does not support shaper.
NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。					
2	E3	NEMX-12	90205001	6850	10BASE-T half does not support port rate limiting feature.
10BASE-T の半二重設定の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 10BASE-T の全二重設定に変更してください。					
3	E3	NEMX-12	90205002	6850	10BASE-T half (auto) does not support port rate limiting feature.
10BASE-T の半二重設定 (auto) の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 10BASE-T の全二重設定に変更してください。					
4	E3	NEMX-12	90205004	6850	100BASE-TX half does not support port rate limiting feature.
100BASE-TX の半二重設定の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 100BASE-TX の全二重設定に変更してください。					
5	E3	NEMX-12	90205005	6850	100BASE-TX half (auto) does not support port rate limiting feature.
100BASE-TX の半二重設定 (auto) の場合、ポート帯域制御をサポートしません。 [対応] 100BASE-TX の全二重設定に変更してください。					
6	E3	NEMX-12	a400000c	6840	NIF does not support queue-length.
NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。					
7	E3	NEMX-12	a400000e	6850	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
8	E3	NEMX-12	a400000f	6850	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
9	E6	NEMX-12	90202000	6840	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E6	NEMX-12	90202001	6850	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	E6	NEMX-12	90202002	6840	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
12	E6	NEMX-12	90204000	6840	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
13	E6	NEMX-12	90204001	6850	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
14	R6	NEMX-12	90203000	6840	NIF recovered from hardware failure.
	NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。				
15	R6	NEMX-12	90203001	6850	Line recovered from hardware failure.
	回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。				

3.9.13 イベント発生部位 = RB2-10G4RX(PRU 部) 【AX7800R】

イベント発生部位 =RB2-10G4RX（PRU 部）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-34 イベント発生部位 =RB2-10G4RX（PRU 部）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	RB2-10G4RX	80000009	6982	HDC on PRU is updated.
	動作中の RB2-10G4RX ハードウェアデペンディッドコードを自動更新します。 [対応] 対応は不要です。				
2	E3	RB2-10G4RX	80000012	6983	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
	RB2-10G4RX ハードウェアデペンディッドコードの RB2-10G4RX フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回 RB2-10G4RX 起動に時間がかかりますが、運用には影響ありません。このログメッセージが頻繁に出力される場合、該当 RB2-10G4RX ボードを交換してください。				
3	E3	RB2-10G4RX	80000017	6982	PRU restarted due to the difference in configuration between active and standby.
	運用系と待機系のコンフィグレーションが不一致のため、RB2-10G4RX を再起動します。 [対応] 1. コンフィグレーションを変更した場合はコンフィグレーションコマンド config save でコンフィグレーションをセーブしてください。 2. 上記以外の場合、copy startup-config コマンドを使用して、スタートアップコンフィグレーションファイルを待機系現用 MC にコピーしてください。なお、コンソールは運用系の BCU に接続しログインしてください。				
4	E3	RB2-10G4RX	80000018	6982	PRU restarted due to the difference in license key between active and standby.
	運用系と待機系のライセンスキー情報が不一致のため、RB2-10G4RX を再起動します。 [対応] 1. 運用系から synchronize コマンド（「運用コマンドレファレンス Vol.1 6. ソフトウェア管理」を参照）を実行し、運用系と待機系のライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了した後、運用系から reload コマンド（「運用コマンドレファレンス Vol.1 10. 装置管理」を参照）を実行し、待機系を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
5	E3	RB2-10G4RX	80000019	6982	PRU restarted due to the difference in software version between active and standby.
運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致のため、RB2-10G4RX を再起動します。 [対応] - 運用系から reload stop standby コマンドを実行し、待機系のパッケージステータス LED 黄点灯になるのを確認してから待機系の MC を取り外してください。 - 待機系から取り外した MC を運用系の予備 MC スロットに挿した後、運用系で copy mc コマンドを実行してください。 - copy mc コマンドが終了した後、set mc disable secondary コマンドを実行して上記 2 で挿した MC を取り外し、待機系に再度挿し直してください。 - 待機系のリセットボタンを押して、待機系を再起動してください。					
6	E3	RB2-10G4RX	a400050a	6980	Flow retrieval_mode_2 does not support.
本 PRU 内蔵型高密度ポート NIF はフロー検出条件モード 2 を未サポートです。 [対応] フロー検出条件モード 2 を使用する場合は、フロー検出条件モード 2 対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出条件モード 2 対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
7	E3	RB2-10G4RX	a400050c	6980	Flow retrieval_entry_partition does not support.
本 PRU はフロー検出エントリ分配を未サポートです。 [対応] フロー検出エントリ分配を使用する場合は、フロー検出エントリ分配対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出エントリ分配対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
8	E8	RB2-10G4RX	80000007	6980	PRU hardware failure detected.
RB2-10G4RX のハードウェアの障害を検出しました。RB2-10G4RX を復旧します。 [対応] - PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E8	RB2-10G4RX	80000008	6981	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
RB2-10G4RX の自己診断中に障害を検出しました。RB2-10G4RX を再起動します。 [対応] - PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
10	E8	RB2-10G4RX	80000013	6982	PRU restarted due to the health check error detected.
CP から RB2-10G4RX への動作確認に失敗しました。RB2-10G4RX を再起動します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
11	E8	RB2-10G4RX	80000014	6982	HDC on PRU failure detected.
RB2-10G4RX 上のハードウェアデペンディッドコード障害を検出しました。RB2-10G4RX を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
12	E8	RB2-10G4RX	80000020	6980	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
BCU と RB2-10G4RX との間のインタフェースで障害を検出しました。RB2-10G4RX を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで情報を収集してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも収集してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、PRU 内蔵型高密度ポート NIF と BCU です。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換し、PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。 上記手順で復旧した場合は 6 を実施し、復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ、RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には、同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを、1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し、BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また、3～5 を実施した場合は、4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
13	E8	RB2-10G4RX	80000023	6980	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
RB2-10G4RX 内の PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。RB2-10G4RX を復旧します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

3.9.14 イベント発生部位 = RB2-10G4RX(NIF 部) 【AX7800R】

イベント発生部位 =RB2-10G4RX (NIF 部) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-35 イベント発生部位 =RB2-10G4RX (NIF 部) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	RB2-10G4RX	90205000	6950	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	RB2-10G4RX	a400000c	6940	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
3	E3	RB2-10G4RX	a400000e	6950	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
					設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
4	E3	RB2-10G4RX	a400000f	6950	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
5	E3	RB2-10G4RX	a4000010	6950	NIF does not support transmit and both of port mirroring function.
					この NIF は送信および送受信フレームのポートミラーリング機能をサポートしていません。 [対応] 該当するポートミラーリング情報を削除するか、該当するモニタポートの監視トラフィック方向を受信に変更してください。
6	E6	RB2-10G4RX	90202000	6940	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
7	E6	RB2-10G4R X	90202001	6950	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] これより後の障害回復成功、または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	RB2-10G4R X	90202002	6940	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU 内蔵型高密度ポート NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換し PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	RB2-10G4R X	90204000	6940	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E6	RB2-10G4R X	90204001	6950	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	R6	RB2-10G4R X	90203000	6940	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
12	R6	RB2-10G4RX	90203001	6950	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.9.15 イベント発生部位 = RE1-10G4RX(PRU 部) 【AX7700R】

イベント発生部位 = RE1-10G4RX (PRU 部) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-36 イベント発生部位 = RE1-10G4RX (PRU 部) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	RE1-10G4RX	80000009	6782	HDC on PRU is updated.
動作中の RE1-10G4RX ハードウェアデペンデッドコードを自動更新します。 [対応] なし。					
2	E3	RE1-10G4RX	80000012	6783	Failed in copying HDC on PRU to the flash memory.
RE1-10G4RX ハードウェアデペンデッドコードの RE1-10G4RX フラッシュメモリへのコピーに失敗しました。 [対応] 次回 RE1-10G4RX 起動に時間がかかりますが、運用には影響ありません。このログメッセージが頻繁に出力される場合、該当 RE1-10G4RX ボードを交換してください。					
3	E3	RE1-10G4RX	90205000	6750	NIF does not support shaper.
NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。					
4	E3	RE1-10G4RX	a400000c	6740	NIF does not support queue-length.
NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。					
5	E3	RE1-10G4RX	a400000e	6750	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
6	E3	RE1-10G4RX	a400000f	6750	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
7	E3	RE1-10G4RX	a4000010	6750	NIF does not support transmit and both of port mirroring function.
この NIF は送信および送受信フレームのポートミラーリング機能をサポートしていません。 [対応] 該当するポートミラーリング情報を削除するか、該当するモニタポートの監視トラフィック方向を受信に変更してください。					
8	E3	RE1-10G4RX	a400050c	6780	Flow retrieval_entry_partition does not support.
本 PRU はフロー検出エントリ分配を未サポートです。 [対応] フロー検出エントリ分配を使用する場合は、フロー検出エントリ分配対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出エントリ分配対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
9	E8	RE1-10G4RX	80000007	6780	PRU hardware failure detected.
RE1-10G4RX のハードウェアの障害を検出しました。RE1-10G4RX を復旧します。 [対応] - PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E8	RE1-10G4RX	80000008	6781	PRU restarted due to its hardware failure detected during the self check.
RE1-10G4RX の自己診断中に障害を検出しました。RE1-10G4RX を再起動します。 [対応] - PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	E8	RE1-10G4RX	80000013	6782	PRU restarted due to the health check error detected.
CP から RE1-10G4RX への動作確認に失敗しました。RE1-10G4RX を再起動します。 [対応] - PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
12	E8	RE1-10G4RX	80000014	6782	HDC on PRU failure detected.
RE1-10G4RX 上のハードウェアデペンデッドコード障害を検出しました。RE1-10G4RX を復旧します。 [対応] - ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも併せて保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 - 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
13	E8	RE1-10G4RX	80000020	6780	Hardware failure detected between BCU - PRU, and PRU restarted.
BCU と RE1-10G4RX との間のインタフェースで障害を検出しました。RE1-10G4RX を復旧します。 [対応] 1. ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで情報を収集してください。また、PRU ダンプが採取されていた場合は、PRU ダンプも収集してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、PRU 内蔵型高密度ポート NIF と BCU です。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換し、PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。 上記手順で復旧した場合は 6 を実施し、復旧しなかった場合は 3 以降を実施してください。 3. reload dump-image active コマンドで運用系 BCU を再起動させ、RM ダンプを採取してください。二重化構成の場合には、同時に系切替します。 4. 3 で採取した RM ダンプを、1 で収集した PRU ダンプと同様の手順で収集してください。 5. 3 で再起動した BCU ボードを交換し、BCU を再起動してください。 6. 1 で収集した情報を保守員に渡してください。また、3 ～ 5 を実施した場合は、4 で収集した情報も併せて保守員に渡してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。					
14	E8	RE1-10G4RX	80000023	6780	Hardware failure detected between PRU - NIF, and PRU restarted.
RE1-10G4RX 内の PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。RE1-10G4RX を復旧します。 [対応] 1. PRU ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイル、show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。 2. 保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 3. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードなどの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

3.9.16 イベント発生部位 = RE1-10G4RX(NIF 部) 【AX7700R】

イベント発生部位 = RE1-10G4RX (NIF 部) の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-37 イベント発生部位 = RE1-10G4RX (NIF 部) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	RE1-10G4RX	90205000	6750	NIF does not support shaper.
NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。					
2	E3	RE1-10G4RX	a400000c	6740	NIF does not support queue-length.
NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
3	E3	RE1-10G4R X	a400000e	6750	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
4	E3	RE1-10G4R X	a400000f	6750	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
5	E3	RE1-10G4R X	a400050a	6780	Flow retrieval_mode_2 does not support.
本 PRU 内蔵型高密度ポート NIF はフロー検出条件モード 2 を未サポートです。 [対応] フロー検出条件モード 2 を使用する場合は、フロー検出条件モード 2 対応の PRU に入れ替えてください。 フロー検出条件モード 2 対応の PRU 種別については、「解説書 Vol.1 7.6.3 フィルタリングの運用について」を参照してください。					
6	E6	RE1-10G4R X	90202000	6740	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
7	E6	RE1-10G4R X	90202001	6750	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したので、回線部分を再起動しました。 [対応] これより後の障害回復成功、または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
8	E6	RE1-10G4R X	90202002	6740	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。PRU 内蔵型高密度ポート NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換し PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	RE1-10G4R X	90204000	6740	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E6	RE1-10G4R X	90204001	6750	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードを交換して PRU 内蔵型高密度ポート NIF を再起動してください。 PRU 内蔵型高密度ポート NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	R6	RE1-10G4R X	90203000	6740	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
12	R6	RE1-10G4R X	90203001	6750	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

3.10 ネットワークインタフェース機構・POS

3.10.1 イベント発生部位 = NP192-1S4

イベント発生部位 = NP192-1S4 の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-38 イベント発生部位 = NP192-1S4 の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NP192-1S4	90205000	8050	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NP192-1S4	a4000004	8050	NIF does not support mirror port.
					この NIF は Port-mirroring 機能のミラーポートとしての運用をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF のポートに対して定義した port-mirroring コンフィグレーションのミラーポート情報を他の NIF のポートへ変更するか、該当 NIF のポートをミラーポートとして定義した port-mirroring コンフィグレーションを削除してください。
3	E3	NP192-1S4	a400000a	8040	Cannot specify flow list configuration with MAC header retrieval on this NIF.
					この NIF に対して、MAC ヘッダ検出条件を設定したフローリストコンフィグレーションは設定できません。 [対応] 該当 NIF に対するフローコンフィグレーションの中で、MAC ヘッダ検出条件を設定したフローリストを削除してください。
4	E3	NP192-1S4	a400000c	8040	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。
5	E3	NP192-1S4	a400000e	8050	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
					設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
6	E3	NP192-1S4	a400000f	8050	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
7	E6	NP192-1S4	90202000	8040	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NP192-1S4	90202001	8050	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したため、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
9	E6	NP192-1S4	90202002	8040	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E6	NP192-1S4	90204000	8040	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	E6	NP192-1S4	90204001	8050	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
12	R6	NP192-1S4	90203000	8040	NIF recovered from hardware failure.
	NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。				
13	R6	NP192-1S4	90203001	8050	Line recovered from hardware failure.
	回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。				

3.10.2 イベント発生部位 = NP48-4S

イベント発生部位 = NP48-4S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-39 イベント発生部位 = NP48-4S の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
1	E3	NP48-4S	90205000	8150	NIF does not support shaper.
	NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。				
2	E3	NP48-4S	a4000004	8150	NIF does not support mirror port.
	この NIF は Port-mirroring 機能のミラーポートとしての運用をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF のポートに対して定義した port-mirroring コンフィグレーションのミラーポート情報を他の NIF のポートへ変更するか、該当 NIF のポートをミラーポートとして定義した port-mirroring コンフィグレーションを削除してください。				
3	E3	NP48-4S	a400000a	8140	Cannot specify flow list configuration with MAC header retrieval on this NIF.
	この NIF に対して、MAC ヘッダ検出条件を設定したフローリストコンフィグレーションは設定できません。 [対応] 該当 NIF に対するフローコンフィグレーションの中で、MAC ヘッダ検出条件を設定したフローリストを削除してください。				
4	E3	NP48-4S	a400000c	8140	NIF does not support queue-length.
	NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。				
5	E3	NP48-4S	a400000e	8150	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
	設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
6	E3	NP48-4S	a400000f	8150	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
					設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。
7	E6	NP48-4S	90202000	8140	NIF restarted because of its hardware failure.
					NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
8	E6	NP48-4S	90202001	8150	Line restarted because of its hardware failure.
					回線部分にハードウェア障害が発生したため、回線部分を再起動しました。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
9	E6	NP48-4S	90202002	8140	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
					PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
10	E6	NP48-4S	90204000	8140	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
					NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
11	E6	NP48-4S	90204001	8150	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
					回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。
12	R6	NP48-4S	90203000	8140	NIF recovered from hardware failure.
					NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。
13	R6	NP48-4S	90203001	8150	Line recovered from hardware failure.
					回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。

3.10.3 イベント発生部位＝NP192-1S

イベント発生部位＝NP192-1S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-40 イベント発生部位＝NP192-1S の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
					内容
1	E3	NP192-1S	90205000	8250	NIF does not support shaper.
					NIF はアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからアグリゲートキュー単位の階層化シェーパ情報を削除してください。
2	E3	NP192-1S	a4000004	8250	NIF does not support mirror port.
					この NIF は Port-mirroring 機能のミラーポートとしての運用をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF のポートに対して定義した port-mirroring コンフィグレーションのミラーポート情報を他の NIF のポートへ変更するか、該当 NIF のポートをミラーポートとして定義した port-mirroring コンフィグレーションを削除してください。
3	E3	NP192-1S	a400000c	8240	NIF does not support queue-length.
					NIF は「from CSW 受信キュー」および「ディストリビューションキュー」のキュー長指定をサポートしていません。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長指定を削除してください。

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
内容					
4	E3	NP192-1S	a400000e	8250	Unable to use port rate limiting feature because value exceeding setting range was specified.
設定範囲外の値が指定されたため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
5	E3	NP192-1S	a400000f	8250	Unable to use port rate limiting feature because its setting unit was an unjust value.
設定単位が不当であったため、ポート帯域制御が使用できません。 [対応] 指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2 qos-interface (QoS インタフェース情報)」を参照してください。					
6	E6	NP192-1S	90202000	8240	NIF restarted because of its hardware failure.
NIF ボードにハードウェア障害が発生したので、再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
7	E6	NP192-1S	90202001	8250	Line restarted because of its hardware failure.
回線部分にハードウェア障害が発生したため、回線部分を再起動しました。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
8	E6	NP192-1S	90202002	8240	Hardware failure detected between PRU - NIF, and NIF restarted.
PRU と NIF との間のインタフェースで障害を検出しました。NIF を復旧します。 [対応] 1. NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 2. 障害が発生した可能性のあるボードは、NIF と PRU です。NIF ボードを交換し NIF を再起動してください。復旧しなかった場合、PRU ボードを交換し PRU を再起動してください。 NIF ボード、PRU ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					

項 番	イベント レベル	イベント 発生部位	メッセージ 識別子	付加情報 上位 4 桁	メッセージテキスト
内容					
9	E6	NP192-1S	90204000	8240	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
NIF を再起動しましたが、NIF ボード内のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
10	E6	NP192-1S	90204001	8250	Line restarted, but not recovered from hardware failure.
回線部分を再起動しましたが、回線部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] - NIF ダンプ、ログ情報、コンフィグレーションファイルおよび show tech-support コマンドで収集した情報を保守員に渡してください。 採取方法は、「運用ガイド 9.2 保守情報のファイル転送」を参照してください。保守員は収集した情報を支援部署に送付してください。 - NIF ボードを交換して NIF を再起動してください。 - NIF ボードの交換方法については、「運用ガイド 9.3 障害が発生したボードの交換」を参照してください。					
11	R6	NP192-1S	90203000	8240	NIF recovered from hardware failure.
NIF ボードのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					
12	R6	NP192-1S	90203001	8250	Line recovered from hardware failure.
回線部分のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。					

4

システム操作パネルの操作ログ情報

この章ではシステム操作パネルの操作ログ情報の内容について説明します。システム操作パネルの操作ログ情報では、システム操作パネルからの操作指示と、操作結果をログとして保存します。

4.1 システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)

4.2 システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)

4.1 システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)

システム操作パネルの操作ログ情報について説明します。

システム操作パネルの操作ログ・メッセージを次の表に示します。

表 4-1 システム操作パネルの操作ログ・メッセージ (ログ種別: KEY)

項番	メッセージテキスト	内容
1	SOP:Close operation canceled.	情報 (自装置)
		CLOSE 指示の NO が選択されました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
2	SOP:Close operation confirmed.	情報 (自装置)
		CLOSE 指示の YES が選択されました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
3	SOP:Close operation of <BOARD> selected.	情報 (自装置)
		<BOARD> の CLOSE 指示が選択されました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
		<BOARD> : ボード種別 • Standby BCU, PRU x, NIF x x はボード番号を示します。
4	SOP:Free operation canceled.	情報 (自装置)
		FREE 指示の NO が選択されました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
5	SOP:Free operation confirmed.	情報 (自装置)
		FREE 指示の YES が選択されました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
6	SOP:Free operation of <BOARD> selected.	情報 (自装置)
		<BOARD> の FREE 指示が選択されました。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
		<BOARD> : ボード種別 • Standby BCU, PRU x, NIF x x はボード番号を示します。
7	SOP:Shutdown operation canceled.	情報 (自装置)
		SHUTDOWN 指示の NO が選択されました。 [対応] なし
8	SOP:Shutdown operation confirmed.	情報 (自装置)

項番	メッセージテキスト	内容
		SHUTDOWN 指示の YES が選択されました。 [対応] なし

4.2 システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)

システム操作パネルの操作ログ情報について説明します。

システム操作パネルの操作ログ・メッセージを次の表に示します。

表 4-2 システム操作パネルの操作ログ・メッセージ（ログ種別：RSP）

項番	メッセージテキスト	内容
1	SOP:<BCU> will be stopped because of shutdown operation.	情報（自装置）
		SHUTDOWN 指示のため、まもなく <BCU> は停止します。 [対応] なし
		<BCU>：BCU 種別 • Active BCU, Standby BCU, All BCU
2	SOP:Canceled Close operation because closable board not found.	情報（自装置）
		CLOSE 可能なボードが見つからなかったため CLOSE 操作を行いませんでした。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
3	SOP:Canceled free operation because closed board not found.	情報（自装置）
		CLOSE されたボードが見つからなかったため FREE 操作を行いませんでした。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
4	SOP:Can't accept command (system is busy).	BCU の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		(システムビジーのため) CLOSE または FREE 操作は受け付けられません。 [対応] なし
5	SOP:Can't display Line status because all NIF Not Active.	情報（自装置）
		すべての NIF が Not Active なので Line 状態表示は行いませんでした。 (本メッセージは運用系だけ表示します) [対応] なし
6	SOP:Can't execute.	ボードの CLOSE または FREE に対するエラー応答
		ボードの CLOSE または FREE が実行できる状態ではありません。 [対応] なし
7	SOP:Can't execute this command in standby BCU.	ボードの CLOSE または FREE に対するエラー応答
		ボードの CLOSE または FREE は待機系 BCU 上では実行できません。 [対応] なし

項番	メッセージテキスト	内容
8	SOP: CP that controls NIF <NIF No.> is failed.	ボードの CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する CP が運用状態ではありません。 [対応] なし
9	SOP: CP that controls NIF <NIF No.> is initializing.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する CP が初期化中です。 [対応] なし
10	SOP:Illegal NIF -- <NIF No.>.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		NIF 番号が範囲外です。 [対応] なし
11	SOP:Illegal PRU -- <PRU No.>.	PRU の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		PRU 番号が範囲外です。 [対応] なし
12	SOP:NIF <NIF No.> is already active.	NIF の FREE に対するエラー応答
		指定 NIF は運用状態です。 [対応] なし
13	SOP:NIF <NIF No.> is already closed.	NIF の CLOSE に対するエラー応答
		指定 NIF は閉塞状態です。 [対応] なし
14	SOP:NIF <NIF No.> is already initializing.	NIF の FREE に対するエラー応答
		指定 NIF は初期化中です。 [対応] なし
15	SOP:NIF <NIF No.> is disconnected	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF は未実装です。 [対応] なし
16	SOP:NIF <NIF No.> is during the close process.	NIF の FREE に対するエラー応答
		指定 NIF は閉塞処理中です。 [対応] なし
17	SOP:NIF <NIF No.> is failed.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF は運用状態ではありません。 [対応] なし
18	SOP:NIF <NIF No.> is locked.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF がコンフィグレーションにより閉塞状態です。 [対応] なし

4.2 システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)

項番	メッセージテキスト	内容
19	SOP:PRU <PRU No.> is already active.	PRU の FREE に対するエラー応答
		指定 PRU は運用状態です。 [対応] なし
20	SOP:PRU <PRU No.> is already closed.	PRU の CLOSE に対するエラー応答
		指定 PRU は CLOSE 状態です。 [対応] なし
21	SOP:PRU <PRU No.> is already initializing.	PRU の FREE に対するエラー応答
		指定 PRU はすでに初期化中です。 [対応] なし
22	SOP:PRU <PRU No.> is disconnected.	PRU の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 PRU は実装されていません。 [対応] なし
23	SOP:PRU <PRU No.> is failed.	PRU の FREE に対するエラー応答
		指定 PRU は運用状態ではありません。 [対応] なし
24	SOP:PRU <PRU No.> is locked.	PRU の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 PRU が LOCK 状態です。 [対応] なし
25	SOP:PRU <PRU No.> that controls NIF <NIF No.> is closed.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する PRU が閉塞状態です。 [対応] なし
26	SOP:PRU <PRU No.> that controls NIF <NIF No.> is disconnected.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する PRU が未実装です。 [対応] なし
27	SOP:PRU <PRU No.> that controls NIF <NIF No.> is failed.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する PRU が運用状態ではありません。 [対応] なし
28	SOP:PRU <PRU No.> that controls NIF <NIF No.> is initializing.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する PRU が初期化中です。 [対応] なし
29	SOP:PRU <PRU No.> that controls NIF <NIF No.> is locked.	NIF の CLOSE または FREE に対するエラー応答

項番	メッセージテキスト	内容
		指定 NIF を制御する PRU がコンフィグレーションにより閉塞状態です。 [対応] なし
30	SOP:Rejected operation because of Standby.	情報 (自装置)
		待機系なので操作を行いませんでした。 (本メッセージは待機系だけ表示します) [対応] なし
31	SOP:Return to Main Menu because can't get the information.	ワーニング (自装置)
		情報を得ることができないため、メインメニューに戻ります。 [対応] なし
32	SOP:Shutdown operation failed.	ワーニング (自装置)
		SHUTDOWN 指示が失敗しました。 [対応] なし
33	SOP:Standby BCU is already closed.	BCU の CLOSE に対するエラー応答
		待機系 BCU はすでに CLOSE 状態です。 [対応] なし
34	SOP:Standby BCU is disconnected.	BCU の CLOSE または FREE に対するエラー応答
		待機系 BCU は未実装です。 [対応] なし
35	SOP:Standby BCU is not closed.	BCU の FREE に対するエラー応答
		待機系 BCU は CLOSE 状態ではありません。 [対応] なし

索引

A

ACCESS 127

B

BCU 211
BCU 初期診断での障害検出 18
BFD 情報 56
BGP4 27
BGP4+ 66

C

CONFIG 120
CP 178

D

DVMRP 105

F

FAN 200

I

IP 137
IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP) 92
IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通
〔IPv4 ルーティング情報 (RTM)〕 59
IPv4 ルーティング情報 (RTM) 20
IPv6 PIM-SM 109
IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6) 109
IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通
〔IPv6 ルーティング情報 (RTM)〕 91
IPv6 ルーティング情報 (RTM) 60
IS-IS 〔IPv4 ルーティング情報 (RTM)〕 51
IS-IS 〔IPv6 ルーティング情報 (RTM)〕 89

L

LED 表示の確認 2
LED ランプ 2
LINELAN 190
LINEWAN 193

M

MAC 142
MC 196

MPLS 情報 (MPL) 115

N

NE10G-1ER 243
NE10G-1EW 246
NE10G-1LW 245
NE10G-1RX 250
NE10G-1RXA 252
NE1G-12SA 256
NE1G-12TA 258
NE1G-48T 254
NE1G-6GA 261
NE1GSHP-4S 241
NE1GSHP-8S 248
NEMX-12 263
NIF 184
NP192-1S 279
NP192-1S4 275
NP48-4S 277

O

OSPF 21
OSPFv3 61

P

PIM-DM 92
PIM-SM 99
POW 203
PPP 132
PRU 185
PRU-B2 223
PRU-B2B 226
PRU-C2 229
PRU-D2 234
PRU-D2B 237
PRU-E2 232

R

RA 89
RB2-10G4RX(NIF 部) 267
RB2-10G4RX(PRU 部) 265
RE1-10G4RX(NIF 部) 272
RE1-10G4RX(PRU 部) 270
RIP 20
RIPng 60

RM 147

V

VPN 58

あ

アクセス 127

い

イベントレベル 11

イベント発生インタフェース識別子 13

イベント発生部位 12

う

運用メッセージの確認 5

運用メッセージの出力 6

運用メッセージの内容 5

運用メッセージのフォーマット 6

運用ログと種別ログの特徴 8

運用ログのフォーマット 9

お

オプション機構 196

か

回線 190

該当イベントの最新および最旧の発生時刻 13

該当イベントの発生回数 13

き

基本制御機構 211

こ

コンフィグレーション 120

し

システム操作パネルの操作ログ情報 283

システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY) 284

システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP) 286

種別ログのフォーマット 10

障害の特定 1

障害部位の確認 3

初期起動メッセージ 16

そ

装置関連の障害およびイベント情報 119

装置の各部位 147

た

立ち上げ中の障害メッセージ 16

立ち上げメッセージ 16

ね

ネットワークインタフェース機構・POS 275

ネットワークインタフェース機構・イーサネット
241

は

パケットルーティング機構 223

ふ

付加情報 13

プロトコル 132

め

メッセージ識別子 13

メッセージの種類 5

メッセージの種類と参照先 5

り

リモートホストでのログ取得 15

る

ルーティングプロトコルのイベント情報 19

ルーティングプロトコルのイベント情報のメッセージ
出力 6

ろ

ログ種別 9

ログの E-Mail 送信機能 15

ログの確認 8

ログのコード情報 10

ログの参照とファイルの作成方法 14

ログの自動保存 14

ログの自動保存と参照 14

ログの種類 8

ログの内容 8